

令和 2 年 度 決 算

内部評価結果一覽



加 賀 市

1 令和2年度に実施した事務事業について、内部評価を行った結果は以下の通り。

令和2年度決算 内部評価結果 集計一覧

事務事業	拡充	継続	縮小	廃止	合計
	10	216	4	1	231

公の施設 (市の所管施設)	優	良	可	不可	合計
	24	25	1	0	50

総合計 281事業

2 内部評価報告書(個票)の配布・掲載場所

- ・スマートシティ課(企画調整グループ)
- ・議会事務局
- ・本庁総合案内
- ・山中温泉支所
- ・中央図書館
- ・山中図書館
- ・加賀市ホームページ

令和2年度決算 行政評価(内部評価) 事務事業一覧

第2次加賀市総合計画(前期実施計画) 「加賀躍進プロジェクト事業一覧」ベース

将来への備え

成長戦略

1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり

①妊娠から出産までの支援

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
1 1 01	出産準備手当給付事業	健康課	継続	一般	4	1	1
1 1 02	母子健康手帳交付事業	健康課	継続	一般	4	1	1
1 1 03	妊産婦新生児等訪問指導事業	健康課	継続	一般	4	1	1
1 1 04	妊産婦健診事業	健康課	継続	一般	4	1	1
1 1 05	妊娠期パパママ教室事業	健康課	継続	一般	4	1	1
1 1 06	不妊不育治療費助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1 1 07	産後ケア費用助成事業	健康課	拡充	一般	4	1	1
1 1 08	子どもの命を大切にする啓発事業	健康課	継続	一般	4	1	1

②子育て支援・サービスの充実

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
1 2 01	保育園保育事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	3
1 2 02	子育て応援ステーション運営事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	4
1 2 03	多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1 2 05	多子世帯等学校給食費助成事業	学校指導課	継続	一般	10	6	2
1 2 06	中央公園遊具整備事業	土木課	継続	一般	8	2	3
1 2 07	こども医療費助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1 2 08	こども育成相談センター運営事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	4
1 2 09	放課後児童クラブ運営委託事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1 2 10	ひとり親家庭放課後児童クラブ利用助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1 2 11	放課後子ども教室開催事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1 2 12	ひとり親家庭医療費助成事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	5
1 2 13	義務教育の円滑な実施のための学費支援事業	学校指導課	継続	一般	10	6	2
1 2 14	子ども会活動への支援事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1 2 15	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1 2 16	保育料の軽減事業	子育て支援課	継続	-	-	-	-
1 2 17	ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	1
1 2 19	乳幼児健診事業	健康課	継続	一般	4	1	1
1 2 20	乳幼児相談・教育事業	健康課	継続	一般	4	1	1
1 2 21	親子スマイリーネット事業	子育て支援課	継続	一般	3	2	4
1 2 22	奨学金制度の充実事業	学校指導課	継続	一般	10	1	2
1 2 23	第3子以降誕生祝金給付事業(未来33)	子育て支援課	継続	一般	3	2	1

③家庭教育の充実と環境の構築

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
1 3 02	家庭教育の啓発・周知活動の推進事業	生涯学習課	拡充	一般	10	5	5

④魅力ある学校教育内容の充実

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
1 4 01	小中学生におけるプログラミング教育の推進事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 02	小中学校の教育推進事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 03	国際教育交流事業	学校指導課	継続	一般	10	1	2
1 4 04	指導力向上による学校教育環境の充実事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 05	学校保健の充実事業	学校指導課	継続	一般	10	6	1
1 4 06	学校図書館の充実事業	学校指導課	継続	一般	10	2	1
1 4 07	特別支援教育の充実事業	学校指導課	拡充	一般	10	2	2
1 4 08	野外活動などの自然体験活動の推進事業	学校指導課	継続	一般	10	2	2
1 4 09	いじめ・不登校の解消事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 10	教育総合支援センターの充実事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 11	スクールソーシャルワーカー配置事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 12	中谷宇吉郎科学奨励事業	学校指導課	継続	一般	10	1	2
1 4 13	能楽・茶道活動の推進事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 14	体験型環境学習推進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1 4 15	小中学校活性化事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 16	英語力向上事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 17	教職員研修事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3
1 4 18	小中学生におけるSTEAM教育の推進事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3

1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり

⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
1 5 01	学校普通教室等冷房化事業	教育庶務課	継続	一般	10	2	3
1 5 02	学校講堂暖房復旧事業	教育庶務課	継続	一般	10	2	3
1 5 03	学校トイレ洋式化整備事業	教育庶務課	継続	一般	10	2	3
1 5 04	小学校施設の適正管理事業	教育庶務課	継続	一般	10	2	1
1 5 05	中学校施設の適正管理事業	教育庶務課	継続	一般	10	3	1
1 5 06	学校用(教師用を含む)パソコンの整備事業	学校指導課	継続	一般	10	2	2
1 5 07	学校給食施設の適正管理事業	学校指導課	継続	一般	10	6	2

⑥スポーツ活動の振興

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
1 6 01	加賀温泉郷マラソン開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1 6 02	加賀温泉郷寛平ナイトマラソン開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1 6 03	スポーツ交流推進事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1 6 04	市民スポーツ大会の開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1 6 05	各種スポーツ教室の開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1 6 06	ニュースポーツ大会の開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1 6 07	生涯学習・生涯スポーツ施設の有効活用事業	スポーツ推進課	継続	-	-	-	-
1 6 08	スポーツ団体の育成支援事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1 6 09	スポーツ教室の開催の運営支援事業	スポーツ推進課	継続	-	-	-	-
1 6 10	スポーツ指導員による指導事業	スポーツ推進課	継続	-	-	-	-
1 6 11	各地区・スポーツ団体を対象とした体カテスト会の開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5
1 6 12	スポーツ施設の充実事業	スポーツ推進課	拡充	一般	10	6	6

⑦生涯学習の振興

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
1 7 01	中谷宇吉郎自然科学と芸術による研究教育事業	教育庶務課	継続	一般	10	1	2
1 7 02	市民文化講演会開催事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1 7 03	ふるさと学習の推進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1 7 04	各種活動情報の提供事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1 7 05	かがやき市民大学の促進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1 7 06	かもまる講座の充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2
1 7 07	蔵書の充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3
1 7 08	レファレンス(相談機能)能力の向上事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3
1 7 09	行政資料・郷土資料の充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3
1 7 10	自動車文庫・地区巡回サービスの充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3
1 7 11	青少年健全育成の推進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	5

2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり

①戦略的な観光振興施策の推進

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
2 1 01	加賀温泉郷誘客促進事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 1 02	柴山湯周辺整備事業	都市計画課	継続	一般	8	5	7
2 1 03	日本遺産推進活動事業	文化振興課	継続	一般	10	5	2
2 1 04	魅力的な地域商品企画開発事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 1 05	温泉地回遊性向上事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 1 06	観光二次交通対策事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 1 07	学生等交流事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 1 08	MICE誘致促進事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 1 09	観光振興団体活動助成事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 1 11	ガーデンシティ構想推進事業	都市計画課	継続	一般	8	5	7

②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
2 2 01	三温泉観光誘客助成事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 2 02	観光地ブランド化推進事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 2 03	芸妓活動支援事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 2 04	温泉観光地景観保全事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2
2 2 05	加賀温泉郷DMOによる温泉旅館雇用促進プロジェクト事業	観光交流課	継続	一般	7	2	2

2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり								
③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
2	3	01	出向宣伝事業	観光交流課	継続	一般	7	2 2
2	3	02	都市圏プロモーション事業	観光交流課	継続	一般	7	2 2
2	3	03	旅行商品企画販売促進事業	観光交流課	継続	一般	7	2 2
2	3	04	加賀温泉郷情報発信事業	観光交流課	継続	一般	7	2 2
④海外都市交流とインバウンド観光の推進								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
2	4	02	越前加賀インバウンド推進事業	観光交流課	継続	一般	7	2 2
2	4	03	海外都市交流事業	観光交流課	継続	一般	2	1 14
2	4	04	インバウンド戦略事業(情報発信)	観光交流課	継続	一般	7	2 2
2	4	05	インバウンド戦略事業(受け入れ体制整備)	観光交流課	継続	一般	7	2 2
2	4	06	国際力のある地域づくり事業	観光交流課	継続	一般	2	1 14
2	4	07	インターナショナルスクール合宿誘致事業	観光交流課	継続	一般	2	1 14
2	4	08	ジャパンテント受入事業	観光交流課	継続	一般	2	1 14
⑤国内都市との広域交流の推進								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
2	5	01	国内都市交流事業	観光交流課	継続	一般	2	1 14
⑥伝統文化の継承・文化活動の充実								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
2	6	01	祭礼行事助成事業	観光交流課	継続	一般	7	2 2
2	6	02	伝統文化・芸能伝承の支援事業	文化振興課	継続	一般	10	5 2
2	6	03	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業	文化振興課	継続	一般	10	5 3
2	6	04	文化体験プログラムの充実事業	文化振興課	継続	一般	10	5 3
2	6	05	市民文化活動の促進と支援事業	文化振興課	継続	一般	10	5 3
2	6	06	「坂網猫」保存事業	環境課	継続	一般	4	2 3
2	6	07	山中節振興会活動事業	振興課	継続	一般	2	1 12
3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり								
①産学官連携によるまちづくりの振興								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
3	1	02	産業人材育成支援事業	商工振興課	継続	一般	7	1 2
②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
3	2	01	スマート加賀IoT推進事業	スマートシティ課	継続	一般	7	1 2
3	2	02	ロボット研究支援事業	スマートシティ課	継続	一般	7	1 2
3	2	04	産学連携技術開発事業	商工振興課	廃止	一般	7	1 2
3	2	05	コンピュータクラブハウス加賀運営事業	生涯学習課	継続	一般	10	5 2
3	2	06	デジタル自治体プラットフォーム構築事業	スマートシティ課・人事課	継続	一般	2	1 8
③企業誘致の推進								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
3	3	01	企業誘致推進事業	企業誘致室	継続	一般	7	1 2
④地元就職の促進とPRの推進								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
3	4	01	ロボレーブ国際大会参加事業	学校指導課	継続	一般	10	1 2
3	4	02	高校生人材育成支援助成事業	商工振興課	継続	一般	7	1 2
3	4	03	大学生インターンシップ制度事業	商工振興課	継続	一般	5	1 1
3	4	04	北陸先端科学技術大学院大学Uターン入学支援事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1 8
3	4	05	Uターン・Iターン者の雇用促進事業	商工振興課	継続	一般	5	1 1
⑤新規創業の支援								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
3	5	01	創業支援事業(「創業支援事業計画」:創業応援ネットワーク構築事業、ワンストップ相談窓口事業)	商工振興課	継続	一般	7	1 1
3	5	02	新商品開発助成事業	商工振興課	継続	一般	7	1 2

3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり

⑥商工業の振興

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
3 6 01	海外輸出促進事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3 6 02	企業等顕彰事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3 6 04	店舗立地の支援等による商業集積の促進事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3 6 06	キャッシュレス決済推進助成事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2

⑦伝統産業の継承・活性化

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
3 7 01	伝統山中漆器後継者育成助成事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3 7 04	JAPANブランド育成支援事業「先進国ブランド展開事業」	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3 7 06	伝統工芸展開催助成事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2
3 7 07	食のブランド化事業	商工振興課	継続	一般	7	1	2

⑧農林水産業の振興

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
3 8 01	地産地消・6次産業化推進事業	農林水産課	拡充	一般	6	1	3
3 8 02	鳥獣害防止対策事業	農林水産課	継続	一般	6	1	3
3 8 03	森林経営管理制度に係る意向調査事業	農林水産課	継続	一般	6	2	2

4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり

①地域福祉の充実

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
4 1 01	地域見守り支えあいネットワーク事業	福祉政策課	継続	一般	3	1	1
4 1 02	若者等就労支援事業	相談支援課	縮小	一般	2	1	8
4 1 03	権利擁護事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2

②地域包括ケアシステムの構築

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
4 2 01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2
4 2 02	包括ランチ及び地域福祉コーディネーター事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2
4 2 03	シニア活動応援事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2

③健康づくりの推進

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
4 3 01	健康づくり事業（KAGA健食健歩プロジェクト）	健康課	継続	国保特別会計	6	2	1
4 3 02	グリーンスポーツ推進事業	スポーツ推進課	継続	-	-	-	-
4 3 03	こころの健康づくり対策事業	健康課	継続	一般	4	1	2
4 3 04	食生活改善推進事業	健康課	継続	一般	4	1	2
4 3 05	健康診査・各種検診事業	健康課	継続	一般	4	1	2
4 3 06	感染症予防対策事業	健康課	継続	一般	4	1	3
4 3 07	国保保健事業	健康課	継続	国保特別会計	6	2	1
4 3 08	ウォーキング教室開催事業	スポーツ推進課	継続	一般	10	6	5

④医療提供体制の充実

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
4 4 01	在宅医療介護連携推進事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2
4 4 02	医師招へい推進策事業	医療センター総務課	継続	病院事業	1	1	3
4 4 03	医療機能向上推進事業	医療センター総務課	継続	病院事業	1	1	2
4 4 04	地域医療推進事業	介護福祉課	継続	一般	4	1	1

⑤高齢者福祉の充実

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
4 5 01	介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス事業、介護予防マネジメント事業）	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	1
4 5 02	介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）	地域包括支援センター	拡充	介護保険特別	4	1	1
4 5 03	認知症予防・支援体制構築事業（もの忘れ健診、かかりつけ医対応力向上研修、認知症初期集中支援チーム）	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2
4 5 04	認知症ケア普及事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	3
4 5 05	総合相談事業	地域包括支援センター	継続	介護保険特別	4	1	2
4 5 06	老人クラブ育成事業	介護福祉課	継続	一般	3	1	3
4 5 07	シルバー人材センター運営事業	介護福祉課	継続	一般	3	1	3
4 5 08	介護支援ボランティア制度事業	介護福祉課	継続	介護保険特別	4	1	1

4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり								
⑥障がい者福祉の充実								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
4	6	01	じりつ支援協議会運営強化事業	地域包括支援センター	継続	一般	3	1 2
4	6	02	理解促進研修・啓発事業	地域包括支援センター	継続	一般	3	1 2
4	6	03	(就労の)企業等への働きかけ事業	介護福祉課	継続	一般	3	1 2
4	6	04	就労支援ネットワークの強化事業	介護福祉課	継続	-	-	-
5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり								
①市民交流・まちづくり活動の活性化								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
5	1	01	まちづくり事務局助成事業	行政まちづくり課	継続	一般	2	1 12
5	1	02	まちづくり活動助成事業	行政まちづくり課	継続	一般	2	1 12
5	1	04	公民館大会の開催事業	生涯学習課	継続	一般	10	5 2
②若者などの移住・定住の促進								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
5	2	01	ローカルベンチャー育成事業	スマートシティ課	縮小	一般	2	1 8
5	2	02	移住・定住促進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1 8
5	2	03	加賀市版「生涯活躍のまち」構想推進事業	福祉政策課・相談支援課・介護福祉課	継続	一般	2	1 8
5	2	04	移住住宅取得助成事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1 8
③独身男女の願いを叶える出会いの創出								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
5	3	01	婚活支援事業	スマートシティ課	縮小	一般	2	1 8
④人権が尊重される社会の形成								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
5	4	01	人権啓発教育事業	行政まちづくり課	継続	一般	2	1 16
⑤男女共同参画の推進								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
5	5	01	男女共同参画推進事業	行政まちづくり課	継続	一般	2	1 13
⑥ボランティア活動の推進								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
5	6	01	地域ヤングボランティア育成事業	生涯学習課	継続	一般	10	5 5
⑦防災対策の充実								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
5	7	01	防災緊急情報伝達システム(防災行政無線)整備事業	危機対策課	継続	一般	9	1 5
5	7	03	総合防災訓練開催事業	危機対策課	継続	一般	9	1 5
5	7	04	災害用備蓄品購入事業	危機対策課	継続	一般	9	1 5
5	7	06	消防施設・設備整備事業	消防総務課	継続	一般	9	1 3
5	7	07	消防車両整備事業	消防総務課	継続	一般	9	1 3
5	7	08	消防水利整備事業	警防課	継続	一般	9	1 3
5	7	09	放水器具購入助成事業	警防課	継続	一般	9	1 3
5	7	10	地域防災組織の育成事業	危機対策課	拡充	一般	9	1 5
⑧空き家対策の推進								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
5	8	01	空き家バンク構築事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1 8
5	8	02	空家等対策推進事業	建築課	継続	一般	4	2 3
⑨交通安全・防犯の充実								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
5	9	01	交通安全推進事業	危機対策課	継続	一般	2	1 11
5	9	02	防犯対策事業	危機対策課	継続	一般	2	1 11
6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり								
①自然環境の保全								
事業番号	事務事業			担当課	評価	会計	款	項目
6	1	01	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業	環境課	継続	一般	4	2 2
6	1	02	グリーンビーチ・インかが開催事業	環境課	継続	一般	4	2 2

6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

②良好な歴史的景観の保全

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
6 2 01	「ふゆみずたんぼ」普及定着支援事業	環境課	継続	一般	4	2	3
6 2 02	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6 2 03	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6 2 04	加賀大聖寺藩十萬石文化再生事業	文化振興課	継続	一般	10	5	2
6 2 05	文化財の適正管理事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6 2 06	景観保存活動の支援事業	文化振興課	継続	-	-	-	-
6 2 07	九谷磁器窯跡整備事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6 2 08	文化的景観保護推進事業	文化振興課	継続	一般	10	5	4
6 2 09	景観整備事業	建築課	継続	一般	8	5	7
6 2 10	町屋再生事業	建築課	継続	一般	8	6	2

③交通ネットワークの充実

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
6 3 01	都市計画基礎調査事業	都市計画課	継続	一般	8	5	1
6 3 02	松島橋架替え事業(市道A第60号線)	土木課	継続	一般	8	2	3
6 3 04	都市計画道路整備事業	都市計画課	継続	一般	8	5	2
6 3 05	生活道路整備事業	土木課	継続	一般	8	1	1
6 3 06	橋梁長寿命化対策事業	土木課	継続	一般	8	2	4
6 3 07	加賀温泉駅前活性化対策事業	新幹線対策室	継続	一般	8	5	1
6 3 08	山中温泉地区都市再生整備計画事業	都市計画課	継続	一般	8	5	2
6 3 09	加賀温泉駅周辺施設整備事業	新幹線対策室	継続	一般	8	5	1

④地域公共交通の充実

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
6 4 01	地域交通対策(KAGAあんしんネット)事業	スマートシティ課	拡充	一般	2	1	8
6 4 02	地域交通利用促進(加賀MaaS)事業	スマートシティ課	拡充	一般	2	1	8

⑤上下水道の適正管理

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
6 5 01	片山津処理区管渠築造事業	下水道課	継続	下水道事業	41	1	1
6 5 02	大聖寺川処理区管渠築造事業	下水道課	継続	下水道事業	41	1	1
6 5 03	配水管網整備事業	水道課	継続	水道事業	2	1	3
6 5 04	老朽管更新事業	水道課	継続	水道事業	2	1	3
6 5 05	農業集落排水施設整備事業	下水道課	継続	下水道事業	41	1	1
6 5 06	農業集落排水事業最適整備構想作成事業	下水道課	縮小	下水道事業	21	1	8
6 5 08	導送水施設整備事業	水道課	継続	水道事業	2	1	2
6 5 09	鉛給水管更新事業	水道課	継続	水道事業	2	1	3
6 5 10	合併処理浄化槽設置助成事業	経営企画課	継続	一般	4	3	3

⑥憩いの場の充実

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
6 6 01	都市公園管理事業	土木課	継続	一般	8	5	6
6 6 02	中央公園管理事業	土木課	継続	一般	8	5	6

7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり

①市政への市民参画の促進

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
7 1 01	パブリックコメントの積極的展開事業	スマートシティ課	継続	-	-	-	-

②広報・広聴体制の充実

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
7 2 01	広報発行事業	スマートシティ課	拡充	一般	2	1	4
7 2 02	テレビ広報推進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	4
7 2 03	新聞・SNS等広報推進事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	4

③公共施設の適正な維持管理

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
7 3 01	公共施設マネジメントの推進	スマートシティ課	継続	-	-	-	-

④計画的な行財政運営

事業番号	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目
7 4 01	「行政改革大綱」の推進	スマートシティ課	継続	-	-	-	-
7 4 03	行政評価「公開外部評価会」開催事業	スマートシティ課	継続	一般	2	1	8
7 4 04	道路台帳整備委託事業	土木課	継続	一般	8	2	1

令和2年度決算 行政評価(内部評価) 公の施設一覧

【原則 対象施設について】

- ① 市職員(臨時を含む)を配置している施設
- ② 公募による指定管理者制度導入施設
- ③ 非公募だが一般市民や観光客の利用に供する施設
(地域活動の拠点となっている施設は除く)

事業番号	事業内容	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目	備考
A01	A 展観施設	加賀市美術館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3	
A02		中谷宇吉郎雪の科学館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3	
A03		北前船の里資料館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3	
A04		九谷焼美術館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3	
A05		魯山人寓居跡いろは草庵管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3	
A06		九谷焼窯跡展示館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3	
A07		深田久弥山の文化館管理	文化振興課	良	一般会計	10	5	3	
A08		山中温泉芭蕉の館管理	振興課	優	一般会計	10	5	3	
A09		鴨池観察館管理	環境課	良	一般会計	4	2	6	
B01	B 体育施設	加賀体育館管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B02		武道館管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B03		大聖寺グラウンド管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B04		大聖寺テニスコート管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B05		陸上競技場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B06		相撲場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B07		スポーツセンター管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B09		山中健民体育館管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B10		山中武道館管理	スポーツ推進課	良	一般会計	10	6	6	
B11		山中弓道場管理	スポーツ推進課	良	一般会計	10	6	6	
B12		中央公園野球場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B13		山中球場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B14		片山津野球場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B15		グラウンド(山代・動橋)管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B16		中央公園テニスコート管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B17		水泳プール管理	スポーツ推進課	良	一般会計	10	6	6	
B18		いきいきランドかが管理	環境課	良	一般会計	4	1	2	
B19		ゆけむり健康村管理	振興課	良	一般会計	7	2	3	
B20		橋立自然公園運動広場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
B21		黒崎多目的広場管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	
C01		C 貸館施設	セミナーハウスあいりす管理	生涯学習課	可	一般会計	10	5	3
C02	加賀市文化会館管理		文化振興課	良	一般会計	10	5	3	
C03	山中温泉文化会館管理		振興課	良	一般会計	10	5	3	
C04	山中座管理		振興課	優	一般会計	7	2	3	
C05	はづちを楽堂管理		観光交流課	良	一般会計	7	2	3	
C06	竹の浦館管理		農林水産課	良	一般会計	6	1	3	
C07	ろくろの里施設管理		振興課	優	一般会計	7	1	4	
C08	かが交流プラザさくら管理		行政まちづくり課	優	一般会計	2	1	12	
D01	D 入浴施設	山代温泉総湯管理	観光交流課	良	一般会計	7	2	3	
D02		片山津温泉総湯公園管理	観光交流課	優	一般会計	7	2	3	
D03		山中温泉共同浴場管理	振興課	優	一般会計	7	2	3	
E01	E 屋外施設	瀬越キャンプ場管理	農林水産課	良	一般会計	6	1	3	
F01	F 目的外使用	高齢者ふれあいセンターみやま管理	振興課	優	一般会計	3	1	5	
F02		高齢者ふれあいセンターゆざや管理	振興課	優	一般会計	3	1	5	
G01	G その他	観光情報センター管理	観光交流課	良	一般会計	7	2	3	
G02		橋立自然公園管理	都市計画課	良	一般会計	8	5	6	
G03		中央図書館管理	生涯学習課	良	一般会計	10	5	3	
G04		山中図書館管理	生涯学習課	良	一般会計	10	5	3	
G05		高齢者健康プラザ管理	介護福祉課	良	一般会計	3	1	5	
G07		かがにこにこパーク管理	子育て支援課	良	一般会計	3	2	1	
G08		かが健康グリーンパーク管理	スポーツ推進課	優	一般会計	10	6	6	

令和 2 年 度 決 算

内 部 評 価 報 告 書

【事務事業】



加 賀 市

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	①妊娠期から出産までの支援			

事業番号	1101	事務事業名	出産準備手当給付事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

安心して子どもを産み育てることができるように、出産準備手当を給付することで子育て世代への経済的負担を軽減する。また、申請時の面接等により、妊娠中からの相談支援を充実させ、加賀市を担う次世代の育成を推進する。年度内で妊娠16週を迎える者から産後14日までの妊産婦を対象に胎児1人につき1万円を給付する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

妊婦に対して、申請受付と同時に保健師等が妊婦健診の結果に基づく保健指導や産前産後の支援について情報提供を行った。また、支援が必要な妊婦は、「妊娠・出産・子育てライフプラン」を作成し、訪問等を通じた相談支援を行う利用者支援事業につなぎ、継続したかわりを行った。未申請者には電話等で申請を促した。給付申請者数333人であった。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	3,360
②									
③									
関連決算額合計									3,360

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	申請時の窓口において妊産婦が相談できる機会や各種情報提供を行うことで妊産婦の不安軽減につながっている。また、産後の支援がない場合は、妊娠期から各サービスの手続き支援を行い、育児の環境調整も含め具体的な支援が早期からできている。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

安心して産み育てることができるよう若い世代の出産・子育てに、引き続き出産準備手当の給付を実施する。申請時の妊産婦との面談を行い、支援が必要な妊産婦の不安の軽減や継続的な支援へとつなげていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	①妊娠期から出産までの支援			

事業番号	1102	事務事業名	母子健康手帳交付事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>母子保健法に基づき、妊娠届出をした妊婦に、妊娠中の経過や児の記録を綴る母子健康手帳を交付する。母子健康手帳の交付時に併せて、保健指導・健康相談の機会を設け、妊婦の不安や妊娠期から出産時のリスクを軽減し、安心して妊娠出産を迎えることができるように支援する。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>保健師・助産師が健康課窓口で、妊娠届出時に、母子健康手帳、子育て健診のしおり、妊産婦乳児一般健康診査受診票、母子保健テキストなどを交付し、保健指導や必要なサービスの紹介をした。必要時は管理栄養士も同席面接し、栄養指導を実施した。また、地区担当保健師等の名前を記載したカードを渡し、次の相談につながるよう努めた。母子健康手帳交付数：359件</p> <p>令和2年度は母子健康手帳交付時等で妊婦面接を370人（転入者含む）に実施し、うち支援の必要な妊婦119人(33.9%)に、「妊娠・出産・子育てライフプラン」を作成し、妊娠期からの継続支援につなげた。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	300
②									
③									
関連決算額合計									300

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>母子健康手帳交付の機会をとらえ、妊婦の健康状態や生活実態を把握し相談対応することで、妊娠中の過ごし方や産前から産後の育児環境を整えるための支援につながっている。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>母子健康手帳交付時に保健師・助産師、必要時は管理栄養士と面接を行うことで、早期から妊婦と関わりを持ち、母子ともに安心して妊娠、出産、産後を過ごせるように、継続支援等を実施していく。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	①妊娠期から出産までの支援			

事業番号	1103	事務事業名	妊産婦新生児等訪問指導事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

母子保健法、児童福祉法に基づき、妊娠、出産、育児へと切れ目ない支援として、保健師等が家庭を訪問し、健康面や子育てなどの相談に対応することで、母子の健全育成を促し安心して産み育てることができる環境を整備する。 また、育児不安を軽減し虐待を未然に防ぐ。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

①新生児訪問、産婦訪問(乳児家庭全戸訪問事業兼ねる):生後4か月を迎えるまでの新生児又は乳児とその産婦全数の訪問指導を行った。実績:360件実施(実施率100%)
 ②養育支援訪問:精神疾患がある妊婦、若年妊婦、産後うつ等の疑いのある産婦や育児困難等がある母子など養育支援が必要な家庭には、妊娠期から訪問にて支援を行った。実績:延べ928件
 ③産後家庭支援ヘルパー事業:体調不良などのため育児、家事を行えない産後1年以内の産婦及びその子に、専門のヘルパーが訪問し家事育児支援を行った。実績:延べ172件
 ④助産師連絡会を毎月実施し、関係機関と妊娠期から産後のよりよい支援を検討した。実績:11回開催。ケース検討延件数1,014件

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152 一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	1,972
②								
③								
関連決算額合計								1,972

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 新生児訪問、産婦訪問は100%の実施率を維持し全数把握に努め、支援が必要な妊産婦をタイムリーに訪問しサービスにつなぐことで産後うつ等の産婦への不安軽減にもつながっており、虐待予防としても有効である。
 産前産後に継続した養育支援が必要な妊産婦や、育児や家事などの支援が得られない産婦に対し、心身の負担軽減のためにも①～④は必要な事業である。
 妊娠、出産、育児と切れ目ない支援のために、助産師連絡会では、関係機関の連携により環境調整にもつながっている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

妊娠、出産、乳幼児期を通した切れ目ない支援として、妊娠期から支援が必要となる妊婦を把握し、安心して産み育てることができるように環境を整えたり、心身の安定を図るため、乳児家庭全戸訪問事業をはじめとした各訪問事業は今後も継続して実施する。また、産前のサポート強化として、R3年度より産前産後家庭支援ヘルパー事業として実施する他、多胎妊産婦には利用料金の免除を行い、支援を受けやすい体制にする。加賀市子育て応援ステーションをはじめとした他機関が関わるケースの場合は、切れ目ない支援のためケース会議、関係機関との連絡会での情報共有の機会を継続的に確保していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	①妊娠期から出産までの支援			

事業番号	1104	事務事業名	妊産婦健診事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	妊産婦の健康状態と胎児の発育状況を把握し、安心・安全に産前産後の期間を過ごせるように支援するため、産科及び歯科の健康診査を実施する。妊娠期・出産後の産褥期の母子に対し、定期的な健康管理を行い、必要な時期に適切な医療及び保健指導を受けられるようにする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	母子健康手帳交付時に、妊産婦健康診査受診票(妊婦歯科健康診査1回・妊婦健康診査14回・産婦健康診査1回)を交付し、指定医療機関と助産院に健康診査を委託している。また、県外医療機関での妊産婦健康診査や出産予定日以降出産までに必要な回数分の妊婦健康診査については、償還払いで対応した。 妊婦歯科健康診査実績: 実153件 妊婦健康診査実績: 1～14回目延4,098件、15回目以降延71件 産婦健康診査実績: 実324件

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152 一般会計	4	1	1	4	2	乳幼児健康診査費	41,072
②								
③								
関連決算額合計								41,072

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	妊娠中から出産後までの必要な時期に母子の健康管理と保健指導等を行うことで、切れ目ない支援を行うことができ、妊産婦は安心して過ごすことができている。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	妊娠・出産にかかる健康診査費用の負担を軽減することで、安心安全な産前産後の健康管理と、子育て世代への経済的な負担を軽減することができるため継続して実施する。R3年度より、健診回数が頻回となる多胎妊婦への健診費用の一部助成を行う。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	①妊娠期から出産までの支援			

事業番号	1105	事務事業名	妊娠期パパママ教室事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

妊婦及びその夫・パートナーを対象に、妊娠・出産期の健康管理への知識の習得と育児の体験学習により、妊娠期からの安心、安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない支援と地域の子育て支援につながることを目的に、妊娠期パパママ教室を開催する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

2回1コースの内容を年8回実施した。母体の健康管理及び胎児の成長を考えた保健師・栄養士による講話「からだと食事編」と、赤ちゃんを迎えるための準備としての助産師による講話や沐浴体験等を含めた「出産と育児編」の2種類を実施している。「出産と育児編」はNPO法人かもママに委託し地域の子育て拠点で実施し、育児アドバイザーが地域の子育て支援につなげた。

母子健康手帳交付時と出産準備金給付申請時に教室の案内を行い、妊娠安定期には個別通知を行った。参加者数：計44組(夫：40人、妊婦：44人) 妊婦の参加率は12.5%のうち、初産妊婦の参加率は95.5%、夫・パートナーの同伴は90.9%と前年度よりも増加している。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多数が集まる教室の開催が困難であったので、教室の内容の一部を動画で配信できるように取り組んだ。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152 一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	408
②								
③								
関連決算額合計								408

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

出産と育児編をNPO法人かもママに委託することにより妊婦が妊娠期から地域の子育て支援情報を得ることができ、育児期の孤立化の予防につながっている。また、父親の育児参加は、母親の精神的安定をもたらすことができ産後の支援となっている。今年度から、「出産と育児編」の教室内で、父親の不安解消のため、父親同士が情報を共有する場を設け、スタッフには父親向け育児アドバイザーを追加して実施した。今後も委託の継続が必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

母子健康手帳交付時等窓口相談時での周知や個別通知を行い、参加を促していく。
令和3年度から、「からだと食事編」の教室内で、1食の適量を学ぶ教材として「タニタメニューのお弁当」を取り入れ実施予定とする。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	①妊娠期から出産までの支援			

事業番号	1106	事務事業名	不妊不育治療費助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要				
	【目的】 妊娠を望む夫婦、及び妊娠はするものの、流産・死産を繰り返す不育症の夫婦の治療に要する費用を助成することにより、不妊(不育)治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図り、もって少子化対策の推進を図ることを目的とする。				
	【概要】 (一般)一般不妊治療費助成、(特定)特定不妊治療費助成、(不育治療)不育治療費助成				
	治療区分	対象治療	年齢制限	助成期間	助成回数
	一般	薬物療法 タイミング療法 人工授精など	なし	連続する 2年間	出産ごとに新たに2年間の 助成を受けることができる
	特定 (拡充前)	体外受精 顕微授精 男性不妊治療など	43歳未満	限度なし	40歳未満：出産につき6回 43歳未満：出産につき3回
※県の特定不妊治療費助成…治療内容により、1回につき、15万円(初回のみ30万円)もしくは7.5万円を助成(拡充前)					
特定 (拡充後) R3.1.1以降 に治療終了	体外受精 顕微授精 男性不妊治療など	43歳未満	限度なし	40歳未満：出産につき6回 43歳未満：出産につき3回	
※県の特定不妊治療費助成…治療内容により、1回につき、30万円もしくは10万円を助成(拡充後)					
治療区分	対象治療等	年齢制限	助成期間	助成金額	
不育治療	医療機関において行われる 不育症治療及びこれに付随する検査	なし	通算5年間	1年度あたり30万円を上限	

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など								
	一般不妊治療費助成 12件(実人数 12人) 助成額 496,836円(平均41,403円/件)								
	特定不妊治療費助成 33件(実人数 18人) 助成額 3,287,871円(平均99,632円/件)								
	不育治療費助成 0件								
令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	135	一般会計	3	2	1	3	7	子育て応援事業費	3,784
②									
③									
関連決算額合計									3,784

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関する コメント	不妊(不育)治療に係る医療費は、一部を除いて保険診療の対象外となっており、子どもを望む夫婦にとって大きな経済的負担となっている。治療費の負担軽減により、安心して治療を受けることができ、市の少子化対策にとっても有効な事業である。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	晩婚化が進むなかで、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担が大きくなっているため、今後も引き続き助成事業を行う。 経済的負担の大きい不妊治療について国では不妊治療の保険適用を検討し、保険適用までの間は、現行の助成措置を拡充することとしている。市においても、令和3年1月1日以降に終了した治療を対象に助成内容及び助成額を拡充することにより治療を必要とする夫婦が適切な治療を受けられる環境を整える。				

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input checked="" type="checkbox"/>	将来への備え	<input type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	①妊娠期から出産までの支援			

事業番号	1107	事務事業名	産後ケア費用助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>安心して産み育てることができ、子どもの心身の健やかな成長を促すことを目的に、心身のケアや育児のサポートができるような支援体制を確保する。</p> <p>市内に住所を有する出産後1年未満の産婦及び乳児であって、産後の心身の不調により育児不安がある産婦や、産後の体調が悪く休養や栄養管理が難しい産婦とその子に対して、助産師など専門職が乳児のケアと産婦の心身のケアや育児支援を実施する。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>産後の母子の心身のケアと育児サポートを行うため、宿泊型(加賀市医療センターにて7日以内)、通所型(委託開業助産院にて3回以内)、訪問型(委託開業助産師の訪問を5回以内)の支援体制を整備した(自己負担あり。多胎産婦、非課税世帯及び生活保護世帯は自己負担無料)。</p> <p>実施状況は、産後支援のない者に対して、宿泊型1名(延3日)、訪問型2名(延10回)であった。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	193
②									
③									
関連決算額合計									193

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>拡充</p>
評価に関するコメント	<p>事業開始より5年度が経過し、必要な対象者は確実にサービス利用に繋がっている。委託機関とも連携して育児不安を軽減し、安心して子育てができる支援体制を確保するためにも継続が必要である。</p>		

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>市のホームページや産科医療機関にチラシを設置し、妊娠届出時や転入妊婦の面接等で、広く事業の紹介を行う。医療機関や開業助産師からも必要な妊産婦に事業を紹介してもらい連携を図っていく。R2年度より利用料金を軽減し、支援が必要な対象者が更に利用しやすい体制をとる。</p> <p>妊婦に、妊娠期から産後の支援の必要性を確認し事業を提案することで、切れ目なく産後の環境調整が可能となるため、今後も利用促進を図る。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	①妊娠期から出産までの支援			

事業番号	1108	事務事業名	子どもの命を大切にする啓発事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>妊娠したときから始まる次世代の育成とお腹の赤ちゃんと妊産婦を大切にするまちづくりの実現に向け、社会全体がお腹の赤ちゃんと妊産婦を温かく迎える啓発活動を推進する。</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>啓発講演会及び小学校での助産師講話と親子ふれあい体験は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。小学校での助産師講話と親子ふれあい体験については、コロナ禍での実施方法について関係機関と検討し、R3年度にむけて、動画やオンラインの利用を含めた密閉・密集・密接を避けた講座の企画案をまとめた。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	203
②									
③									
関連決算額合計									203

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>妊産婦とお腹の赤ちゃんを市民が温かく迎えることができるまちづくりに向けて、健康フェスタでの啓発イベント、小学生への助産師講話やふれあい体験、啓発講演会を通して、「命を大切にする」と考える機会となっており、条例制定時より継続して取り組んでいる。密閉・密集・密接を避け、展示や動画、オンラインの利用を含めた方法で、新型コロナウイルス感染拡大防止策をとりながら、啓発活動を継続して実施していく。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>市民向けの啓発イベントとして「健康フェスタ」での展示ブースの設置等による啓発の他、子育て支援の講演での来場者と対象が重複する啓発講演会については子育て支援課(子育て応援ステーション)と健康課で隔年で交互に担当し実施を継続する。</p> <p>また、小学校での講座は、コロナ禍での実施方法(動画やオンライン)を検討し、生涯学習課と共同で開催を継続し、全小学校に受講の機会が持てるように実施する。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根差した教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1201	事務事業名	保育園保育事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	保育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>市内に住む就学前の保育を必要とする児童及び必要に応じて市外の児童を公立保育園14カ所、法人立保育園・認定こども園14カ所で受け入れ、保育を実施する。通常保育のほか、延長保育、休日保育、健やかふれあい(障がい児)保育等の特別保育を行う。</p> <p>保育ニーズの多様化が進む中、家庭での保育が困難な保護者に代わり保育を行うことで、保護者の仕事と子育ての両立を支援する。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<p>1 通常保育の実施状況(令和2年4月1日現在)</p> <p>公立保育園(14園)及び法人立保育園・認定こども園(14園)で実施</p> <p>(1) 公立保育園在籍児童数 585人</p> <p>(2) 法人立保育園・認定こども園在籍児童数 1,388人 (1)(2)合計 1,973人</p> <p>2 主な特別保育の実施状況</p> <p>(1) 延長保育 通常の保育時間を超えた保育を実施する。実施箇所数:公立・法人立保育園全園</p> <p>(2) 休日保育 日曜・祝日に保護者の就労等のため児童を保育する法人立保育園に補助する。実施箇所数:5園</p> <p>(3) 病児病後児保育 病時・病気回復期にある通園児童を対象に、加賀市医療センターにある専用施設で保育を実施する。</p> <p>(4) 健やかふれあい保育 軽度・中度障害児を保育する法人立保育園に補助する。</p> <p>3 保育業務ICT化システム導入(公立保育園 14園、法人立保育園 2園)</p> <p>保育業務支援システムを導入したことで、保育士が子どもたち向き合うための「時間」と「ゆとり」を確保。子どもと向き合う時間が増えたことで、保育の質の向上につながった。また保護者の利便性も向上した。</p> <p>4 公立保育園再編基本計画に基づき、金明・湖北・潮津の3園を統合した「スワトン保育園」を新築整備し、0・1歳児保育の充実、医療的ケア児の受け入れ体制を整備するなど、保育サービスの充実を図った。</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	140	一般会計	3	2	3	1	1	職員給与費	478,330
②	140	一般会計	3	2	3	1	2	云計年度任用職員給与費	195,201
③	140	一般会計	3	2	3	2	1	嘱託医報酬費	2,331
④	140	一般会計	3	2	3	2	2	保育教材費	516
⑤	140	一般会計	3	2	3	2	3	その他運営費	101,267
⑥	140	一般会計	3	2	3	4	1	保育実施費(14園)	54,659
⑦	140	一般会計	3	2	3	5	1	保育推進事業費	3,981
⑧	140	一般会計	3	2	3	5	2	市立保育園特別保育費	554
⑨	140	一般会計	3	2	3	6	1	保育実施費(13園)	1,588,516
⑩	140	一般会計	3	2	3	7	1	特別保育助成費	47,515
⑪	140	一般会計	3	2	3	7	2	経営安定助成費(13園)	52,222
関連決算額合計									2,525,092

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	保育を必要とする子育て世帯が増えている中、経済的負担を軽減することにより、仕事と子育ての両立を支援できることから、今後も継続が必要である。				

今後の方向性	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p> <p>保育園等に同時に入園している第2子を対象とした保育料の無料化や、令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者負担となった副食費についても無償化を行い経済的負担の軽減を進めている。</p> <p>保育業務のICT化を推進し、保育の質の向上、保護者の利便性の向上を図る。</p> <p>公立保育園再編を進め、0・1歳児保育の充実、医療的ケア児が安心して保育園生活を送ることができる体制を整備する等、多様化する保育ニーズに適した保育サービスの提供と質の向上に努め、子育て環境の一層の充実を図る。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1202	事務事業名	子育て応援ステーション運営事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	子育て応援ステーション

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

一人ひとりの子どもが、すこやかに成長することができる地域社会の実現のため、妊娠している方や、子ども及びその保護者等が、その選択に基づき、教育、保育、保健、その他の子育て支援を円滑に利用できるよう、必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携、協働の体制づくりを行うことを目的とする。

妊娠期から子育て期(おおむね0歳～18歳)の子育て家庭を対象に、専門スタッフ(保健師、保育士、社会福祉士、家庭相談員等)が相談・支援を行う「ワンストップ相談窓口」として、母子保健と一体的に切れ目のない相談や支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

- ・家庭児童相談システムを導入し、個別相談記録等をシステムで管理し、要支援家庭の継続的支援や虐待通告など緊急時タイムリーに対応できる体制を整えた。
- ・新規相談実人数 297人(内児童相談186人) 相談延べ件数 10,427件 虐待通告対応件数 24件
- ・子育て見守りネットワークの冊子(世帯数約1,900世帯、児童数約2,350人)、子育て情報紙の発行や市の子育てサービスを掲載したフライヤー(約4,200部配布)を作成し、子育て家庭及び地域への関係機関等に配布し、情報発信・周知を実施した。
- ・コロナ禍で見守り訪問を実施した。実施回数 19回 実人数 362人 実家庭数 253件
- ・かが交流プラザさくら前に「子育て応援ステーション」の案内看板を設置した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	140	一般会計	3	2	3	5	1	運営費	16,328
②									
③									
関連決算額合計									16,328

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	妊娠期から、子育て情報の提供及び継続した相談支援を行うことで、タイムリーに福祉サービスや専門相談機関につなげ、親の育児不安・負担の軽減を図り、安心して産み育てることができるよう、また、子どもの安心・安全を保障するために、事業の有効性は高く継続は必要である。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

児童虐待が大きな社会問題となっている中、妊娠期から関係機関と連携し、支援が必要な家庭の早期発見に努め、必要なサービスの調整と提供、子どもへの具体的な対応を行うことで虐待防止に努める。

SNS、メール等での相談しやすい体制を整える。

家庭児童相談システムにより、情報を一元化し、虐待通告など緊急時タイムリーに的確に対応できる体制とする。

深刻なケースや実効ある役割を果たすためには、児童の問題に通じた専門性が求められるため、県や国の研修等受講し、職員の専門性を高める。

令和3年度から新設の相談支援課(地域包括支援センターを含む)と連携するとともに、引き続き他関係機関とも連携し、子育て情報や相談窓口の周知を強化する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1203	事務事業名	多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要
 本事業は、多子世帯における経済的負担の軽減を図り、より子育てしやすい環境を整備することを目的とし、18歳未満の児童を2人以上養育する保護者に対し、その児童のうち年長者から数えて2番目以降の児童が放課後児童クラブを利用する場合に必要な利用料を助成するもの。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況
 対象者の放課後児童クラブ利用に係る利用料を助成した。
 対象児童数 349人（うち県補助対象 78人）
 第2子児童 43人
 第3子児童以降 98人
 コロナウィルスによる経済対策の拡充分児童数 219人
 令和2年12月分より、コロナウィルスに係る経済対策として、小学校1年生から3年生の第2子の所得制限を撤廃した。
 ※第2子(1年生から3年生)…所得制限なし(令和2年12月分以降)
 第2子(4年生から6年生)…所得制限あり(当該年度の市民税所得割額が57,700円未満、ひとり親家庭は77,101円未満)
 第3子以降…所得制限なし

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	135 一般会計	3	2	1	3	5	学童保育助成費	18,602
②								
③								
関連決算額合計								18,602

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	平成27年度から子育て世代の経済的負担の軽減を柱とした子育て支援施策として、子育て安心パッケージ(H27年度～H29年度)、かがっこ応援プロジェクト(H30年度～R2年度)の取組で支援をしてきた。その子どもたちが就学後も切れ目のない支援として、本事業により保護者の経済的負担の軽減や就労支援につながっている。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性
 前年度に引き続き、多子世帯における経済的支援の観点から多子世帯の本事業を実施していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1205	事務事業名	多子世帯等学校給食費助成事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

多子世帯等における保護者を対象として、給食費を全額助成することで保護者の経済的な負担を軽減する。もって、少子化対策の一環とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和元年度の支給対象者に加え、12月より新型コロナウイルス感染症対策事業の一環として18歳以下の第2子以降すべての児童生徒に範囲拡大を行った。これに伴い、多子世帯等の保護者の経済的負担を軽減することができた。
令和2年度の支給対象となった児童生徒数は、1,935人(内、12月より拡充997人)であった。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	266 一般会計	10	6	2	7	1	多子世帯等児童生徒給食費助成	67,481
②								
③								
関連決算額合計								67,481

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

平成30年度より対象者を第3子以降の児童生徒に加え、長子が中学生の第2子の児童生徒も対象とし、対象者拡大を図った。
また、令和2年度12月より、新型コロナウイルス感染症対策事業の一環として、第2子にかかっていた条件をはずし、すべての第2子以降の児童生徒に範囲を拡充した。
このことにより、多子世帯等複数の児童生徒の給食費を負担している保護者の経済的負担がさらに軽減され、子育て支援の推進が図られており、今後も継続が必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

多子世帯等における保護者の経済的負担が軽減され、子育て支援の推進が図られることが見込まれるため、今後も継続していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1206	事務事業名	中央公園遊具整備事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	道路整備グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	「かがっこ応援プロジェクト」の取り組みとして、加賀市中央公園「ちびっこ広場」「冒険の丘」「おとぎの国」における老朽遊具をリニューアルすることで幼児、学童を伴う子育て世代が集う公園利用者の利用促進を図る。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	H28年度:冒険の丘(木製複合遊具等)更新工事 H29年度:ちびっこ広場(大型複合遊具等)更新工事 H30年度:おとぎの国(噴水施設整備)更新工事 R 1年度:おとぎの国(池・造形物等)解体工事、一部改修工事 R 2年度:おとぎの国(池・造形物等)改修工事

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	217	一般会計	8	2	3	2	7	特定防衛施設周辺整備調整交付金事業費	55,000
②									
③									
関連決算額合計									55,000

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	園内施設の再整備により、憩いの場、健康づくり活動の場の充実が図られ、市民の心身の健康の保持及び増進が見込める事業であり、必要性が高く継続する。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	R3年度 トイレ改修設計 R4年度～トイレ改修工事(園内のトイレ順次改修) 事業財源として特定防衛施設周辺整備調整交付金を充てており他事業と調整が必要となる。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1207	事務事業名	こども医療費助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

乳幼児及び児童生徒の疾病の早期診断・早期治療を促進し、健康保持と増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、安心して子育てできる環境を整備する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

平成27年10月診療分以降は、助成対象を18歳に達する日以降の最初の年度末までに拡大するとともに、月額自己負担額を撤廃して、医療機関等の窓口での支払いが不要となる現物給付方式で助成を行っている。令和元年10月診療分からは、償還払い方式となっていた柔道整復師等の療養費についても、「現物給付方式」を導入し、受給者の負担の軽減を図った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	135	一般会計	3	2	1	4	2	こども医療費助成	175,141
②	135	一般会計	3	2	1	2	1	一般経費	368
③									
関連決算額合計									175,509

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	本事業は、子どもを持つ家庭の経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、少子化対策としての重要な事業である。平成27年10月診療分から、より利便性が高い「現物給付方式」を導入したことにより、子どもの疾病の早期診断、早期治療にとってさらに有効な制度となっており、今後も継続して実施する必要がある。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

本事業は、平成27年10月診療分から、より利便性が高い「現物給付方式」を導入したことにより、子どもの疾病の早期診断、早期治療にとってさらに有効な制度となっている。
 また、令和元年10月診療分からは、償還払い方式となっていた柔道整復師等の療養費についても、「現物給付方式」を導入し、さらなる受給者の負担の軽減を図ってきたため、事業を継続して実施していく。
 ただし、コンビニ受診による医療機関の混雑や医療費の増大の懸念もあるため、引き続き、適正受診の啓発を効果的に実施する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1208	事務事業名	こども育成相談センター運営事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	こども育成相談センター

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>子どもの心身の健全な発達を総合的に支援するために、発達に支援が必要な乳幼児(おおむね1歳から18歳まで)に、専門的な相談、助言及び訓練等を実施する。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に遅れや障害のある幼児(概ね1歳～5歳児)を対象に、親子通所指導(個別指導、小集団指導、音楽療法教室)で”早期の発達支援”を行う。また、就学後もこれまでの支援を切れ目なく継続するために、訪問指導等により学校(小学校・特別支援学校)への”つなぎ支援”を行った。 ・保護者支援として、電話・言語・外来相談により、育児不安の相談を受けたり、ケース会、学習会、学校見学会等を行った。 ・新規に、発達障害(疑い)のある児童生徒を専門医への受診につなぎ及び受診後の支援・相談等の体制づくりを教育委員会、学校と調整を図り取り組んだ。 ・発達障害児のための地域連絡手帳「ライブブック」説明会を関係機関対象に実施した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	145	一般会計	3	2	4	4	1	臨時職員給与費	18,512
②	145	一般会計	3	2	4	4	1	運営費	510
③	145	一般会計	3	2	4	4	2	光熱水費	1,540
④	145	一般会計	3	2	4	4	3	管理委託費	517
⑤	145	一般会計	3	2	4	4	4	その他の管理費	673
⑥	145	一般会計	3	2	4	4	5	維持補修費	595
関連決算額合計									22,347

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、学校・健康課・かがっこネット等の関係機関との連携を密にすることで、療育を必要とする子どもの早期把握と支援につながっている。 ・障がい保育の質の向上を図るために、発達の遅れや障がいのある子どもを支援する保育士の研修及び巡回指導を継続的に実施している。 ・保育士以外に専門職(保健師、教員OB、臨床心理士)が配置され、幼児期(0～5歳児)から小学生等の相談や、親子が安心して就学できるような学校へのつなぎを担い等、総合的な支援を実施している。 				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月に「こども育成相談センター」が開設され6年目である。 ・発達支援の対象年齢が、乳幼児(概ね1歳から小学校に就学する前まで)から、18歳未満までに拡大されたことで、福祉・保健・教育、医療の関係機関との連携の強化拡大を図り、総括的な支援を成長段階(小・中学校等)に応じて、18歳未満までの切れ目ない支援体制構築の推進に取り組んでいく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1209	事務事業名	放課後児童クラブ運営委託事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

共働き等により、日中、家に保護者等がない児童等に対して、放課後や長期休暇中において、家庭に代わる生活の場を確保し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援するため、放課後児童クラブの運営を保護者会や社会福祉法人等に運営を委託する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

放課後児童クラブは、学校の余裕教室等を利用して市内22箇所で開設しており、運営は保護者会や社会福祉法人等に委託して実施している。
 「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、平成27年度からは対象児童を小学校6年生までに拡大し、令和2年度は809人の登録があった。
 令和3年3月に条例改正を行い、令和3年4月から利用者が少なくなる時間帯においては、安全確保策を講じた上で、支援員の数を1人とすることができるという基準の緩和を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	135	一般会計	3	2	1	3	5	学童保育助成費	186,185
②									
③									
関連決算額合計									186,185

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	放課後児童クラブは、児童福祉法で、着実に実施されるよう必要な措置の実施に努めなければならないとされており、地域のニーズに応じた保育サービスを提供している。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

放課後児童クラブは、児童数が減少しているにもかかわらず、クラブの利用率が増加傾向にあり、支援する人の人材不足が懸念される。R2年度に条例改正を行い、今年度から利用者が少なくなる時間帯においては、安全確保策を講じた上で、支援員の数を1人とすることができるという基準の緩和を行った。
 今後は児童1人あたりの占有区画面積を改善していくなど、各クラブが適正な運営ができるよう必要な措置を講ずる。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1210	事務事業名	ひとり親家庭放課後児童クラブ利用助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

ひとり親家庭の生計を担う父又は母が、安心して就労に専念し、子育てと仕事を両立できるように、放課後児童クラブ利用にかかる経済的負担を軽減し、児童の健全な育成を図るとともに、ひとり親家庭の就業の促進及び福祉の増進に資することを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

ひとり親家庭が負担する放課後児童クラブ利用料に対する助成(県1/2)
 限度額 小学1～6年生の児童1人当たり3,000円/月
 支給制限等 児童扶養手当と同様の所得制限あり

令和2年度利用実績 67人

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	135	一般会計	3	2	1	3	5	学童保育助成費	1,794
②									
③									
関連決算額合計									1,794

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 ひとり親家庭の親が、制度を活用しながら就労し、仕事に専念できることで、子育てと仕事の両立による経済的自立につながる支援となっている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

ひとり親家庭の就労による経済的自立の促進を図るために、今後も放課後児童クラブ利用料の軽減により、ひとり親家庭の児童が放課後児童クラブを利用しやすくすることで、就労に専念できる環境の整備を行う。また、制度の周知の方法についても工夫する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1211	事務事業名	放課後子ども教室開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

放課後子ども総合プランに基づき、文部科学省実施の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省実施の「放課後児童健全育成事業」を一体的あるいは連携して取り組み、放課後対策を推進することにより、地域社会の中で子どもたちが放課後等に安全・安心で健やかに過ごすことができる居場所を確保することを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

市内の10団体が地域の大人の参画を得て、地域の特性を生かし様々な体験を通じて子どもたちの社会性・自主性・創造性などの豊かな心を育み、地域でのコミュニティの充実を図っている。
※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10団体の内2団体が活動を休止した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	271	一般会計	10	5	2	3	2	豊かな心育成費	2,931
②									
③									
関連決算額合計									2,931

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、市内8か所で教室を実施し、放課後や土曜日等の子どもの安全安心の居場所づくりとして、様々な体験活動やふるさと学習、交流活動の取り組みを推進し、地域住民の参加・協力のもと、円滑に事業を進めることができた。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

国・県からの補助金が毎年減額となるなか、教室数を維持することはもちろん、事業内容の拡充を実施したい教室の財源確保が課題となっている。今後は、新たな教室を増やすとともに、限られた財源のなかで子どもたちの居場所づくりを継続するための方策を検討する。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1212	事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	ひとり親家庭の医療費にかかる経済的負担を軽減し、ひとり親家庭の福祉の向上を図る。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																																	
	助成対象は、18歳に達する日以降の最初の年度末までの児童又は20歳の誕生日の前日までで一定の障がい状態にある児童を養育しているひとり親及びその児童となっている。 親は、「償還払方式」で助成申請の手続きにより1ヶ月1,000円を超えた分について助成を行う。また、児童については、自己負担のない「現物給付方式」で助成を行っている。																																																	
	令和2年度決算																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>147</td> <td>一般会計</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>ひとり親家庭医療費助成費</td> <td>28,068</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>135</td> <td>一般会計</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>一般経費</td> <td>531</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">関連決算額合計</td> <td>28,599</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	147	一般会計	3	2	5	2	1	ひとり親家庭医療費助成費	28,068	②	135	一般会計	3	2	1	2	1	一般経費	531	③										関連決算額合計								
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	147	一般会計	3	2	5	2	1	ひとり親家庭医療費助成費	28,068																																									
②	135	一般会計	3	2	1	2	1	一般経費	531																																									
③																																																		
関連決算額合計									28,599																																									

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	医療費はひとり親家庭にとって重い経済的負担である。本事業は経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、安心して子育てしながら生活することができる環境づくりが必要なことから、継続して実施する。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	医療費はひとり親家庭にとって重い経済的負担である。ひとり親家庭医療費助成の実施は、経済的負担の軽減策として子育て支援に直結しており、安心して子育てしながら生活することができる環境づくりが必要なことから、継続して実施する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1213	事務事業名	義務教育の円滑な実施のための学費支援事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	就学困難な児童または生徒の保護者の経済的な負担を軽減するために、学校での学費の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る。援助にあたっては、保護者からの申請書を審査し、支援が必要と認められたものに対して、学用品・給食費等を援助する。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	昨年度からの援助を継続し、一定所得額以下の世帯の保護者の経済的負担を軽減することができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯については、昨年度の所得ではなく、直近の所得によって審査を行い、援助を行った。 令和2年度の支給対象となった児童生徒数は、584人であった。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	262	一般会計	10	2	2	2	1	準要保護児童援助費	8,125
②	264	一般会計	10	3	2	2	1	準要保護生徒援助費	10,376
③	265	一般会計	10	6	1	2	1	準要保護児童生徒医療援助費	0
④	266	一般会計	10	6	2	6	1	準要保護児童生徒給食援助費	29,427
関連決算額合計									47,928

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	就学困難な児童または生徒の保護者の経済的な負担を軽減するために、これまで、修学旅行費を実費額にするなど拡大を図ってきた。加えて、一人一台PC端末が整備されたことに伴い必要となった家庭における通信環境が整備できない児童生徒を対象に、Wi-Fi機器の貸出も行った。今後も支援を継続し、子育て支援の推進を図っていく。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	就学困難な児童または生徒の保護者の経済的負担が軽減され、子育て支援の推進が図られている。今後も継続して支援を図り、また、他課(子育て支援課等)とも連携し、児童扶養手当の申請時などにおいて、制度の説明を行うなど、更なる周知に努めていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input checked="" type="checkbox"/>	将来への備え	<input type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根差した教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1214	事務事業名	子ども会活動への支援事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>子どもたちの健やかな育成を推進し、豊かな心を育み健康でたくましい子を育てるため、子ども会活動を支援することで、青少年の健全育成を図る。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>例年子ども会の子どもたちが自主的に活動を計画し、加賀市子ども会育成連絡協議会が運営する「子どもまつり」や小学校区を超えた地区の子ども同士の親睦と交流のための「レクリエーション大会」を行ってきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、事業を中止したが、子ども会の理事会に出席し、市からの情報提供を行った。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	271	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
------	-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>市内の子どもの交流、仲間づくりが目的であり、イベントの開催内容や企画運営を通して子どもの協調性・自主性が養われるとともに、異年齢の子ども達との遊び、交流を通して、思いやりの心や規律性、協調性を学ぶことができる。子どもの数が減少していくなか、子ども達の健やかな成長のために、多くの子どもたちが関わり、交流する子ども会活動の支援については、今後も継続する必要がある。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>今後少子化が進み、人や資金の確保など運営面で順調に立ち行かなくなることも予想されるが、今後継続して、補助金の支援を行っていく。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1215	事務事業名	地域子育て支援拠点事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等の緩和や子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>令和2年度において、次の4カ所で実施し、合計で延べ6,328人の利用実績があった。</p> <p>1 加賀市子育て支援センター「すこやか」(市立金明保育園内) 利用者数:1,236人 2 親子つどいの広場まんま(運営:NPO法人かもママ) 利用者数:2,697人 3 すまいる(運営:NPO法人阿羅漢) 利用者数:1,201人 4 なかよしひろば(運営:社会福祉法人伊奈美園) 利用者数:1,194人</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	135	一般会計	3	2	1	3	6	子育て支援事業費	31,954
②	140	一般会計	3	2	3	1	1	職員給与費	8,955
③	140	一般会計	3	2	3	5	3	子育て支援センター費	310
関連決算額合計									41,219

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>子育て家族を取り巻く社会環境が大きく変化する中、地域における親子同士の交流、情報交換や相談の場として活用されている。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>事業を継続して実施するとともに、子育て応援ステーション利用者への案内や市広報媒体・区長宛文書等を活用した周知強化に努め、引き続き利用拡大を図る。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1216	事務事業名	保育料の軽減事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	保育グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

保育のニーズが増大する中、保育料の軽減により子育て世帯の負担軽減を図り、家庭での保育が困難な保護者に代わり保育を行うことで、保護者の仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てができる環境を提供する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

国の制度改正により令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が始まり、3歳以上児及び2歳児以下の非課税世帯の保育料が無料となった。この制度に加えて本市では、第3子無料化、保育園等同時入所の第2子無料化、小学生以上の兄弟がいる第2子の軽減を継続して行った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	-	-	-	-	-	-	-	-
②								
③								
関連決算額合計								0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	保育のニーズが増大する中、保育料の軽減により子育て世帯の負担軽減を図り、家庭での保育が困難な保護者に代わり保育を行うことで、保護者の仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てができる環境を提供する。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

多様化する保育ニーズに応えながら、継続して保育料の軽減を行い、仕事と子育ての両立を支援し、安心して子育てできる環境を提供する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input checked="" type="checkbox"/>	将来への備え	<input type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1217	事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>育児の援助を行う者と育児の援助を受ける者との組織化を図り、会員相互の援助活動を支援し、地域において会員同士が育児に関する相互援助活動を行うことにより、地域の子育て支援を行い、市民の福祉増進及び児童の福祉の向上を図る。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

令和2年度末時点で、子育ての援助を受けたい方(依頼会員)は610名、子育ての援助を行いたい方(提供会員)は95名、両方会員(依頼会員および提供会員の両方に登録)は14名の会員登録となっている。活動実績は、外出の際などの子どもの預かりが132件、保育施設などまでの子どもの送迎が253件となっている。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	135	一般会計	3	2	1	3	6	子育て支援事業	4,941
②									
③									
関連決算額合計									4,941

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	ファミリーサポートセンターは、子育て家族を取り巻く社会環境が大きく変化する中、子どもの援助を受けたい方と援助を行える方との相互援助を行う機関となっており、両者の連携をスムーズに行うことで、児童の福祉の向上につながっている。また、登録会員者・利用件数から一定の需要があることが分かるため、今後も継続して実施する必要がある。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

事業を継続して実施するとともに、令和3年度から多胎児家庭の身体的、精神的、経済的サポートのため負担軽減策を行うほか、子育て応援ステーション利用者への案内や市広報媒体・区長宛文書等を活用した周知強化に努め、さらなる利用拡大を図る。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1219	事務事業名	乳幼児健診事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

母子保健法に基づき、乳幼児期の子どもが健やかに生まれ育つことを目的とし、発達段階に応じた健やかな発育・発達しているかを確認し、子どもに合った健康管理や保健指導を行う。また子どもだけでなく、家族を含めた子育てに必要な支援も行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

乳児健診(1か月、9～12か月)については、医療機関に委託し2回実施している。4か月半、1歳6か月、3歳2か月健診は市が集団健診で実施しており、すべての健診において97%前後の受診率である。未受診者は個別訪問等で全数の状況を把握した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2.6月中旬まで健診を延期した。4か月半健診においては、延期対応中の対象者については、医療機関で個別健診を受けられるよう体制を整え実施した。健診再開後は3密を避け実施した。

3歳2か月健診で、スポットビジョンスクリーナー(SVS検査)による目の屈折検査を開始し、自宅での視力検査から異常がなかった者からも治療の必要な者が発見につながった。また、保護者の健康管理意識の向上と健診データの可視化を目的に、妊娠期から学童期までの健診データの電子化とスマートフォンアプリでの閲覧ができる体制を整備し、同意の得られた方(969人)には健診結果を閲覧できるQRコードを健診会場で配布した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152	一般会計	4	1	1	4	2	乳幼児健康診査費	8,088
②									
③									
関連決算額合計									8,088

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

健診を実施することで、乳幼児期の発育・発達の異常の早期発見につなげ、早期支援できている。親が子どもの発育・発達を理解し、見通しを持って育児ができる支援にもつながっている。また、3歳2か月健診でスポットビジョンスクリーナー(SVS検査)による屈折検査を導入したことで、目の検査の精度向上につながっている。

健診結果を経年的に管理できるアプリを導入したことにより、将来の健康管理に役立つことが期待できる。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

令和2年度の3歳2か月健診において、健診の延期に伴い本来の対象月齢(3歳2～3か月)を超えて3歳5～6か月頃に健診を実施となった。3歳5～6か月頃の健診の方が、発達の遅れも明らかとなり、その後の支援につながりやすいため、令和3年度より、事業名を『3歳児健康診査』とし、対象者を3歳5～6か月頃とし健診を実施する。

健診により、月齢に応じた発育・発達のスクリーニングと適切な情報提供と相談支援の機会となっている。また、健診後の支援が必要な児の早期対応や支援のためにも今後も節目ごとの乳幼児健診は継続していく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1220	事務事業名	乳幼児相談・教育事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>乳幼児・親に対して、健全な発育発達への支援による育児不安の軽減を図るため、発育・発達、育児、栄養等についての相談・教室等を実施する。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>①7か月児離乳食教室、10か月児子育て教室、親と子の遊びの教室等 各教室は、月1回実施し、対象者には個別通知や広報などで周知している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時教室を中止した。対象者へはパンフレットの配布や電話や個別の来所相談などの対応を行った。再開にあたり、教室受付時間を分散し、試食は中止し、離乳食の作り方の動画を作成し会場で上映している。10か月児の離乳食についてはホームページで動画で見れるようにした。むし歯予防教室は、少人数の小規模の開催となった。</p> <p>②乳幼児相談、随時相談 乳幼児相談は月1回実施し、各健診や教室で経過観察が必要な方などの対象者には個別通知で案内している。随時相談は、電話・来所・訪問で実施している。コロナ禍のため、電話での相談が増えた。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152	一般会計	4	1	1	4	1	母子保健推進費	310
②									
③									
関連決算額合計									310

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>乳幼児期は、児の成長や発達による個人差もみられる時期であり、発育・発達、育児、離乳食に関する情報提供、保健師や栄養士等に個別で相談できる体制を新型コロナウイルス感染拡大時期においても、保護者の育児不安の軽減につながっている。 乳幼児期の発育発達を理解し、見通しを持って育児ができるように、月齢問わず、計測や相談できる体制整備にも努めており、母児の健全な発育・発達支援のために有効である。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>乳幼児健診の経過確認や親の不安解消の機会として、また、乳幼児健診後に支援が必要な児は、医療・療育への紹介の有無や家庭訪問による状況把握の必要性等支援内容の確認の機会として有効であり、今後も継続して実施する。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1221	事務事業名	親子スマイリーネット事業		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	子育て支援課

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

こころ育ちの基礎である乳幼児期の親子を対象に、絵本の読み聞かせを通して、こころの育ちと愛着形成の重要性を伝え、安定した親子関係の基礎作りを支援する。同時リーフレットや子育てに関する情報等の資料を配布し、利用者が気軽に、円滑に利用・相談できる関係性の構築を図る。
 子育て家庭の保護者等が、子ども人権を持った一人の人間であることの認識を深め、子育てへの不安や悩みが軽減されるよう、安心・安全・安定した親子関係を育むための学びを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

・4か月半児健診の機会に乳児期の親子を対象に、保育士や図書司書が絵本の読み聞かせを行い、親子の対話の楽しさと大切さを伝え、安定した親子関係の基礎が築けるようにする。家庭でも読み聞かせを通して、親子のふれあいの時間がもてるよう、希望の一冊を進呈する。また、情報誌を配布し、子育て情報を紹介している。健診不参者には訪問で対応し、コロナ禍での実施は感染予防対策と時間設定や人数制限などの工夫で全対象親子に対応した。
 ・コロナウィルス感染症拡大の中、年3回予定していた未就園児とその保護者を対象とした「おでかけ啓発活動」と、県が推奨する「子育て講座」は中止とした。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	145 一般会計	3	2	4	5	2	親子スマイリーネット事業	653
②								
③								
関連決算額合計								653

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

・4か月半健診時、読み聞かせを行うと、赤ちゃんの笑顔により、保護者も笑顔となり、親子のふれあいを楽しみながら絵本に親しむ機会になっている。
 ・乳幼児期の愛着形成は、子どものこころの発達的基础となり、非認知力(やる気や我慢する力等)の育ちにつながり、子どもの心身の健全な発達支援に効果があり、また、全数把握の機会にもなり継続は必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

・4か月半児健診対象児全員に愛着形成の重要性を伝え、子育て情報の発信を行い、乳児の全家庭に行き届く体制を続ける。
 ・お出かけ啓発活動、子育て講座、啓発リーフレットなど様々な方法で、今後も愛着形成の大切さと共に子どもにとっての安心・安全な子育てを伝えていく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1222	事務事業名	奨学金制度の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

目的・概要	<p>事務事業を実施する目的と概要</p> <p>経済的な問題を抱えながら進学を希望する学生・生徒のうち、審査基準を満たす者に対して奨学金の給付や貸付による支援を行い、将来、地域に貢献できる優秀な人材を養成する。</p> <p>向学心に富み学術優秀ながらも経済的理由で就学困難な者に対し、奨学金を給付(下記①②)または貸与(下記③④)し、本市にとって有為な人材を養成し、さらに教育の振興に寄与する。</p> <p>①加賀市三森良二郎奨学金 …大学等就学困難者 ②加賀市奨学金 …高校(加賀市内にある学校)就学困難者 ③加賀市育英資金貸与 …高校及び大学就学困難者 ④加賀市緊急学生支援貸付金 …大学等就学困難者</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>従来の奨学金には、合計で34人から申請があり、そのうち選考基準を通過した23人に新規の給付・貸与を行った。また、令和2年度より新型コロナウイルス感染症の影響で世帯の収入が減少した世帯を対象に、緊急学生支援貸付金の貸付事業を開始し、合計で120人に貸与を行った。能力や意欲がありながら経済的事情により就学を躊躇する者が、就学機会を得る一助となった。</p> <p>①加賀市三森良二郎奨学金 …卒業後の居住要件のないもの 5名(応募者15名) …卒業後の居住要件のあるもの 3名(応募者4名) ②加賀市奨学金 …市内高等学校に進学する就学困難者 8名(応募者8名) ③加賀市育英資金貸与 …高校及び大学就学困難者 7名(応募者7名) ④加賀市緊急学生支援貸付金 …市内に居住しているもの 24名(応募者24名) …市外に居住しているもの 96名(応募者96名)</p>

実施状況	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	259	一般会計	10	1	2	3	2	三森良二郎奨学金	8,640
	②	259	一般会計	10	1	2	3	3	奨学資金費	37,477
	③									
関連決算額合計									46,117	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	奨学金の給付・貸与の申請者が毎年多数いることから、経済的事情で就学を躊躇する学生・生徒は毎年一定数いると考えられる。世帯の経済状況や学力に一定の制限を設けているが、経済的事情で就学を諦める者の減少に資する制度であると考えられる。				

今後の方向性	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p> <p>給付の申請者に対し、貸与の申請者は少ない傾向が見られる。 給付者において、一定の条件を満たす生徒について募集枠を確保し、(三森良二郎奨学金については、奨学生の半数を大学卒業後5年間以上加賀市内に居住するもの。加賀市奨学金については、全てを加賀市内の高等学校に進学するもの。)より一層の支援を行っていくとともに、地域活性化と絡めた奨学金の魅力作りを進めていく。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input checked="" type="checkbox"/>	将来への備え	<input type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	②子育て支援・サービスの充実			

事業番号	1223	事務事業名	第3子以降誕生祝金給付事業(未来33)		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	児童家庭グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	【目的】 多子世帯のサポートと将来の人口増加を目的に、第3子からの出産にお祝い金30万円を支給するもの。
	【概要】 (助成対象者) 対象児童の誕生日から起算して1年以上前から継続して加賀市に住所を有する保護者(加賀市に住所を有する期間が対象児童の誕生日から起算して1年未満の場合は継続して1年以上経過した後に支給) (対象児童) 多子世帯の児童(18歳に達する日以降の最初の3月31日までにいる子ども)のうち、年長者から数えて3人目以降となる児童で、誕生日から加賀市の住所を有し、令和2年4月2日以降に生まれた児童

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	第3子以降誕生祝金給付実績 74人助成対象者(世帯数)、76人対象児童数、祝金22,800,000円	
	令和2年度決算	

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	135	一般会計	3	2	1	3	7	子育て応援事業	22,800
②									
③									
関連決算額合計									22,800

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	子育て家庭の経済的負担の軽減策として、市の少子化対策にとっても有効な事業である。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	第3子以降の出産による多子世帯を応援するため、今後も祝金給付事業を行う。
--------	--------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	③家庭教育の充実と環境の構築			

事業番号	1302	事務事業名	家庭教育の啓発・周知活動の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

子どもたちが健やかに成長する上では、家庭の果たす役割が重要であるが、近年核家族化や地域とのつながりの変化等により家庭の教育が大きく変化している。そのような中で、全ての親が安心して子育てできるように学校・企業・地域・行政がそれぞれの役割を果たし、市全体で家庭への支援を行うことを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

「加賀市家庭教育支援推進計画」に基づき、家庭教育支援事業を実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「赤ちゃんふれあい体験」や「家庭教育企業出前講座」を中止した。また、一般社団法人自治総合センターのシンポジウム助成金を活用した、「家庭教育を考えるシンポジウム」については、講師を選定し準備を進めていたが、大勢の参加者を集めるべきではないと判断し中止した。「家庭教育支援者養成講座」に関しては、当初3回コースを計画していたが、2回コースで、主任児童委員を対象に実施した。学校・PTA・子ども会育成連絡協議会や公立・法人立保育園の代表者等で構成する「家庭教育推進会議」を開催し、コロナ禍で実施した教育委員会・福祉部局の事業を報告し、意見をもらった。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	276	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	1,000
②									
③									
関連決算額合計									1,000

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
	評価に関するコメント	本事業は、学校等、地域住民、地域活動団体、事業者、行政など社会全体が連携して取り組むことにより、きめ細やかな家庭教育支援が可能となるとともに、その効果が一層高まり、子どもの基本的な生活習慣や豊かな情操、社会的なマナーが身に付き、子どもたちの健やかな成長に大きく寄与することから、家庭教育支援を推進していく。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

新型コロナウイルス感染症が終息するまでは、国が示す、「新しい生活様式」を取り入れた事業展開が必要である。このことを踏まえ、地域での家庭教育支援を充実させるため、「家庭教育支援者人材養成講座」を継続して実施する。また、「親の学びの講演会」については、仕事で忙しくて講演会等に参加できない人たちのために、企業や事業者と連携し、「企業出前講座」として継続して実施する。「赤ちゃんふれあい体験」については、健康課と共同で、小学4～6年生を対象に継続して実施する。令和4年度は、「家庭教育支援推進計画」の見直しの年であることから、地域での家庭教育支援を更に、充実させるための検討を行っていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1401	事務事業名	小中学生におけるプログラミング教育の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>2020年度新小学校学習指導要領全面实施、2021年度新中学校学習指導要領の全面实施に先がけ、市内全小中学校においてプログラミング教育を展開し、第4次産業革命が進行している現代社会を生きる子どもたちの資質・能力を育成する。</p> <p>小学校4学年以上の総合的な学習の時間における年間5時間以上のプログラミング学習、教科内でのプログラミング教材の活用、クラブ活動でのロボレーブの活用、夏季休業中におけるプログラミング教室を開催する。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>総合的な学習の時間におけるプログラミング教育の教材開発を推進するとともに、小学校4学年から6学年のカリキュラムが安定して実施できるよ、ICT支援員による支援を継続した。また、中学校1学年のカリキュラムを完成させた。</p> <p>教科内でのプログラミング教材を活用した授業実践を行った。</p> <p>市内全小学校区でプログラミング教室を開催した。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260 一般会計	10	1	3	2	3	プログラミング教育推進費	19,342
②								
③								
関連決算額合計								19,342

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
------	-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>小中学校でのプログラミング教育を継続的に実施するとともに、プログラミングを活用した探究型学習が実施できるよう事業を継続する。また、特に中学校での探究型のカリキュラムの作成を進める必要がある。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>総合的な学習の時間におけるプログラミング学習については、体系的なカリキュラムの確立のため、学習計画を立てるとともに、教員研修を継続させる。</p> <p>中学校技術・家庭科(技術分野)における新学習指導要領に則した学習がなされるよう中学校でのプログラミング教育を見直すとともに、探究型学習を充実させる。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1402	事務事業名	小中学生の教育推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>「中学生放課後かも丸塾」と「かがっ子休日スクール(夏休み特訓)」は、数学や英語でのつまづきを解消するために、学習意欲はあるが、経済的・物理的理由により塾に通えない生徒を支援する。また、個に応じた課題に主体的に挑むことによって、分かった、できたという達成感を持たせ、学習に臨む意欲を培い学力向上を図る。</p> <p>「かがっ子休日スクール中学生英語」は、実用英語検定試験(3・4・5級)の受検合格を目指すことにより、英語の学習意欲と学力向上を目指す。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のために、「中学校放課後かも丸塾Ⅰ期(5月～9月)」「かがっ子休日スクール中学生英語Ⅰ期(5月)」「かがっ子休日スクール夏休み特訓(8月)」を中止した。</p> <p>後期に、「中学校放課後かも丸塾Ⅱ期(10月～3月)」を実施し、様々な数学の問題を解くことができるように個別指導を行い、学力の向上を図ることができた。また、「かがっ子休日スクール中学生英語Ⅱ・Ⅲ期(9～10月・12～1月)」を実施し、3・4・5級の合格を目指した。合格率はⅡ・Ⅲ期と全ての級を合わせたの平均は91%だった。</p> <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かがっ子休日スクール(中学生英語) 市内1箇所で開催 57名(Ⅱ期 38名、Ⅲ期 19名) ・中学校放課後かも丸塾Ⅱ期 市内中学校区6箇所で開催 55名
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	1,355
②									
③									
関連決算額合計									1,355

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	本事業により、生徒は熱心に学習に取り組み、講師の先生方の丁寧な個別指導によってつまづきを解消して、分かった、できたという達成感を持たせ、学力の向上を図ることができた。今後も継続が必要である。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>「中学生放課後かも丸塾」を開催する。毎週2回の放課後に開催し、個別での対応によって学習意欲向上に努める。</p> <p>「かがっ子休日スクール(中学生英語)」は主に日曜日に開催し、実用英語技能検定試験合格を目指すことによって、英語の学習意欲と学力向上を図る。</p> <p>「かがっ子休日スクール(夏休み特訓)」は、夏季休業中に開催し、英語と数学の定着が難しい中学生に、個別に補充特訓を行う。</p> <p>一方で、各学級での補習授業とともに一人一台PCの活用が進み、個に応じた指導ができるようになったため、今後、実施方法について廃止を含めて検討を行っていく。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1403	事務事業名	国際教育交流事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>他国の児童生徒と触れ合うことによって他国の文化を知り、視野を広げ豊かな国際感覚を培うために、台湾・シンガポール等の友好都市協定を締結した都市の小中学生との交流を行う。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

令和2年度における国際教育交流事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て中止した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	259	一般会計	10	1	2	3	5	教育交流活動費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>本事業の実施は、児童生徒の国際感覚の醸成に寄与しているため、継続することが望ましい。 なお、台湾桃園市との交流は吹奏楽部に限定しているため、対象となる児童・生徒に偏りがある。</p>				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

派遣事業は、少人数に多額の費用がかかっているため、児童・生徒の選定条件や募集方法については、明確な根拠や透明性を確保していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1404	事務事業名	指導力向上による学校教育環境の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	<p>特別の教科道徳の授業研究を実施し、教師の指導力を高め、質の高い授業を行うことで、児童生徒の道徳性を高める。</p>								
実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など								
	<p>いしかわ道徳推進事業では、橋立中学校で道徳教育を推進し、教員の資質向上を図った。道徳研究発表会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催しなかった。</p>								
	令和2年度決算								
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名
①	260	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育推進事業	0
②									
③									
関連決算額合計									0
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続			
	評価に関するコメント	<p>研究授業や研究講座を実施し、教師の指導力を高め、質の高い授業を行うことで、児童生徒の学力・道徳性を高めることができる。</p>							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	<p>学校教育の現状は、複雑かつ多様な課題が生じており、学校教職員には高い指導力と幅広いスキルが求められる。このため、教職員の指導力を高めるため、今後も引き続き訪問指導、研修会や検討会議を積極的に展開し、現状における問題解決、学校教育環境の改善等に積極的に取り組んでいくこととする。 (令和3年度いしかわ道徳推進事業実施校: 動橋小学校)</p>								

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1405	事務事業名	学校保健の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>加賀市内の小中学校における保健管理、安全管理、児童生徒及び教職員の健康の保持増進の体制づくりを推進する。</p> <p>学校保健安全法に基づく児童生徒及び教職員の健康診断、環境衛生検査等を実施し、その結果に基づく治療等、必要な措置を取るよう指導を行う。また、学校活動に対する安全保険に加入するとともに、学校保健運営に必要な備品や消耗品等を充実させ、適正な学校保健事務を進める。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>嘱託医師を配置し、児童生徒の健康管理を促進した。 (校医19人、歯科医18人、眼科医2人、耳鼻科医2人、薬剤師20人)</p> <p>健康診断の受診については、全校の児童生徒・教職員に受診を促した。 受診人数 児童生徒(4,527人) 教職員 (243人)</p> <p>ストレスチェックの受検については全教職員(389人)に実施した。</p> <p>また、学校保健特別対策事業費補助金を用いて、新型コロナウイルス感染症対策備品として各小中学校にAI体温測定顔認証端末等の整備も併せて行った。</p>

実施状況	<p>令和2年度決算</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>265</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>嘱託医報酬費</td> <td>7,567</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>265</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>健康診断費</td> <td>4,929</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>265</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>一般経費</td> <td>24,393</td> </tr> <tr> <td colspan="8">関連決算額合計</td> <td>36,889</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	265	一般会計	10	6	1	1	嘱託医報酬費	7,567	②	265	一般会計	10	6	1	2	健康診断費	4,929	③	265	一般会計	10	6	1	3	一般経費	24,393	関連決算額合計								36,889
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																					
①	265	一般会計	10	6	1	1	嘱託医報酬費	7,567																																						
②	265	一般会計	10	6	1	2	健康診断費	4,929																																						
③	265	一般会計	10	6	1	3	一般経費	24,393																																						
関連決算額合計								36,889																																						
<table border="1"> <tr> <td>有効性 (高い/普通/低い)</td> <td>普通</td> <td>費用対効果 (高い/普通/低い)</td> <td>普通</td> <td>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>評価に関するコメント</td> <td colspan="5">この事業により、児童生徒及び教職員が健康で安全に学校生活を送ることができている。今後も心身の健康の保持増進を図るため、継続が必要である。</td> </tr> </table>	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	評価に関するコメント	この事業により、児童生徒及び教職員が健康で安全に学校生活を送ることができている。今後も心身の健康の保持増進を図るため、継続が必要である。																																						
有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続																																									
評価に関するコメント	この事業により、児童生徒及び教職員が健康で安全に学校生活を送ることができている。今後も心身の健康の保持増進を図るため、継続が必要である。																																													

内部評価	<table border="1"> <tr> <td>有効性 (高い/普通/低い)</td> <td>普通</td> <td>費用対効果 (高い/普通/低い)</td> <td>普通</td> <td>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>評価に関するコメント</td> <td colspan="5">この事業により、児童生徒及び教職員が健康で安全に学校生活を送ることができている。今後も心身の健康の保持増進を図るため、継続が必要である。</td> </tr> </table>	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	評価に関するコメント	この事業により、児童生徒及び教職員が健康で安全に学校生活を送ることができている。今後も心身の健康の保持増進を図るため、継続が必要である。				
	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続							
評価に関するコメント	この事業により、児童生徒及び教職員が健康で安全に学校生活を送ることができている。今後も心身の健康の保持増進を図るため、継続が必要である。												
今後の方向性	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p> <p>健康診断の受診については、集団で行う教職員健康診断や個人的に人間ドックなどを受診する方法で行っている。今後も、教職員については、いずれかの方法で受診していることを確認するとともに、児童生徒については、全てに受診を促す。</p> <p>また、教職員を対象に実施しているストレスチェックについては、教職員自身がメンタルヘルス不調となることを未然に防止するためのものとして、今後も実施していく。</p>												

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1406	事務事業名	学校図書館の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	各学校図書館に新たな蔵書を追加、古くなった蔵書と入れ替える等、児童生徒の読書環境を充実させるとともに、学校図書館司書を配置し、児童生徒の貸出の促進を図る。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	学校図書 of 充実化を進めた結果、文部科学省が学級数に応じて定める標準蔵書冊数に対する加賀市の蔵書数の達成率は、小学校166%、中学校140%、全体で157%となり、昨年度より2ポイントほど上回っている。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	252	一般会計	10	2	1	1	2	臨時職員給与費	27,903
②	262	一般会計	10	2	2	1	1	振興奨励費	6,913
③	256	一般会計	10	3	1	1	2	臨時職員給与費	13,649
④	264	一般会計	10	3	2	1	1	振興奨励費	4,241
関連決算額合計									52,706

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	小中学生時により多くの本に親しむことは、人間形成に不可欠であり、事業は有効である。文部科学省が示す標準数値を若干上回る蔵書数を確保したことや、貸出数が増えたことを考慮すると、費用対効果は相当である。令和2年度は、朝読書を全小中学校で実施している。読み聞かせは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、十分には行えなかった。時代に対応した児童生徒を育成するために、蔵書の入れ替えは常に必要であり、事業を継続していく。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	加賀市全体の学校図書の蔵書数は、文部科学省の示す基準を超えているが、時代に対応した児童生徒を育成するために、継続して新たな蔵書の追加や古くなった蔵書と入れ替える等の改善を行う。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1407	事務事業名	特別支援教育の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>特別支援学級の教材用備品を整備し、教育環境を充実させる。 また、通常学級においても、学習支援が必要な児童生徒や多動傾向、コミュニケーションが困難な児童生徒等への学習や生活を支援するための教育支援員を各学校に配置し、教育環境の充実を図る。 特別支援教育を推進するための研修や学習会等の実施により教職員の指導スキルを高める。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<p>特別支援学級において教材用備品などを揃え、教育環境を充実させた。 通常学級において支援を必要としている児童生徒に対して、より良い学習環境を提供するため、教育支援員を65人配置し学習活動の充実に努めた。研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施しなかった。</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	262	一般会計	10	2	2	1	1	振興奨励費	810
②	262	一般会計	10	2	2	1	6	指導体制支援費	59,832
③	264	一般会計	10	3	2	1	1	振興奨励費	155
④	264	一般会計	10	3	2	1	7	指導体制支援費	20,669
関連決算額合計									81,466

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
	評価に関するコメント	特別な支援を必要とする児童生徒が合理的支援のもと、授業を始めとする学校活動に自己肯定感をもち取り組むことができた。安定した授業展開のためにも、当該事業は必須である。学校現場からの増員要請の声も大きい。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>特別支援教育を推進するための研修や学習会等の実施により教職員が共有理解し、指導スキルを高めたり支援員数を含めた配置体制の強化をすることによって、支援を必要とする児童生徒が他の児童生徒と変わらない教育を受けられる環境を構築する。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1408	事務事業名	野外活動などの自然体験活動の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	市内小学校高学年の児童が、自然に触れ合いながら野外活動を体験する宿泊を伴う自然体験活動を実施することで、自然を愛する意識を育成するとともに、集団生活を経験することによる社会性の育成を目指す。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校12校が日帰りで実施し、1校が宿泊(1泊)で実施した。実施を中止した学校は4校であった。実施した学校では、自然と触れ合える機会を得ることができた。加賀市の施設「百笑の郷」の利用は、1校であった。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	262	一般会計	10	2	2	1	1	児童教育振興費	32
②									
③									
関連決算額合計									32

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	児童にとって学校内だけでは得ることができない体験をすることができ、一定の成果はある。次年度以降も継続すべきものである。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	実施場所は「原則、加賀市内」と定めているが、現状は小松市など市外の施設を多く使っている。原則から逸脱している課題を解消するため、加賀市内施設の規模や内容を充実し、受け入れ可能数の増加も検討していく。

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1409	事務事業名	いじめ・不登校の解消事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

「いじめ」対策として、学校いじめ防止基本方針を見直し、方針に基づく取組を充実させる。また、全ての学校でアンケート調査や個人懇談等を計画的に実施し、早期発見・早期対応を徹底する。

「不登校」対策では、全ての児童生徒にとって魅力ある学校づくりを推進し、「心の居場所づくり」・「絆づくり」に取り組む。また、不登校児童生徒支援ファイルを作成し、早期支援、組織的対応、教育相談体制の充実を図ることで改善につなげる。

市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒一人一人に寄り添った支援を行い、問題行動や不登校の未然防止につなげ、学級集団状態の良好化を図りながら、諸問題の改善を目指す。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

「加賀市いじめから子どもを守る条例」を制定し、加賀市いじめ防止基本方針を策定した。各校においても、学校いじめ防止基本方針を見直した。また、アンケート調査や個人懇談、道徳や学級活動の時間にいじめに関わる学習を充実させ、未然防止や早期発見に努めた。

不登校への対策として、担任が家庭訪問を繰り返したり、毎月子どもへの支援・対応を検討したり、スクールソーシャルワーカーや子育て応援ステーション等の関係機関との連携のもと登校支援を行ったりなど、きめ細やかに取り組みを進めた。

令和3年度小中生徒指導連盟研究会の研修会で、指導主事による研修の場を設定した。

実施状況

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260	一般会計	10	1	3	1	3	就学指導費	345
②	260	一般会計	10	1	3	7	1	委員報酬費	6
③	260	一般会計	10	1	3	7	2	運営費	0
④	260	一般会計	10	1	3	8	1	委員報酬費	36
⑤	260	一般会計	10	1	3	8	2	運営費	3
関連決算額合計									390

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	いじめの定義に基づいた「いじめの認知」が周知されてきたことで、教職員の意識が高まり、見過ごしや抱え込みが減少した。アンケートや個人面談によって、いじめを早期に発見することができ、迅速な対応ができた。 不登校については、担任による電話連絡や家庭訪問、スクールカウンセラーによるカウンセリング、別室による指導により、不登校の状況が改善する児童生徒が増えた。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

「いじめ」「不登校」問題の未然防止にこれまで以上に力点を置くとともに、初期対応に遅れが生じないよう各校の取り組みを改善、検証する体制を強化する。

また、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーとの連携を密にし、教育相談体制の充実を図ったり、児童生徒理解の情報交換を行ったりすることを通して、適切な支援・対応に努める。

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1410	事務事業名	教育総合支援センターの充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>加賀市内の青少年の健全育成を目指し、非行補導、教育相談、のぞみ教室(学校へ登校できない児童生徒のための学校復帰支援)の運営を行う。</p> <p>①補導巡視…地区指導員・教育総合支援センターによる巡視指導 ②教育相談…電話・面接等による教育相談 ③学校復帰支援…のぞみ教室の運営 ④広報啓発…機関誌の発行</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>令和2年度の成果 ①補導巡視…地区指導員延数(42人)・教育総合支援センター職員による巡視指導(64回) ②教育相談…電話・面接等による教育相談(418件) ③学校復帰支援…のぞみ教室への通所人員(1255人) ④広報啓発…機関誌の発行 14回(のぞみ教室:12回・巡回指導:2回) 平成30年度より、「旧青少年育成センター」の機能に「教育研究所」の機能を合わせ「教育総合支援センター」とし、教育研究、教員研修、生徒指導を行う組織の一元化、それぞれの機能の連携強化を図った。 教育総合支援センター運営検討委員会を年1回開催。</p>

実施状況	令和2年度決算																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>260</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>室員等賃金</td> <td>27,050</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>260</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>教育開発推進費</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>260</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>教育支援相談推進費</td> <td>1,882</td> </tr> <tr> <td colspan="9" style="text-align: right;">関連決算額合計</td> <td>29,141</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	260	一般会計	10	1	3	9	1	室員等賃金	27,050	②	260	一般会計	10	1	3	9	2	教育開発推進費	209	③	260	一般会計	10	1	3	9	3	教育支援相談推進費	1,882	関連決算額合計								
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	260	一般会計	10	1	3	9	1	室員等賃金	27,050																																									
②	260	一般会計	10	1	3	9	2	教育開発推進費	209																																									
③	260	一般会計	10	1	3	9	3	教育支援相談推進費	1,882																																									
関連決算額合計									29,141																																									

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>教室での個別活動や集団活動から自己肯定感を高め、個々の様子や変化に合わせて、通所する日を増やしたり、学校の保健室や相談室への登校チャレンジを果たすケースもあった。</p> <p>その結果、今年度、自分で奮起し学校へと完全復帰を果たした通室生は6人、高校進学をきっかけに復帰した生徒は4名いたことから、取り組みは効果的に機能していると思われる。</p>				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>保護者が仕事上送迎できないことで、家から出られない児童生徒が多いことから、センター車による送迎も保護者との話の中で対応している。送迎も含めた多角的な支援は、心穏やかに過ごせる場が増えることに繋がりが、「ひきこもり」などの改善の方向に進むと思われる。</p> <p>今後も、スクールソーシャルワーカーや子育て支援課との連携を密にして事業を進めていく。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1411	事務事業名	スクールソーシャルワーカー配置事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要				
	<p>児童生徒のいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動、子どもの貧困問題については、学校だけでは解決困難な場合が多いことから、スクールソーシャルワーカーが地域や関係機関と連携を図りながら問題の解決に向け取り組む。</p>				

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など									
	<p>学校だけではなく、家庭、専門支援機関、行政機関など各機関と連携・調整し、624件の訪問を行い、問題の解決を進展させた。また、各学校へのアドバイス、状況確認を行うための訪問を年間で複数回計画し、実施した。</p>									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	260	一般会計	10	1	3	9	1	室員等賃金	7,034
②	260	一般会計	10	1	3	9	3	教育支援相談推進費	381	
③										
関連決算額合計									7,415	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>学校現場への負担が軽減し、改善に向かうケースも増え成果が大きい。今後も各機関と連携・調整し、訪問等を実施する必要がある。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	<p>アドバイス等のための全学校への訪問を、複数回定期的実施し、学校の指導力を高めていく。 平成30年度からは、教育研究、教員研修、生徒指導を行う組織を一元化し、それぞれの機能を連携強化し、学校教育上有効な施策を展開するための「教育総合支援センター」に所属したことにより、教育相談、学校復帰支援等の事業とも連携する体制が構築されたので、この体制が効果的に働くよう取り組みを継続し、不登校の減少や学校・家庭への支援に取り組んでいく。</p>				

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1412	事務事業名	中谷宇吉郎科学奨励事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	郷土出身の偉大な科学者「中谷宇吉郎」の偉業を後世に伝えとともに、加賀市の科学教育の振興と青少年の豊かな教養を備えた人間形成を目指し、科学の研究成果について市内から公募し、秀でた者を表彰する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	令和2年度は、一般応募を含め、3件の応募があった。市内の科学に興味のある生徒からの応募によるもので、加賀市の科学教育の振興に役立っている。また、中谷宇吉郎の名前を冠し、募集しているので、氏の偉業を全国にPRすることにもなっている。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	259	一般会計	10	1	2	3	1	教育振興助成費	261
②									
③									
関連決算額合計									261

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	本市の科学振興を図ることができ、また、郷土の著名人の功績をPRすることができることから、今後も継続していく必要がある。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	平成20年度から中学生の募集を全国規模に拡充し、平成26年度からは市内の児童生徒の応募を増やすため、学校との連携により、小中学生に対する周知を行っているが、新規の申込者が見込めないため、中学生の全国規模での募集を廃止する。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1413	事務事業名	能楽・茶道活動の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀市の小学生に対する日本の伝統文化教育を推進するため、能楽や茶道の基本的な内容を習得する学習活動を実施する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

能楽については、市内の能楽研究会指導者が、6校の児童に対して謡いや仕舞の基本を指導した。茶道については、市の事業から地域活動を利用しての事業に移行し、令和2年度より予算化を廃止。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260	一般会計	10	1	3	3	3	文化体験学習費	86
②									
③									
関連決算額合計									86

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	学校における伝統文化活動の推進は、加賀市を理解する手法としても効果的であり、能は今後も継続していくこととする。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

能楽については、例年少数校での実施となっていたため、令和元年度からの3年計画の2年目として、片山津小、金明小、湖北小、動橋小、分校小、作見小の6校において能楽ワークショップを実施した。令和3年度も継続して6校でワークショップを実施する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根差した教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1414	事務事業名	体験型環境学習推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

小学校児童を対象にして、自然と接する機会の少なくなった子どもたちに、加賀市の豊かな自然を知る機会や自然体験をする機会を提供し、思いやりの心を育むとともに、命の大切さ、自然と人とのつながりを知ることが目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

自然体験事業を実施している団体の活動支援として、市が管理する自然体験の備品を貸出した。また、市内で実施される自然体験活動の情報をまとめたカレンダーを作成し、周知した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	-	-	-	-	-	-		-
②								
③								
関連決算額合計								0

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
近年、民間で自然体験事業を実施している団体が増えてきていることから、今後は、多くの子どもたちに自然体験活動をする機会を提供するために、家庭への情報提供や自然体験事業を行う団体に対する支援を継続していく必要がある。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

子どもを対象に自然体験事業を行う団体に対して、市が所有する備品の貸出等の支援を行うとともに、市内で実施される自然体験活動の情報をホームページに掲載し、市内の小学校の全児童や施設に周知することで、市民の自然体験活動へ参加する機会を増やす。そして、団体が市内で行う自然体験活動のより一層の活性化につなげる。

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1415	事務事業名	小中学校活性化事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

新学習指導要領で求められている、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していく。そのために、小中学校が抱える課題の克服に向けて専門職員等を派遣するなどの様々な支援を行い、校内研修会の充実を図ることで、教職員の指導力の向上と、児童生徒の確かな学力の定着をめざす。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

作見小学校において、京都女子大学の水戸部教授を招聘し、教師の授業改善・指導力向上を目的とした研修会を開催した。
また、山中中学校においては、大阪教育大学の田村知子教授を招聘し、学校教育目標を実現するためのカリキュラムマネジメントについて研修会を開催した。研修会は校区の小中学校にも周知し、研修会当日は、他校の教員とともに研究を深めることができた。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	256
②									
③									
関連決算額合計									256

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	校内研修会を活性化することで、教師の授業改善と学校研究の推進が期待できる。また、教職員の指導力を向上させることで、児童生徒の学力向上への効果が得られる。 本市では、児童生徒の学力向上や教師の授業改善、安定した学級づくりを推進しており、各学校においては関連した課題も見られるため、課題改善に向けては現状相当の予算は必要である。 今後も、専門職員等の指導を受けながら、授業改善に向けての研修会や多様化している教育課題に向けての研修会などを開催する必要があることから、本事業を継続する。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

学習の質を一層高めるため、授業改善の取り組みを推進していく。
学力調査の結果を受けて、自分の考えを分かりやすく伝えることや、考えの根拠を示すこと、筋道を立てて考え、表現すること等に課題が見られたため、小学校2校において講師を招聘した国語科と算数科の研修会を実施する。(令和3年度は、片山津小学校、分校小学校にて実施)

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1416	事務事業名	英語力向上事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

小学校の外国語活動及び外国語科、中学校の英語科の授業の質を高めるために、ALT及び英語授業補助指導者を全小中学校に配置する。そして、小学校においては英語に触れる機会を増やし、中学校においてはオールイングリッシュの授業を目指す。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

ALTを市内全小学校に配置することができた。また、中学校については、週3回程度配置することができた。英語授業補助指導者については、6名を小学校8校に配置することができた。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260	一般会計	10	1	3	6	1	英語教育推進費	31,961
②									
③									
関連決算額合計									31,961

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	ALT及び英語授業補助指導者を計画的に各学校に配置したことで、外国語でのコミュニケーションによる言語活動を行う機会を多く持つことができるようになっている。小学校においては、英語に触れる機会が増えており、意欲的に授業に参加する姿が見られた。中学校においても、ネイティブの英語に触れる機会が増えている。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

新学習指導要領全面実施にあたり、理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成するため、ALT及び英語授業補助指導者の配置を今後も工夫していく。
小学校の外国語活動及び外国語科の全授業において、ALTまたは英語授業補助指導者を配置し、児童が抵抗なく英語に慣れ親しむ機会を増やす。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1417	事務事業名	教職員研修事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>学校教育における様々な課題に対応するために、研修会や講習会の開催により、教職への知識と理解を深め、学校教育における教師の授業力、指導力の向上を図る。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、加賀市小中学校教職員夏季全体研修会は開催しなかった。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260	一般会計	10	1	3	1	1	教職員研修費	0
②	260	一般会計	10	1	3	1	2	教育指導研究費	531
③									
関連決算額合計									531

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	市内小中学校教職員が共通理解の上、教育活動を進めていく中で、重要な役割を果たしており、今後も継続した研修会等の実施が必要である。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

教職員の資質向上をめざす中核の事業であり、これまで通り継続していく。今日的な教育課題の克服に向けて、著名な講師の講演会を聴講することで、教職員が知識と教養を身に付け、実践力を高めることができるようにする。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	④魅力ある学校教育内容の充実			

事業番号	1418	事務事業名	小中学生におけるSTEAM教育の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

現在、Society 5.0を迎えようとしており、私たちの社会は、様々な知識や情報を基に今までにない新たな価値を生み出し、世界規模の課題や答えがない困難を克服していかなければならない。このような社会を自ら創り、生きていくため、義務教育段階においても、各教科での学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための教科横断的な教育を推進し、問題発見・課題解決的な学習を図る必要がある。これまで各校で取り組んできたプログラミング教育を発展的に継続するとともに、「総合的な学習の時間」の充実を図り、どのようなカリキュラムが児童生徒にとって問題発見・解決能力を育むか実践を通じて研究する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和元年度、シンガポールSTEMやグーグル合同会社提供による教材を活用し、3小学校5学級でカリキュラムを実施した。
令和2年度は、東和中学校で2年生の総合的な学習の時間でのモデルカリキュラムを作成するとともに、小学校での実施を見据えて、小学校5年生、6年生で活用する教材の予算化を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	260	一般	10	1	3	2	4	STEAM教育推進費	3,423
②									
③									
関連決算額合計									3,423

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
令和の日本型学校教育を構想するために有効な教育理念である。予測がより困難な時代において、教科等で育成した資質・能力を総動員しながら主体的に課題に向き合い、解決していく資質能力をSTEAM教育を通じて育成することができる。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

STEAM教育を推進し、予測が困難な時代においても、自ら考え、他者と協働しながら主体的に問題を解決できる力を育成していく。そのために、総合的な学習の時間の充実を図っていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり			

事業番号	1501	事務事業名	学校普通教室等冷房化事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>地球温暖化による気温の上昇により夏期の学習環境の改善が求められていることから、普通教室・特別教室における冷房化を順次進めるものである。また、建設年次の古い学校においては、空調設備も総じて老朽化しており、順次更新していく必要がある。これらの空調設備の更新時期に合わせ、省エネルギー化を推進し、学校の学習環境の改善を行う。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>平成17年度以降に校舎の改築を行った金明小、湖北小、橋立小中学校については普通教室に冷房機能のある空調設備を導入している。 平成25年度以降、冷房未設置の小中学校について順次整備を進めており、令和元年度に全小中学校の普通教室冷房化が完了した。 令和2年度は、錦城小学校の特別教室の冷房化(令和2年度から令和3年度の債務負担事業)を進めている。</p>

実施状況	<p>令和2年度決算</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>254</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>校舎等整備費(補助)</td> <td>180,151</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>254</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>校舎等整備費(単独)</td> <td>2,711</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9" style="text-align: right;">関連決算額合計</td> <td>182,862</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	254	一般会計	10	2	3	1	1	校舎等整備費(補助)	180,151	②	254	一般会計	10	2	3	1	2	校舎等整備費(単独)	2,711	③										関連決算額合計									182,862
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	254	一般会計	10	2	3	1	1	校舎等整備費(補助)	180,151																																										
②	254	一般会計	10	2	3	1	2	校舎等整備費(単独)	2,711																																										
③																																																			
関連決算額合計									182,862																																										
<table border="1"> <tr> <td>有効性 (高い/普通/低い)</td> <td>高い</td> <td>費用対効果 (高い/普通/低い)</td> <td>高い</td> <td>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</td> <td>継続</td> </tr> </table>	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続																																													
有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続																																														

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>今後も継続して、未設置の特別教室の冷房化を進めていく。</p>
	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p> <p>普通教室の冷房化は完了したので、今後は、特別教室について、国の補助事業を活用し、早期の全校整備に努めていく。</p>

今後の方向性	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p> <p>普通教室の冷房化は完了したので、今後は、特別教室について、国の補助事業を活用し、早期の全校整備に努めていく。</p>
	<p>普通教室の冷房化は完了したので、今後は、特別教室について、国の補助事業を活用し、早期の全校整備に努めていく。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり			

事業番号	1502	事務事業名	学校講堂暖房復旧事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	過去に防衛補助事業により改築を行った小中学校講堂のうち、暖房設備の老朽化が著しい学校について、防衛補助事業を活用し機能復旧工事を行い教育環境の充実を進める。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	近年では、片山津中学校講堂について、平成27年度に実施設計、平成28年度に暖房機能復旧工事を行った。また、片山津小学校講堂について、平成28年度に実施設計、平成29年度に暖房機能復旧工事を行った。令和元年度以降は、施設老朽化による暖房復旧の必要がある対象学校がなかったことから、実施していない。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	254	一般会計	10	2	3	1	3	体育館整備費(補助)	0
②	257	一般会計	10	3	3	1	3	体育館整備費(補助)	0
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	老朽化が進んだ小中学校講堂の暖房機能復旧工事は概ね終了しており、令和2年度においては、良好な環境であり暖房機能復旧工事の必要が生じなかったが、今後は必要に応じて整備を行っていく。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	今後は、点検等で老朽化により更新等が必要とされる設備を把握し、順次、整備を進める。本事業は、事業費が高額になることから、引き続き、国の補助事業を活用し実施する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり			

事業番号	1503	事務事業名	学校トイレ洋式化整備事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>近年の生活様式の変化により、家庭、公共施設、一般商業施設等において洋式トイレが普及しているなか、現在の児童・生徒は和式に不慣れになり、学校現場からはトイレを我慢する場面もあるとの指摘がでている。このため、平成27年度から令和2年度で、トイレの老朽化した学校や、洋式トイレ数の少ない学校から順に改修を進める。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>平成26年度に市内小中学校におけるトイレの設置数及びそのうちに占める洋式トイレの設置数を調査した。この調査結果に基づき、新築等で洋式トイレが設置されている学校以外について順次整備を行うこととした。平成28年度は、錦城小、作見小、山代小の工事を実施した。更に、当初計画を前倒し、錦城東小、片山津小の工事を行った。</p> <p>平成29年度は、動橋小に4箇所、勅使小に1箇所を整備した。</p> <p>平成30年度は、片山津中、東和中、山代中、山中中の工事を実施。また、東和中においては体育館の男女トイレに各1箇所を整備した。</p> <p>令和元年度には分校小、南郷小、三木小、三谷小の工事を行い、全ての小中学校において予定の工事が終了した。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	254	一般会計	10	2	3	1	1	校舎等整備費(補助)	0
②	257	一般会計	10	3	3	1	1	校舎等整備費(補助)	0
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
------	-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>国への要望に対し補助事業が採択され、学校校舎(教室棟)については中学校は平成30年度もって、小学校は令和元年度もって予定の事業が終了した。今後は体育館トイレの洋式化について進めていくこととする。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>教育環境の改善対策としての学校校舎(教室棟)における洋式トイレの整備は令和元年度で予定の整備は終了した。ただし、山代小学校は児童数に対して洋式トイレの数が少ないことから、適正なトイレ数を確保するため、令和3年度中に洋式化工事を実施していく。</p> <p>今後は、避難所機能の強化を図るため、学校体育館トイレの洋式化を防災避難所の点も踏まえ進める。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり			

事業番号	1504	事務事業名	小学校施設の適正管理事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要				
	<p>小学校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算の編成と適正な執行を行うとともに、光熱水費をはじめとした経費の節減に努める。</p> <p>また、安全・安心な学校施設を維持するため、大規模な修繕を計画的に行いながら緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障のないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の向上を図る。</p>				

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など				
	<p>学校配当予算については、費目の割り振りについて学校の希望を調査し、学校ごとの特色、必要性に応じた予算とした。施設修繕については、箇所付けた予算は計画通り行うとともに、緊急の修繕については現場確認を行い、学校と協議しながら修繕方法等を決定し、適切な工事を行った。</p> <p>また、改修工事では、南郷小学校の図書室空調機取替工事や分校小学校のプールろ過機取替工事を行った。</p>				

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	252	一般会計	10	2	1	2	2	維持補修費	46,705
②									
③									
関連決算額合計									46,705

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	各学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら、適正な学校運営、施設管理に努めた。施設修繕については、現場確認を行いながら優先度を見極め、授業等に支障がないよう適切な対応を行った。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	<p>大規模な修繕については、長期的視野のもと修繕計画を策定し予算確保に努めるとともに、教育活動に支障のないよう緊急的な補修にも対応し、安全・安心な学校施設が維持できるよう適正管理を実施する。</p>				

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり			

事業番号	1505	事務事業名	中学校施設の適正管理事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>中学校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算の編成と適正な執行を行うとともに、光熱水費をはじめとした経費の節減に努める。</p> <p>また、安全・安心な学校施設を維持するため、大規模な修繕を計画的に行いながら緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障のないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の向上を図る。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>学校配当予算については、費目の割り振りについて学校の希望を調査し、学校ごとの特色、必要性に応じた予算とした。施設修繕については、箇所付けした予算は計画通り行うとともに、緊急の修繕については現場確認を行い、学校と協議しながら修繕方法等を決定し、適切な工事を行った。</p> <p>また、改修工事では、山代中学校の高圧ケーブル更新工事等を行った。</p>

実施状況	令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
①	256	一般会計	10	3	1	2	2	維持補修費	11,170	
②										
③										
関連決算額合計									11,170	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	各学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら、適正な学校運営、施設管理に努めた。施設修繕については、現場確認を行いながら優先度を見極め、授業等に支障がないよう適切な対応を行った。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)					
	大規模な修繕については、長期的視野のもと修繕計画を策定し予算確保に努めるとともに、教育活動に支障のないよう緊急的な補修にも対応し、安全・安心な学校施設が維持できるよう適正管理を実施する。					

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり			

事業番号	1506	事務事業名	学校用(教師用を含む)パソコンの整備事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

ICTを有効に活用した教育の実現と効率的な校務処理及びその結果生み出される教育活動の質の改善を目的として、国の整備目標に基づき、各小中学校における校務・教育用(学習用)パソコンを整備する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

国施策(GIGAスクール構想)の前倒しにより、令和2年度に児童生徒一人一台PC端末の整備(8月末)を行った。また、新型コロナウイルス感染症関係の補助金を活用して、教師用の学習用PC(担任分)の整備を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	262	一般会計	10	2	2	1	7	振興奨励費・ICT教育環境推進費	77,609
②	264	一般会計	10	3	2	1	8	振興奨励費・ICT教育環境推進費	39,244
③	264	一般会計	10	3	2	1	3	学校教育研究費・プログラミング教育推進費	6,529
関連決算額合計									123,382

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

児童生徒におけるPC整備については、国の施策(GIGAスクール構想)において、整備目標(児童生徒一人一台端末)が令和2年度に前倒しとなったことから、本市においても、同様に、令和2年度に児童生徒一人一台PC端末の整備を行った。今後は、教師用の学習用PCが一部未整備であることから、計画的に整備を行っていく。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

児童生徒の一人一台端末については、令和2年度で整備した。令和3年度以降は、教師用の学習用PCを計画的に整備していくとともに、校務系PCの更新を行っていく。また、児童生徒のPC端末については、PCのOSが統一されていないことから、順次、更新時に合わせて統一していく。

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり			

事業番号	1507	事務事業名	学校給食施設の適正管理事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀市内の小中学校において、適正な給食調理の環境づくりを進めるとともに、学校給食調理従事者の資質向上を図ることで、児童生徒に対して安全・安心な学校給食の提供を促進する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

安全・安心な学校給食を提供するために、給食施設及び設備の整備や補修を行い適正な施設管理を行った。また、学校給食における食物アレルギー対応についても実施基準に基づき、適切に対応を行った。この他、学校給食調理従事者に衛生管理の徹底について紙面通知を行った。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、食事の前後の手洗いの徹底、会食のマナーなどについて、児童生徒の理解促進や意欲付けを図った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	266	一般会計	10	6	2	2	3	その他の運営費	197,183
②	266	一般会計	10	6	2	3	1	管理委託費	1,228
③	266	一般会計	10	6	2	3	2	備品整備費	5,833
④	266	一般会計	10	6	2	3	3	維持補修費	9,013
⑤	266	一般会計	10	6	2	4	1	施設管理費	9,105
関連決算額合計									222,362

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することは行政の責務である。食物アレルギー対応や衛生管理等についても、大きな問題もなく実施している。今後も継続すべき事業である。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進のため、学校給食の内容の充実を図るとともに、栄養教諭・学校栄養職員を中心として食物アレルギー対応や衛生管理の徹底が必要である。このために、給食施設及び設備の整備や学校給食調理従事者のスキルアップを引き続き行うとともに、食物アレルギー対応の管理や衛生管理の更なる徹底により、学校給食全体の質の向上を図り、安全・安心な学校給食を児童生徒に提供できるよう、今後も努めていくべきである。今後も新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえながら安全な給食実施のため、衛生管理の徹底を図ることを目的として改善の方策を検討していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1601	事務事業名	加賀温泉郷マラソン開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」を全国に情報発信するとともに、参加者同士が楽しみながら交流を深めることにより、加賀市のスポーツ振興と、スポーツツーリズムとしての観光交流人口の増加を目指す。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

スポーツ振興と同時に観光振興を目的として、平成25年度からは大会名を「全国健勝マラソン日本海大会」から「加賀温泉郷マラソン大会」に改め、コースや内容を改善しながら大会を実施している。
令和2年度は前回大会を大幅に上回る6,930人の参加申し込みがあったが、その後、全国的に新型コロナウイルスの感染者が増加したため、参加者や係員の安全を第一と考え中止とした。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	277	一般会計	10	6	5	2	3	加賀温泉郷マラソン推進費	5,498
②									
③									
関連決算額合計									5,498

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
マラソンを通じた観光都市「加賀市」の全国発信、及び加賀市のスポーツ振興を目的として開催している。毎回多くの参加者があることから、これらの目的達成に大いに寄与していると考え。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

加賀温泉郷マラソンは、3つの温泉地を巡る特色あるコースや沿道住民のおもてなしなどによりランナーの評判は良く、大会の認知度も年々上がっており、今後も参加者数の増加が見込まれる。新型コロナウイルス対策となる“新しい生活様式”に考慮しながら、さらなる内容の充実を図り継続開催する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1602	事務事業名	加賀温泉郷寛平ナイトマラソン開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」を全国発信する機会とするとともに、老若男女が楽しみ、交流を深めことにより、加賀市のスポーツ振興と、スポーツツーリズムとしての観光交流人口の増加を目指す。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

H28に、タレントの間寛平氏の監修のもと、全国的にも珍しい夜間に走る第1回目となる「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン」を開催した。夕暮れ時の美しい風景の中を走るコースは、ランナーの評判が良く、年々参加者も増加している。
第5回目となる加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2020については、新型コロナウイルス感染拡大を受けて中止とした。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	277	一般会計	10	6	5	2	3	加賀温泉郷マラソン推進費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」の全国発信、及び加賀市のスポーツ振興を目的として開催しており、これらの目的達成におおいに寄与するものと思われる。このことから今後も継続開催が必要である。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

タレントの間寛平氏が監修した大会で、夕暮れから夜間にかけての公道走行、多数のタレントによる応援、お笑いライブステージ等、一般的なマラソン大会とはまた違った趣のある大会である。回を重ねることにより大会認知度が向上しており、今後も参加者数の増加が見込まれる。このことから、内容の充実を図りながら、特徴ある大会として継続して開催していくこととする。

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1603	事務事業名	スポーツ交流推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ホストタウンに登録し、海外選手団の事前合宿を誘致する。この事前合宿を受け入れることで、参加国・地域とのスポーツを通じた人的・経済的・文化的な相互交流を推進し、地域の活性化と世界に向けた加賀市のPRを目的とする。
 平成30年12月にポルトガルを相手国として、令和元年6月に台湾を相手国として、内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部からホストタウンに認定登録された。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催延期を受けて、事前合宿についても延期となった。ポルトガル柔道連盟については、メールや電話等の連絡を継続し、2021年開催のオリンピック事前合宿に向けての調整を行った。
 台湾空手道連盟についても、メールや電話等の連絡を継続して行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	277	一般会計	10	6	5	2	4	スポーツ交流推進費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	ポルトガル柔道連盟の東京オリンピックの事前合宿実施が決定したことで、ポルトガルとの友好交流の推進と継続が期待される。台湾空手道協会についても、協定書を締結したことで今後の交流が期待できる。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

ポルトガルについては、同国柔道連盟がオリンピック事前合宿を加賀市で行うことを表明しているため、実施に向けて具体的な調整を行っていく。
 台湾については、現在、新型コロナウイルスの影響により、オリンピック事前合宿の可否を含めた交流の見通しが立たない状況であるが、SNSを利用したオンライン交流を行うなどして、合宿誘致の実現に向けて取り組んでいく必要がある。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1604	事務事業名	市民スポーツ大会の開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	生涯スポーツ推進事業として、市の委託により加賀市体育協会が市民体育大会を実施している。年齢性別を問わず誰でも参加できる競技スポーツやニュースポーツの大会であり、スポーツの楽しさを体感することで、生きがいづくりや健康増進に資することが目的である。また、大会を通じて競技スポーツやニュースポーツのさらなる普及を図っている。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	毎年、加賀市体育協会の主催により、4月には市民体育大会、スポーツ少年団活動、まちづくり対抗競技大会の合同開会式を、「市民スポーツ大会開会式」として実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け、中止とした。また、市が合同開会式に合わせて開催している体力測定会についても中止とした。市民体育大会については、体育協会に属する各団体が新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら大会を開催し、全大会併せて延べ1,450人が参加した。県民体育大会については、新型コロナウイルスの影響を受けて中止となった。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	277	一般会計	10	6	5	2	2	体育育成推進費	1,256
②									
③									
関連決算額合計									1,256

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	合同開会式は、体育協会、各単位協会、スポーツ少年団、各まちづくりなど市内の様々な団体が一堂に集うものであり、スポーツを通じて他団体と交流できる良い機会となっている。市民体育大会については、各競技者にとって練習の成果を発揮するための貴重な機会であり、スポーツ活動を続ける上での目標や生きがいづくりとなっている。また、加賀市体育協会は、スポーツを通じた地域振興を目的としてまちづくり対抗のスポーツ大会などを企画しており、市としてもスポーツ推進計画における「地域住民の交流を目的としたスポーツ振興策」として評価している。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	市民体育大会は市民に広く定着している事業で毎年多くの参加者があることから、スポーツ振興のためには、継続した実施が欠かせない。この大会は、スポーツ推進計画の基本理念にある『いつでも、どこでも、だれもがスポーツを楽しめる』ものであるため、市体育協会をはじめとした関係団体と協力しながら、より内容の充実を検討していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1605	事務事業名	各種スポーツ教室の開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要				
	市民がスポーツに関心を持ち、日常生活に取り入れ、健康で豊かな生活を営むことを目的とする。				

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																															
	<p>毎年、ノルディックウォーキング教室については、「KAGA健康フェスタ」に合わせて開催していたが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。</p> <p>市民山登りについては10月18日に実施し、一般参加者12人と消防職員等スタッフ18人の総勢30人で富士写ヶ岳に登った。スポーツ推進委員も同行し、富士写ヶ岳や植物についての解説や登山アドバイスをを行った。</p>																																															
	令和2年度決算																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>277</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>体力づくり推進費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">関連決算額合計</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	277	一般会計	10	6	5	2	1	体力づくり推進費	0	②										③										関連決算額合計							
頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																								
①	277	一般会計	10	6	5	2	1	体力づくり推進費	0																																							
②																																																
③																																																
関連決算額合計								0																																								

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>KAGA健康フェスタのイベントとして開催することにより、多くの参加者がある。ウォーキングの後には健康フェスタの健康相談などを受けることができるため、参加者にとっては有意義なイベントとなっている。</p> <p>市民山登りは、スポーツ推進委員や消防職員のサポートを受けながら安心して登山できるため、初心者や親子にも参加しやすいものとなっている。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	<p>ノルディックウォーキングについては、健康課において、健康増進を目的に毎月第3日曜日に実施している。スポーツ推進課においては、7月のKAGA健康フェスタと同時開催する回のみを担当しているが、内容は他の回と同様である。予算を整理し、分かりやすい事業展開とするために、健康課への事業一本化を図るために検討を行う。</p> <p>市民山登りについては、地元4つの山を順に開催している。サポートを受けながら登山できる“安心さ”をPRして、参加者増につなげていく。また、地元の山を知ることで、郷土愛の醸成につなげていく。</p>				

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1606	事務事業名	ニュースポーツ大会の開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	<p>冬期間の運動不足解消やニュースポーツの普及促進を目的とし、市民の誰もが気軽に参加でき、市民の健康増進、体力向上を目指す。</p>									
実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など									
	<p>ニュースポーツの普及事業として、1月31日に「レクリエーションスポーツ大会」を加賀体育館で開催した。種目は気軽に楽しめるものを中心に、鬼のタペストリー、ビーンボーリング、ふらばーるシュート、カローリング、すまあとごるふ、積んだーの6つとし、成績上位者には景品を贈呈した。 また、得点集計時など試合の無い時間を利用して、ミニゲームを行うなど体が冷えないよう企画した。 新型コロナウイルス感染防止対策として参加者定員を例年の半数の50チームとし、28チーム56人が参加した。</p>									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	277	一般会計	10	6	5	2	1	体力づくり推進費	31	
②										
③										
関連決算額合計									31	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続				
	評価に関するコメント	<p>年齢性別を問わず、誰もが参加できる大会として毎回好評を得ている。 寒い時期に開催するため、参加者の待ち時間をなくせるよう、競技スケジュールを工夫する必要がある。今後は、暖房設備のあるスポーツセンターで開催できないか検討する。</p>								
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)									
	<p>冬の運動不足解消を目的の一つとしているが体を動かさない種目がいくつかあったため、特に高齢の参加者において身体が冷えてしまうことがあった。今後は、暖房設備のある施設での実施と、身体の温まるニュースポーツを選択するよう検討していく。 また、ニュースポーツは子供から大人まで楽しめるものであるため、比較的高齢の参加者が多い中、若年層にも広く参加を呼び掛けていく。</p>									

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1607	事務事業名	生涯学習・生涯スポーツ施設の有効活用事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>体育施設の比較的利用の少ない日中の時間帯を有効活用できるように、高齢者や家庭婦人を対象としたスポーツ教室を開催し施設の利用促進を図る。 スポーツ施設の充実を図り、安全安心な生涯スポーツ活動を行うことができるよう、効率的な施設運営を行う。</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>指定管理者に対し、自主事業を実施し利用者の増加に努めるよう促している。 水泳プールにおいては、水泳教室等の自主事業を積極的に行っており、利用者数の増加に努めている。スポーツ振興事業団においては、施設を利用して障がい者を対象とした健康教室を実施している。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①		-	-	-	-	-	-		-
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	<table border="1"> <tr> <td>有効性 (高い/普通/低い)</td> <td>普通</td> <td>費用対効果 (高い/普通/低い)</td> <td>普通</td> <td>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</td> <td>継続</td> </tr> </table>	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	<p>評価に関するコメント 指定管理者には、これまでも自主事業の促進や利用者の立場になって「使いやすい」「使って気持ちの良い」と感じる施設にするように指導を行ってきており、現在は良好な施設運営が行われている。</p>
有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続			

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>指定管理者に対しては、これからも利用者の少ない施設や、利用者の少ない時間帯については、より施設を有効活用するよう指導を継続していく。 また、自主事業の実施により利益を得て、その分を指定管理料の削減に充てて、市の負担を軽減するといった指定管理者制度の本質についても指導し、自主事業の実施に向けた意識改革に繋げる。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1608	事務事業名	スポーツ団体の育成支援事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要				
	<p>市内競技団体の活動を補助し、競技力向上や各競技人口の拡大を図る。各競技団体の活発な活動は、団体加入者の増加やスポーツ成績の向上につながり、スポーツを通じた元気なまちづくりと、市出身のアスリート育成を目指す。</p>				

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など				
	<p>加賀市体育協会への活動補助金や、各競技団体に対し県民体育大会に参加するための費用に係る活動補助金を交付した。 県民体育大会夏季大会については、8月8日、9日の両日に野々市市を主会場として開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響を受け中止となった。冬季大会については、2月27日、28日と白山市で開催された。加賀市選手団は総勢49人。</p>				

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	277	一般会計	10	6	5	2	2	体育育成推進費	7,671
②									
③									
関連決算額合計									7,671

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>県民体育大会には、各競技協会などが積極的に参加している。協会のない種目については、スポーツ推進委員などが参加している。県民体育大会での順位目標は男女とも総合4位とする。多くの競技者にとって目標となっている大会であり、普段の練習成果を存分に発揮できる貴重な大会となっている。 また、国体出場者数は昨年度より減少したが、激励費の支給を通じて競技スポーツ選手や団体の支援を行っており、競技力の向上や競技スポーツの振興を図っている。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	<p>県民体育大会での不振の原因の一つは、若年層の参加者が少ないことが挙げられている。特に若い女性の参加者が少ない状況である。今後、より各競技スポーツの底辺を拡大できるよう、市体育協会とともに若年層の関心を得られる施策を打ち出していく。 激励費については、全国規模への大会出場者の情報収集を積極的に進めて、対象者にもれなく支給し優秀な競技スポーツ選手を支援していく。</p>				

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1609	事務事業名	スポーツ教室の開催の運営支援事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	誰もが気軽にスポーツに取り組み楽しむことのできる環境づくりを推進することで、幅広いスポーツの推進と健康増進を図る。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	市内の総合型スポーツクラブや、市体育協会加盟団体等でスポーツ教室を行っている。また、加賀市スポーツ振興事業団では誰でも参加できるファミリーバドミントン教室やヨガ教室のほか、障がいのある人を対象としたトランポリン教室も開催している。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①		-	-	-	-	-	-		-
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	総合型スポーツクラブは、基本的に民間団体が行う事業であるため資金的な支援は行っていない。 加賀市スポーツ振興事業団が行っている各教室については、指定管理者の自主事業として実施しているものもあり、市は指定管理料を通じて間接的な活動支援を行っている。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	加賀市スポーツ振興事業団は、総合型スポーツクラブを立ち上げて、同事業団が指定管理者として管理している市の体育施設(加賀体育館、加賀市武道館等)を会場に、ファミリーバドミントン教室、シェイプアップボクシング教室、トランポリン教室、ヨガ教室などを開催している。 今後は「加賀市スポーツ推進計画」にある「総合型地域スポーツクラブへの支援」の具体的施策として、指導者斡旋などの活動支援を行っていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1610	事務事業名	スポーツ指導員による指導事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>生涯スポーツ推進の一環として、各団体のニーズに合わせたニュースポーツの指導(講義・実技)を行う。かもまる講座を中心として、各々が自分で行うことが出来るように指導し、継続してニュースポーツに取り組んでもらうきっかけ作りとする。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>かもまる講座においてニュースポーツの指導を行っている。 講座ではニュースポーツを体験して楽しんでもらうだけでなく、ルールを分かりやすく記載した説明書を配布し、用具の貸出しと場所等の案内をすることで、かもまる講座申込者が自分たちでニュースポーツが行えるよう工夫している。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	-	-	-	-	-	-	-	-
②								
③								
関連決算額合計								0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	<p>ニュースポーツを紹介するかもまる講座については、主に地域高齢者団体より申し込みを受けていたが、小学校における学校行事としての受講要望もあるなど、幅広い年齢層が興味を持っている講座となっている。ニュースポーツの種類は多数あるため、参加者の要望に応じたものを紹介しており、毎回好評を得ている。</p>					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>かもまる講座を申し込む団体の中には、まだ実施したことのないニュースポーツを紹介してほしいとの要望もある。なるべくそれらの要望に応えられるよう、ニュースポーツの種類、内容を充実させ継続していく。 また、かもまる講座の受講者をレクリエーションスポーツ大会や体カテストの参加者に繋げることで、各種事業の参加者の拡大を図っていく。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1611	事務事業名	各地区・スポーツ団体を対象とした体カテスト会の開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>市民に自身の体カレベルを知っていただくとともに、意欲的に健康の保持増進を行うきっかけとしていただくことを目的とする。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>4月にスポーツセンターで、スポーツ推進委員の協力を得ながら市民体力測定会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	277	一般会計	10	6	5	2	1	体力づくり推進費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>体カテストの用具一式は、加賀体育館にすべて揃っており、係員も市のスポーツ推進委員がボランティアで行っていることから、事業の費用対効果は高い。 体カテストは、現在の自分の体力がどの程度なのかを理解し、体力向上に取り組むきっかけとするもので、年齢を問わず参加者の関心も高く好評であった。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>例年、スポーツ少年団やクラブチームを中心に体力測定を行っているが、人数の少ない20代から40代の方にもっと参加してもらおうと広く呼び掛けて継続実施する。 また、これまで体力測定会に参加した団体に毎年参加を呼びかけて、継続的にデータを計ることで自分の体力の状態をより良く知る機会としてもらう。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑥スポーツ活動の振興			

事業番号	1612	事務事業名	スポーツ施設の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>スポーツ施設を、利用者の安心安全と利便性の向上が図られるよう整備を行う。 陸上競技場については、日本陸連公認第3種の期間が令和3年4月9日に終了するため、公認継続に必要な整備改修を行う。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<p>スポーツセンターは、利用者の利便性向上と災害時避難者の生活環境向上を図るため、令和元年度から実施している冷暖房設備整備工事が完了した。 また、山中球場については、駐車場不足が懸念されていたが、隣地の旧山中幼稚園を令和元年度に解体工事を行い、令和2年度に駐車場整備を実施した。 陸上競技場については、公認継続に必要な整備を実施した。 加賀市ソフトボール場の廃止に伴う代替地として、動橋グラウンドをソフトボールや少年野球用の施設として改修した。</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	20	5	陸上競技場整備費	225,758
②	281	一般会計	10	6	6	20	14	山中球場整備費	16,402
③	281	一般会計	10	6	6	20	15	その他体育施設整備費	6,990
④	281	一般会計	10	6	6	91	4	スポーツセンター整備費	97,554
関連決算額合計									346,704

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
	評価に関するコメント	<p>スポーツセンターの冷暖房整備においては、夏冬期間の施設利用者増を図ることでき、また、大規模スポーツイベントを誘致できる可能性が高まることから、本市のスポーツ振興に大きく資するものである。また、市指定避難所としての生活環境改善にもつながっている。 ほぼ全ての体育施設において、安心安全な利用と、利便性を向上するために改修すべき点がみられることから、施設の充実事業は拡充していく。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>公共施設マネジメントの基本方針やスポーツ推進計画の基本施策に従い、重複している施設について、統廃合を含めた適正配置を検討していく。特に、老朽化の著しい山中武道館について、加賀市武道館との統廃合に向けた準備を進めていく。 また、経年劣化の著しい屋内水泳プールについては大規模修繕や建て替えが早い時期に必要な状況であり、利用者の安全確保の点からも、早急に整備方針を決定する。</p>

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1701	事務事業名	中谷宇吉郎自然科学と芸術による研究教育事業		
所管部局	教育委員会	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>加賀市と一般財団法人中谷宇吉郎記念財団とが連携・協力をした「かがく宇かんプロジェクト」として、中谷博士の研究領域であった「自然科学」とが深かった「芸術」をテーマとする新しい学問を加賀の地から立ち上げ、世界へと発信し、そこから付加価値を生み出すことを目指す。</p> <p>▶ 市民の豊かな教養の醸成 ⇒ シンポジウムやスクールの開催による自然科学・芸術に対する関心の高まり</p> <p>▶ シビックプライドの醸成 ⇒ 世界の研究者から注目を集める先駆的な取組みを進めるまちであることによる郷土への誇りの高まり</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>・専用WEBサイトを更新し、プロジェクトコンセプトの「科学の心」、「環境は知性である」、「学ぶ力を学ぶ」の発信とともに、昨年度に引き続き更新方法やインターフェースの更なる改良を行った。</p> <p>・霧の彫刻を活かした柴山淵(浄化センター)周辺の修景計画作成として、立体模型を作成し、全体コンセプトとイメージを資料にまとめた。</p> <p>・アーカイブセンターの準備及び研究活動情報発信として、中谷宇吉郎生誕120年記念として行われた雪の科学館のオンラインイベントを参照可能なアーカイブ動画として制作・公開を行った。また、雪の科学館所蔵資料の中でも特に今後の研究対象としての価値が注目されている映像資料について、アーカイブズ学的観点から、資料情報、詳細について再調査し、目録にまとめた。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	259	一般会計	10	1	2	3	4	教育振興事業費	4,488
②									
③									
関連決算額合計									4,488

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>本市が世界的な物理学者である中谷博士の生誕地であることをプロジェクトの背景として、今後も「科学のこころ」をベースとした研究教育を継続的に推し進め、国内外に発信し注目を集める中で新たな価値を見出していくことは本市にとって意義深いものであることから、継続とする。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>▶ 市民、小中学生、高校生を対象とするスクールなどを開催し、自然科学や芸術への関心を高める。</p> <p>▶ 片山津に新たに修景する唯一無二の芸術空間を創り出す。</p> <p>▶ 世界中の科学や芸術を愛し、環境を敬う人々が訪れる聖地にするための計画を策定する。</p> <p>▶ 芸術家や科学者が家族とともに集い滞在しやすくなる空間と教育プログラムを形成する。</p> <p>▶ 芸術家や科学者に研究の場を提供し、加賀市民とも交流させる。また、市の知名度の向上とともに、市民の豊かな教養の醸成を図っていく。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1702	事務事業名	市民文化講演会開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>時宜に応じた旬な話題の講師を招いて、市民の誰もが気軽に参加できる市民文化講演会を開催し、市民の教養や文化知識を高め、豊かなライフスタイルを見出す機会を提供することを目的とする。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の市民を対象した講演会ではなく、対象を橋立小・中学校に絞り加賀市の郷土愛を高め、青少年の将来の夢や希望につなげる講演会とした。講演会は、橋立小学校・中学校の児童70名を対象とし、数々のドラマ脚本やNHK 2020年度前期連続テレビ小説「エール」の脚本を手掛けた加賀高等学校卒業生の嶋田うれ葉氏に加賀市での思い出や現在の仕事についてお話していただいた。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	271	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	1,060
②									
③									
関連決算額合計									1,060

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>
評価に関するコメント	<p>長年継続して開催しており、毎年期待している市民が多いことから、今後も継続が必要である。</p>		

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>これまでは比較的年齢が高い市民が聴講に来たが、若者層の聴講も視野に入れ、誰が聴講しても楽しめる話題の講師の人選を行い、内容の濃い講演会を企画することで、今後も継続して市民に参加頂けるよう工夫を凝らしていく。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根差した教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1703	事務事業名	ふるさと学習の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>児童がふるさとの歴史や伝統文化に触れ理解を深めることにより、ふるさとへの愛情と誇りを持つ心を育てることができる。また、親子で一緒に活動することで、共通の話題に触れることができ、子どもの意欲や関心も深まり、バランスのとれた心身の成長が促されることを目的とする。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>市内の小学校と連携を図り、市内小学生と保護者を対象に「すすめ！ふるさと探検隊 加賀のいいところ大発見！！」と題して市内の名所・施設等を巡る親子ラリーを実施し、10か所達成ごとに認定証を交付している。令和2年度の認定者は延べ17人で、そのうち2人は50か所を達成し探検隊長として表彰を受けたのち、引き続き令和2年度中に60か所を達成し探検大使として表彰を受けた。</p> <p>また、ふるさと探検マップの地図では場所が分かりにくい地点があるとの声を受け、グーグルマップで詳細な場所を見られるQRコードを探検マップに追加した。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	271	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	124
②									
③									
関連決算額合計									124

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>親(保護者)と一緒に行動することにより、家庭での共通の話題が増えたり、市内の名所・旧跡等を巡ることにより、郷土の歴史や文化に触れ、ふるさとへの愛着が形成されるため、今後も継続する。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>親子ラリーを実施することが、ふるさとへの愛着を育み、親子の絆を深めることにつながっている。今後も、探検隊長・探検大使を目指し、たくさんの児童が参加してくれるよう、小学校と連携を図って取り組んでいく。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1704	事務事業名	各種活動情報の提供事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要										
	生涯学習活動の様々な情報を市広報・ホームページを活用して市民へ周知し、市民に情報提供することによって、生涯学習の推進を図る。										
実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など										
	生涯学習活動の様々な情報を市広報・市ホームページ、教育委員会のホームページに掲載し、情報の発信を行っている。また、各地区の公民館へも積極的に情報提供を行い、地区広報誌の活用も行っている。その他、自然体験カレンダーを作成し、ホームページに掲載するなど、小学校等関係各所に周知することで民間で行っている自然体験活動の情報を提供している。										
	令和2年度決算										
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
①		-	-	-	-	-	-		-		
②											
③											
関連決算額合計									0		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続					
	評価に関するコメント	生涯学習の推進を図るため、今後も継続して生涯学習に関しての活動やイベントの情報を広く情報提供していく。									
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)										
	見やすく分かりやすい記事の掲載や活動情報を広く市民に発信する。今後は、フェイスブックなどのSNSも活用し情報発信をしていく。										

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根差した教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1705	事務事業名	かがやき市民大学の促進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

広く市民が生涯学習に親しむきっかけづくりとして、自己申告による点数獲得運動(100点運動)を展開し、獲得した点数により、単位認定証の交付を行い、市民の自発的な生涯学習を推進する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

延べ35名の自己申告があり、獲得した点数に応じて、認定証や称号授与書の交付、市広報への掲載を行った。令和2年度は、殿堂入り・2,000点達成者が新たに1名、博士・1,000点達成者が2名、修士・500点達成者が1名であった。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	271	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	1,000点達成後も運動を続けている参加者がいる。また、新規に運動に取り組む市民もおり、生涯学習の推進に大きく寄与している。今後も、生涯学習に取り組むきっかけづくりとして、かがやき市民大学校100点運動を広く進めていく必要があるため、継続していく。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

広く生涯学習に親しむきっかけとして、手軽に取り組める事業であり、地区広報誌やホームページでPRすることにより、多くの市民の参加を図る。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1706	事務事業名	かもまる講座の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

市民から依頼された内容の講座に、職員が出向き出前講座を行うことにより、市民の行政等に対する理解を深めることを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

各課から毎年出前講座として可能なメニューを提出してもらい、市民と担当課の仲介役をしている。令和2年度は、53の講座メニューがあり56件出前講座として出向いた。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	271	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	31
②									
③									
関連決算額合計									31

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	高齢化社会や自然災害の急増等により、市民の行政に対する関心(特に防災や介護)が高くなっている。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、感染対策を含めた内容を講座で伝える課もあり、市民のニーズに合わせて工夫している。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、講座の受付を状況に応じて中止していたため、開講数は昨年度より減少した。また、講座は市の業務に関して理解を示すバロメーターにもなり、市民が必要とする要望に応えることで、市の政策を理解していただける。 申込方法も多様化され、より手軽に幅広い年代から申込みができることにより、講座の認知度が高まっている。市民に行政に対する理解を深めていただくため、継続する。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後とも市民が望む内容で、分かりやすい講座となるように、内容の見直しや新たなメニューの検討を行う。より多くの市民の方に講座を知ってもらうために、地区広報誌等でPRする。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1707	事務事業名	蔵書の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	乳幼児から高齢者まで、すべての市民の要望に応じた幅広い分野の資料を収集する。									
実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など									
	司書による週1回の選書会議の中で、市民の要望について協議を行い、令和2年度は、一般書6,513冊、児童書2,614冊、視聴覚資料155点を新たに受け入れ、蔵書の充実を図った。									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	273	一般会計	10	5	3	1	2	図書等購入費	18,203
②										
③										
関連決算額合計									18,203	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続				
	評価に関するコメント	蔵書を充実させることは、利用者ニーズに応えるために必要不可欠であり、今後も継続する。								
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)									
	図書の選書について、蔵書数と蔵書分類をバランス良く維持していくとともに、可能な限り市民が要望する資料を提供し、適正な蔵書管理を行っていく。									

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1708	事務事業名	レファレンス(相談機能)能力の向上事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	利用者から情報や資料を求められたときに迅速・的確に提供するため、レファレンス(相談機能)能力を高める。								
実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など								
	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、図書館サービスの縮小等を実施したため、レファレンス件数は減少した。 調べものや資料探し等に戸惑っている市民に適切な資料を提案するなど、資料探しの手助けから専門性や難易度の高い相談まで行っているが、その中でも、専門性の高いものを中心にレファレンス事例を蓄積している。 レファレンス事例の蓄積と共有を図ることで、レファレンス能力の向上に努めた。								
	令和2年度決算								
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名
①	273	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営費	99
②	270	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	2,191
③									
関連決算額合計									2,290
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続			
	評価に関するコメント	引き続きレファレンス事例集を作成するとともに、職員向け研修会を行うことで、職員全体のレファレンス能力の向上を図る。							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	職員の能力向上やレファレンスに対する信頼性が向上しているため、対応は充実している。また、難易度の高い事案も増加傾向にある。 今後も、レファレンス事例集を作成するとともに、情報共有や研修会に積極的に参加することで、職員のレファレンス能力の向上を図る。								

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1709	事務事業名	行政資料・郷土資料の充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央図書館

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	行政資料や郷土資料を集積し、市民をはじめ、議員や市職員が必要とする情報を迅速に提供する。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																																	
	市職員が資料を利活用できるように、毎月、市政・議会図書室に新たに入った資料の案内を行った。さらに、パンフレットやチラシを収集し、利用者に県内市内に関する情報を提供できるよう努めた。																																																	
	令和2年度決算																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>273</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>図書等購入費</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>270</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>臨時職員給与費</td> <td>2,191</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">関連決算額合計</td> <td>2,322</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	273	一般会計	10	5	3	1	2	図書等購入費	131	②	270	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	2,191	③										関連決算額合計								
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	273	一般会計	10	5	3	1	2	図書等購入費	131																																									
②	270	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	2,191																																									
③																																																		
関連決算額合計									2,322																																									

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	郷土資料の集積に努め、利用者からのレファレンス(相談)に対し、自館の郷土資料を元に適切な対応ができています。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	未整理の郷土資料のアーカイブ化計画を策定する。 また、情報共有や研修会を実施することで、職員の郷土資料レファレンス能力等の向上を図る。 市職員から行政関係資料等の要望を聞き、さらに行政資料を充実することで、市民、議員、市職員の利用向上を図る。

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1710	事務事業名	自動車文庫・地区巡回サービスの充実事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央図書館

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>図書館から遠隔地の市民への利便性を高め、市民の読書活動を幅広く推進するために、市内を巡回して図書館サービスを提供する。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

令和2年度前期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自動車文庫・地区巡回サービスを中止した。後期は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら、サービスを行った。自動車文庫は、大規模小学校と自動車文庫が入ることができない保育園を除く市内36か所の各施設を3週間ごとに巡回し、地区巡回サービスは、市内15か所を1週間ごとに巡回し、予約資料の貸出や回収を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	273	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営費	1,594
②	270	一般会計	10	5	1	3	2	臨時職員給与費	2,232
③									
関連決算額合計									3,826

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	自動車文庫・地区巡回サービスとも好評であり、継続し実施していく。市民の読書活動を幅広く推進するために、今後も継続して取り組む。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

自動車文庫については、学校や保育園の統廃合により、ステーションや巡回経路の見直しを行うとともに、これまで行けなかった施設の巡回を検討し、より多くの子どもたちに図書を提供していく。また、新刊の購入や定期的な入れ替え等で魅力ある蔵書構成に努める。
地区巡回サービスについては、一定の利用があり、引き続き遠隔地の市民への便宜を図る。利用が少ない地区を中心に、サービスの周知のため地区広報への掲載を依頼する。
今後も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら、サービスを継続していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	1.安心の子育てと地域に根差した教育による笑顔あふれるまちづくり			
施策	⑦生涯学習の振興			

事業番号	1711	事務事業名	青少年健全育成の推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>携帯電話やスマートフォン等の情報機器や有害図書など青少年を取り巻く問題を解決することで、青少年の健全育成を図る。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

・11月に県主催の「携帯の危険性」を学び、青少年健全育成に関する団体と情報共有を図った。
 ・「かがっ子ノー携帯 ノースマホ運動」を展開し、小学生とその保護者にチラシを配布し、啓発活動を行った。また、2年に1度の「かがっ子 ノー携帯 ノースマホ運動」のアンケートを小学校4～6年及び中学校1～3年生の保護者を対象に行った。
 ・グッドマナーキャンペーンとして、学校や保育園、駅、通学路などで挨拶やマナーに関する声掛けや通学路の見守りを行った。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	276	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	107
②									
③									
関連決算額合計									107

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>「かがっ子ノー携帯ノースマホ運動」のアンケート結果から、携帯・スマートフォンの所持率は増加傾向である。また、全国と比べ加賀市の保護者は、スマートフォンのフィルタリングの設定率が低く、特に小学生の保護者は、子どもと共有でスマートフォンを使用していることが多い。販売店頭でのフィルタリングの説明があったかとの質問についても全国と比較して「無回答」が多く、説明があっても聞き流している可能性が高い。今後とも保護者に対し、「携帯の危険性」についての情報提供などを続けていく必要がある。 グッドマナーキャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、継続して、実施し、関係団体等に対して、子どもの見守りを含めて、協力を求めていく必要がある。</p>				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

情報機器については、日々機能が更新されており、今後もますます子どもたちの情報機器の保有率が増加することが予想される。子どもたちをインターネットの利用における被害者にも加害者にもさせないために、継続して、特に保護者に、正しい使い方、啓発活動を進めていく必要がある。
 グッドマナーキャンペーンを通じて、学校、保育園、駅、通学路などでの挨拶やマナーに関する声掛け、登校時の見守りについての協力を呼びかけていく。

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2101	事務事業名	加賀温泉郷誘客促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	<p>一般社団法人加賀市観光交流機構は、観光事業者はもとより、行政や農業や漁業、地場産業などの関連産業、市民活動団体や周辺地域とも連携し、多彩な地域資源や素材を活かした観光商品づくりや、情報の発信・誘客を行うことを目的としており、市としてもその構成員として参画しながら、業務委託や事業に対する支援を行うことで、効果的に加賀市の観光推進を図る。</p>								
実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など								
	<p>一般社団法人加賀市観光交流機構への助成事業として、MICE誘致事業(延べ宿泊者6,347人)、永平寺お出かけ号運行事業(販売1,858枚)を展開し、同法人への委託事業では、体験観光・地域の魅力商品企画開発事業や、GoToトラベル事業に合わせオンライン旅行会社を活用したキャンペーン事業、都市圏でのイベントへの出展参加などによる誘客促進を図った。</p>								
	令和2年度決算								
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名
①	173	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	16,582
②									
③									
関連決算額合計									16,582
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続			
	評価に関するコメント	<p>平成26年度から、市の職員を一般社団法人加賀市観光交流機構へ派遣し、官民一体となった事業を展開することで効果的な誘客促進が図られている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、全国的に観光を控える傾向があった中、誘客促進施策を戦略的に展開した。 引き続き、同法人との連携体制を強化しながら観光施策展開することで、更なる誘客促進を図る。</p>							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	<p>令和3年度も引き続き市の職員を派遣し、市と加賀市観光交流機構が連携しながら、誘客事業や地域づくりに向けた効果的な事業を積極的に進めていく。 誘客促進に向け、ウィズコロナ・アフターコロナ対策を講じ、安心・安全な観光地であることをPRしながら、2024年の北陸新幹線加賀温泉駅開業に繋げる。</p>								

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2102	事務事業名	柴山潟周辺整備事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市整備グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	柴山潟の水辺景観を活用した片山津温泉の魅力づくりに向け、柴山潟周遊ルート整備を重点的に実施する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	「柴山潟遊歩観光ルートプロジェクト」の推進を図るため、水辺空間を活用した湖岸遊歩道工事を実施した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	230	一般会計	8	5	7	1	7	柴山潟周辺整備費	170,080
②									
③									
関連決算額合計									170,080

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	湖岸遊歩道は、堤防を利用して水辺の空間を新たに創出するもので有効性は高いが、沿線旅館の理解を得る必要がある。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	湖岸遊歩道は、沿線旅館等事業者、及び地元整備委員会の意見を踏まえるとともに、石川県の湖岸堤防工事と工程を調整し、円滑な事業推進を図る。
--------	---------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2103	事務事業名	日本遺産推進活動事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>北前船をテーマに全国の関連自治体が連携し「北前船日本遺産推進協議会」を設置、文化庁より認定された日本遺産のストーリー「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に係る関連文化財群を広域連携によるブランド化を進め、情報発信や普及啓発、環境整備等の様々な事業に取り組み、地域活性化を図るのみならず、国内外からの観光誘客を目指す。加えて、加賀市独自の北前船普及啓発事業に取り組むことにより、地域文化の振興を図り、北前船文化の継承のための人材育成につなげる。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果																																																		
	<p>加賀市独自の取り組みとして、YouTubeを活用した館内のオンラインツアーや、再現料理を紹介するイベントを実施した。新型コロナウイルス感染症の拡大により、県外への観光や遠出が難しいなか、オンラインでの観光PR、北前船の新しい魅力創出を図った。さらに、北前船の里資料館の館内ボランティアガイド養成のため、今後ガイドを目指す人のための解説ガイド本を作成した。個々のガイドの知識を集約し、情報を再確認することによって、既存のガイドのレベルも向上した。</p> <p>また、北前船日本遺産推進協議会では、会議等を通して加盟自治体及び団体と連携することにより、全国的な事業を展開し観光振興及び地域活性化の推進を図った。認定自治体の担当者および学芸員を中心に行った学芸員セミナーでは、各市町の活用事例を紹介し、展示やイベント等、今後の自治体間の連携につながる内容となった。</p>																																																		
	令和2年度決算																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>176</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>文化振興推進費</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">関連決算額合計</td> <td>542</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	176	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	542	②										③										関連決算額合計									542
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	176	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	542																																										
②																																																			
③																																																			
関連決算額合計									542																																										
<table border="1"> <tr> <td>有効性 (高い/普通/低い)</td> <td>高い</td> <td>費用対効果 (高い/普通/低い)</td> <td>高い</td> <td>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</td> <td>継続</td> </tr> </table>	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続																																													
有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続																																														

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>全国の北前船ゆかりの地の中でも、橋立町のように大規模な船主集落が形成されている加賀市を、北前船のふる里として全国にPRすることができた。石川県内は北前船ゆかりの自治体が数多く存在するため、市単体のみならず、自治体間の連携を行い、効果的に観光PRを行っていく必要がある。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)
	<p>日本遺産北前船に認定された48市町で構成する「北前船日本遺産推進協議会」では、広域連携を図り、北前船寄港地・船主集落及び北前船文化のブランド化の推進を図るため、動画や共通パンフレットによる地域紹介などの情報発信や普及啓発事業を行っていく。また、県内のみならず、関係する市町間での連携を深め、共同展示やイベントなどを推進していく。</p> <p>加賀市単独としては、北前船の里資料館や重伝建地区の更なる活性化を図るため、全国北前船研究会と協力して船主屋敷に残る資料収集整理や、全国北前船セミナーや市民講座による普及啓発を行うなど、北前船に関する取組みを更に推進していく。さらに、観光客の誘致と新たな体験観光プログラムを創出することを目的として、体験型事業の推進を図る。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2104	事務事業名	魅力的な地域商品企画開発事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀市が有する歴史、文化、自然、食などの魅力的な資源を活用し、温泉地での宿泊プラスアルファのサービスを提供することで、来訪客の満足度を高め、加賀温泉郷への誘客促進を図る。
特に、「遊ぶ」「買う」というカテゴリーを充実させ、新たな旅行商品化を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

一般社団法人加賀市観光交流機構への助成事業「加賀温泉郷誘客促進事業」において、体験観光メニュー企画を実施した。
大聖寺においては、山ノ下寺院群での寺宝・庭園・御朱印巡りを秋に4日間実施し延べ約210名の来場があった。7月下旬から8月上旬の15日間ひまわり畑の迷路アドベンチャーを実施し1200名の参加があった。11月には痛車コレクション・街かどコスプレイベントを行い300名の参加があった。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	288
②								
③								
関連決算額合計								288

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	新型コロナウイルス感染拡大のため、多くの事業が中止や参加者数の激減となったが、コロナ禍にも関わらず参加者が増加した事業もあり、地域の魅力を十分に活用できたものと評価できる。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

告知宣伝をしっかりと行い、参加者の増加を図る。
現在は屋外での体験観光が中心のため、天候に左右されないようなメニューも企画したい。
今後は、斬新で先進的な新しい体験観光メニューの企画立案を進めながら、新たな食メニューなどの魅力的な商品の企画販売を積極的に進めることとする。
ウィズコロナ、ポストコロナへの対策も講じながら、魅力的な地域商品づくりを進める。

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2105	事務事業名	温泉地回遊性向上事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀市が持つ温泉観光地としての高いポテンシャルを最大限に活かし、温泉宿での滞在のみならず、地域内の回遊性を向上させる仕掛けづくりを進めることにより、「湯めぐり」や「まち巡り」が楽しめる魅力ある温泉地として来訪客の満足度を高め、観光戦略プラン(第1次・第2次)に掲げる「1泊2日3湯4食」の滞在モデルを実現し、加賀温泉郷への誘客促進を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

一般社団法人加賀市観光交流機構への助成事業「加賀温泉郷誘客促進事業」において事業展開を図った。
 平成28年3月から実施している「ECO乗りクーポン」の販売促進では、旅行会社とのタイアップなどによる旅行商品化も進めながらSNSを活用したキャンペーン等を実施し、令和2年度は年間で5,410枚の販売となった。また温泉地の総湯を活用したキャンペーン、観光情報センターでの駅周辺でのおもてなしインフォメーション事業などを展開し、地域の回遊性向上に努めた。
 大手旅行会社とのタイアップによる個人向け旅行商品の販売促進を図り、加賀温泉郷における宿泊客の回遊性向上を図った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	3,001
②									
③									
関連決算額合計									3,001

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
--------------------------	----	----------------------------	----	------------------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

「ECO乗りクーポン」は、平成27年度当初は販売状況が芳しくない状況であったが、PRを積極的に行いながら販売促進を行った結果、令和元年度は売上高対前年比13.3%増の販売実績を上げる等、十分な成果があった。令和2年度は新型コロナウイルスの影響で売上高は落ち込んだが、回遊性を高めるサービスとして有効なツールであるため今後も継続していく。
 温泉地における回遊性向上を図る上で、総湯は核となるスポットであり、来訪者の利用促進を図ることで回遊性が高まっている。
 旅行商品においてお得な特典などを付与することで、宿泊客へのサービス向上と回遊性向上への働きかけが推進されている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

地域内の回遊性を高めることは、来訪客への観光サービス向上による誘客促進を図ることはもとより、観光消費を高めることでの地域経済の活性化にも大きく寄与するものであり、今後も官民一体となり事業を充実させていくこととする。
 特に、北陸新幹線加賀温泉駅開業に向け、地域の魅力を更に高める必要があることから、今後も引き続き事業を継続し、内容を検証しながら企画の改善も検討する。

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2106	事務事業名	観光二次交通対策事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

北陸新幹線金沢開業に伴い、金沢から加賀温泉郷への二次交通として、主たる移動手段である鉄道以外においても、多様な選択肢を提供することにより、加賀地域へのアクセスを強化し、観光客の利便性を向上することで、観光誘客の促進を図る。

加賀市と小松空港間のアクセスを改善・充実することにより、航空機の一層の利用促進を進め、観光誘客の促進と交流人口の拡大を図り、本市の経済活性化を推進する。

県と連携し小松空港を利用した旅行商品を造成し、誘客促進を行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

加賀温泉バス(株)が運行する、金沢市内と加賀温泉郷を結ぶ「温泉特急線(加賀ゆのさと特急)バス」に対して石川県とともに平成23年度から平成27年度まで助成を行い、平成28年度からは、加賀市のみでの支援でバス運行事業者主導での本格運行を開始した。山側ルートを廃止し、速達性の高い海側ルート(北陸自動車道利用)を2便に増便し、車体のPRラッピングを刷新して観光客へのPRに努めている。令和2年度における1便あたりの平均利用者数は4.6人となっている。

小松空港へのシャトルバス乗り入れは、キャンバスを1日5便運行する小松空港協議会の事業に対して支援を行っている。

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	4,808
②								
③								
関連決算額合計								4,808

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	<p>「温泉特急線(加賀ゆのさと特急)バス」は、利便性・速達性を格段に高めながら情報発信に努めることで、利用者数は堅調に推移していたが、令和2年2月後半からは新型コロナウイルス感染症の影響により急減となった。ここ数年、旅行会社の旅行商品に組み込まれるなど、金沢と加賀温泉郷を結ぶ交通手段としてなくてはならないものへと発展している。</p> <p>小松空港へのシャトルバスの乗り入れは、航空運賃の引き下げや乗り継ぎ割引などの航空利用促進対策が講じられる中、旅行会社の商品に組み込まれる等、小松空港と加賀温泉郷を結ぶ重要な「足」を確保する観点からも運行は不可欠である。一部の旅行業者では、飛行機と宿泊に当該運行便をセットした旅行プランも商品化されており、加賀温泉郷の誘客促進に向け有効活用されており効果性は高い。</p>					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

官民連携のもと、金沢と加賀温泉郷を結ぶ魅力ある二次交通手段として更なる利用促進を図ることとする。

将来的には、利用者数をさらに増やし、バス運行事業者の自立自走ができるよう採算性の高い事業化を目指す。

鉄道・空輸ともに加賀温泉郷へのアクセスの利便性を高め、誘客促進を図る。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2107	事務事業名	学生等交流事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

大学生や留学生などを市内三温泉に宿泊誘導し、加賀温泉郷の多彩な観光資源に触れる機会を積極的に提供することで、帰宅(帰国)後に口コミやSNS等で加賀温泉郷の魅力を伝えてもらえるようPRしていく。また今後の若者向けの観光施策の参考とするため、学生の事後アンケートや発表で出た意見を聴取する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学生の受け入れを見送った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	0
②								
③								
関連決算額合計								0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	参加者によるSNS発信や、若者向け誘客事業の参考となっている。参加大学からは、普段のキャンパスでは体験できない貴重なプログラムという事で、非常に人気が高い。東京大学では「活動体験プログラム」としてカリキュラムの一つとして組み込まれており、本事業が有効に活用されていることから、新型コロナウイルス感染症収束後、引き続き実施していく。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

新型コロナウイルス感染症収束後に、大学の学生に参加してもらい、都会の若者から見た加賀温泉郷の魅力を発信してもらえるよう、魅力あるプログラムを提供していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2108	事務事業名	MICE誘致促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀市内及び近隣市町で開催されるコンベンション(大会、総会、会議、学会、研修会、講習会、セミナー、シンポジウム、見本市、文化イベント、スポーツイベント、合宿、修学旅行など)において、市内で30人以上の宿泊をする場合、経費の一部を助成することとし、加賀温泉郷への団体誘客の促進を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

助成内容は、1人あたり、学会700円、合宿・修学旅行1,000円、その他(大会、総会、会議等)500円の助成金交付を行っている。
 令和2年度は、20件のコンベンション開催に対し助成を行い、市内宿泊者数は延べ5,638人泊であった。
 なお、別事業(加賀温泉郷誘客促進事業)において、MICEによる宿泊客を送客する旅行会社への助成制度も実施するなど、誘客促進の強化を図っている。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	1	5	コンベンション誘致推進助成費	5,518
②								
③								
関連決算額合計								5,518

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

加賀市内での宿泊誘致を強化するため、平成29年度からは助成対象を宿泊数が「30人以上」であるものに条件を緩和し、MICE誘致を促している。
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症による団体旅行客の減少により、前年比では-104件、-9,915人泊と大幅な減少となり、20件、5,638人泊という結果となったが、修学旅行による利用が大幅に増加した。
 新型コロナウイルス感染症の影響により新しい観光スタイルが確立される中、オフサイトミーティングや修学旅行などMICE需要に応えることは、誘客促進を図る上で有効な施策であると考えられる。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後は、首都圏から北陸へのMICE団体客や修学旅行客が増加することが予想される。北陸の中でも、加賀市を特に選択してもらえるよう、助成制度の周知、観光施設やスポーツ施設の情報提供の強化などを促進し、更なる誘客促進を図る。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2109	事務事業名	観光振興団体活動助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

石川県・近隣地域・北陸地域の自治体や観光関連団体と連携した観光振興施策を展開し、加賀温泉郷への誘客促進を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

山代・山中・片山津・粟津・辰口・白山の6温泉で組織する加賀温泉郷協議会が実施する「加賀の國温泉博」事業に対して、石川県や小松市、能美市、白山市とともに助成を行い、加賀温泉郷への誘客促進を図った。石川県観光連盟の運営に対する自治体負担金を負担し、県の観光推進体制を支援し、広域連携による誘客促進を図った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 173	一般会計	7	2	2	1	2	観光振興団体活動助成費	1,269
②								
③								
関連決算額合計								1,269

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	石川県や近隣地域の自治体や観光関連団体との連携は必要であり、今後も継続すべきものと判断する。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

単に助成金や負担金を支払うだけでなく、事業の効果検証をしっかりと行いながら戦略的な誘客事業を展開できるよう働きかけていく。

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	①戦略的な観光振興施策の推進			

事業番号	2111	事務事業名	ガーデンシティ構想推進事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市政策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

温泉地や歴史的まちなみに、花や緑の彩りを添える取り組みを市民協働で実施し、観光振興、商業振興など地域の活性化につなげるガーデンシティ構想推進プランを推進する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

花苗配布などにより、花や緑を活かした景観まちづくり活動をする団体や個人「加賀市もてなしガーデナー」が、前年度比で2割増加し、活動の広がりを見せている。
また、国道8号に設置した大型プランターの花の植え替えを、沿線事業者などの協力により実施し、花と緑による景観の向上を図った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	230	一般会計	8	5	7	1	1	修景緑化整備費	2,446
②									
③									
関連決算額合計									2,446

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	本市の主要幹線道路である国道8号において、花や緑による景観まちづくりの効果が見られるが、部分的であるため、さらなる延伸を図る必要がある。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

もてなしガーデナーへの支援を拡充し、緑化活動の継続と広がりを促進する。また、国道8号における花と緑の景観向上について、理解が得られていない沿線事業者や町内会へ、粘り強い働きかけが必要である。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進			

事業番号	2201	事務事業名	三温泉観光誘客助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

三温泉の観光関係団体が実施する観光情報の発信や宣伝事業、北陸新幹線金沢開業効果を継続させるためのソフト事業、鉱泉の維持管理や新規掘削する事業を支援することにより、それぞれの温泉地が共に競い合いながら魅力を高めることで世界から選ばれる温泉共創地を実現するための環境づくり及び観光の振興を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

三温泉観光協会が実施した、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ウェブ等を使った広告宣伝、観光宣伝資料の作成、都市圏への出向宣伝、ホームページを活用した効果的な情報発信のほか、加賀温泉郷を総合的にPRするための事業費に対して補助を行った。

また、三温泉で新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光需要回復を目的として、コロナ対策及びアフターコロナを見据えた事業を行い、山代温泉観光協会によるあいうえおの郷PR事業や大手旅行会社とのタイアップ事業、山中温泉観光協会による夜の回遊性を狙ったライトアップ事業やフォトコンテストの実施、片山津温泉観光協会によるJALオンライントリップと連携した宣伝事業・片山津温泉魅力発見イベント、ライトアップイベントなどの事業費に対して補助を行った。

鉱泉源保護施設助成事業として、三温泉(柴山温泉含む)の源泉管理者が行う、湯湯設備に係る湯量計測器の維持管理、ポンプ等の修理代、電気料等の経費や、各種修繕工事費に対して補助を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	39,000
②									
③									
関連決算額合計									39,000

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

三温泉地や加賀温泉郷全体の観光情報の発信、宣伝事業やソフト事業を展開し、効果的な情報発信や温泉地の活性化が図られる。各温泉地が独自の事業を展開することで、それぞれの個性を最大限に活かした魅力的な観光施策が展開されている。

また、北陸有数の三温泉地を抱える加賀市において最も重要な資源の一つである「源泉」に関する施設の適切な管理・保護を推進することにより、旅館などの温泉施設に安定的に供給され、温泉観光地としての安心安全が確保されている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

加賀市の観光振興のため、本来、市が主体となって行うべき温泉地の魅力づくりや観光情報の発信を中心とした、経常的な総合観光事業と都市圏や海外に向けた戦略的な誘客事業に対する補助を行い、加賀温泉郷の情報発信、知名度の向上につなげる。

また、鉱泉源保護施設助成事業を行い、市内の管理受給施設に公平、かつ安定的に源泉が供給されるように努める。

温泉観光地として、ウィズコロナ・アフターコロナ対策を講じ、安心・安全な観光地であることをPRしながら、2024年の北陸新幹線加賀温泉駅開業に繋げる。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進			

事業番号	2202	事務事業名	観光地ブランド化推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

温泉地に代表される主要観光地の活性化を図るため、「新ほっと石川観光プラン」を踏まえ、市が策定する「加賀市観光戦略プラン」に基づき、観光資源のブランド化などのソフト事業に対し県と共同で支援を行う。新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業、外国人観光客の受入整備に係るソフト事業を対象とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

主な取り組みとしては、三温泉がそれぞれの温泉地の個性を活かし、山代温泉では夜の散策を誘因するライトアップ事業やテレビCM発信事業など、山中温泉では夜の回遊性を狙ったキャンドルナイトイベントや伝統工芸を活用したオープンファクトリー事業など、片山津温泉は新型コロナ感染対策を行った納涼花火大会、加賀温泉郷湯札クーポン事業などを実施した。
この事業において温泉地は、それぞれ単独で行う事業のほか3温泉地が連携した事業も実施している。事業費の負担割合は、単独事業が市1/2、地元1/2であり、連携事業が県1/3、市1/3、地元1/3で、市からは県の補助金と合わせて助成した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	1	6	観光地活性化推進費	12,998
②								
③								
関連決算額合計								12,998

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	<p>三温泉それぞれが個性を磨くべく取り組むソフト事業に対し、企画や試行にかかる費用も含めて支援した。結果が芳しくなければ取りやめて方向転換することができ、各温泉地とすれば全額地元負担で新規事業に取り組むリスクが軽減できる。その結果、自由で大胆な企画もでき、各温泉がもつブランドの可能性を大いに拡げることができる。 本事業は、石川県からの支援も受けながら三か年単位で事業を実施するものであり、採算ベースにのって自立できれば全額地元負担で継続でき、結果が芳しくなければ取りやめて方向転換することができることから、長期的視点での効果は高いと言える。</p>					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

平成29年度から観光団体が単独で実施する場合の補助の上限額が減額になり、新たに観光団体が連携した取り組みに対しての支援枠が設けられたことから、これまでの温泉地毎の取り組みをつなげ加賀温泉郷全体での魅力を確立するとともに、都市圏を中心に継続的に情報発信を行う。
三温泉それぞれの個性や魅力を際立たせるとともに、加賀温泉郷全体の魅力として効果を上げられるよう、事業内容の改善を継続する。
事業の新しさ、費用対効果、採算性などを重視して支援・指導し、採算ベースにのって自立できるように促す。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進			

事業番号	2203	事務事業名	芸妓活動支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>後継者の減少により、山中節をはじめとする伝統芸能および温泉地の個性でもある芸妓文化の伝承が危機に瀕している。 郷土の芸能文化を後世へと継承するため、芸妓を目指す若手後継者の活動を支援するとともに芸妓団体の活動支援を行う。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>若手芸妓1名には、芸の習得や舞台等への出演に要する活動費用を1か月あたり50,000円(年間60万円)を上限に支援を行った。 また、伝統芸能と芸妓文化を継承するために、芸妓団体の活動費用や若者に対する芸妓体験を通じた勧誘に対し支援を行った。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173	一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	3,000
②									
③									
関連決算額合計									3,000

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>日本遺産北前船のストーリーの一部でもある、加賀市を代表する伝統芸能山中節を中心とした演舞は、短時間で加賀市のイメージを伝えることができる貴重な機会でもある。令和2年度秋に開催された加賀温泉駅開業50周年フォーラムの催し物に積極的に参画するなど、加賀温泉郷の広告塔として活躍している。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>伝統芸能と芸妓文化を伝承するため、舞台で使用する道具類、ベテラン芸妓も含めた稽古にかかる費用に対しても助成を行うことで、芸妓全体の質の向上と人材育成を図る。また、新たな人材発掘のための芸妓体験を充実させる。 後継者不足による今後の活動への影響が懸念されるが、活動の継承に向け必要な支援を今後も継続して行う。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進			

事業番号	2204	事務事業名	温泉観光地景観保全事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

山代温泉・片山津温泉の環境や景観を整備・保全することにより、観光客等が快適な散策や休憩ができる環境を維持し、魅力的な温泉観光地として地域の環境美化の向上を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

山代温泉については、萬松園、足湯、大堰宮公園園路、薬王院周辺及び園路、服部神社、薬王院温泉寺、真菰池休憩所、歌碑、女男生水周辺、県道小松山中線、ミニパーク内モニュメント、各種ライトアップ設備などの除草、剪定、清掃、維持管理など、山代温泉観光協会が行う環境整備や景観保全事業の経費について、一部助成を行った。

片山津温泉については、湯の元公園、新堀川周辺、湯の曲輪広場、配湯所周辺、柴山湯噴水及び関連施設などの除草、剪定、芝管理、清掃、維持管理など、片山津観光協会が行う環境整備や景観保全事業の経費について、一部助成を行った。

また、赤穂公園の清掃活動や維持管理費について、一部助成を行った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	1	4	観光地景観保全助成費	5,000
②								
③								
関連決算額合計								5,000

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	環境整備や景観整備により、観光地における快適な空間の提供が行われており、観光客等が快適な散策や休憩ができる環境づくりと地域の環境美化の向上が図られている。 また、費用負担の割合を、光熱費の3分の1以上、その他維持管理費の2分の1以上を地元が負担され、十分な費用対効果が得られており、今後も継続して支援を行っていく。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

補助対象範囲や対象箇所、実施内容について、各観光協会と確認しながら、事務事業内容の改善に努める。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進			

事業番号	2205	事務事業名	加賀温泉郷DMOによる温泉旅館雇用促進プロジェクト事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

日本版DMOに登録された「一般社団法人加賀市観光交流機構」が中心となり、その構成員である「行政」「温泉旅館」「各種団体や事業者」等のコンセンサスを得ながら、地域の基幹産業である温泉旅館が抱える人手不足の解決を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

温泉旅館への若者の就労促進を目的に、加賀温泉郷専用採用サイト「KAGARルート」を運営し年間で32,286人のサイト利用者、40,356回の閲覧があり、58件の応募があった。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	1	11	観光振興推進事業費	868
②								
③								
関連決算額合計								868

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	人手不足が課題となる宿泊産業において、働き方改革を進め就労環境の改善を図りながら就労者の確保に繋げた。加賀温泉郷専用の求職サイト「KAGARルート」では、取り組みにより認知度が向上し、32,286名(昨年度25,486名)に利用いただいた。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

令和元年度をもって国の地方創生推進交付金事業が終了したため、国の支援なしで事業展開を図る。事業内容を見直し、効果的と判断される加賀温泉郷専用の求職サイト「KAGARルート」の運用に特化した事業を進める。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進			

事業番号	2301	事務事業名	出向宣伝事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

首都圏を中心に、関西、中京などの都市圏、北陸新幹線沿線地域などにおいてPR活動を行うことにより、加賀温泉郷の知名度の向上を図りながら新たな観光客層の需要創出を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、都市圏でのイベントや旅行会社やメディアに対する商談会の多くが中止になった。
出向宣伝の機会が少ない中、東京で開催されたJAL日本博ではブースを出展し、加賀市のPRを行い、片山津温泉の水引きづくり体験やパンフレット配布などによる誘客活動を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173	一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	95
②									
③									
関連決算額合計									95

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	官民が一体となり観光PRを推進する中で、行政が積極的に事業展開を図ることで、加賀温泉郷全体での連帯感や一体感が生まれ、効果的な誘客プロモーションが図られる。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

北陸新幹線金沢開業効果を維持させながら、関西や中京などの都市圏、金沢などの近隣地域へ観光PRを推進する。
また、2024年北陸新幹線敦賀延伸や2025年大阪万博などを見据えた観光プロモーションを戦略的に展開する。
今後は、ウィズコロナ、ポストコロナを意識しながら、対象地域や出向時期などを的確に捉え、効果的な宣伝活動を展開する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進			

事業番号	2302	事務事業名	都市圏プロモーション事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>北陸新幹線金沢開業効果の継続と2024年の県内全線開業に向けた話題性を高めるため、加賀温泉郷が連携し、地域の魅力を高めながら、都市圏における観光PR活動を強化し、観光誘客の促進を図る。</p> <p>地域の魅力づくりや観光情報発信において優れたノウハウを有する事業者(株式会社リクルートライフスタイル)にプロモーション業務を委託し、加賀市観光戦略プラン(第1次・第2次)に基づく効果的な観光誘客施策を戦略的に展開する。</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>将来、顧客の中心となる若者に対する加賀温泉郷の認知度が低いこと、若者が楽しめる施設や体験、食において魅力的なコンテンツが少ないことから、令和2年度も令和元年度に引き続き若者向けの誘客施策「加賀アオハル」事業を展開し、若者がお得に宿泊や体験、食事ができるメニューを多数企画し、SNSを活用したプランなどによる情報発信の強化を図り、加賀温泉郷の話題性を向上させながら誘客促進を図った。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	15,000
②								
③								
関連決算額合計								15,000

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光客数が激減する中、コロナ収束後を見据えた戦略的な観光プロモーションを展開することで、予約者年齢構成比(20~29歳)が28.3%(昨年度23.9%)と増加し、若者を中心に話題性が向上し効果が得られている。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>都市圏はもちろん、近年大きく減少傾向にある近隣地域や新幹線沿線地域、また新型コロナウイルス感染症により増加するマイカーでの旅行なども見据えた誘客強化を図る。</p> <p>インターネットによる効果的な情報発信や旅行会社とのタイアップを強化しながら首都圏市場を開拓しながら、関西圏や中京圏からの誘客活動にも注力し、新たな顧客ターゲットへの誘客プロモーションを展開する。</p> <p>特に、若者の来訪を促すための話題性のある先進的な誘客事業を企画する。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進			

事業番号	2303	事務事業名	旅行商品企画販売促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

旅行会社とのタイアップによる加賀温泉郷への旅行商品の企画造成を進め、都市圏をはじめとする国内からの誘客促進を図る。
都市圏の旅行会社や交通機関への営業訪問(トップセールス)を実施し、旅行商品の企画造成と営業販売を促進する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

JTB、日本旅行、近畿日本ツーリストとタイアップをし、加賀温泉クーポン企画など加賀温泉郷企画商品造成をおこない、誘客促進を図った。
ハレの日料理開発事業では、旅行商品として取り扱われるような記念日料理を開発し、魅力ある北前船の文化を全国に発信した。
令和2年度も都市圏でのトップセールスを継続して実施し誘客強化を図る予定であったが、中止となった。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	15,416
②								
③								
関連決算額合計								15,416

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	タイアップ先の旅行会社も事業費を投じるなどして加賀温泉郷への送客に尽力させることができている。旅行商品の中での特典も浸透し、北陸への旅行商品の中でも存在感を示し、誘客促進に繋がっている。事業には民間事業者も共同参画しており官民連携での事業展開が図られている。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

インターネットによる宿泊予約も大きく増加しているが、リアルエージェントによる窓口販売もまだまだ重要であることから今後も旅行会社とのタイアップ商品の企画販売を継続させる。
旅行会社に対しては、目標数値や達成度も報告させ、費用対効果についての検証・分析も行っていく。
トップセールスに関しては、首都圏、関西圏、中京圏において実施し、2024年の北陸新幹線敦賀延伸、2025年の大阪万博を見据えながら加賀温泉郷への送客を促すよう営業活動を積極的に展開する。
事業の実施にあたっては、ウィズコロナ、ポストコロナへの対策を踏まえた旅行商品の販売促進PRを展開する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進			

事業番号	2304	事務事業名	加賀温泉郷情報発信事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀温泉郷全体が連携して総合的な観光情報の発信や宣伝事業を展開し、また加賀温泉郷の魅力を効果的にPRすることで、観光誘客の促進を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

一般社団法人加賀市観光交流機構に業務委託し、加賀温泉郷の観光情報を一元的に発信した。新聞やラジオなどで旬の情報を発信し、加賀市観光ポータルサイトによるインターネットでの情報発信の強化を図るとともに、パンフレットやマップなどの刷新增刷など観光資料も充実させた。都市圏に向けては、例年PRキャラバンに出向し情報発信をしているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったため、代わりに著名なインフルエンサーを招聘し、SNSによる情報発信を行った。また、加賀楓氏を加賀温泉郷観光大使に任命し、市内イベントへの参加による賑わいづくりや魅力発信事業を展開した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173 一般会計	7	2	2	2	1	観光宣伝事業費	13,826
②								
③								
関連決算額合計								13,826

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	観光情報を一元的に発信することで、効果的なPRが図られた。 温泉地のみならず加賀市における総合的な地域の魅力をPRし、加賀温泉郷全体の賑わいづくりと情報発信の強化に繋げている。 また、2024年に予定されている北陸新幹線加賀温泉駅開業に向け、市内外での効果的な話題づくりが展開できており、開業に向けた気運の醸成に繋がっている。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

引き続き、加賀温泉郷全体の情報発信に注力し、知名度や話題性の向上につながるよう事業内容を更に改善する。
 費用対効果や採算性などを重視し、観光情報の一元的な管理と効果的な発信を促す。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進			

事業番号	2402	事務事業名	越前加賀インバウンド推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

宗教文化資源を有する福井・石川県境を挟む5市町(あわら市、坂井市、勝山市、永平寺町、加賀市)が連携し、設立した越前加賀インバウンド推進機構において、宗教文化のみならず、地域の食や温泉、自然の造形美などの観光資源を生かし、広域連携による海外への情報発信やプロモーションを行い、観光誘致を推進する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

訪日外国人接客セミナーの開催、広域連携DMO設立検討調査など、広域での観光プロモーションや受入環境整備を展開した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173	一般会計	7	2	2	1	13	インバウンド推進費	3,862
②									
③									
関連決算額合計									3,862

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、全国的に海外からの誘客は厳しい状況の中、今後の回復期における訪日外国人の受入のため、広域で連携事業を展開した。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

令和3年度も引き続き海外からの誘客は厳しい状況ではあるが、越前加賀インバウンド推進機構の組織の一層の強化・充実を図りながら、戦略的に事業を展開していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進			

事業番号	2403	事務事業名	海外都市交流事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>海外都市との友好関係をベースとした交流により、交流人口の拡大、インバウンドの推進、次世代の国際力の育成、地域の活性化を推進する。</p>
	<p>海外都市との友好関係をベースとした交流により、交流人口の拡大、インバウンドの推進、次世代の国際力の育成、地域の活性化を推進する。</p>

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>台湾との交流では、台南市と共催で、「小学生九谷焼絵皿イラストコンクール」を実施し、パネル展示を行った。また、12月にエストニア共和国のヴァイノ・レイナルト特命全権大使が来市し、エストニアにおける電子行政サービスについて講演を行った。当初予定していた、台湾やシンガポールとの教育・文化交流などは中止や次年度に延期となった。</p>
	<p>台湾との交流では、台南市と共催で、「小学生九谷焼絵皿イラストコンクール」を実施し、パネル展示を行った。また、12月にエストニア共和国のヴァイノ・レイナルト特命全権大使が来市し、エストニアにおける電子行政サービスについて講演を行った。当初予定していた、台湾やシンガポールとの教育・文化交流などは中止や次年度に延期となった。</p>

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	166	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	723
②									
③									
関連決算額合計									

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	新型コロナウイルス感染症拡大により、予定していた多くの海外都市交流事業を行うことができない中、エストニアや台湾などと交流を行い交流人口拡大につながった。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>新型コロナウイルス感染症収束後に、スムーズに交流が再開できるよう、友好都市等の担当者と継続的に情報交換を行う。アジアのみならず他諸国など新たな地域の活力を加賀市へ引き込むため、友好関係をベースとした交流を今後も継続し、観光や経済、文化、教育交流、ICTなどより幅広い分野への交流進展に取り組む。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進			

事業番号	2404	事務事業名	インバウンド戦略事業(情報発信)		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	海外に向けて積極的なPRを図ることで海外からの誘客を図り、温泉地の活性化に繋げる。								
実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など								
	海外で知名度の高い日本人・蜷川実花さんを市に招聘し、SNSを通して加賀市のPRを海外向けに行った。石川県と連携し、アメリカの旅行会社向けにバーチャルツアーをzoom上で実施した。参加者数は、164名(zoomアカウント数)であった。								
	令和2年度決算								
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名
①	167	一般会計	7	2	2	1	13	インバウンド推進費	1,007
②									
③									
関連決算額合計									1,007
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続			
	評価に関するコメント	コロナ禍において、SNSやWeb会議システムを活用したPRを実施した。また、インフルエンサーの招聘により、宿泊地や観光地としての加賀温泉郷の認知度の向上が図れた。							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えながら、海外都市交流事業との連携により、友好関係をベースとした誘客を図る。さらに、海外のインフルエンサーや海外旅行社の招聘等行うことで、加賀温泉郷の国際的知名度を高める。								

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進			

事業番号	2405	事務事業名	インバウンド戦略事業(受け入れ体制整備)		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	外国人観光客の利便性の向上、満足度の向上を実現するため、受け入れ体制を整備し、外国人が訪れやすい観光地づくりを行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	令和2年4月までは観光案内所へ外国人スタッフのインバウンドコーディネーターを配置し、外国人観光客への案内や外国語での問い合わせへの対応を行った。 受け入れ環境整備としては、観光文化施設等のトイレの洋式化や英語の解説パネルの整備、市英語観光情報ウェブサイトのリニューアルや着地型英語パンフレットの作成を行った。 また、市内の宿泊事業者が、国の新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策関係補助金を活用して実施する外国人旅行者受入環境整備事業に対し、市も支援を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	167	一般会計	7	2	2	1	13	インバウンド推進費	24,509
②	168	一般会計	7	2	3	7	6	インバウンド受入環境整備費	46,153
③									
関連決算額合計									70,662

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	観光文化施設等のトイレの洋式化や英語の解説パネルの整備、市英語観光情報ウェブサイトのリニューアルや着地型英語パンフレットの作成など、受け入れ体制整備を進めることができた。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えながら、今後加賀温泉郷を訪れる外国人観光客の満足度の向上を実現するために、さらに受け入れ体制を整える必要がある。引き続き、外国語観光情報ホームページの情報追加や更新、多言語化など外国人観光客の訪れやすい環境づくりを進めていく。
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進			

事業番号	2406	事務事業名	国際力のある地域づくり事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	定住外国人や外国人観光客の増加など、地域に広がる国際化の需要に幅広く対応し、国際力のある地域づくりを目指す。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																																	
	増加する在住外国人等への日本語学習機会を提供するため日本語教室を開催した。また、地域の国際化及び市民の国際理解を推進する目的で、英語や韓国語の外国語講座を通年にて開講した。さらに、庁舎内多言語化事業で、外国語の申請資料や案内文書、指差しツールの作成及び通訳機の導入を行い、在住外国人が市役所に来庁しやすいよう整備した。																																																	
	令和2年度決算																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>166</td> <td>一般会計</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>14</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>国際親善交流費</td> <td>643</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">関連決算額合計</td> <td>643</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	166	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	643	②										③										関連決算額合計								
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	166	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	643																																									
②																																																		
③																																																		
関連決算額合計									643																																									

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	新型コロナウイルス感染症拡大のため、日本語教室の開催を延期した時期もあったが、増加する在住外国人等へ日本語学習機会の提供ができた。また、庁舎内多言語整備で、外国語の申請資料や案内文書、指差しツールの作成及び通訳機の導入を行い、在住外国人が市役所に来庁しやすい環境を整えることができた。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	在住外国人の増加傾向は変わらず、日本語学習への需要が増していることから、日本語教室を継続して開催する。また、新型コロナウイルス感染症に関する情報の多言語化を進め、在住外国人への情報周知に努める。来庁される外国人の相談が増えているため、行政における通訳や翻訳サービスのスムーズな提供方法を検討する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進			

事業番号	2407	事務事業名	インターナショナルスクール合宿誘致事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

都市圏のインターナショナルスクールが市内宿泊施設にて合宿を行う機会を利用し、市内小中学校等で学校交流を受け入れることにより、グローバル社会で活躍できる国際感覚に優れた人材の育成と英語教育へのモチベーション向上に繋げる。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

例年、名古屋インターナショナルスクールから生徒、引率者が来市し、交流を行っているが、令和2年度はコロナ禍のため、中止した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 166	一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	0
②								
③								
関連決算額合計								0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	令和2年度は実施していないが、例年小学校での受入れし、英語交流など多くの児童生徒が交流に参加することにより、国際交流が進み、成果はでている。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

グローバル化社会が進む近年、英語教育や国際教育の必要性が増している状況から、当事業を継続して実施する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	④海外都市交流とインバウンド観光の推進			

事業番号	2408	事務事業名	ジャパンテント受入事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

市民と外国人との交流を通して、地域の活性化を促し、市民の国際理解の向上や地域の多文化共生の意識向上にもつながる。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

例年、夏休み期間に留学生が市内のホストファミリーにてホームステイを行い、高校生との交流を実施して、その後も互いに連絡を取り合ったり、訪問し合うなどの交流が見られるので、効果があると思われるが、令和2年度はコロナ禍のため、中止した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	166 一般会計	2	1	14	1	1	国際親善交流費	0
②								
③								
関連決算額合計								0

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	令和2年度は実施していないが、例年、グローバル社会の進展により、子どもの国際感覚の醸成、グローバル社会に対応できる人材の育成への意識が高まっている。ジャパンテント後も互いに連絡を取り合い、訪問し合うなど交流に広がりが見られ効果がある。今後コロナ禍収束後は、受け入れ家庭の募集について、ホストファミリー経験者の口コミなどにより、新規獲得に努める。また、リピーターの獲得にも努める。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

幅広い視野とグローバル感覚を養う目的から、引き続き市内の高校生など青少年との交流を取り入れる。また、青少年を含む市民の国際理解向上のため有効な事業であることから、今後とも継続して実施及び支援(助成)を行う。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	⑤国内都市との広域交流の推進			

事業番号	2501	事務事業名	国内都市交流事業		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	国内友好都市との経済や文化、スポーツ等の交流を支援することにより、交流事業の活性化を図る。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	例年、弓道連盟による新発田市との親善試合参加や、加賀特産品協同組合の新発田市あやめ祭り物産展の参加等の親交があるが、令和2年度はコロナ禍の影響で実施していない。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	166	一般会計	2	1	14	2	1	国内都市交流費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	令和2年度は実施していないが、例年、新発田市など他都市との交流等で親交を深める効果が期待できる。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	引き続き国内友好都市との交流支援助成を行う。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	⑥伝統文化の継承・文化活動の充実			

事業番号	2601	事務事業名	祭礼行事助成費		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	誘客推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

伝統ある市内の祭礼行事は、開催地域の一体化を図り地域活性化と観光振興に寄与することから、祭礼開催費に対し助成することで、伝統ある祭礼を守り継続させる。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、助成対象の祭事は開催中止となった。ぐず焼まつりの記録冊子の作成事業に対し、助成を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	173	一般会計	7	2	2	1	1	祭礼行事助成費	300
②									
③									
関連決算額合計									300

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	加賀市の伝統的祭事への助成により、伝統文化の伝承、地域の賑わい作りに寄与している。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

加賀市の伝統文化の継承、地域の賑わい創出に向け、今後も継続して助成する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	⑥伝統文化の継承・文化活動の充実			

事業番号	2602	事務事業名	伝統文化・芸能伝承の支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	古九谷修古祭及び山中節全国コンクールの開催に対し助成を行うことを通して、加賀市を代表する伝統文化・芸能を伝承するとともに全国に広く発信し知名度を高める。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果																																																	
	古九谷修古祭及び山中節全国コンクールの開催に対し助成を行っているが、古九谷修古祭は令和元年度より未実施、山中節全国コンクールについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度については中止とした。事業実施はできなかったが、両事業とも加賀市を代表する伝統工芸・芸能を伝承するとともに全国に広く発信している。																																																	
	令和2年度決算																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>176</td> <td>一般会計</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>文化振興推進費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">関連決算額合計</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	176	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	0	②										③										関連決算額合計								
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	176	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	0																																									
②																																																		
③																																																		
関連決算額合計									0																																									

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	古九谷修古祭については、九谷古窯を擁する九谷焼発祥の地・加賀市を継続的にPRしている点で有効性は高い。また、実行委員会による主体的な活動が基盤となっており、比較的低額な補助金(200千円)であることから費用対効果は高いが、令和元年度より休止している。 山中節全国コンクールについては、市指定無形民俗文化財である「山中節」を継承・発展させるための貴重な発表の場となっており、有効性は高い。また、山中節の伝承及び普及を図ることにより、観光客の誘致促進、山中温泉のイメージアップにつながる。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)
	両事業に共通して、民間の実行委員会による事業であることから、自発的な活動活性化を促しながら、継続的な支援を通して伝統文化の継承・発展を実現していく。この実現のためには、地域住民の積極的な参加と若年層の取り込みが必要と考えられ、市として地域住民や将来を担う若者たちが郷土の伝統文化に興味を持ち、知識を深めることにより、誇りを持って参加していくような仕掛けを検討していく必要がある。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	⑥伝統文化の継承・文化活動の充実			

事業番号	2603	事務事業名	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

世界で初めて人工雪の作成に成功した中谷宇吉郎、「日本百名山」で知られる深田久弥、奥のほそ道の途中で山中温泉、大聖寺で句を読んだ松尾芭蕉など、当市ゆかりの偉人たちを広く全国発信することを目的に、公募展を実施するほか、松尾芭蕉関連の事業への参加や関係自治体との連携を行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施状況

中谷宇吉郎雪の科学館では、雪のデザイン賞を実施していたが、令和元年度をもって休止とし、令和2年度では、中谷宇吉郎生誕120周年を記念し、公式Youtubeチャンネルの開設や、雪の科学館館長が自然科学の疑問に答えるオンライン企画を実施し、あらたな形で中谷宇吉郎の功績を発信する事業を展開した。
 深田久弥山の文化館は全国山の日協議会全国大会に加盟し、『日本百名山』の著者・深田久弥生誕地加賀市を全国発信した。
 松尾芭蕉関連自治体との交流について、奥の細道サミット及びおくのほそ道の風景地ネットワークに参加し、芭蕉ゆかりの地加賀市を全国発信した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	176	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	50
②	177	一般会計	10	5	3	7	6	雪の科学館企画事業費	1,322
③									
関連決算額合計									1,372

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	松尾芭蕉については、ゆかりの地の自治体に参加する「奥の細道サミット」や「おくのほそ道の風景地ネットワーク」に参加し、自治体交流を行っている。 雪の科学館では、公式Youtubeチャンネルの開設や、オンライン企画などあらたな事業展開を行っているが、周知不足の面も否めない。 近年の登山ブームにより『日本百名山』への関心が高まり、8月11日の山の日も制定され、深田久弥の知名度も向上しつつある。 以上より、加賀市ゆかりの人物の業績を顕彰する事業の推進は、温泉地にとどまらない加賀市の文化的側面をPRするうえで、有効性及び費用対効果は高く、継続は必要と認める。					

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

松尾芭蕉ゆかりの地として他自治体と連携して、いかに観光誘客につなげていくかが課題となる。雪の科学館では雪のデザイン賞を休止し、新たにオンライン企画など展開し、情報発信を行っている。深田久弥の全国発信については、深田久弥山の文化館の指定管理者を中心に、山の日にあわせた事業や深田久弥終焉の地である葦崎市との連携を行うことにより一層の全国発信につなげていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	⑥伝統文化の継承・文化活動の充実			

事業番号	2604	事務事業名	文化体験プログラムの充実事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	九谷焼美術館

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

九谷焼窯跡展示館において「絵付け体験」「蹴ロクロ体験」を実施し、加賀市を代表する伝統工芸である九谷焼の技術の高さを体感してもらい、九谷焼を身近に感じてもらうとともに、理解を深めることを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

九谷焼窯跡展示館での「絵付け体験」「蹴ロクロ体験」を年間を通じて実施している。また、窯で焚く伝統的な上絵付け窯である錦窯の焼成を一般公開している。(絵付け体験:423人、蹴ロクロ体験:コロナ禍により中止)

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	10	5	3	9	1	管理委託費(事業費)	171
②									
③									
関連決算額合計									171

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
内部評価 評価に関するコメント	伝統的な蹴ロクロによる体験や錦窯焼成を公開することで、九谷焼の制作に関する知識・理解を深め、九谷焼の振興に寄与しているとともに、九谷焼の魅力を来館者に伝えることでリピーターを増やすことにつながっており、有効性は高い。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後も観光客のニーズに応じた魅力的な企画展や事業の開催をするとともに、体験施設としての館の独自性を広く情報発信することで更なる入館者の増加につなげる。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	⑥伝統文化の継承・文化活動の充実			

事業番号	2605	事務事業名	市民文化活動の促進と支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	各展観施設において、来館者に展示の理解をより深めてもらうために、ボランティア解説員による展示解説を行う。来館者の満足度の向上と解説員の学習意欲の高揚や生きがい創出、社会貢献につながる。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果
	<p>ボランティア解説員を展観施設ごとに受け入れており、団体客や希望者の事前予約を受けて展示解説を行っている。</p> <p>【解説員の人数と実績】 (直営施設)九谷焼美術館：14名、0回、北前船の里資料館：5名、27回 (指定管理施設)深田久弥山の文化館：2名、500回 ※九谷焼美術館は、新型コロナウイルス感染症対策の観点より令和2年度は実施していない。 ※中谷宇吉郎雪の科学館及び九谷焼窯跡展示館は実験や体験等専門性が求められることから、職員が必ず対応。 ※魯山人寓居跡いろは草庵は、ボランティアガイドはおらず、職員が対応。</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	10	5	3	5	4	九谷焼美術館運営費	0
②	177	一般会計	10	5	3	6	3	北前船の里資料館運営費	16
③	177	一般会計	10	5	3	6	6	北前船の里資料館企画事業費	120
関連決算額合計									136

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	来館者が解説員による説明付案内を受けることにより、展示物への理解を一層深められるため、事業として有効である。また、ボランティアであることから解説は無料であり、解説員への謝礼は交通費程度で費用対効果も高い。来館者の満足度も高く、各解説員の学習意欲も向上していることから、今後も継続して行うことが望ましい。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)
	解説員の高齢化が進んでいることから、新たな人員の確保を行うためにも、解説員の養成講座の開設等を検討するとともに、既存の解説員やそのグループに対しては、テキストとなる専門解説書の貸出しや、市芸芸員による解説指導等継続的な活動支援を行うことが必要である。旅行形態の変容に伴い、個人旅行者にも気軽に求められる解説員の対応制度を検討する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	⑥伝統文化の継承・文化活動の充実			

事業番号	2606	事務事業名	「坂網猟」保存事業		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	環境政策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>鴨池の自然環境は、伝統的猟法である坂網猟とともにあることで保たれてきた側面を有しており、この坂網猟を後世に受け継ぐため、新人猟師の育成を目的とした3年間の補助を行うことで、人材を確保し、もって自然環境の継続的な保全を図る。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>平成24年度から坂網猟師後継者育成を開始しているが、令和2年度には6名に対して補助を実施。延べ32名に対して支援を行っている。</p>
------	------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	209	一般会計	4	2	3	2	16	湿地保全対策費 (坂網猟師後継者育成)	180
②									
③									
関連決算額合計									180

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>坂網猟に従事する者の高齢化が進む中、伝統的猟法の継承と本猟を介した片野鴨池の自然環境の保全等を継続的に行っていくための人材を確保することができた。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>坂網猟に従事する人材の確保により、県登録有形文化財である坂網猟の継承を図るとともに、環境保全協力団体の強化や観光資源としての発信を図る。</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり			
施策	⑥伝統文化の継承・文化活動の充実			

事業番号	2607	事務事業名	山中節振興会活動事業		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	<p>山中節振興会は、伝統芸能「山中節」の底辺拡大、次世代へ継承するための様々な事業を行っている。また、山中節の普及、広報活動を行い山中節の知名度向上に取り組んでおり、これらの事業実施に対し補助金を交付することにより、山中節の更なる普及と継承を図る。</p>								

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果									
	<p>コロナ禍の影響により、施設が休館となり、計画事業の開催が予定より大幅に減り、補助金額を減額とした。「少年ふるさと山中節教室」(17回開催)、「山中節認定審査会」、「山中節道場」(開催なし)、「山中節カルチャー教室」(唄教室4月に3回、開催)、「山中節唄いやんこ」を実施した。また、特別事業として、山中青年団に1回指導を行った。</p>									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	237	一般会計	2	1	12	7	2	伝統文化継承費	232
②										
③										
関連決算額合計									232	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>本事業は、山中節振興会へ補助を行い、伝統芸能である山中節の伝承、保存に寄与することを目的としており、今後も継続が必要である。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)								
	<p>「少年ふるさと山中節教室」、「山中節カルチャー教室」、「山中節認定審査会」等は山中節の普及や底辺拡大に効果を上げている。また、特別事業として、山中青年団、山中婦人会を指導する取組を行い、今後も山中節の普及や底辺拡大に向け継続して活動する。一方で伝承、保存に不可欠な講師が不足しており、新たな指導者育成が課題となっていることから指導者講座等実施し、継承を図っていく。</p>								

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	①産学官連携によるまちづくりの振興			

事業番号	3102	事務事業名	産業人材育成支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	市内事業所の経営者及び従業員の能力の向上などを目指した取組の支援を行うことで人材育成を図り、それをもって企業の安定・発展を促し、地域産業の振興を図る。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	市内事業所の経営者及びその従業員を対象に、産業人材としての能力開発を目的としたセミナー、講習会など、以下の6つの研修事業等に対し、開催への支援を行った。 ①全業種共通研修(計10回、延べ244人が参加) ②業種別研修(計10回、延べ78人が参加) ③経営力向上研修(計4回、延べ95人が参加) ④研修助成(計1事業所、延べ2人に助成) ⑤技術伝承研修(計3回、延べ22人が参加) ⑥女性活躍研修(計4回、延べ89人が参加)

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	2,200
②									
③									
関連決算額合計									2,200

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	企業の将来を担う人材の育成を図るためには、継続的に研修プログラムを企画、実施することが重要であると考えられるが、市内の大半を占める小規模事業者にとって、自ら実行することが困難である。本事業は事業所が存在する地域で無料若しくは低廉な額でそれらを受講できるよう整備するものであり、極めて重要であることから継続とする。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	加賀市産業振興行動計画に基づき、持続可能なものづくり企業の集積地の実現及び地盤産業の強靱化を図るため、現行の事業を継続して実施する。 令和2年度はコロナ禍により受講者数が昨年比で20%減という状況であるが、必要に応じてリモートによる開講も継続し、IT人材など企業ニーズに即応したものや、女性の創業、就労支援に特化した事業を含め、総合的な産業人材の育成支援を検討していく。

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援			

事業番号	3201	事務事業名	スマート加賀IoT推進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	地域デジタル化グループ

目的・概要	<p>事務事業を実施する目的と概要</p> <p>①人材育成 (IoTを活用した産業の高度化実践のための、人材育成の仕組づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に製造業の生産性の向上や革新的な取組等を行うことができる人材育成。(IoT講習) ・育成した人材や市内外からの優秀な人材を集積し、IoT関連の新規事業・創業から経営安定まで行える仕組みづくり。(人材集積、創業・経営支援) ・産業人材の裾野を広げるための若年層からの産業人材の育成。(産業人材の裾野拡大) ・これらの取組を効果的に行うための拠点(「加賀市イノベーションセンター」)を開設。 ・育成したIoT人材や育成コンテンツ等を連携する自治体(熊本県)に提供し、その活用・検証結果を育成フレームにフィードバックする。 ・長期的な産業人材裾野拡大を図るため、ロボット教育プログラムである「ロボレーブ」大会(加賀ロボレーブ大会)を開催し、子どもの科学とものづくりへの興味・関心を高め、将来のものづくり人材や技術者の育成を目指す。 ・市内での新規産業の創出や産業集積を図るため、加賀市イノベーションセンターに創業・経営相談を行うインキュベーションコーディネーターを配置するとともに、スタートアップ企業を対象に事業化や商品開発の支援を行う。 <p>②実証事業 (IoTの利用分野や利用企業の普及・拡大のための、地域産業各分野での実証事業や啓発活動)</p> <p>ビジネスアイデアの発掘とモデル事業としての実証事業を実施し、IoT普及・拡大の取組をフレーム化している、様々な分野でのIoT導入の普及・拡大の効率化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業分野 <ul style="list-style-type: none"> ぶどう等の生産性を向上させるために、土壌等にセンサーを設置し、データ分析・活用による精度の高い生産管理を行うなどのモデル事業を実施する。 ・中小製造業分野 <ul style="list-style-type: none"> 中小製造業へのIoT導入促進のため、実証事業を公募により募集し、製造装置にセンサーを据え付けることにより製造製品の状態把握を行い、製品の品質安定化を行うなどの実証実験を実施する。 ・フルサポート事業 <ul style="list-style-type: none"> 先端技術を活用した実証実験を市内外の企業から公募し、市内において実証実験を行い、本市の新産業創出につなげる。 ・観光分野 <ul style="list-style-type: none"> 市内の公共施設である総湯等に、施設内の混雑状況をAIにより解析してインターネット上に自動配信するシステムを導入し、コロナウイルスに対して三密を回避を図る。 <p>③イノベーション推進検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある企業が集積し多様な人々がいきいきと暮らせる都市を目指し、市民や専門家、議員等が知恵を出し合い、イノベーションが誘発するイノベーション先進都市のための検討を行う。 <p>④アバター実装に向けた実証実験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最先端技術を活用し、身近な課題解決や産業振興を図るため、自走式の遠隔操作分身ロボット「アバター」の導入に向けた実証実験を行う。 <p>⑤ドローン活用環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンを活用した課題解決や新規事業・サービスの創出を図るため、3Dマップの作成など複数ドローンを安全に自動飛行できる環境整備の実証を行う。
	事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して社会人向け各種セミナー・講習会を実施した。(5回、延べ45名参加) ・3Dプリンタなどの機器を利用できるKAGAものづくりラボを開催するとともに、ものづくりイベントを開催した。(ラボ:80回、延921人利用、イベント:6回、延37人参加) ・令和2年12月1日～令和3年2月3日の期間、市内各小中学校を訪問し、加賀ロボレーブ大会記録会を開催(79チーム212人参加)。記録会上位チームにより2月21日に加賀ロボレーブ決勝大会を開催した(上位24チーム64参加)。 ・農業分野の実証実験(ぶどう、梨、いちご)を継続して行った。 ・令和2年11月に、昨年度実施した実証事業の市内企業への報告会をオンライン開催し、令和2年11月より中小製造業でのIoT導入等の実証事業を開始した。(プロセス改善1件、プロダクト創出2件) ・スマートシティ推進に向けた検討を行った。 ・アバターによるオンライン修学旅行体験および遠隔お見舞いの実証等を実施した。 ドローンを活用し、大聖寺地区、山代温泉地区、山中温泉地区、片山津温泉地区、作見地区などの市街地約65km ² の3D地図を作成した。									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	57	一般会計	7	1	2	1	6	スマート加賀IoT推進事業	77,218	
②	200	一般会計	6	1	3	1	11	品質向上対策事業費	9,907	
③										
関連決算額合計									87,125	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続				
	評価に関するコメント	本事業は、加賀市のものづくり産業の大多数を占める中小企業等において、IoTを導入・活用できる人材を育成・集積することで、生産性の向上、技術開発の強化を行い、市内産業の強靱化・活性化を図ることを目的としており、年間を通じたIoT講習等による企業内人材育成からのIoT導入が期待できるとともに、加賀ロボレーブ大会の継続開催やIoT導入等の実証実験事例をもとに市内企業への展開が期待できることから継続実施が必要である。								
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)									
	スマートシティの実現に向け、これまではIoT導入・活用による人材の育成・集積を通して市内産業の強靱化・活性化を図ってきたが、社会のデジタル化の変革にともないIoTを含む先端技術等の導入が必要となってきた。今後はIoTを含む先端技術の社会実装による社会課題の解決や産業の活性化を図るため、先端技術等を活用できる人材の育成と先端技術等に関連した新産業の創出を図る。また、大都市の企業の活動拠点や社員の生活拠点の加賀市への移転を目的として、加賀市を実証フィールドとして提供し、市外のベンチャー企業等による先端技術を活用する実証実験を実施する。									

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援			

事業番号	3202	事務事業名	ロボット研究支援事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	地域デジタル化グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	(加賀ロボット研究会) 「加賀市産業振興行動計画」に基づき、市内企業の作業効率化・品質改善などの職場環境や生産性の向上を図るため、(一社)加賀機電振興協会の企業を中心にH27.7発足。 【会長】東野 哲郎(東野産業株式会社 社長) 【委員】企業:大同工業(株)、東野産業(株)、新家工業(株)、(株)月星製作所、(株)江沼チエン製作所、(株)ソディック加賀事業所、村田機会(株)加賀工場、ナイトック・プレジジョン・アンド・テクノロジー(株)、(株)オリテック9社から選出 行政関係:石川県工業試験場、加賀市
	事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	・令和2年8月3日:企業訪問調査(改善課題把握①) ・令和2年9月25日:企業訪問調査(改善課題把握②、改善案②) ・令和2年10月～11月:作業効率化の提案募集 ・令和3年2月9日:委員会開催(AIについての検討等) ※新型コロナウイルス感染症の流行により8月まで活動ができず、また、当初予定していた視察等も実施できなかった。
	令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	57	一般会計	7	1	2	1	6	スマート加賀IoT推進事業費	1,238
②									
③									
関連決算額合計									1,238

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	新型コロナウイルス感染症の流行による景気の低迷や、従来からの人手不足が顕著となるなか、企業課題である「生産性向上」、「競争力の強化」、「労働力不足の解消」に向けてのロボット活用の研究を行うとともに、市内企業へのロボット導入等の提案の募集を実施し、改善までのアドバイスを行うなど、企業の作業効率化に大きく寄与しており、「加賀市産業振興行動計画」の実施に有効であったことから継続とする。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	スマートシティの実現に向け、第4次産業革命技術の活用を中心とした「加賀市産業振興行動計画」の3つの柱の一つである地盤産業の強靱化を図るため、加賀機電振興協会を初めとする市内経済団体と協力して、本研究会で検討した中での方向性である「ロボットを活用した仕事の作業効率向上と品質改善」に向けての研究会を開催するとともに、最先端のロボット導入企業の見学会やロボット導入を検討する企業へのコンサル派遣等を通じて、市内企業へのロボット活用を広めていく。 今後はロボットの研究に関する部分は自立した運営を目指し、ロボット導入などの実装にかかる支援を行う。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援			

事業番号	3204	事務事業名	産学連携技術開発事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

市内の中小企業者等(常用雇用従業員が50人未満)が大学や国公立試験機関などと契約し、共同で実施する新製品・新技術や製造・生産方法などに関する研究において製品化が見込まれる事業に対し費用の2分の1以内、800千円を限度とし助成している。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

- ・H27申請数1件(採択数1件(株)新木プラスチック工業所:3Dスキャナーを利用したファン成型金型の開発))
- ・H28申請数1件(採択数1件(石川樹脂工業株):プロパン用ガスタンクプリフォーム一層成形品の開発))
- ・H29申請数1件(採択数1件(株)清華堂:地元農産物等を使用した菓子の開発))
- ・H30申請数1件(採択数1件(有)前畑鉄工所:バレル研磨機製作の周辺機器開発)※研究の結果中止
- ・R01申請数0件
- ・R02申請数0件

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	廃止
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

本事業は事業者の開発意欲を向上させ、市場性のある新商品や新サービス創造の促進に有効であったが、産学連携による開発取組が必須要件であることから、例年申請件数は少なく、R01及びR02年度は申請無しとなった。
令和3年度より本事業を新商品開発助成事業へ統合(一本化)し、本事業は廃止する。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

令和3年度より本事業を新商品開発助成事業へ統合(一本化)し、大学等研究機関と連携した商品開発に対しては補助金額を加算することで、産学連携による商品開発の推進を図ることとする。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援			

事業番号	3205	事務事業名	コンピュータクラブハウス加賀運営事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>学校外での子どもたちの得意分野や隠れた才能を発掘し、伸ばすことができる居場所づくりを行う。 また、家庭・学校外で子どもたちが包括的なプログラミングを楽しみ、最新のテクノロジーに触れられる場を通じて、創造性や自己肯定感を感じることで、延いては将来のキャリア形成への意識を促進する。</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>令和元年度から、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して、日本初のコンピュータクラブハウスを設置し、家庭・学校外においても「いつでも」「安全に」「テクノロジーに触れられる」コミュニティを確立し、運営することで発展的な学習の支援を実施した。 令和2年度から、活動スペースを移転し、設備を拡充してリニューアルオープンした。設備を拡充することで子供たちの多様なニーズに対応できるようになった。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	271	一般会計	10	5	2	3	6	ICT学習推進費	14,851
②									
③									
関連決算額合計									14,851

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
------	-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>プログラミングの機会は学校教育という枠組みの中だけではなく、学校外で子どもたちの好奇心、創造性を発揮する機会を継続的に提供していく場として、コンピュータクラブハウス加賀を開設した。令和2年度は約170日開催し、約1,270名の子どもが参加してプログラミングや最新のテクノロジーに触れ専門性を高めた。 最新のテクノロジーに触れられる場所、専門性を高める場所として、機材を拡充しつつ、今後も継続が必要である。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>コンピュータクラブハウス加賀でできることの幅をさらに広げることで、プログラミングだけでなく子どもたちの創造性の幅を広げられるコンテンツや学びの機会を得られるワークショップを用意し、子どもたちの取り組んでいることが将来の仕事につながるキャリア教育を行っていく。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援			

事業番号	3206	事務事業名	デジタル自治体プラットフォーム構築事業		
所管部局	政策戦略部 総務部	所管課	スマートシティ課 人事課	グループ	行政デジタル化グループ 人事グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

行政手続き等の電子化により市民や市内外企業の利便性を向上するため、マイナンバーカードを活用した認証手続によって精度の高いサービスが提供できる「デジタル自治体プラットフォーム」(データ連携基盤)を構築する。
また、市職員の勤務管理に生体(顔)認証システムを導入し、行政コストを削減する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

行政手続き等の電子化実現に向け、行政手続きの洗い出し、各手続きの利用数・業務フロー調査、必要となるシステム機能などを調査し、令和2年8月に電子申請サービスの提供を開始した。
将来的に官民が各々保有する各種データを連携・流通させることができるデータ連携基盤を令和3年3月に構築した。
(※勤怠管理システム構築業務部分は人事課で起案)

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	56	一般会計	2	1	8	3	6	デジタル化推進費	33,764
②									
③									
関連決算額合計									33,764

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
行政手続き等の電子化については、電子申請サービスの提供を開始し、令和3年3月末時点で137手続きを提供することができた。
データ連携基盤については、今後のデータ利活用のための土台となる基盤を構築することができた。
(※勤怠管理システム構築業務部分は人事課で起案)

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

電子申請サービスについて、引き続きサービスの拡充や機能拡充に努める。
データ連携基盤については、流通させるデータセット数の拡充、各種デジタルサービスとのデータ連携の検討・具現化等、基盤機能の拡張に係る各種取組を行い、データを利活用しやすい環境整備を進めていく。
(※勤怠管理システム構築業務部分は人事課で起案)

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	③企業誘致の推進			

事業番号	3301	事務事業名	企業誘致推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	企業誘致室	グループ	—

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>企業誘致を促進することで地域産業の振興と雇用の創出により、市民生活の安定を図るとともに、人口減少、特に若年者や女性の市外流出を抑制する。さらに土地の有効活用、企業の設備投資を促し、税収の増加を図る。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>・室員による企業訪問、進出を検討する企業への用地等の紹介や視察の対応を行った。 ・企業イベントにブース出展し、全国の企業に向けて加賀市に立地することへのメリットをPRした。 ・北陸自動車道片山津インターに近接した「片山津IC産業団地」が令和2年3月分譲を開始し、製造業や運輸業の企業を中心に誘致活動を行った。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	6	1	企業誘致推進費	1,909
②	191	一般会計	7	1	2	6	5	工場団地管理費	63
③									
関連決算額合計									1,972

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>令和2年8月にベンチャー企業である株式会社BASICSが大阪市より山代温泉地内に事務所を移転立地し、AIやロボティクスのシステム開発を行う事業を開始した。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>・産業振興行動計画の推進、成長産業分野、IT関連、高度人材、ベンチャー企業の誘致を目指し情報収集、アフターコロナの状況を踏まえて企業訪問を実施。 ・「片山津IC産業団地」の早期分譲に向けて、企業訪問による紹介や企業イベント出展をアフターコロナの状況を踏まえて実施。 ・誘致を目指す産業分野の企業、先進人材に対して投資・立地意欲が沸く支援内容の精査を続ける。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	④地元就職の促進とPRの推進			

事業番号	3401	事務事業名	ロボレーブ国際大会参加事業		
所管部局	教育委員会	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

ロボレーブ国際大会への参加は、ICTへ関心を抱くだけでなく、ものづくりの楽しさと大切さを認識する絶好の機会と成り得る。さらに、多様な人種と交流を持つことにより、国際親善と平和の心を養うことができ、国際感覚の醸成に大きく資するものである。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年度の事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。代替の大会として加賀ロボレーブ大会を市内小中学校を対象に加賀交流プラザさくらで実施した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	259	一般会計	10	1	2	3	5	教育交流活動費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	加賀市で毎年行われているロボレーブ大会により、小中学校で推進しているプログラミング学習の成果が活かされている。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

種目によっては、既存のロボットでは国際大会で他国の選手と対等に戦うことができないため、別のロボットを整備する必要がある。
令和2年度に加賀白山ロータリークラブより、全小中学校に対しロボレーブ大会用ロボットを寄贈いただいた。これまでのものと活用し、国際大会での市内小中学生の活躍を期待する。
また、今後も機器の整備の継続は必要である。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	④地元就職の促進とPRの推進			

事業番号	3402	事務事業名	高校生人材育成支援助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

高校生の技能習得や社会人としてのマナーの養成などを支援することで、将来の産業人材として育成を図るとともに、地元企業への就職に繋げ、市内の定住促進や地域産業の振興を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

市内高等学校が行う、生徒の旋盤や溶接技能等の国家技能検定取得の取り組み支援(22人中16人が合格)や、社会人となって就職するに当たっての心構え等を学ぶ研修の取り組みなどを支援し、将来の加賀市を担う産業人材としての基礎力の養成を図った。
 大聖寺高校では計1回の研修等で148人が、加賀高校では計3回の研修等で171人が、大聖寺実業高校では計3回の研修等で68人、加賀聖城高校では計1回の研修で24人、合同学習会には29人が参加した。
 加賀商工会議所に対し1,800千円、補助対象経費の4/5を補助した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	1,800
②									
③									
関連決算額合計									1,800

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	企業にとって、新規人材の採用を判断する場合、国家技能検定を取得している生徒に対しての関心は高く、持続可能なものづくり技術の集積地を目指す上で、本事業は有効であったことから継続とする。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

少しでも多くの生徒が、より高度な検定を取得して技術力を高めることを目指し、また高い基礎力を持った産業人材の育成を維持し、市内産業への定着を促すことは産業振興のためには不可欠である。近年、IT人材への需要も高まっていることから、IT関連分野の研修も積極的に取り入れ、継続して実施していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	④地元就職の促進とPRの推進			

事業番号	3403	事務事業名	大学生インターンシップ制度事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

大学生が加賀市の企業を訪問するインターンシップを開催。
本市の基幹産業であるものづくり産業について、学生に歴史的経緯や現状などを認識してもらうとともに、多種多様なものづくり企業の現場を見もらうことで、市内の企業への就職に向けたマッチングのきっかけとする。この事業は、市内の主要なものづくり企業で構成される加賀機電振興協会に委託して行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施状況

令和元年度は、金沢工業大学及び金沢学院大学から計12名の学生が参加し、村田機械(株)加賀工場、(株)ソディック加賀工場を訪問した。
令和2年度については、加賀機電振興協会より、企業側が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学生の受入が出来ない状況であるとの報告を受け、中止となった。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	190	一般会計	5	1	1	2	2	雇用対策費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	市内企業の人手不足及び市内学生の他市への流出が深刻であり、市内企業へ就職してもらうアプローチが必要であることから、継続とする。					

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

加賀市産業振興行動計画の5つの重点施策の1つである「若者・女性などの産業人材としての活用促進と確保」を推進するため、引き続き継続していく。内容としては、より多くの学生に参加してもらうための広報や、参加した学生が市内企業への関心が高まる取り組みについて検討を行う。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	④地元就職の促進とPRの推進			

事業番号	3404	事務事業名	北陸先端科学技術大学院大学Uターン入学支援事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学(以下「先端大学」という。)と連携し、奨励制度を導入することで、市内へのUターン移住の促進及び市内産業を牽引する人材育成を図ることを目的とする。</p> <p>県外の大学から加賀市にUターンし、「先端大学」に入学するものへ奨励金を交付する。 ・奨励金額: 1人あたり年間60万円(月額5万円×12か月) (内訳: 加賀市30万円(1/2)、先端大学30万円(1/2)※負担金として先端大学へ支出)</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>令和2年度は該当者なし</p> <p><これまでの状況> 平成28年度 対象者1名(1年生) 負担金300千円 平成29年度 対象者1名(2年生) 負担金300千円 ※上記対象者1名は同一の者であり、「先端大学」卒業後に加賀市内で就職した。 平成30年度 対象者なし 令和元年度 対象者なし</p>

実施状況	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	54	一般会計	2	1	8	3	1	企画振興費	0
	②									
	③									
関連決算額合計										0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	先端科学技術の確かな専門性や、幅広い知識を有する人材を育成し、輩出する「先端大学」に通う本市在住の学生を奨励することで、地域に愛着をもつ産業人材の育成に資することができ、本市産業の活性化が図られることから今後も継続していく。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)					
	「先端大学」における首都圏等の大学への周知に協力するとともに、市の移住施策とも連携し、本制度の周知を行い、Uターンしている若年層の定住を促進していく。					

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	④地元就職の促進とPRの推進			

事業番号	3405	事務事業名	Uターン・Iターン者の雇用促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

目的・概要	<p>事務事業を実施する目的と概要</p> <p>【若年U・Iターン者雇用奨励金制度】 地域産業を支える優秀な若年人材の確保を支援するため、Uターン及びIターンで市内に就職した若年者及びその者を雇用した企業に対し、奨励金を支給する。 奨励金の交付額：①対象U・Iターン就職者：最大30万円(就職日より6か月、1年6か月、2年6か月を経過する毎に10万円ずつ支給) ②対象事業所：5万円(対象就職者1人につき1回限り、1年度あたり10万円を上限)</p> <p>【U・Iターン者採用支援事業補助金】 U・Iターン者を雇用するため、県外で開催される合同就職説明会等へ出展する市内企業に対し、補助金を支給する。 対象経費：説明会出展料、会場使用料、旅費、運送費等 補助額：対象経費の2分の1以内(年間20万円を限度)</p> <p>これらの事業によって加賀市への定住を促し、雇用と定住人口の拡大を図り、また、市内企業においては優秀な人材の確保が図られることから、地域産業の振興に寄与することを目的とする。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果</p> <p>【若年U・Iターン者雇用奨励金制度】 令和2年度は、7事業者・9人(全てIターン)に対し奨励金を交付した。</p> <p>(参考：過年度の交付実績) R1年度 1事業者・5人(全てIターン) H30年度 7事業所・8人(全てIターン) H29年度 8事業者・9人(内Uターン者3人・Iターン6人)</p> <p>【U・Iターン者採用支援事業補助金】 令和元年度、2年度ともに、実績なし</p>

実施状況	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	190	一般会計	5	1	1	2	2	雇用対策費	1,250
	②									
	③									
関連決算額合計									1,250	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	市外からの定住促進や、企業のより高度な人材確保が図られることから、本事業は今後も継続を必要とする。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)
	移住定住の促進、企業の雇用促進という観点から、今後も継続して事業を行う。併せて市外のイベント等において積極的な周知活動を行い、本事業の認知度向上を図り、制度利用者の増加をねらう。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑤新規創業の支援			

事業番号	3501	事務事業名	創業支援事業(「創業支援事業計画」:創業応援ネットワーク構築事業、ワンストップ相談窓口事業)		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>加賀市、加賀商工会議所、山中商工会、市内民間金融機関及び日本政策金融公庫が連携して「加賀市創業応援ネットワーク」を形成し、創業支援の取組みを強化することで、地域密着型企業の創出を図る。 市役所商工振興課に外部から招へいた企業相談専門官を配置し、「ワンストップ相談窓口」を設置、創業希望者の相談内容に応じたアドバイスや市他部局・関係機関への紹介など、創業の段階に応じた支援を行う。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>【ワンストップ相談窓口での創業希望者の相談件数】 R1:6件、R2:4件 【国の支援事業利用実績】 ・登録免許税の軽減(H28:1名、H30:2名、R1:1名、R2:0名)</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	1	3	1	一般経費	3,501
②									
③									
関連決算額合計									3,501

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	国の創業支援事業を利用するには「創業支援事業計画」に基づく支援が必要要件となっており今後も継続が必要である。				

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、創業希望者の相談件数は少なく、国の支援利用実績は0名であったが、アフターコロナを見据え、創業希望者の相談内容に応じたアドバイスや市他部局・関係機関への紹介など、創業の段階に応じた支援を継続して行っていく。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑤新規創業の支援			

事業番号	3502	事務事業名	新商品開発助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>新商品や新技術開発を行う市内中小企業者を応援し、創造的企業の育成を促し、地場産業の強靱化を図る。</p> <p>(新商品開発助成事業)</p> <p>市内の中小企業者等(常用雇用従業員が50人未満)が行う既存商品等の改良や新商品・新サービスの開発に必要な費用の2分の1以内、500千円(販促費は100千円)を限度とし助成している。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27申請数5件、採択数4件(伝統工芸2件、加工食品2件) ・H28申請数8件、採択数5件(伝統工芸2件、加工食品2件、一般製品1件) ・H29申請数11件、採択数5件(伝統工芸2件、加工食品1件、一般製品2件) ・H30申請数9件、採択数6件(加工食品4件、一般製品2件) ・R01申請数8件、採択数6件(伝統工芸2件、加工食品2件、一般製品2件) ※ただし加工食品1件辞退 ・R02申請数5件、採択数5件(伝統工芸4件、加工食品1件)

実施状況	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	191	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	2,201
	②									
	③									
関連決算額合計									2,201	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	本事業を通し、事業者の開発意欲を向上させ、市場性のある新商品や新サービス創造の推進に有効であったことから継続とする。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>「加賀市産業振興行動計画」の3つの柱の一つである地盤産業の強靱化を図るため、今後においても事業を継続し、加賀商工会議所を初めとする市内経済団体と協力して、公益性や時代に即したニーズを勘案し、より一層の市内商品開発を促し市内企業の技術開発を促進する。また、令和3年度より産学連携技術開発事業を本事業へ統合し、大学等研究機関と連携した商品開発に対しては補助金額を加算することにより、産学連携による商品開発の推進を図ることとする。</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑥商工業の振興			

事業番号	3601	事務事業名	海外輸出促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>人口減少により国内市場の縮小が懸念される一方、海外諸国の所得の向上や訪日客の増加があることから、市内事業所の売上増加のためには海外需要の獲得が必要である。しかし、中小企業者が単独で海外販路を開拓することは容易ではないため、市が関係団体と連携し、「加賀市貿易推進機構」を組織し、セミナーや相談会の開催や、展示会への出展支援等を行い、市内事業所の海外展開に向けた支援を行っていく。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

市産品の海外におけるEC販売を推進するため、ジェトロと連携し市内事業者向けにセミナーを開催(7事業者10名が参加)。また、かが有機農法研究会と連携し、令和3年度に「あぢの郷米」を台湾へテスト輸出するため、ジェトロ専門家による個別支援を受けた(オンラインで5回開催)。その他、海外バイヤー招聘事業や海外展示会への出展等を予定していたが、コロナ禍により未実施。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	741
②									
③									
関連決算額合計									741

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	本事業を通し、事業者の海外進出意欲を向上させ、海外事業者との商談成立の促進に有効であることから継続とする。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

「加賀市産業振興行動計画」の5つの重点施策の1つである「市内産品の国内外への販路開拓の推進」を図るため今後においても事業を継続し、ジェトロ金沢及び市内経済団体等と協力を、市内事業者のニーズに即した支援を展開し、より一層の市内事業者の海外進出を促進する。オンライン等の手法も活用し、コロナ禍においても有効な事業展開を検討する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑥商工業の振興			

事業番号	3602	事務事業名	企業等顕彰事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

市内企業の範となる企業やものづくり人材の範となるものづくりの匠を顕彰することで、働きやすい環境や人材の育成を図り、市内企業の成長を目指す。
 (加賀市優秀企業顕彰)
 要件:過去に、国県及び関係団体等により、労働環境の改善や企業価値向上等に係る企業表彰や商品開発等にかかる表彰もしくは認証等を受けた実績がある市内企業
 (加賀市ものづくりの匠顕彰)
 要件:過去に、国県等の技能検定最高位を受け後進の指導などにも尽力している者。
 (定年引上げ等事業所顕彰)
 要件:市内に本社を有するとともに、社会保険に加入し常時使用する労働者が10人以上の企業であり、定年年齢が65歳以上もしくは定年制度の廃止・希望者全員を対象とする70歳以上までの継続雇用制度の導入している企業

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

【実績】
 加賀市優秀企業顕彰:平成27年度実績 1件(加賀発条(株)) 平成28年度実績 1件(株)ソディック
 平成29年度実績 0件(該当なし) 平成30年度実績 1件(株)ホテルゆのくに)
 令和元年度実績 0件(該当なし) 令和2年度実績 1件(社会福祉法人篤豊会)
 加賀市ものづくりの匠顕彰:平成27~令和2年度実績 0件(該当なし)
 定年引上げ等事業所顕彰:平成27~28年度実績 0件(該当なし)
 平成29年度実績 3件(有)佐藤鋳螺、(株)昭宝製菓、(株)スガモトテント)
 平成30年度実績 1件(竹内電気工事)
 令和元年度実績 0件(該当なし)
 令和2年度実績 0件(該当なし)

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 191	一般会計	7	1	2	1	3	商工業育成費	55
②								
③								
関連決算額合計								55

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 過年度においては、企業の先進的な事業活動を顕彰することで、企業価値の向上、地域ブランド強化に有効であったことから継続とする。

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

「加賀市産業振興行動計画」の3つの柱の一つである地域資源の活用を図るため、今後においても事業を継続し、加賀機電振興協会を初めとする市内経済団体と協力して、より多くの企業が顕彰されるように本顕彰制度を周知していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑥商工業の振興			

事業番号	3604	事務事業名	店舗立地の支援等による商業集積の促進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>まちなかへの新規出店を促進し、地域商業の活性化及び賑わいの創出を図るため、まちなかへの新規出店にかかる費用の一部を最大100万円助成するもの。新規出店する移住者、若者への支援を強化することで、移住定住にも寄与する。</p> <p>【補助対象地区】大聖寺、山代、山中、片山津、動橋、橋立及び作見の7地区 【補助対象業種】小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業 【補助対象者】新たに建設し、若しくは空き店舗を活用して、補助対象業種となる商業店舗を開店する者</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>計9件の支援を行った。 地区別：大聖寺3件、山中6件 業種別：飲食店6件、小売業1件、生活関連サービス業2件</p>

実施状況	令和2年度決算																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>191 一般会計</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>商業地域活性化費</td> <td>7,482</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: right;">関連決算額合計</td> <td>7,482</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	191 一般会計	7	1	2	1	2	商業地域活性化費	7,482	②									③									関連決算額合計							
頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																					
①	191 一般会計	7	1	2	1	2	商業地域活性化費	7,482																																					
②																																													
③																																													
関連決算額合計								7,482																																					

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>加賀市は観光都市であり、まちなかの賑わいの創出は非常に重要であることから、引き続きまちなかへの出店を促進していく。 なお、令和2年度から新たに温泉街中心部での新規出店を重点的に支援する「温泉街出店促進モデル事業」を片山津温泉で実施し、2件(4,000千円)の支援を行った。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>地域や事業内容等、支援対象となる要件について、より事業効果を高められるよう検討を行っていく。</p>

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑥商工業の振興			

事業番号	3606	事務事業名	キャッシュレス決済推進助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

市内商店におけるキャッシュレス決済環境を整備し、利便性や外国人観光客対応の向上を図る。また、国のキャッシュレス消費者還元事業の対象にならない者を支援する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

計1件の支援を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	1	2	商業地域活性費	10
②									
③									
関連決算額合計									10

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	低い	費用対効果 (高い/普通/低い)	低い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	国のキャッシュレス消費者還元事業による端末の導入補助が当初の想定よりも長期間にわたって続き、支援件数が伸び悩んだことに加え、一部中小事業者からはキャッシュレス決済に係る環境整備へのメリットが見えないとの意見があったため。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

キャッシュレス決済導入を検討していた事業者への支援については、国と市の事業によりほぼ網羅できたが、令和2年度に市内中小店舗(かが応援商品券取扱店舗 約700店舗)を対象に実施したアンケート調査では、全体としてキャッシュレス決済導入へのニーズが低いことが判明したため、今後はキャッシュレス決済の利点の周知、国事業の活用、市独自の取り組み等を検討していく必要がある。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑦伝統産業の継承・活性化			

事業番号	3701	事務事業名	伝統山中漆器後継者育成助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

伝統工芸山中漆器の制作工程の中で、山中漆器の技術を習得しようとする若年者に、技術修得のためにかかる経費に対する支援をすることで、特に高齢化と後継者確保の面で厳しい状況下にある山中漆器産業への定着を促し、山中漆器製造従事者の自立を促進する。

研修会、講演会、見学会等への参加経費、製造実習のための経費、展示会出品のための経費又は参考文献、図書の購入費等、伝統技術修得のための自己研鑽、研修等に必要経費に対し奨励金を交付する。交付期間は36ヶ月間とし、以下の奨励金を交付する。

1年目：月額5万円、2年目：月額4万円、3年目：月額3万円

ただし、蒔絵(シルクスクリーン)、拭漆、塗装(合成塗料)の工程に従事するものは、原則12ヶ月のみの交付とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年度は計2人(木地1人、塗装(合成塗料)1人)に新規で奨励金を交付した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	4	5	山中漆器振興推進費	1,490
②									
③									
関連決算額合計									1,490

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

少子高齢化による人口減少の著しい地域において、伝統産業の担い手となる若者の人材育成に係る経費に対して奨励金を交付することは、後継者の定着と養成という面で有益であると考えられるため、事業の継続が必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

業界全体の問題として、山中漆器の製作すべての工程において後継者の確保が課題となってきた。山中漆器連合協同組合からの寄附金をきっかけとして平成29年度より対象工程の拡充を行ったが、今後も組合からの協力を前提に、基金への積み増し、事業の継続を図る。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑦伝統産業の継承・活性化			

事業番号	3704	事務事業名	JAPANブランド育成支援事業「先進国ブランド展開事業」		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

山中商工会が、山中漆器連合協同組合と協力し、新市場・新用途に向けた展示品の試作とその展示会への出展、展示品のカタログ作成を行うことに対し補助を行う。山中漆器の新たなデザインと取り組みを自らの創意工夫で生み出し、販路開拓を築く機会を作る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

- ・出展費用や試作品開発費、パンフレットやチラシ等の広報費に対して380千円を補助した。
- ・海外向けデザインの試作開発：印鑑ケース、茶筒、名刺入れ等、計21点を試作。
- ・日本語版のカタログ製作。
- ・展示会出展：DIALOGUE+(R3年3月10-14日 京都)

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	4	5	漆器振興対策費	380
②									
③									
関連決算額合計									380

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

轆轤挽き技術を中心とした山中漆器が持つ高い技術をアピールし、消費者からの要望等を直接的に取り入れることができる本事業は、山中漆器の今後の新たな商品製作やマーケット開拓に有効であったことから継続とする。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

山中漆器が持つブランド力をより高めていくことは重要であるが、コロナ禍であることも踏まえ、より効果的な支援を検討し、展開していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑦伝統産業の継承・活性化			

事業番号	3706	事務事業名	伝統工芸展開催助成事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>市内の伝統産業の振興を図るため、首都圏等で開催される展示会等への出展を支援する。</p> <p>【石川県伝統産業振興協議会事業】 石川県の優れた伝統的工芸品を広く紹介する工芸展を東京で開催することで、啓蒙と販路拡大を図る。</p> <p>【九谷焼伝統工芸士会事業】 九谷焼を全国に情報発信するため、全国各地で開催される展示会に出展し、販路拡大と振興に努める。</p> <p>【関東・関西九谷焼展開催助成事業】 集客力のある阪急うめだ本店において展覧会を開催することにより、若手作家の顧客獲得・販路開拓を図る。</p> <p>【石川県伝統産業合同見本市開催事業】 国指定の伝統工芸品10業種を中心に、県の産業界が合同で首都圏でフェアを開催し、啓蒙と販路拡大を図る。</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>【石川県伝統産業振興協議会事業】 「石川県伝統工芸展」※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>【九谷焼伝統工芸士会事業】 「現代加賀九谷作家展」(令和2年9月2日-8日 丸善丸の内本店、丸善日本橋店)、他2つへ出展。</p> <p>【関東九谷焼展開催助成事業】 「現代加賀九谷作家展」(令和2年9月2日-8日 丸善丸の内本店、丸善日本橋店)を開催。</p> <p>【関西九谷焼展開催助成事業】 「現代加賀九谷作家展」(令和3年1月13日-18日 阪急うめだ本店)を開催。</p> <p>【石川県伝統産業合同見本市開催事業】 「いしかわ伝統工芸フェア」(令和3年2月1-28日 東京)を開催。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	1	1	商工業団体助成費	10
②	191	一般会計	7	1	2	4	2	九谷焼振興推進費	3,200
③	191	一般会計	7	1	2	4	5	山中漆器振興推進費	870
関連決算額合計									4,080

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>
評価に関するコメント	<p>首都圏など、事業者・消費者にとって訴求力の高い場所において展示会等を開催・出展することは、ブランド力の向上や販路開拓・拡大にとって効果的であると考えられることから、本事業は継続が必要である。</p>		

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>ブランド力の向上や販路開拓・拡大を図ることは、市内伝統産業の振興のため重要なことであるが、コロナ禍であることも踏まえ、他の展示会等に対する補助と合わせ、より効果的な支援を検討していく。</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑦伝統産業の継承・活性化			

事業番号	3707	事務事業名	食のブランド化事業		
所管部局	産業振興部	所管課	商工振興課	グループ	商工労働グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀市の豊かな自然と伝統文化を背景とした、片野鴨池の「坂網鴨」や橋立のカニ、地元産の農産物などの優れた食材・食文化、更には九谷焼・山中漆器などの伝統工芸品を生かした新しい「食」を創造・発信・PRすることにより加賀の「食のブランド」化を推進し、については加賀市の魅力発信と商工業・観光の振興を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

「坂網鴨」の認知度の向上とブランド価値の保護を目的とし、「坂網鴨」の名称の商標登録出願を行い、平成29年12月8日に登録が完了している。
 令和元年度は、主に県外からの一般参加者を対象に、坂網鴨の見学、市内料亭での坂網鴨のフルコースディナーに酒蔵や展覧施設の見学を組み合わせた「坂網鴨食談会」を開催した(R2.1.20)。
 また、鴨料理普及事業として加賀調理師会主催の鴨料理勉強会に天然鴨を食材として提供した。
 令和2年度は、コロナウイルス感染拡大の影響により、食談会や勉強会等の事業実績はなし。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	191	一般会計	7	1	2	1	4	特産品振興事業費	89
②									
③									
関連決算額合計									89

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 「坂網鴨」の商標登録に加え、食談会の継続開催や、加賀調理師会開催の料理勉強会への鴨の提供を通じ、旅館等での鴨料理提供の機会が増えるなど、「坂網鴨」や橋立のカニなど加賀の食材や食文化のブランド力と認知度は上がってきている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

鴨料理普及事業については、今後も引き続き強化していき、また、坂網鴨食談会ツアーについては、事業の自立を促していくとともに、海外及び全国的な知名度向上を目指す。さらに、「加賀の晩餐会」開催など、坂網鴨等の食に関するイベントの開催やプレス誘致・招聘など、加賀の魅力発信を積極的に行っていく。
 「坂網鴨」を優れた地元産食材・地酒や九谷焼・山中漆器などの伝統工芸と組み合わせ、ブランド力を高めることで、アフターコロナを見据えた商工・観光振興に繋げていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	□	将来への備え	■	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑧農林水産業の振興			

事業番号	3801	事務事業名	地産地消・6次産業化推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	農業政策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>地産地消の拡大・6次産業化の推進等、市民の農業及び食に対する理解を深め、加賀市の農業の健全な発展と活性化を目指す。市内小学校において地産地消・食育の重要性を啓発する。農業体験や食育教室の実施により、農業の大切さや理解を深め、地産地消の拡大と地元農業の活性化を図る。 また、JA加賀等と連携し、加賀市産農産物の地産地消・6次産業化を進める。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>JA加賀が行う「あぐりスクール事業(地産地消・食農教育事業)」(市内小学校15校(平成30年度19校、平成29年度14校)で開催)を支援し、地産地消・食農教育の推進に努めた。JA加賀を中心とした6次産業化事業について、連携・支援を行うことで事業の推進につながった。 石川県南加賀農林総合事務所が中心となって行った南加賀の地場野菜「なんかがいい野菜」のPRイベントに協力し、加賀市の農産物の周知拡大を図った。</p>

実施状況	令和2年度決算																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>200</td> <td>一般会計</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>農産物生産対策費</td> <td>1,202</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">関連決算額合計</td> <td>1,202</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	200	一般会計	6	1	3	1	1	農産物生産対策費	1,202	②										③										関連決算額合計								
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	200	一般会計	6	1	3	1	1	農産物生産対策費	1,202																																									
②																																																		
③																																																		
関連決算額合計									1,202																																									

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
	評価に関するコメント	<p>平成29年度から、JA加賀を中心に実施している産学官による6次産業化事業への連携・支援を行っている。関係団体との意見交換等もし、今後の6次産業化の推進に繋がる課題整理に向けた取り組みを継続している。 地産地消事業においても、市内外の各種イベント等を活用した加賀市産農産物の直売により、PR等を継続して行うことで、地産地消・食育の推進に繋がっている。また、市のホームページに農業体験学習である「あぐりスクール事業」の情報や加賀市産農産物を使ったレシピを掲載し、情報発信に努めている。</p>				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>「加賀市農林水産業振興行動計画」に、ブランド戦略の強化事業のひとつとして「6次産業化・地産地消の推進」を位置づけており、これに基づいて、JA加賀、漁協、森林組合や観光及び商工団体とも連携して、地産地消・6次産業化の更なる推進を図り、加賀市ブランドの加工品等の開発を検討していく。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑧農林水産業の振興			

事業番号	3802	事務事業名	鳥獣害防止対策事業		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	林務水産グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>有害鳥獣であるイノシシによる農作物被害を軽減させるため、捕獲・侵入防止柵の支援を行う。国の交付金を活用し、加賀市イノシシ被害対策協議会が購入した侵入防止柵を市内の集落が自力施工で設置する。市内集落から申請により加賀市イノシシ被害対策協議会が捕獲檻を設置する。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>侵入防止柵の整備、捕獲檻の設置を推進することにより、農作物被害を軽減させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R2侵入防止柵設置 10集落、L=4. 95Km ・R2イノシシ檻設置数 96箇所、捕獲163頭 <p>豚熱に感染したイノシシの全国的な広がりにより、感染確認地域では捕獲したイノシシを適切に焼却または埋却し感染拡大防止に努めることとなっている。このため現地で解体してから美化センターで焼却する従来の方法を改め、解体せずに焼却可能な民間施設での処分を実施した。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	200	一般	6	1	3	3	3	農業生産総合対策費	5,871
②									
③									
関連決算額合計									5,871

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>鳥獣被害は農村地域が抱える大きな問題であり、より効果的な対策の検討も行いつつ今後も継続していく必要がある。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>今後とも事業効果が維持できるよう捕獲や侵入防止柵の設置を進めるとともに、集落ぐるみで鳥獣を寄せ付けない取組みの検討・実施も必要である。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり			
施策	⑧農林水産業の振興			

事業番号	3803	事務事業名	森林経営管理制度に係る意向調査事業		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	林務水産グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>災害防止や地球温暖化防止など森林の公益的機能向上を図るため、森林所有者が自ら経営管理できない森林を市が集約し、適切な伐採や管理等を行うことを目的とし、森林所有者に対し、今後の経営管理に関する意向調査を実施する。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

南加賀森林バンク推進地域協議会(事務局は南加賀農林総合事務所)と連携して、対象森林所有者に説明会を開催し、制度の周知を図った。その結果、対象森林面積47haにおける森林所有者40人に意向調査を行い、34人から回答を得ることができた。また、34人のうち25人が所有する30haの森林の経営管理を市に委託したいとの回答があった。

所在不明の森林所有者4名について相続人等の調査(不明森林所有者調査)も実施し、境界明確化、経営管理権集積計画の作成、森林整備(間伐)までの一連の業務(森林経営管理)を宇谷町地内の森林1.38haで実施した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	205	一般会計	6	2	2	3	1	森林環境保全費	3,608
②									
③									
関連決算額合計									3,608

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>森林を適切に経営管理することを目的とした新たな森林経営管理制度を推進するため、今後も意向調査事業を行っていく必要がある。また、意向調査により市への委託を検討している森林について、境界の明確化、経営管理権集積計画の作成を行う予定となっている。</p>				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

対象森林の意向調査事業を継続して実施し、森林の経営管理を市に委託する場合は、境界明確化の実施や経営管理権集積計画を作成し、間伐や皆伐による森林整備の実施と持続可能な循環型林業の推進を目指す。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	①地域福祉の充実			

事業番号	4101	事務事業名	地域見守り支えあいネットワーク事業		
所管部局	市民健康部	所管課	福祉政策課	グループ	福祉政策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>日常時から災害時における地域の実情に応じた支援体制を構築するため、高齢者や障がい者など災害時における要支援者の把握を目的に要支援者の同意のうえ作成している「避難行動要支援者名簿」を活用し、「地域見守り支えあいネットワークの充実と促進」を図る。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>「避難行動要支援者名簿」には、民生委員・児童委員の日々の見守り活動により、毎年100人程度の登録があるが、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、積極的な登録勧奨の自粛により新規登録者は例年の半数程度にとどまった。また、死亡や長期の施設入所等により、登録削除となる対象者も多い。 本人同意のもとで作成した名簿の有効活用のため、地域の支援者を中心に日々の見守り活動の検討や情報共有などを行う各地区「見守り座談会」についても3地区だけの開催となった。</p> <p>避難行動要支援者名簿 登録者数 … 2,476人 名簿提供数(協定締結) … 271町、12地区社協 見守り座談会開催数 … 4回</p>

実施状況	<p>令和2年度決算</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>113</td> <td>一般会計</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>消費者行政費</td> <td>424</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>115</td> <td>一般会計</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>地域見守り推進事業費</td> <td>248</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>120</td> <td>一般会計</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>35</td> <td>地域見守り推進事業費</td> <td>289</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>313</td> <td>介護保険特別会計</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>その他事業費</td> <td>578</td> </tr> <tr> <td colspan="8">関連決算額合計</td> <td>1,539</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	113	一般会計	2	1	11	4	1	消費者行政費	424	②	115	一般会計	3	1	1	4	7	地域見守り推進事業費	248	③	120	一般会計	3	1	2	2	35	地域見守り推進事業費	289	④	313	介護保険特別会計	4	1	3	1	3	その他事業費	578	関連決算額合計								1,539
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																																		
①	113	一般会計	2	1	11	4	1	消費者行政費	424																																																		
②	115	一般会計	3	1	1	4	7	地域見守り推進事業費	248																																																		
③	120	一般会計	3	1	2	2	35	地域見守り推進事業費	289																																																		
④	313	介護保険特別会計	4	1	3	1	3	その他事業費	578																																																		
関連決算額合計								1,539																																																			

内部評価	<table border="1"> <tr> <td>有効性 (高い/普通/低い)</td> <td>高い</td> <td>費用対効果 (高い/普通/低い)</td> <td>高い</td> <td>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</td> <td>継続</td> </tr> </table>	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	
<p>評価に関するコメント</p> <p>本事業は地域における見守り体制の充実・促進を目的としており、今後も継続が必要である。</p>							

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>引き続き、民生委員・児童委員と協働し要支援者の登録を進めていくとともに、地域の支援者による「見守り座談会」を各地区で開催し、要支援者名簿を活用した情報共有を図る。 また、要支援者名簿への登録勧奨対象者を拡大することにより、地域見守りネットワークの充実を図る。 名簿提供の協定については、全282町のうち271町と締結している。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつでも元気に健やかに暮らし続けるまちづくり			
施策	①地域福祉の充実			

事業番号	4102	事務事業名	若者等就労支援事業		
所管部局	市民健康部	所管課	相談支援課	グループ	生活支援

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

本事業は、本市の課題である「安定した雇用の創出」、「加賀市への新しい人の流れをつくる」ことを目指すもので、本市と他の自治体および企業等が連携し、「自治体連携を通じた新規就労者の確保」、「就労に課題のある者が新たな担い手として活躍できる環境整備」に取り組むため、若年無業者や生活困窮者等を対象に寄り添い型の就労支援を行うもの。
就労体験事業の受け入れや無料職業紹介所「まるごとワーク加賀」を活用した一体的な就労支援を行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

就労体験事業の農業分野では、市内梨園で6月から3月にかけて2～4日間の就労体験の受入を実施（年間延べ10名）また、観光分野では2～7日間の就労体験を実施（延べ70名）した。
相談者の状況に応じた寄り添い方の支援「丸ごとワーク加賀」を行ったことにより、相談者65名で就労者は45名となった。協力（登録）企業は67社になっている。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	112 一般会計	2	1	8	14	2	若者等就労支援事業	27,094
②								
③								
関連決算額合計								27,094

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	縮小
評価に関するコメント	関西圏からの就労体験等については、人の交流など一定の成果はあったが、定住にはつながらなかったため、令和2年度をもって若者就労支援事業の関西からの就労体験は終了した。「まるごとワーク加賀」は、令和2年も一定の就労実績に結びついていることから継続していく。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

これまでの「まるごとワーク加賀」での就労支援で培ったノウハウを生活困窮者自立支援事業での相談者支援に活かし、今後の困窮者の自立に向けた支援を行っていく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	①地域福祉の充実			

事業番号	4103	事務事業名	権利擁護事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括的支援

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

高齢になっても認知症になっても、一人の人間として尊厳を保ちながら生活をしていくためには様々な権利侵害から本人を守ることが大切になる。
 そのため様々な機関と連携し、適切に虐待ケース支援を行い、虐待となる恐れのある状況に対しては、未然防止のための早期発見・対応ができる支援体制を構築していく。
 また、権利擁護の啓発等の取り組みを推進する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

- ・虐待(疑い含む)ケースの相談対応、ケース会議の開催。
- ・通報・相談があった虐待(疑い含む)ケースの「虐待ケース検討会」の開催(おおむね週1回)と管理職が参加するコア会議の随時開催
- ・専門職向け『虐待防止研修会』を新型コロナウイルス感染症の影響によりWEBで実施。
- ・高齢者が住み慣れた地域で継続した暮らしができるよう、必要な援助やサービス提供の体制の検討を行うことを目的とした権利擁護部会の開催(年4回)
- ・虐待の早期発見の取り組みについてのアンケート結果と集計を行い、その結果をまとめ、各組織へ虐待防止法や虐待の定義などの情報も記載し、返信していく。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
①	157	介護保険特別会計	4	1	2	1	3	権利擁護事業費	118
②									
③									
関連決算額合計								118	

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

評価に関するコメント

- ・通報・相談があった虐待(疑い含む)全ケースに対し、虐待ケース検討会の場を設け、虐待判定の他、支援方針について検討している。
- ・居宅介護支援事業所等から虐待の恐れがあるケースを含む相談が早期にあり、深刻化する前に相談・支援につながっている。
- ・虐待防止研修会は、コロナ禍のためWEB研修にて視点編のみ開催した。ふれあい福祉課と共同開催し、権利や虐待防止法の講義と自身のケアの振り返り場となった。
- ・医療職・介護職・かかりつけ医・薬局に対して、アンケート結果の返しと権利擁護の研修会等を検討していたが、コロナのため実施できなかった。薬局に結果をまとめたリーフレットを配布し、介護職については、虐待防止WEB研修で口頭にて報告した。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

- ・医療職・介護職のアンケート結果の返しについて、コロナ禍のため今年度も医療職と介護職合同での権利擁護の研修会は実施困難。介護施設には薬局と同様アンケート結果とともに権利擁護の情報を載せてリーフレットを配布していく。
- ・権利擁護の視点の強化や自身のケアの振り返りのため、今年度も虐待防止研修会をWEBにて開催していく。居宅編、施設編のWEB研修の実施に努める。
- ・支援が必要な世帯が地域から孤立しないためには支援者のネットワークを構築する必要がある。そのため、民生委員等地域の方へ、再度、高齢者虐待防止法の理解を進めるための普及啓発に努める。
- ・市の機構改革で障がいのある人の相談窓口も地域包括支援センターが担うことになったため、障がいのある人の虐待(疑い含む)支援の体制強化や研修会も併せて実施し、未然に防ぐ仕組みを作る。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	②地域包括ケアシステムの構築			

事業番号	4201	事務事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括的支援

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>多様な生活課題を抱えている高齢者等が地域で安心してその人らしい生活を継続するには、本人の身体的機能や能力、それまでの暮らしや地域での関わりを活かし、本人の課題に応じてあらゆる社会資源等を適切に活用し、包括的及び継続的にケアの支援を行うことが必要となる。</p> <p>そのために介護支援専門員を支援し、包括的・継続的ケアマネジメントの実践や、支援の質の向上を図るとともに、その個別ケースからの地域課題の把握や環境面の整備促進を図る。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<p>①介護支援専門員の相談窓口を設置し、随時相談を受け付け、必要時ケース会議を開催。</p> <p>②ケアマネジャー連絡会の内容・課題等を検討し、企画立案を助言する等、事業者協議会の後方支援の実施。</p> <p>③困難ケース検討会や個別地域ケア会議開催において、事前打ち合わせや司会進行等を担い支援している。</p> <p>④要支援者・事業対象者の改善可能性や地域とのつながりを活かした支援につなげるための個々のケアプランや支援方針の検討の場を担当介護支援専門員、サービス事業者、外部有識者等で開催。同事業所の主任介護支援専門員や管理者も同席し、事業所内でのスーパーバイズ機能の強化につなげた。</p> <p>⑤主任介護支援専門員勉強会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	157	介護保険特別会計	4	1	2	1	4	包括的ケアマネジメント支援事業費	1,586
②									
③									
関連決算額合計									1,586

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>・随時相談を受け付けており、高齢者虐待や疑いを含むケースの早い段階での相談や報告がある。また緊急で対応が必要なケースの相談に対しても、必要時関係者を招集したケース検討会を開催し、対策を議論して対応ができています。</p> <p>・地域での暮らしを支えるために、専門職だけではなく本人・家族をはじめ、本人を取り巻く地域の関係団体、住民等と相談し合う個別地域ケア会議を随時開催している。</p> <p>・目標設定会議の開催により改善可能性や地域とのつながりを活かした支援を行うことで、状態が維持できたり改善したケース、本人のつながりに対して働きかけができたケースがあった。</p> <p>・主任介護支援専門員勉強会は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>・随時相談では虐待(疑い含む)相談や困難ケース相談だけではなく、ケアマネジメントに関する相談があるので、相談体制の核となる介護支援専門員のケアマネジメントの実践や支援の質の向上を目指すため、今後は主任介護支援専門員勉強会を開催し、主任介護支援専門員のスーパーバイズの機能強化を図る。</p> <p>・目標設定会議を開催し、担当介護支援専門員だけではなく、同事業所の主任介護支援専門員(管理者)が同席することで、事業所内でのスーパーバイズ機能の強化につなげる。モニタリング会議は各居宅介護支援事業所で開催し、改善可能性の達成状況やつながりを活かした関わりの有無を評価していく。</p> <p>・各事業の事例から出た課題において、課題解決のために必要な研修会や勉強会の企画に反映していく。</p>

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	②地域包括ケアシステムの構築			

事業番号	4202	事務事業名	包括ランチ及び地域福祉コーディネート事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括的支援

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

高齢になってもこれまでの暮らしを継続するためには、一人ひとりの生活に応じた関わりが大切で、世帯単位での関わり(家族介護支援)や友人・知人の関係が途切れない支援の充実が必要である。
 きめ細やかに高齢者の見守りや相談等を行うため、身近な相談窓口として「地区高齢者こころまちセンター(ランチ)」を設置し、友人やご近所、世話焼さん、地域団体、ボランティア等といった支援の担い手とつなぎ合わせる「地域福祉コーディネート」機能を併せた支援体制を構築する。
 地域福祉コーディネート業務は、多様な地域資源と高齢者をつなぐだけでなく、個の支援を通して、地域の課題を把握し、その解決に向けた活動を展開し、住民とともに地域づくりに参画していくことを目指す。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

- ・市内15カ所にランチを設置し、24時間365日の身近な相談窓口として訪問、来所、電話での相談に対応している。必要に応じて高齢者の個別地域ケア会議や地域の方々との地域ケア会議を開催し、支援している。ランチ未設置地区については基幹型包括支援センター職員が担当している。
- ・地域福祉コーディネート業務における地域づくりについては、顔の見える関係作りを行い、地区地域ケア会議を実施しているランチが増えている。また、高齢者だけの課題ではなく、障がいのある人、健康づくりのこと、子育てのこと等、地域住民が課題として捉えていることを一緒に考え取り組んでいる。
- ・定期的にランチ連絡会や勉強会などを開催し、基幹型包括支援センター職員とランチが意見交換・情報共有を行いながら個人支援、地域支援にあたっている。また、圏域ランチ同士が相談しながら活動できるようブロック単位の連絡会も実施している。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
①	157	介護保険特別会計	4	1	2	1	2	総合相談事業費	16,666
②	157	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	15,008
③									
関連決算額合計								31,674	

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

- ・高齢者の支援において、本人と関わりのある民生委員や店員、近所の方々等とも連携し、支える仕組みを作っている。また、さまざまな支援者とのつながりが大切であるため、障がいの分野の基幹相談支援センター職員とも連携している。
- ・ランチと基幹型包括支援センターの合同の勉強会では、ケース支援の在り方、地域福祉コーディネートの活動の具体的取り組みについて、学習を継続し、コーディネート機能を高めている。
- ・ランチ活動でかかわった事例より、データ分析し地域課題を見出し、地域住民と共に課題解決のために意見交換し、地域食堂やラジオ体操ステーション等展開している。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

- ・早めの出会いを目的に、これまで介護予防基本チェックリストのハイリスク者への個別訪問を行ってきたが、今後は、生活習慣病予防(重症化予防)の視点を加え本人のセルフケア能力の向上を図りつつ、介護予防・健康づくりの双方の支援を継続的に行っていく。
- ・未設置地区については、計画通り設置できるように地域密着型サービス事業所へ働きかけていく。
- ・質の向上を図るための勉強会は、ランチ職員自ら課題を整理し、企画立案し、実施していくことができるような体制を継続していく。
- ・基幹型包括支援センター職員は、これまでと同様にランチの後方支援を行い、ランチ職員を育成していく。また、基幹型包括支援センター職員の質の向上のため、内部で定期的に研修会や進捗管理等を継続的に行っていく。
- ・市の機構改革において、地域包括支援センターは高齢者の相談に限らず、障害のある人の相談も含めその地域に住んでいる方すべての相談を受け付け、状況に応じて関係機関へつなぎような体制を整えていく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	②地域包括ケアシステムの構築			

事業番号	4203	事務事業名	シニア活動応援事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	介護予防

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

高齢者の生活支援及び介護予防の基盤整備を目的とし、元気な高齢者の社会参加活動を把握・促進し、地域で必要とされる生活上の支援と人材をマッチングする体制を構築するとともに活躍する元気な高齢者を増やすことを目的とする。

支援を必要とする人と人材をマッチングするコーディネート機能を果たす、「生活支援コーディネーター」を配置し、コーディネート以外にも人材の発掘や育成、また、多様な事業主体による「協議体」による定期的な協議を実施し、生活支援体制の構築を行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

平成29年9月から「加賀市シニア活動応援事業」をNPO団体に事業委託している。生活支援コーディネーターを配置し、民生委員、ケアマネジャー、地域包括支援センターランチをはじめ、高齢者への生活支援について相談している。地域の人材やインフォーマルの社会資源の把握や、ネットワーク化と利活用の推進を図っている。

コロナ禍により活動が制限される時期もあったが、地域での各種集まりの参加や地区での協議(年119回)、ニーズ相談(24件)を通して、高齢者の生活のニーズや課題の把握に努めている。

ボランティアがしたい高齢者の「ちょボラ隊」の登録事業を実施し、ちょっとしたお手伝いが必要な方とマッチング(9件)をしている。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	157	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	4,500
②									
③									
関連決算額合計									4,500

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

生産年齢人口が減少し、地域の担い手が減少する中で、元気な高齢者の社会参加活動を促進することは今後さらに必要になってくる。また高齢者の介護予防や生きがいにもつながる取り組みと考える。地道な取組が必要であり、費用に対して直ちに効果が得られるものではない。地域の課題を介護保険サービスなどの公的サービスに頼らず地域のつながりの中で解決できる部分が多くなれば、公費や専門職の効率的な活用が図られると考えられるため、さらに活動の質を高めていく必要がある。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後もちよボラ隊など高齢者の社会参加を図り、より多くの要望に対応できるよう充実を図っていく。また、ちよボラ隊のマッチングを生活支援コーディネーターが調整する中で、対応できない要望・ニーズなどから抽出される地域の課題について、定期的な協議体からの意見を踏まえて、高齢者の生活支援及び介護予防の基盤整備の推進につなげていく。これらの取組を継続的に行っていく必要がある。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	③健康づくりの推進			

事業番号	4301	事務事業名	健康づくり事業(KAGA健食健歩プロジェクト)		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	行政・地域の代表・大学・企業などがつながり、協働で市民と一体となって「食」と「運動」を通じた事業を展開し、生活改善に必要な基盤整備など地域全体を対象とした取組みを「KAGA健食健歩プロジェクト」と位置づけ、4つの取組みを実施し、市民の生涯を通じた健康づくりを推進する。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	①健康のまちづくり推進 かがし健康応援プラン21推進のため、生活習慣改善取組み教材パンフレット(健康づくりのための食育)や健康だよりを作成し、全戸配布や地区組織と連携した啓発普及活動を行った。また、市民の健康づくりに役立てるための健食健歩手帳を作成し、各事業の機会等に配布し、啓発した。
	②「運動」による健康づくりの推進 定例ノルディックウォーキング会、ウォーキングイベント開催支援、ラジオ体操教室(定着コース・リーダー養成コース)等は関係団体に委託し実施した。開催回数は26回で419人が参加した。地域でラジオ体操を実施する機会を作ることを目的としたラジオ体操ステーション認定制度では、全21団体が活動した。
	③KAGAタニタ健康プログラムの実施 (株)タニタヘルスリンク及び提携地元企業(株)エイムと連携した健康プログラムでは615名が活動量計を活用し、運動・食セミナー等に参加した。また、新たな登録者向けに体組成測定キャラバンを地域に出向いて開催した(4回134人)。他に、シルバー人材センターで提供しているタニタ監修メニューについては、市民から健康食レシピを募集し、2メニューの開発と食の推進を図った。
	④KAGAタニタ健康プログラムを活用した高リスク者の健康づくりの促進・免疫力向上による重症化予防事業 1日あたりの月平均歩数が6,000歩以上の者には、衛生用品購入費として月500円を助成し、免疫力向上を図った(102名参加)。本事業実施に併せ、活動量計のデータを健康づくりサイトに取込むための機器を21地区会館に整備し、手軽に登録できるようWEBシステムによる健康管理サイトの周知を図った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 157	一般会計	4	1	2	1	1	健康管理推進費	5,903
② 297	国保特別会計	6	2	1	1	3	国保保健指導事業費	6,627
関連決算額合計								12,530

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	「KAGA健食健歩プロジェクト」として、庁内関係課や関連団体とのつながりを持ち、協働事業や市民の健康づくり推進のための基盤整備を強化している。特に、今年度新たにKAGAタニタ健康プログラムを活用した高リスク者の健康づくりの促進・免疫力向上による重症化予防事業を実施し、コロナ禍においても市民の健康づくりの推進につながった。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	健康づくりの継続・定着化(習慣化)の支援について、働く世代・高齢者等ライフステージ別や糖尿病予防・歯と口の健康など分野別の健康づくりの推進について、より一層、庁内関係課や関連団体との連携強化や新たなつながりにより、KAGA健食健歩プロジェクトを推進していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	③健康づくりの推進			

事業番号	4302	事務事業名	グリーンスポーツ推進事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

橋立自然公園内にある保留地を、健康増進を目的とした多目的運動広場に整備し、グラウンドゴルフやパークゴルフ、マレットゴルフやジョギングを通じて市民が健やかに充実した生活を送るための健康づくりの拠点施設とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

かが健康グリーンパークは、パークゴルフ、グラウンドゴルフ、マレットゴルフを行うことができる施設であり、グリーンスポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上を図った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①		-	-	-	-	-	-		-
②									
③									
関連決算額合計									0

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
グリーンスポーツの競技人口の増加に対応して、これらの需要に十分応えられるスペースを確保できた。
また、今後はより使いやすい施設となるよう改善を重ねていく。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後は、かが健康グリーンパーク、橋立自然公園運動広場、黒崎多目的広場の施設を利用し、グリーンスポーツを推進するイベント等が開催できないか、指定管理者とともに検討する。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	③健康づくりの推進			

事業番号	4303	事務事業名	こころの健康づくり対策事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

「こころの健康づくり」に関する知識の普及を図り、市の自殺死亡率の減少達成値を平成27年21.7(人口10万対:衛生統計年報)と比べて、令和8年までには30%以上減らす(15.1)ことを目指すため、こころの健康づくりとその対応に関する啓発活動を行い、こころの病気に関して理解、対応できる市民を増やす。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

加賀市自殺対策基本計画に基づき、中学生を対象したSOSの出し方に関する教育(2校)、働く世代へのうつ病啓発チラシの配布やゲートキーパー養成講座等を通し、総合的な自殺防止対策を行った。
 また、自殺予防週間(9月)・強化月間(3月)に併せ、保健推進員等と協働で相談窓口の紹介を記載したリーフレット等を配布する街頭キャンペーンや、庁内外の相談窓口相談窓口カードの設置を行った。若年層対策として、妊娠届出の際に、こころの相談窓口カードを配布し周知を行った。
 保健師等によるこころの健康づくり相談を随時、実施し、延べ307件(平成26年延べ44件)と相談件数は年々増加している。
 毎年、庁内において、自殺対策の進捗状況を確認し、自殺対策連絡会で情報を共有している。令和2年度はコロナ禍であったため、書面上での共有を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	157	一般会計	4	1	2	1	4	こころの健康づくり事業費	398
②									
③									
関連決算額合計									398

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 本市の自殺死亡率(人口10万対:警察統計)は令和2年に22.6(令和元年13.4)と増加し、県(15.2)、全国(16.4)と比べ、高い状況であった。
 相談窓口の周知や身近なところで相談できる機会を提供し、また、相談支援を行う庁内の関係機関を対象とした連絡会や研修会を開催できたことで、更なる自殺対策の連携・推進が期待できる。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後については、啓発普及・相談体制などの事業を継続し、加賀市自殺対策基本計画(H31.3)に定めた自殺死亡率を平成27年の21.7と比べて30%以上減少させ、令和8年の15.1を目指した取組を行っていく。
 また、加賀市自殺対策基本計画にある「誰も自殺に追い込まれることのない加賀市」を基本理念とし、地域で支え合いのもと、向こう三軒両隣の仕組みづくりや想いやりの心を大切に、「生きることの包括的な支援」を全庁的に推進していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	③健康づくりの推進			

事業番号	4304	事務事業名	食生活改善推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>市民自らが健康の保持増進ができるよう、食に関する知識を深め、食生活改善に取り組むことができるよう、食生活に関する知識や技術を習得した人材育成を行い、地区組織と行政の協働による食生活改善活動を展開する。(食生活改善推進協議会に委託)</p> <p>また、各ライフステージに関わる栄養士が、栄養士連絡会を開催し、各ライフステージごとの課題の共有と必要な対策を検討し、食育を推進する。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>食生活改善推進協議会活動では、「野菜摂取を増やそう」「塩分を減らそう」を重点テーマにコロナ感染拡大防止対策を講じながら、子どもから高齢者までの対象に応じて、生活習慣病予防講座、食育講座等の取組みを実施した。特に減塩活動においては、家庭訪問や啓発普及教材として塩分を使わないレシピ集の作成に取り組んだ。しかし、コロナ禍により、各種団体とつながりを持った活動は少なく、食生活改善推進員の養成講座となる「大人の食育講座」は実施できなかった。</p> <p>栄養士連絡会では、医療、福祉、保健、教育現場の栄養士と連携し、各職域での課題解決に向け、食育パンフレットを作成し、2月広報折り込みにて全戸配布し、健康づくりのための食育について啓発普及を行った。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	157 一般会計	4	1	2	1	3	食生活改善推進事業費	437
②								
③								
関連決算額合計								437

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	<p>各ライフステージにおける食生活の課題について、栄養士連絡会の活用や食生活改善推進員による、実践的な健康づくりの啓発・普及を行うことにより、自分自身や家族、地域住民等多くの市民の食生活改善が期待できる。</p> <p>保健推進員等地区組織や民間団体・企業等ともつながりを持ち、「食」を通じた健康づくりを実施することにより、子育て世代や働き世代等幅広い年代の市民に継続的に働きかけていくことが必要である。</p>					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>「かがし健康応援プラン21」の中間評価から、「野菜摂取を増やそう」「塩分を減らそう」を重点課題として取り組んできたが、再度「糖尿病予防」や新たに「フレイル予防」についても栄養士連絡会やKAGA健食健歩プロジェクトを活用し、食生活改善推進事業として市民への啓発・普及を行う。</p> <p>また、保健推進員やまちづくり等の地区組織、JA加賀等の企業や民間団体と連携し、様々な対象への食育活動を実施し、子どもの頃から食に関心を持ち、男性も食からの健康づくりに関心を寄せ、良い食習慣を身につける市民を増やしていく。</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	③健康づくりの推進			

事業番号	4305	事務事業名	健康診査・各種検診事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

目的・概要 事務事業を実施する目的と概要

健康応援プラン及び国保保健事業対策に基づき、市民自らが健康状態を理解し、健康管理ができるよう、医療保険者ごとに実施する40～74歳対象の国保特定健診及び40歳未満を対象に実施している若年者健診等ライフステージに応じた健診・検診を行い、生活習慣病の予防及び重症化予防を推進する。また、がん検診により、がんの早期発見・早期治療を促進する。

実施状況 事業の進捗、令和2年度の主な成果など

- ①特定健診・若年者健診等
40歳、65歳の節目年齢の無料化の継続、分かりやすい健診の案内通知の実施等受診しやすい体制とした。特定健診未受診者には、健診未受診者勧奨の案内通知や、医療機関と連携した健診等検査データ提供書（治療中者）の提出を依頼し、国保被保険者の健康状態の把握と受診率向上に取り組んだ。保健推進員による40歳、65歳の健診未受診者勧奨訪問を行った。（241件）
- ②がん検診
65歳の市民を対象に全がん検診の無料化や好発年齢の対象者には検診の無料化の継続、大腸がん施設検診を20医療機関で継続し、受診しやすい体制とした。その他、すべてのがん検診と特定健診が一度に受診できるレディース健診日の実施や、医療機関での休日乳がん検診日を設けた。
- ③歯周病検診
令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により歯と口の健康週間行事と歯周病検診、特定健診の同時実施は中止となったが、30歳以上の市民を対象に、歯科医療機関（26機関）での無料歯周病検診を感染症予防対策のもと実施した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	297	国保特別会計	6	2	1	1	1	特定健康診査事業費	39,018
②	157	一般会計	4	1	2	2	1	健康診査費	3,454
③	157	一般会計	4	1	2	2	6	がん検診費	56,243
関連決算額合計									98,715

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	特定健診受診率は平成30年度43.3%、令和元年度41.6%、令和2年度38.4%(R3.7.1現在)(見込)と推移しているが、データヘルス計画の目標値である53%を達成していない。ただし、40歳・65歳の特定健診の受診率は、健診無料化により、同年代と比較しても受診率は高く(40歳 20.2%(40代 16.2%)、65歳 42.2%(60代 33.4%)と受診行動につながっている。がん検診では、令和元年度と比較し、全てのがん検診で受診者数が減少した。				

今後の方向性 次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

引き続き、分かりやすい健診案内通知の実施や商工会等の各種団体や企業、協会けんぽ等への周知の他に、新たに保健推進員による個別健(検)診勧奨、庁内における(高齢部門や生活支援係(生活保護健康管理支援事業))健診周知等の働きかけを強化し受診率向上を目指す。
がん検診においても、好発年齢の無料化を継続し、受診しやすい体制を進めていく。
歯周病検診を、糖尿病週間に併せて特定健診と同時に実施予定。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	③健康づくりの推進			

事業番号	4306	事務事業名	感染症予防対策事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	母子保健グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

予防接種法に規定された予防接種(A類14疾病、B類2疾病)の実施及び感染症予防の啓発により、伝染の恐れがある感染症の発生及びまん延の予防、重症化を予防する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年10月より追加となったロタウイルス感染症他、A類定期接種の13疾病について、主治医の管理による接種スケジュールに従い予防接種を実施できるように冊子型にした予防接種券を保護者へ送付し、乳幼児健診、相談等や保育園を通じて接種勧奨のチラシを配布した。
 更にA類・B類定期接種の未接種者に対しては個別通知による接種勧奨を実施した。また、積極的接種の勧奨を停止しているヒトパピローマウイルス感染症については接種希望者に接種券を交付している。
 新型コロナウイルス感染予防対策として、市独自のPCR検査や感染症予防パス(手帳形式の感染チェックリスト)を用いた感染予防指導を実施した。更にインフルエンザとの同時流行に備え65歳以上の高齢者等のほかに妊婦、乳幼児、小学生、中学3年生、高校3年生を対象者としてインフルエンザの予防接種の助成事業を実施した。
 そのほか、国の通知に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため医療機関の受診を控えた事で定期予防接種を接種期間内に受けることができなかった者に対して接種期間の延長を行った。
 新型コロナウイルスワクチンの接種については、令和3年1月20日に新型コロナウイルスワクチン接種推進室を設置し、加賀市医師会等と接種方法、スケジュールの検討会を開催の他、令和3年3月1日に加賀市コロナワクチン予約相談コールセンターを設置した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	90	一般会計	4	1	3	1	1	一般経費	145
②	90	一般会計	4	1	3	1	2	予防接種対策事務費	208,718
③	90	一般会計	4	1	3	1	5	感染症予防推進費	14,614
関連決算額合計									223,477

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

評価に関するコメント

石川県内で登録されている医療機関において予防接種が可能な体制となっていることや、コロナを理由とした接種期間の延長、長期里帰り等で県外でのA類定期予防接種を希望する者に費用助成事業を実施することで、予防接種が受けやすくなっている。
 更にA類の未接種者に対して勧奨通知等を行うことで接種漏れがないように周知できている。
 コロナウイルス感染症予防対策については、市独自のPCR検査や感染症予防パス(手帳形式の感染チェックリスト)を用いた感染予防指導により、まん延防止に効果的な対策を講じることができている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

適切な時期に接種漏れがないよう、市の接種率の現状を医療機関や保育園、保護者にも示しながら、これまでの実施方法による対策を継続するとともに、効果的な時期に葉書等による接種勧奨を今後も継続し接種率向上を図る。コロナウイルス感染予防対策については、市独自のPCR検査を継続して実施するほか、新型コロナウイルスワクチン接種については65才以上の高齢者接種は7月末、64才以下の希望者に対しては8月までに2回接種が終了するように努める。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	③健康づくりの推進			

事業番号	4307	事務事業名	国保保健事業		
所管部局	市民健康部	所管課	健康課	グループ	健康増進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

「特定健康診査等実施計画(第2期)」「加賀市国民健康保険保健事業計画(データヘルス計画)」に基づき、被保険者の健康増進と生活習慣病の発症予防、また、糖尿病等重症化予防に重点を置き、効果的な保健事業等を実施し、医療費の適正化を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

「特定健康診査等実施計画(第2期)」「加賀市国民健康保険保健事業計画(データヘルス計画)」について中間評価を行い、後期計画を策定した。
 コロナ感染拡大防止のため、特定健診実施は計画の1か月遅れの開始となったが、特定健診受診者には適時、健診結果の通知と健康づくりの情報提供により、健康づくりの動機づけを行った。メタボリックシンドローム対象者には、自己血糖測定や食・運動体験などの生活改善メニューを提供し、特定保健指導を実施した(初回面接利用312件)。また、特定健診未受診者対策として、健診受診勧奨訪問を初めて加賀市保健推進員協議会に委託し、実施した(40歳65歳の未受診者:241件)。
 重症化予防では、糖尿病等未治療者への保健指導の実施や、「糖尿病連携手帳」及び「医療連携書(受診結果報告書)」の媒体を活用し、医療と連携した保健指導を行った。
 医療連携書の発行:679件、うち医療機関受診:367件、医療連携による保健指導:37件
 加賀市糖尿病協議会と連携し、糖尿病療養指導士による治療中断者対策事業等を実施した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	決算額(千円)
①	297	国保特別会計	6	2	1	1	2	特定保健指導事業費 6,764
②	297	国保特別会計	6	2	1	1	3	国保保健指導事業費 18,378
③								
関連決算額合計								25,142

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	特定保健指導利用者のうち、生活改善メニューにより、約半数がメタボリックシンドロームの改善がみられ、生活習慣病の発症予防にもつながっている。 健診の結果、要医療者で未治療者への医療機関の受診勧奨や保健指導により、データの改善や治療につながっている。また、糖尿病性腎症重症化予防において、糖尿病未治療で医療連携書を発行した者のうち約6割の受診があり、その他はレセプトや訪問等で約9割の医療機関受診を確認した。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

「加賀市国民健康保険保健事業等実施計画(後期計画)」に基づき、①生活習慣病予防(特定健診受診率向上、特定保健指導の充実、がん検診・歯周病検診受診率向上等)、②生活習慣病重症化予防(医療と連携した重症化予防、重複服薬対策等)、③ポピュレーションアプローチに取組む。
 予防可能な糖尿病対策を強化し、国のKPI指標でもある糖尿病性腎症による新規人工透析患者数減少を目指すため、糖尿病管理台帳の活用や医療と連携した保健指導の実施、加賀市糖尿病協議会との連携、また、生活改善メニューの対象者の拡充や、KAGA健食健歩プロジェクト事業のメニューを整備し、各メニューを活用した動機づけや継続支援につながる保健指導を行う。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	③健康づくりの推進			

事業番号	4308	事務事業名	ウォーキング教室開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>「KAGA健食健歩プロジェクト」の一環として、健康フェスタ(健康課主催事業)においてノルディックウォーキング教室を開催し、参加者にノルディックウォーキングの楽しさと健康への効果を実感していただき市民の健康増進を図る。また、教室を開催することで、ノルディックウォーキングの効用の周知を図る。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>毎年、「KAGA健康フェスタ」に合わせノルディックウォーキング教室を行い、ポールの持ち方と歩き方の講習を行った後、大聖寺地区内をウォーキングするイベントを開催しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	277	一般会計	10	6	5	2	1	体力づくり推進費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>
評価に関するコメント	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となったが、例年多くの参加者もあり、市民の健康増進に寄与するため、今後も継続することとする。</p>		

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>ノルディックウォーキング教室については、今後、「加賀市ウォーキングマップ」を参考にして、市内各地区のウォーキングコースにおいて実施する。また、ノルディックウォーキングは効率よく全身運動ができる生涯スポーツであり、健康に関心のある人を中心に人気が高まっている。</p> <p>なお、健康課において同様の事業を毎月実施していることから、市民に分かりやすい事業とするため、統合を検討していく。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	④医療提供体制の充実			

事業番号	4401	事務事業名	在宅医療介護連携推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	サブセンター

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>病気になっても、介護が必要な状況になっても、本人の望む場所で望む暮らしを続けるためには、医療と介護が互いに連携し、切れ目なく提供されることが必要である。</p> <p>このため、市が実施する事業とともに、医師会や歯科医師会、薬剤師会、介護サービス事業者協議会等の多職種での協議会において、意見交換や研修等を実施し、医療と介護のさらなる連携の推進に取り組む。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																												
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に対しては、自身の人生の最期の迎え方について、わたしの暮らし手帳や広報かがで啓発を行った。 ・医療と介護の従事者に対して、人生の最終段階において、本人及び家族の意思を尊重した支援ができることを目的とする研修会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できず、感染症の最新情報に関する研修会を実施した。 ・医療介護連携の相談窓口としての在宅医療コーディネーターを設置し、ケアマネジャーから相談を受ける体制をとっており、在宅療養を支援するため、ケアマネジャーが加賀市医療センターの外来看護師に相談できる体制を検討し、仕組み化した。 ・連携の課題把握から取り組みに関しては、医師会をはじめ、介護事業者の協議会や薬剤師会などの各種団体と協議をし、広報誌を作成し、各種団体に周知している。 																																												
	令和2年度決算																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>157 介護保険特別会計</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>在宅医療・介護連携推進事業</td> <td>3,428</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">関連決算額合計</td> <td>3,428</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	157 介護保険特別会計	4	1	2	1	12	在宅医療・介護連携推進事業	3,428	②									③									関連決算額合計							
頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																					
①	157 介護保険特別会計	4	1	2	1	12	在宅医療・介護連携推進事業	3,428																																					
②																																													
③																																													
関連決算額合計								3,428																																					

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>・厚生労働省は、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を人生の最終段階における医療の実現に資するものとして策定した。そのガイドラインについて、医療と介護関係者がともに理解を深めることができ、どのように実施していけばいいか継続して検討していく。</p> <p>・令和2年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、最新情報の研修会ができたこと、参集型でのグループワークや協議ができないことから、広報誌で活動や各機関の取り組みの理解を図ったことは、顔も見えない関係の一助になったことと評価できる。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>・本人や家族が望む医療やケアの実現のために、入院中から退院後の生活を見据えて、医療職や介護職が一体的に本人に関わることに重要である。そのために医療が担うこと、介護が担うことをそれぞれが検討していく場を設け、仕組み化していく。</p>

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	④医療提供体制の充実			

事業番号	4402	事務事業名	医師招へい推進策事業		
所管部局	医療センター 管理部	所管課	総務課	グループ	人事グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>地域に必要とされる医療を安定的に提供するとともに、医療の質の向上を図るため、医師の招へいを長期的・継続的に実施する。また、働きやすく働き甲斐のある職場環境づくりへの取り組みにより、継続した人材確保の実現を目指す。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																												
	<p>医師の派遣を受けている関連大学医局に対し、診療実績をもとに派遣医師増員の必要性を説明した他、加賀市にゆかりのある医師及び多様な働き方に対応する招へい活動を継続的に実施することで、臨床研修医以外の常勤医は3名増員した。</p> <p>一方、臨床研修医は、令和2年度も2名の基幹型初期臨床研修医を迎え入れることができ、基幹型臨床研修病院として初の修了者2名を輩出した。協力型臨床研修病院としては、金沢大学病院の初期研修医3名受け入れた。</p> <p>働きやすい職場環境づくりとして、月の日当直回数を3回以下とすることを目標としている。令和2年度は、平均2.0回となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、招へい活動はリモートに切替わった内容も多く、経費は減少した。</p>																																												
	令和2年度決算																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>- 病院事業会計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>経費(報償費)</td> <td>980</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>- 病院事業会計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>経費(報償費以外)</td> <td>7,325</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>- 病院事業会計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td>研究研修費</td> <td>3,993</td> </tr> <tr> <td colspan="8">関連決算額合計</td> <td>12,298</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	- 病院事業会計	1	1	3			経費(報償費)	980	②	- 病院事業会計	1	1	3			経費(報償費以外)	7,325	③	- 病院事業会計	1	1	6			研究研修費	3,993	関連決算額合計							
頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																					
①	- 病院事業会計	1	1	3			経費(報償費)	980																																					
②	- 病院事業会計	1	1	3			経費(報償費以外)	7,325																																					
③	- 病院事業会計	1	1	6			研究研修費	3,993																																					
関連決算額合計								12,298																																					

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>本事業は、加賀市医療センターが市内唯一の急性期病院として、地域に必要とされる医療を安定的に提供し、更に医療の質の向上を図るために必要であることから、今後も継続して実施する必要がある。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>地域の医療需給状況を注視しながら、診療実績をもとに関連大学に派遣の働きかけを継続すると共に、当地域にゆかりのある医師の情報に迅速に対応し、招へいに繋げる。</p> <p>更に、将来を担う医療人を育成する施設として、臨床研修医の受入れを積極的に行うとともに、医学部在学学生にも当院を研修先として選んでいただけるよう、見学や実習を通じてアピールを続ける。</p> <p>また、働きやすく働き甲斐のある環境を整えるため、医師の事務的負担の軽減に努め、女性医師のワークライフバランスに配慮した時短勤務や、多様な働き方に対応していく。</p> <p>これらを継続することにより、医師の招へいを推進し、一人でも多くの医師に、この地域で長く働いていただけるよう努めていく。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	④医療提供体制の充実			

事業番号	4403	事務事業名	医療機能向上推進事業		
所管部局	医療センター 管理部	所管課	総務課	グループ	総務グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>地域の中核病院として医療提供体制の強化・充実をはかるため近隣自治体や他の医療機関・介護施設などとの連携により、保健・医療・福祉が一体となった取り組みを進める。 具体的には救急搬送を断らない体制を堅持するとともに急性期医療と後方支援機能（ポストアキュート）を担う。 また市内唯一の分娩取扱医療機関として周産期医療を推進する。 さらに健診センターを中心に疾病の予防・早期発見・早期治療に努める。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>救急搬送件数は、2,698件で前年度2,817件に対し119件増加（応需率は99.2%、前年度99.2%） 患者の他医療機関からの紹介件数は、2,501件で前年度2,987件に対し486件減少（紹介率は24.4%、前年度24.3%） 患者の他医療機関への逆紹介件数は、3,445件で前年度3,249件に対し196件増加（逆紹介率は33.6%、前年度26.3%） 分娩件数は、130件で前年度162件に対し32件減少 訪問看護度は実施3年目で2,150件であり、前年度1,669件に対し481件増加</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	- 病院事業会計	1	1					7,250,417
②								
③								
関連決算額合計								7,250,417

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	本事業は医療提供体制の強化・充実をはかるため今後も継続が必要である。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>引き続き救急を断らない体制のため、救急搬送については高い応需率を保持する。 他の医療機関・介護施設との連携の推進のため、紹介率・逆紹介率の増加を図る。 急性期医療の維持および保健・医療・福祉が一体となった取り組み(地域包括ケア)の推進のため訪問看護ステーションを引き続き活用する。</p>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	④医療提供体制の充実			

事業番号	4404	事務事業名	地域医療推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>市民が安心して健やかに暮らし続けられるため、地域の医療に関する市民・医療機関・行政の役割の相互理解・連携を促進し、地域医療体制の充実を図る。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>・加賀市の地域医療の充実を図ることを目的とした「地域医療審議会」を設置し、継続的に審議しており、令和2年度には1回開催した。また、救急医療について、継続的に救急医療懇話会を開催して、関係者で救急医療の現状検証を行い、更なる体制強化について協議する予定であったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止とした。</p> <p>・地域医療推進に関しては、救急医療の現状課題報告や「地域医療を守る条例」を周知するとともに、救急医療の適正利用やかかりつけ医を持つことなどを市民に周知している。令和2年度は市民向けの講演会や座談会等にて周知啓発する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止とした。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	133	一般会計	4	1	1	7	1	地域医療推進費	3
②	133	一般会計	4	1	1	8	1	地域医療審議会費	136
③									
関連決算額合計									139

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>地域医療審議会については、今後も市内の地域医療の充実を図ることを目的として継続的に審議していく。 地域医療推進については、「地域医療を守る条例」を周知することと併せて、かかりつけ医を持つことの大切さや救急医療の適正利用等を継続して市民に周知を行う。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>救急医療懇話会において、救急医療の現状認識を関係者間で共有を図り、救急医療の体制強化に向けての対応策等を協議していく。 地域医療審議会を継続実施し、市内の地域医療を充実するために審議していく。 市民の地域医療を守る取組活動として、かかりつけ医を持つことの推進や救急医療の適正利用等について、市民向けの講演会や座談会等にて周知啓発等を行っていく。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑤高齢者福祉の充実			

事業番号	4501	事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業(介護予防・生活支援サービス事業、介護予防マネジメント事業)		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	介護予防

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

高齢者の多様な生活支援のニーズに対応するため、実情に応じて、住民や事業所などが参画した多様なサービスを充実させる。また、地域で支え合う仕組みや環境づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援体制を構築する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

・介護予防・日常生活支援総合事業は、①第1号通所及び訪問型サービス(現行)②第1号通所及び訪問型サービス(短期集中)③第1号通所型サービス(通所A)④家事支援サービスのことである。この事業は適切に実施するためのケアマネジメント事業が重要となり実施されている。
 ・制度改正により、この事業において特徴的なサービスは、②と④である。②の第1号通所及び訪問型サービス(短期集中)は、利用者がこれまでの暮らしに戻れるようにすることを目的に、平成30年度より短期集中予防サービス(リハビリテーションの専門職が介入し、改善可能性の高い対象者に短期的(3~6カ月)集中的にサービスを提供する)を開始しており、受託事業所は2事業所である。④の家事支援サービスは、元気な高齢者が高齢者をささえる仕組みとして、家事支援の代行をおこなっている。家事支援サービスを担う家事支援サポーターの養成講座も毎年実施し、担い手の育成をしている。
 ・ケアマネジメントにおいては、包括的・継続的ケアマネジメント事業と連動し、ケアマネジャーの質の向上を図っている。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	133	介護保険特別会計	4	1	1	2	1	介護予防・生活支援サービス事業費	139,625
②	133	介護保険特別会計	4	1	1	2	2	介護予防ケアマネジメント事業費	15,902
③	133	介護保険特別会計	4	1	1	2	3	審査支払手数料	252
関連決算額合計									155,779

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	・高齢者が、介護予防基本チェックリストにより、早めに自身の生活状況を把握することで、介護認定の手続きをすることなく、タイムリーに生活課題に応じた総合事業のサービスを利用できる仕組みになっている。 ・家事支援サービスの開始により、訪問介護と家事支援サポーターとのサービス内容において整理ができています。また、家事支援サポーターは、元気な高齢者の活動の場にもなり、介護予防の取り組みの1つとなっている。 ・ケアマネジメントにおいては、自立支援の視点に強化しており、認定結果が軽度になったり、サービスを利用せずに生活できた事例もでています。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

・介護予防・日常生活支援総合事業は適切なケアマネジメントと両輪でのサービスであるため、必要となるケアマネジメントの質の向上及び自立支援に向けた視点の強化を図っていく。
 ・今後も、高齢者のニーズに対応するため、実情に応じて、住民や事業所などが参画した多様なサービスを充実させるために、事例からの課題を整理し、介護福祉課と検討しニーズにあった使いやすいサービスの整備をおこなう。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑤高齢者福祉の充実			

事業番号	4502	事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	介護予防

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

- ・高齢者が年齢や心身の状況によって分け隔てられることなく、参加できる通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。また、地域においてリハビリテーション専門職等による自立支援に資する取り組みを推進し、要介護状態になっても、生きがいや役割をもって生活できる地域の実現を目指す。
- ・事業には、「介護予防把握事業」「地域型元気はつらつ塾」「かがやき予防塾」「地域おたっしやサークル」「地域リハビリテーション活動支援事業」等があり、支援が必要な高齢者の把握や介護予防に関する普及啓発、住民主体の活動支援などを行っている。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

- ・地域型元気はつらつ塾は、住民・事業者・行政が協働し、地区の特性に応じた予防事業のあり方を考え実施しており、これまで16地区15箇所（2地区合同で1箇所実施）立ち上がっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休止する期間もあったが、再開時には感染対策を行いながら実施した。
- ・かがやき予防塾は、平成27年度から実施し計271名が修了。修了後は、地域型元気はつらつ塾の協力員や認知症ケアパスの啓発普及等の活動につながっている。
- ・地域おたっしやサークルには、新型コロナウイルス感染症の予防対策について、地域包括支援センター職員（ランチ含む）が講話や実技指導を行った。また、前年度に作成した脳活性化プログラムの定着を図った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
①	133	介護保険特別会計	4	1	1	3	1	一般介護予防事業費	51,522
②									
③									
関連決算額合計								51,522	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
	評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域型元気はつらつ塾では、地域の身近な場で介護予防活動を展開している。地域の元気な高齢者を含む住民が協力員等として企画や運営に関わることで、活動以外の場所での見守りや地域のことに関心をもてる機会となっている。コロナ禍で休止の時は、自身の検温などを記載できる健康管理シートの活用や自宅で行える体操など周知し生活機能の低下の予防に取り組んだ。 ・かがやき予防塾では、受講者自身の介護予防や健康管理を考え、自分のできることを地域で活かせるようつながりを作っている。 ・地域おたっしやサークルは住民が主体となって活動を展開しており、コロナ禍でも感染対策を行いながら実施した。 				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

- ・地域型元気はつらつ塾は、令和3年度中に1地区の開所を目指す。人材が不足する中、継続して実施できる仕組みの検討が必要である。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で自粛生活となり、活動量が低下する高齢者が増え、フレイルの悪化が懸念された。自宅でも行える体操や貯筋券・運動施設利用券等の普及等を行い、今後もフレイル予防の働きかけを行う。また、リアル空間だけの繋がりがりではなく、バーチャル空間での繋がりがりも含め「通いの場アプリ」の活用をすすめていく。
- ・令和2年度実施した「エビデンスに基づく健康増進プログラムの調査研究」の検証結果から、エビデンスのあるプログラムの普及を地域おたっしやサークルや地域型元気はつらつ塾で実施する。
- ・高齢化率が上昇していく中で、その人らしく自立した生活を継続するには、健康づくりや介護予防が重要である。令和2年度にモデル的に行った高齢者の保健事業と介護予防の一体的取り組みを拡充し、介護予防だけでなく生活習慣病予防・重症化予防を強化する。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑤高齢者福祉の充実			

事業番号	4503	事務事業名	認知症予防・支援体制構築事業(もの忘れ健診、かかりつけ医対応力向上研修、認知症初期集中支援チーム)		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括的支援・介護予防

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>認知症の早期発見・早期診断・早期対応のため、以下の事業を実施している。</p> <p>①かかりつけ医でのもの忘れ健診の実施やその後のフォロー体制構築の検討。</p> <p>②かかりつけ医等コメディカル、介護職員と合同での認知症の人の対応力向上研修の実施。</p> <p>③認知症初期集中支援チームによる、認知症の人の支援及びかかりつけ医と専門医との連携の検討。</p> <p>①～③を通して、医療職と連携し、認知症になっても住み慣れた地域での暮らしの継続を目指す。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>・もの忘れ健診実施の意向があった開業医(市内29カ所)でもの忘れ健診を継続的に実施している。また、フォローが必要な方や介護予防基本チェックリストの認知機能低下項目すべて該当者の生活状況を把握している。</p> <p>・かかりつけ医等対応力向上研修は、コロナ禍の影響で中止となったが、市民向けの認知症の正しい理解の定期講座(5回)は感染防止対策を徹底し、実施した。</p> <p>・医師、保健師、精神保険福祉士からなる認知症初期集中支援チームを設置しており、依頼のあったケースに対し、チーム員が訪問し状態を把握している。専門医を含むチーム員会議にて事例検討し、今後の支援方針をアドバイスしている。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	133	介護保険特別会計	4	1	1	3	1	一般介護予防事業費	355
②	157	介護保険特別会計	4	1	2	1	12	その他事業費	47
③									
関連決算額合計									402

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>・もの忘れ健診は、認知症の早期発見や他の病気の発見など早期の予防の取り組みになっている。また、健診後はかかりつけ医から認知症予防の説明もあり、認知症の正しい理解につながっている。</p> <p>・医療機関では、もの忘れ健診のスクリーニングシートを日々の診察場面で活用している。</p> <p>・認知症初期集中支援チームは困難事例における支援について、専門医を交えてチームで検討している。認知症だけでなく、発達障害やうつ病など他の疾患の可能性も含め、支援について医学的な見地からの見立てや予後予測ができています。</p> <p>・健康課が実施している医師会への健診説明会に、もの忘れ健診の受診者数や精密検査結果のフォードバックを行っている。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>・早期発見の取り組みとして、もの忘れ健診は有効である。継続して実施し、気になる方については、ランチと連携し生活状況の把握のための訪問を行ったり、必要に応じて支援体制を医師と相談したりする。</p> <p>・相談の時点では生活に支障のない場合も多いので、訪問時に発症予防のポイントも情報提供する。さらに、市民への認知症の正しい理解の普及啓発のために、当事者による講演会や認知症サポート医による定期講座を継続的に実施するとともに、一般介護予防事業やその他の認知症に関する事業と連動した取り組みを実施していく。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑤高齢者福祉の充実			

事業番号	4504	事務事業名	認知症ケア普及事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括的支援

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して、市民が認知症の正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する人(認知症サポーター)となるよう育成する。また、市民・事業者・行政が一体となり、認知症の人を支える地域の支援体制を構築していくことを目的としている。主に、認知症の正しい知識等を伝える講師役である「キャラバン・メイト」が、市民を対象に「認知症サポーター」の養成講座を開催する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

- ・加賀市キャラバン・メイト連絡協議会に認知症サポーター養成講座やキャラバン・メイト連絡会等の委託をした。キャラバン・メイト連絡会を通して、全体活動について話し合う場を設け、キャラバン・メイト自らが活動を考えていく体制とした。また、コロナ禍のため、オンラインでキャラバン・メイト対象に研修を開催した。
- ・各圏域のキャラバン・メイトが圏域ごとに必要な取り組み(小学校との連携等)を話し合い、認知症サポーター養成講座を実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響があり、例年よりも実施回数は少なかった。コロナ禍における養成講座の開催基準を定め、感染対策を徹底し認知症サポーター養成講座を実施した。
- ・定期的認知症サポーター養成講座は、認知症サポート医とキャラバン・メイトが講師となり実施している。また、もの忘れ健診の結果をフォローする場としても継続的に開催している。
- ・「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」という目的にあわせ、認知症について自分事として捉えることができるように認知症サポーター養成講座の内容を変更した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
①	162	介護保険特別会計	4	1	3	1	3	その他事業費	280
②									
③									
関連決算額合計								280	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・加賀市キャラバン・メイト連絡協議会が主体となり、立場の異なる市民・介護職・医療職のキャラバン・メイトと一緒に認知症についての啓発活動を行った。また、連絡会や圏域での集まりを通してより良い普及啓発活動について議論を行っている。 ・地域包括ケアシステムを構築するために、各圏域での様々な取り組みを継続することで、キャラバン・メイト同士が連携し、必要な取り組みに発展している。 ・認知症サポーター養成講座をとおして、市民にとって認知症を正しく理解する場になっている。 				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

- ・今後もキャラバン・メイトは、地域の実情にあわせて、認知症を正しく理解してもらうための普及活動を続けていく。
- ・市は、キャラバン・メイトがより自主的に活動を展開していけるよう働きかけていく。
- ・認知症の正しい理解や認知症の人を温かく見守ることを目的とした認知症サポーターから、認知症の人やその家族の支援ニーズにあった具体的な支援につなげる仕組み(チームオレンジ)へステップアップを行っている。
- ・市民メイトの養成を行い、専門職だけではなく、住民とともに活動をしていく体制を構築していく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑤高齢者福祉の充実			

事業番号	4505	事務事業名	総合相談事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	包括的支援

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	65歳以上の高齢者及びその家族を対象に保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士等により、相談対応を行い、今後の支援方針等とともに考える。また、その多くの相談内容等から見えてくる地域の課題を整理するため、介護保険サービス事業所や関係団体と会議をもち、課題の解決や地域のネットワーク構築についての協議を行う。								

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など								
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター（保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等）は、高齢者の相談窓口として初期相談を実施。地域の課題を解決するため各機関との連携や相談対応を行っている。 ・市内15カ所にランチを設置。 ・医療機関からの相談に対応するサブセンターは5年目を迎え、開設当初から市内4医療機関及び小松市内の医療機関からの相談に対応している。 ・基幹型包括支援センター及びランチでは、ケアマネジメントの質の向上のために定例ケース会議やブロック連絡会でのケース検討会議を継続して実施している。 ・地域住民と検討して、地域課題を整理し、地域にあった解決が図れるような体制にするために、地域ケア会議の開催及び後方支援を行った。 								

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	157	介護保険特別会計	4	1	2	1	2	総合相談事業費	15,995
②									
③									
関連決算額合計									15,995

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型包括支援センターへの相談件数は減少しているが、ランチへの相談件数は増加している。相談者は、本人、家族、民生委員、警察、医療機関、市役所他課等多岐にわたっている。 ・ランチへ直接相談する新規ケースが増えており、地域の身近な相談窓口としての機能を果たしつつある。 ・地域密着型サービス事業所が開催している運営推進会議を地域包括支援センターの「地区地域ケア会議」として位置づけ、ランチの相談実績や課題を地域住民に報告している。 				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談事業は、地域包括支援センターの必須業務に位置付けられている。相談内容は高齢者本人だけの問題ではなく、家族問題が背景になっているケースや家族が障がいや病気、貧困等のために支援が必要なケースも増えている。そこで、市の機構改革により、高齢者だけでなく、障害のある人等も含め、途切れなく一体的に支援していく相談窓口体制の拡充を図った。 ・基幹型地域包括支援センター内では、定例でケース会議を週1回継続し、相談担当者の質の向上に今後も努める。また、ランチにおいては、質の向上のための連絡会や研修会を通じて、ランチ同士の意見交換、ネットワークの構築を図る。圏域毎のブロック連絡会では事例検討を行い、質の向上を目指す。 ・ランチ活動からの相談実態をグラフにする等データを見える化し、地区地域ケア会議で議論していく仕組みを更に強化する。 ・障がいのある人の相談窓口機能の強化及び「精神障害者にもやさしい地域包括ケアシステム」の構築にむけ、ランチを要とし一体的に構築していく。 								

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑤高齢者福祉の充実			

事業番号	4506	事務事業名	老人クラブ育成事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>高齢者が地域で安心していきいきと暮らせるよう、健康維持、生きがいづくり、社会参加の促進につなげることを目的に、市老人クラブ連合会及び各老人クラブに対し、クラブ育成のためとして運営費助成を行う。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>令和2年度は、加賀市老人クラブ連合会及び各老人クラブ75クラブ(合計加入者数5,857人)に対して助成を行った。 新型コロナウイルスの影響で活動が制限される中、感染防止対策に配慮しながら地域の見守り活動や環境美化活動に注力した。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	128	一般会計	3	1	3	7	4	老人クラブ育成費	4,302
②									
③									
関連決算額合計									4,302

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
------	-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	<p>評価に関するコメント</p> <p>市老人クラブ連合会や各老人クラブは、数々のレクリエーションやスポーツ大会、旅行等を活発に実施しており、高齢者の健康づくりや生きがいづくりに大いに貢献するなど有効性があり、また、費用対効果もあると判断できる。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>高齢者数は増加傾向だが、若年高齢者の老人クラブへの加入が少ない状況のため、加入者は年々減少傾向となっており、加入者自体が高齢化している。 令和元年度と比較すると、令和2年度は1クラブ増加したものの、5年前の平成27年度と比較するとクラブ数が2減少、会員数が約600減少している。 高齢者がいきいきと暮らせるための活動の場として、老人クラブは必要であり、今後も活動を続けていけるよう助成を継続する。</p>
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑤高齢者福祉の充実			

事業番号	4507	事務事業名	シルバー人材センター運営事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>60歳以上の方の就業機会を創出するシルバー人材センターへの活動支援を行うことで、高齢者等の生きがい創出と社会参加を図り、能力を活かした活力ある地域社会づくりを推進する。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>本事業は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づく補助事業として、国の定める高年齢者就業機会確保事業費等補助金(シルバー人材センター事業)交付要綱に規定されているものであり、同センターへの運営補助を行っている。</p> <p>会員数は854人であり、前年比11人(1.3%)の増となった。契約額は369,222千円であり、前年より1,280千円(0.3%)の減となったが、内訳としては派遣事業が14,806千円(13.2%)増となったものの、請負事業で16,086千円(6.2%)減少している。派遣事業の契約額に占める割合は34.4%と、昨年度の30.2%より増加しており、シルバー会員の就業が「福祉」から「労働」へ年々移行している傾向にある。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	128	一般会計	3	1	3	7	3	シルバー人材センター運営費	9,580
②									
③									
関連決算額合計									9,580

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>普通</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>
	<p>評価に関するコメント</p> <p>会員数、就業延日数から格付けされる国の補助金においてはAランクを確保している。高齢者の就業機会や社会参加の確保を行う組織として有効性があり、事業としても費用対効果があると思われる。</p>		

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>会員の増加、就業率向上、契約額の増を最優先課題として取り組んでいるだけでなく、自主事業である「元気市」の拡大や、要支援の高齢者を対象とした日常生活支援を開始するとともに、平成28年度にオープンした地域交流プラザさくらの指定管理、平成29年からは同施設内に「レストランさくら」を開設し、タニタ食堂監修メニューを提供するなど社会貢献事業も実施している。</p> <p>シルバー人材センターへの助成を継続し、高齢者の能力を活かした就業の取り組みや、生きがいの充実と社会参加を推進していく。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑤高齢者福祉の充実			

事業番号	4508	事務事業名	介護支援ボランティア制度事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

65歳以上の元気な高齢者の社会参加を促し、高齢者の生きがいづくりや介護予防を推進する仕組みとして、高齢者がボランティア登録して受入施設等で活動を行った場合、その活動に対してポイントを付与し、ポイント転換交付金交付申請を受けてこれを現金に交換する制度。ボランティア登録の受付や転換交付申請のとりまとめなどは委託契約による受託者(管理機関)が行い、受入施設の登録や転換交付金の交付については市が行っている。
平成26年度に県のモデル事業の指定を受けて検討を行い、平成27年度から実施している。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

管理機関への委託料およびポイント転換交付金(対象者122人)を支出している。
ボランティア登録人数は、平成30年度は185人、令和元年度は169人、令和2年度は159人。
ポイント転換交付金交付対象者は、平成30年度は137人、令和元年度は122人、令和2年度は101人である。
受入施設等は、令和元年度末で64箇所である。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	152 介護保険特別会計	4	1	1	3	1	一般介護予防事業	1,427
②								
③								
関連決算額合計								1,427

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	令和元年度末にボランティア登録をしていた人が、令和2年度においても継続登録しており、高齢者の活動の場として一定の効果を挙げつつあると考えられる。 高齢者が社会的役割を持つことで、社会に参加し、いきいきと活動することで、介護予防につながっている。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

広報かがに現役ボランティアのインタビュー記事を掲載し、制度の存在や働き甲斐をお知らせする等の方法により、制度に関心を持っていただき、ボランティア登録者数の増加を目指すとともに、受入施設の登録増加、施設以外の受け入れ先の検討・拡充をはかり、高齢者の活躍を推進していく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑥障がい者福祉の充実			

事業番号	4601	事務事業名	じりつ支援協議会運営強化事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	相談支援

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

障がい者及び障がい児(以下「障がい者等」という。)の地域生活を支援するため、地域の関係者によるネットワークを構築する。
 関連する関係機関や関係団体、保健、医療、福祉、教育、就労等の多分野・多職種による関係者が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等との連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議をおこなう。(地方公共団体は総合支援法において協議会の設置は努力義務とされている)

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年度においては、「障がい福祉全体会」は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止としたが、「相談事業所連絡会」を年7回、ケース検討会を年3回リモートで開催したほか、ネットワークの構築、地域課題の具体化と共有、課題解決のための取り組みとして、5つのワーキンググループにより検討を行った。
 その中のワーキンググループ「まなびっくす」では、新型コロナウイルス感染症の対応や工夫などの取り組みを当事者や事業者の計8人が実践報告し、今後の参考となるような研修を動画視聴型(インターネット限定配信及びDVD)で行った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	120 一般会計	3	1	2	2	34	じりつ支援協議会費	45
②								
③								
関連決算額合計								45

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 障がい者等を地域で支える仕組みを考え、必要な情報を交換できる場として、今後も継続的に開催することが必要である。できることから一步一步進めていき、障がい者等の支援について協働する場として機能させる。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

- ・同じような会議やワーキングが開催されており、課題を整理しても実践にまで結びついていないため、次年度からは、じりつ支援協議会の体制を変更し、課題が解決できる仕組みへ変更する。
- ・今後は、各障害サービス事業者が当事者及びその家族のために何が必要かお互いが考え、共有し、同じ方向性の中で検討できるように、障害サービス事業者協議会の設置も目指す。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑥障がい者福祉の充実			

事業番号	4602	事務事業名	理解促進研修・啓発事業		
所管部局	市民健康部	所管課	地域包括支援センター	グループ	相談支援

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>障がい者及び障がい児(以下「障がい者等」という。)や障がい特性等に関する地域住民の理解を深めるため、または障害福祉分野において様々な心身の特性や考えを持つ全ての人々が、相互に理解を深めようとしてコミュニケーションをとり、支え合う「心のバリアフリー」の推進を図るため、研修及び啓発活動を実施することにより、障がい者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去及び共生社会の実現を図ることを目的とする。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<p>令和2年においては、市内小学校等の総合学習の一環として取り入れている「小学生等のための手話教室」を小学校4校4学級にて、1学級につき全7回開催した。 コロナ禍により、学校に向いて対面での手話教室が行えなかったため、オンラインで開催することとし、それに対応できる小学校にて開催したため、予定していた学校数より減少したが、児童がろう講師との対話の中で言語としての手話を習得し、最後には、ろう講師に向けて手話で自己紹介を行う等、手話をとおして障がいや障がい者および障がい児に対する理解を深め、福祉意識の育みに努めた。</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	120	一般会計	3	1	2	2	30	理解促進研修・啓発事業費	298
②									
③									
関連決算額合計									298

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>障がい者施策を展開していく上で、人のこころのあり方が非常に重要な要素を占めている。 この事業により、直ちに目に見える形でその効果が表れるようなものではないが、一人でも多くが人のこころから、障がいや障がい者に対するバリアを取り除いていくことが、障がいの有無にかかわらず、「あたりまえの生活」ができるまちづくりに資するものとなる。 手話への理解の促進、手話を使いやすい環境づくりなどのため、「加賀市手話施策推進方針」に基づく施策を推進する必要がある。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>・「手話教室」については、特定の学校に偏ることなく、市内小学校、高校にも広く開催を呼び掛けていき、多くの児童生徒に手話学習や手話をとおして障がい者等や障がいについて考える機会を与え、もって「心のバリアフリー」の推進を図る。 ・手話への理解の促進、手話を使いやすい環境づくりなどのため、「加賀市手話施策推進方針」に基づく施策を推進する。 ・障がいに関する理解促進は、手話だけではない。身体障害や知的障害、発達障害なども含めて広く住民へ理解してもらうため、講座などの実施に向けて検討していく。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑥障がい者福祉の充実			

事業番号	4603	事務事業名	(就労の)企業等への働きかけ事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	ふれあい福祉

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>就労対策は障がい者の自立と社会参加にもっとも有効かつ効果的な方策であり、障がい者の自己実現のための機会を提供できるものとなる。</p> <p>働くことを希望する障がい者に対して、その意欲と能力に応じて就労できるような、また、就労した障がい者が継続的に就労していけるような支援体制を確立する。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>就労支援対象施設への専門的な支援、情報の提供、関係機関との連絡、調整等を行うための相談支援機能強化事業(就労強化)を、専門的職員を配置している障がい者基幹相談支援センターに委託して実施した。相談支援機能強化事業(就労強化)において、就労支援体制検討会(市、基幹相談支援センター、相談支援事業所)が、こまつ障害者就業・生活支援センター、ハローワーク加賀、加賀商工会議所、就労移行支援事業所)を5回開催したほか、ハローワーク主催の障がい者と企業をつなぐ合同面接会(2社、8名参加)への協力をした。</p> <p>なお、企業向けの雇用に関するパンフレットを作成し、市内の企業へ配布した。</p>

実施状況	<p>令和2年度決算</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>120</td> <td>一般</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>障害者就労対策費</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9" style="text-align: right;">関連決算額合計</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	120	一般	3	1	2	2	6	障害者就労対策費	53	②										③										関連決算額合計									53
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	120	一般	3	1	2	2	6	障害者就労対策費	53																																										
②																																																			
③																																																			
関連決算額合計									53																																										

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>障がい者の社会参加や自立の促進と就労人口の減少に伴う企業の人手不足や法定雇用率を満たしていない企業が上手くマッチングできれば、相乗効果となるため、有効性は高いと考える。</p> <p>また、企業に対する障がい者理解の促進については、チラシなど少ない費用で行えるが、企業訪問などは時間と人的な労力がかかるため、今後も複数年をかけながら、継続的に取り組んでいくべき事業である。</p>				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>企業に対する働きかけについては、障がい者理解を今後も長期的な視野で続けていき、少しずつであっても着実に障がい者理解と障がい者雇用が進んでいくよう、企業に対する有効的な働きかけを常に検討していく。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり			
施策	⑥障がい者福祉の充実			

事業番号	4604	事務事業名	就労支援ネットワークの強化事業		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	ふれあい福祉グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>障がいのある人の一般就労を促進することを目的とし、加賀市・小松市・能美市・川北町の3市1町の福祉団体、行政、企業等で構成された南加賀就労支援強化連絡会に参画し、連携を図る。</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>本連絡会は、働く人の情報誌クローバーを発刊(年2回)し、全戸配布を行っている。 また、南加賀就労支援強化連絡会主催の障がいのある人を対象としたセミナー(新型コロナウイルス感染症の影響で、企業向けが中止、本人向けは個別相談会として小松と加賀で実施としたが、加賀会場は申込なしのため中止)や合同面接会(規模を縮小して小松と加賀で開催)にも参画している。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	-	-	-	-	-	-	(予算なし)	0
②								
③								
関連決算額合計								0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	<p>活動を通じて、事務局の障害者就業・生活支援センターや、その他参加する団体から得られる情報は、市が行う企業へのはたらきかけにも有効な情報となっており、今後も継続的に参加することが必要である。</p>					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>就労をテーマとして関係機関が集まる任意団体であり、当市も継続して参加する。 また、本連絡会とは別になるが、加賀市じりつ支援協議会の就労に関する協議を行う「おとな部会」との連携を図る。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	①市民交流・まちづくり活動の活性化			

事業番号	5101	事務事業名	まちづくり事務局助成事業		
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	まちづくりグループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>加賀市コミュニティ補助金交付要綱に基づき、21地区のまちづくり推進協議会の事務に従事する職員に要する経費について助成を行うことで、まちづくり運動に関する運営の強化充実を図る。</p> <p>また、まちづくり事務局に安定的な財政支援を行い、組織の運営体制を根幹から支え、地域が主体となった住民自治・参画を促す。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																												
	<p>21地区26人の事務局職員に対して、まちづくり推進協議会の活動に必要な事務局費（事務局職員の賃金や電話の基本料等）を助成している。事務局は、市への申請書や報告書等の作成はもとより、各事業を行うにあたっての地域住民への周知業務や、事業に必要な資材の購入等の予算管理を行っている。これらの活動を通じて、地区の自治機能が構築され、さまざまな人材や組織の集約がされるようになっている。</p> <p>令和2年度は、コロナ禍において通常通りの活動ができない中、事務局職員の工夫によって代替えの行事や、今後のまちづくり活動に必要な備品の購入を行った。</p>																																												
	令和2年度決算																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>104 一般会計</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>まちづくり運動助成費</td> <td>36,053</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">関連決算額合計</td> <td>36,053</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	104 一般会計	2	1	12	2	2	まちづくり運動助成費	36,053	②									③									関連決算額合計							
頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																					
①	104 一般会計	2	1	12	2	2	まちづくり運動助成費	36,053																																					
②																																													
③																																													
関連決算額合計								36,053																																					

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	事務局の運営に欠かせない職員の確保や、そのための安定的な財政支援があることで、各地区のまちづくり活動が円滑に行われているため、本事業は有効と考える。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>まちづくり運動に関する運営の強化充実を図るため、まちづくり推進協議会の事務に従事する職員に要する経費等について引き続き助成していく。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	①市民交流・まちづくり活動の活性化			

事業番号	5102	事務事業名	まちづくり活動助成事業		
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	まちづくりグループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>加賀市コミュニティ補助金交付要綱に基づき、21地区のまちづくり推進協議会が自らまちづくり活動を企画、立案、実践するために要する経費を助成することで、地域住民の自治活動の活性化を図る。 また、住民相互の連帯感を育て、安心安全な日常生活を営むことができるよう社会環境を整備する。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>一般活動費の助成対象である福祉・環境・防犯防災・学習レクリエーション等の計画した活動の多くは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止や規模縮小、方法を変更して実施された。コロナ禍において、安心安全に活動を行うための物品や、今後の活動のための物品を購入した。 地区広報紙発行費に対して助成を行った。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	104	一般会計	2	1	12	2	2	まちづくり運動助成費	43,410
②									
③									
関連決算額合計									43,410

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>
評価に関するコメント	<p>コロナ禍において、人が多く集まって行われるまちづくり活動は制限があり、規模縮小や内容を変更して実施し、地域住民の連帯感を深め、地域の活性化を図っている。 住民相互の連帯感を育て、快適で安全な日常生活を営むことができるように、文化祭や運動会、防災訓練等の地域が主体となったまちづくり活動への助成は、有効であると考えます。</p>		

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>住民相互の連帯感を育て安心安全な日常生活を営むことができるよう社会環境を整備するため、地区が行うまちづくり活動に要する経費に対する助成を継続する。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動中止や内容変更があった場合は、助成対象経費について柔軟に対応する。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	①市民交流・まちづくり活動の活性化			

事業番号	5104	事務事業名	公民館大会の開催事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

地区会館の活動紹介や各地区の生涯学習活動の発表を行う公民館大会を隔年で開催することで、広く市民が生涯学習の推進やまちづくり活動の充実を図ることを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

公民館大会は、隔年の開催であるため、令和2年度は開催しなかった。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	271	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	公民館長が中心となって企画、運営することにより、地域との連携、協力が生まれ、公民館活動の推進と生涯学習の理解が深められる。また、日頃の公民館活動の事例発表を行うことで、公民館の活性化を図る。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

公民館長の任期を2年としているので、任期1年目から大会を目指して公民館活動やまちづくり活動など、地域の特色を生かした活動ができるよう、地域住民との連携を図る。また、取り組んだ活動の事例発表を行い、公民館の活性化を図る。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	②若者などの移住・定住の促進			

事業番号	5201	事務事業名	ローカルベンチャー育成事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀市内で新たに起業するために、加賀市に移り住む若い世代の起業家(ローカルベンチャー)を育成する。地域おこし協力隊制度を活用し、移住者の新しい目線による地域資源を活用した起業を支援する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

平成28年度から開始した市のローカルベンチャー育成事業のプラットフォームである「Next Commons Lab 加賀」(以下:NCLK)において、ローカルベンチャー育成の実績がある(一社)Next Commons Labとともに加賀市の地域資源を活用した複数のプロジェクトの事業化を目指し、NCLK全体のマネジメントを担う事務局コーディネーター2人とプロジェクトを進めるラボメンバー7人がチームとして活動。
各プロジェクトについては、プロジェクトパートナーや地域住民の協力を得ながら進めており、プロジェクトの自走化に向けて活動を支援した。
令和2年度中に、地域おこし協力隊としての任期満了を迎えたコーディネーター1人とラボメンバー6人が卒隊し、うち3人が加賀市内で起業した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	102 一般会計	2	1	8	14	1	プラスカガ推進事業費	28,758
②								
③								
関連決算額合計								28,758

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	縮小
評価に関するコメント	NCLKの地域おこし協力隊による、お茶や伝統工芸品、市内製造業者が取り扱う商品など地域資源を活用した複数のプロジェクトの事業化が稼働し、プロジェクトパートナーを含めた地域住民との関わりが深まり、地域の賑わい創出につながっている。 また、地域交流拠点において「おんせん図書館みかん」を開設し、地元の幅広い年齢層や、県内外の関係人口層に加賀市の魅力と加賀市の良さを発信することができた。 しかし、地域おこし協力隊の任期満了により、ほとんどの者が卒隊を迎えたことにより、縮小という判断を行うものとする。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

プロジェクトを稼働させている地域おこし協力隊の全員が卒隊を迎えたことから、それらの起業、定住に向けサポートを継続する必要がある。また残存するコーディネーターの自主事業の確立に向け、継続した支援を行い、卒隊後の定住につながるよう務めていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	②若者などの移住・定住の促進			

事業番号	5202	事務事業名	移住・定住促進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	加賀市への新しい人の流れをつくるため、次世代の担い手を確保し、地域の振興を図り、加賀市への移住・定住を促進する。産官学からなる加賀市定住促進協議会と協議を重ねながら、市の移住・定住方針を決定する。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<p>(1)加賀市定住促進協議会の開催(2回)</p> <p>(2)働き方改革の指導</p> <p>①事業所等への実態調査(5社)</p> <p>②事業所等への就労環境の改善提案</p> <p>(3)移住・定住相談のサポート</p> <p>①移住・定住相談のサポート(99組189人)</p> <p>②「お試し居住」体験の家(かりぐらしの家、田舎ぐらしの家、温泉ぐらしの家)の管理運営</p> <p>(4)移住希望者への情報発信強化</p> <p>①ポータルサイト「加賀でかがやく」の管理運営(年度内セッション数29,540)</p> <p>②Facebook「加賀市定住促進協議会」1日平均リーチ数180件</p> <p>③移住ガイドブック「加賀でかがやく」の更新</p> <p>④移住促進イベントへの出展(6回)</p> <p>(5)仕事体験 仕事体験プログラムの実施(2社5人)</p> <p>(6)空き家・空き家物件の情報収集</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	102	一般会計	2	1	8	13	1	移住・交流推進費	3,920
②	102	一般会計	2	1	8	14	1	プラス・カガ推進事業費	8,719
③									
関連決算額合計									12,639

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	移住コーディネーターや「お試し居住」体験の家の活用など、移住検討者のニーズに対応するきめ細やかな移住・定住相談とサポートにより、令和2年度においては21組43人の移住につなげることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、都市から地方への移住を希望する方が増えており、今後も、加賀市定住促進協議会における提言を踏まえ、事業を継続していく。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	移住・定住先を決める際には、「住居」と「仕事」が大きなウェイトを占めている。移住を決めた時点で居住可能な住居と、スキルや個性を活かした仕事があることが移住・定住を促進するためには必要であることから、空き家を活用した即座に居住可能な家の整備を行う。仕事に関しては、移住検討者と市内事業者とのマッチングを進めるためには、市内事業所における働き方改革や企業の魅力向上は必要不可欠であり、今後、ターゲットに合わせた情報発信を効果的に織り交ぜるなど、移住検討先の一つとして加賀市が候補となるような取り組みを更に進めていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	②若者などの移住・定住の促進			

事業番号	5203	事務事業名	加賀市版「生涯活躍のまち」構想推進事業		
所管部局	市民健康部	所管課	福祉政策課 相談支援課 介護福祉課	グループ	

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀市で暮らす住民も、新しく転入する方も、みんなつながり合い、住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進するため、平成29年3月に加賀市版「生涯活躍のまち」構想を策定した。
加賀市版「生涯活躍のまち」構想では、地域交流拠点による多世代交流拠点を核とし、40以上の元気な中高年齢者に加え、地域づくりの担い手となる若い世代の移住定住促進を図るほか、新たな雇用を創出する「健康・医療・福祉・介護分野」の必要なスキルやアイデアを持った企業、研究機関、個人の招致に向けた取り組みを行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

(1)エビデンスに基づく健康増進プログラムの調査研究
加賀市で実施している地域おたっしやサークル活動の効果をフレイル予防・改善の観点から検証し、エビデンスに基づいたプログラムの提供や新たな取り組みの検討をおこなった。
(2)認知症を科学的に学ぶプログラム(認知症見立て塾)の調査研究
専門職向け認知症を科学的に学ぶプログラムの実施及びAIを活用した学びの評価及び住民向け認知症を科学的に学ぶプログラムの実施をした。
(3)障がいのある人の就労支援講演会
障がいのある人の安心安全な社会参画を可能とするための啓発活動が新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	102	一般会計	2	1	8	14	3	生涯活躍のまち構想推進事業費	2,240
②	128	一般会計	3	1	3	9	8	介護予防事業費	3,080
③	120	一般会計	3	1	1	4	10	スマートインクルージョン推進事業費	33
関連決算額合計									5,353

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	・健康増進プログラムの調査研究事業、フレイルの予防及び改善においては、地域おたっしやサークルのプログラム内容に脳トレや運動を取り入れることが結果として示唆された。身近な地域で根拠あるプログラムを今後も提供していく必要がある。 ・認知症見立て塾については、「物忘れ」＝「認知症」と決めつけず、他の疾患の可能性も含めて改善可能があることを学ぶことは大切であり、学ぶことで住民、介護職員等がかかわる視点が強化され、認知症の理解が深まり住みやすい地域となるため継続して実施していく。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

・エビデンスに基づく健康増進プログラムの調査研究の検証結果において、効果のあった脳トレや運動を取り入れたプログラムの啓発及び定着を図っていく。また、一人暮らしの場合には孤食やうつにならないように、社会的なつながりを持つことの重要性が示唆されているため、地域の通いの場の必要性を広報などで周知していく。
 ・認知症見立て塾は今後も住民対象に実施し、物忘れ＝認知症と決めつけない地域を作る。
 ・障がい者の就労の機会拡大のため、ICTの活用やテレワークの推進を図っていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	②若者などの移住・定住の促進			

事業番号	5204	事務事業名	移住住宅取得助成事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

人口減少への対策として、移住定住を促進するため、平成27年度に加賀市への移住者を対象とした移住住宅取得助成事業を開始、これに加え、平成30年度からは若年層定住住宅取得助成事業を開始し、本市への定住促進と活力あるまちづくりの推進、地域経済の活性化を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

①移住住宅取得助成事業
市外からの転入者に住宅取得費の一部を助成
R2交付実績 55件、53,952千円、移住者数123人

②若年層定住住宅取得助成事業
45歳未満の方に住宅取得費の一部を助成
R2交付実績 101件、53,645千円

③三世代ファミリー同居促進事業
新たに三世代同居を始めるため、住宅を新築・購入等を行った方を対象に助成
R2交付実績 4件、1,200千円

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	102	一般会計	2	1	8	13	2	移住・定住住宅取得助成費	108,797
②									
③									
関連決算額合計									108,797

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	令和2年度には、移住住宅取得助成事業で55件の申請を受付し、41件の新築住宅、1件の建売住宅、13件の中古住宅(空き家バンク登録物件)の取得に対して助成。若年層定住住宅取得助成事業で101件の申請を受付し、95件の新築住宅、1件の建売住宅、5件の中古住宅(空き家バンク登録物件)の取得に対して助成。三世代ファミリー同居促進事業で4件の申請を受付し、住宅改修に対して助成。 移住住宅取得助成事業を利用し移住した55世帯123人のうち28人が県外からの移住者、約70%が子育て世帯、約25%が地元の業者を利用し、若者の定住や地域経済の活性化が図られた。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

移住住宅取得助成事業、若年層定住住宅取得助成事業を更に普及させることで、加賀市への移住・定住促進を図る。
 また、各補助事業の加算要件項目の見直しや新たな補助事業の運用を開始することで、空き家の利活用を促進し、市内の空き家の減少につなげていく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	③独身男女の願いを叶える出会いの創出			

事業番号	5301	事務事業名	婚活支援事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

結婚を希望する若い世代の男女の出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまでの希望が叶う環境を整える。また、近隣市町に比べて高い未婚率の低下に向けて、ポータルサイトを活用した情報発信を進め、結婚や子育てに対する魅力や知識の浸透、出会いの機会の創出に取り組む。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

結婚＆子育てポータルサイト「kagaみん」において、結婚・妊娠・出産・子育てに関する情報発信を行った。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会員のお見合いをはじめ、結婚・恋愛相談会等を開催することができなかったが、WEB会議システムを利用して、会員向けにスキルアップセミナーを開催した。また、主催する婚活パーティーで150組以上を結婚に結びつけた方を講師を招き、45歳以下の独身者を対象に婚活セミナーを開催した。

結婚を希望する独身男女の出会いをサポートする地域の仲人「かが縁結びさん」が、独身男女のマッチングシステム「かがこい」(加賀市縁結び支援事業)において、令和元年度にお見合いをした会員がR2年度に5組成婚した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	102	一般会計	2	1	8	12	1	縁結び支援事業費	1,179
②									
③									
関連決算額合計									1,179

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	縮小
評価に関するコメント	平成28年度から実施した婚活支援事業により、令和2年度までに16組が結婚に至った。しかしながら、公機関が実施する縁結び支援事業には制約が多いこと、登録が無料であるため民間で受入れ不可能な方の登録が多いことから、婚活会員からは不満が出ており、柔軟に対応できる外部団体へ事業の一部を委託し、市として行う縁結び支援事業は縮小していくべきと判断する。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

結婚・子育て世代が必要とする情報の発信強化に取り組むとともに、結婚を希望する独身男女に対して、きめ細やかなサポートと柔軟な対応ができる外部団体に縁結び支援事業を一部委託し、かがこい会員数の増加と結婚の促進を図っていく。

しかしながら、昨今は多様なライフスタイルや考え方を尊重する時代であり、結婚という一つの価値観の押しつけにならないよう、結婚を推進する取り組みに関しては、継続の有無も含め慎重に検討することとする。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	④人権が尊重される社会の形成			

事業番号	5401	事務事業名	人権啓発教育事業		
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	男女共同参画・人権グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

国(法務局)及び県と連携し、人権啓発講演会の開催、「人権の花」運動の実施、リーフレットの配布及び啓発看板の設置等の活動を展開し、人権擁護委員による人権啓発人形劇等の各種啓発活動や人権相談の実施と合わせて、市民一人ひとりの互いに尊重し合う心を育み、人権侵害や差別のない社会を目指すことを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症のまん延により、例年実施している人権啓発人形劇を始めとした対面型の人権啓発活動は大きく制約され、一部の活動については実施を見送ることとした。
 そのような状況の中で、差別のない社会を目指すため、国(法務局)、県及び人権擁護委員と連携し、定例の人権相談、小学校での「人権の花」運動を実施するほか、自己形成過程にある中学生の人権意識を育てることを目的とした講演会を実施した。
 また、人権週間に併せて、リーフレットの配布、看板の設置、図書館での企画展を行うほか、性的少数者への理解の促進を始めとした各種人権問題に関する啓発冊子について、小中学校、地区会館等へ設置し、民生委員・児童委員等へ配付した。そのほか、新型コロナウイルス感染症の患者等への差別の解消のため、広報媒体への啓発記事の掲載、施設への啓発冊子の設置を行った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	64 一般会計	2	1	16	1	1	人権啓発教育費	2,188
②								
③								
関連決算額合計								2,188

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	社会の成熟化、少子高齢化、情報化社会の進展などにより社会環境は変化しており、従来の人権問題に加え、性的少数者への偏見や新型コロナウイルス感染症患者等への誹謗中傷など、新たな人権問題が発生し、社会問題となっている。 人権侵害や差別のない社会を実現するためには、一人ひとりが人権問題を正しく理解し、相手を思いやる心を持って行動することが重要である。 人権啓発活動は、市民の人権尊重の気運を醸成し、人権侵害や差別のない社会実現に有効であるため、今後も国、県、人権擁護委員と連携して人権啓発活動を推進する必要があることから本事業を継続する。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

人権侵害や差別のない社会を目指すため、引き続き国(法務局)、県、人権擁護委員等と連携して、学校や保育園における啓発活動を継続するほか、人権相談や人権啓発講演会、人権週間における啓発活動の取組を継続する。
 また、新型コロナウイルス感染者等への誹謗中傷、性的少数者への無理解や偏見等、社会環境の変化に伴い多様化する人権問題について市民が正しく理解することができるように、引き続き周知啓発の取組を継続する。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑤男女共同参画の推進			

事業番号	5501	事務事業名	男女共同参画推進事業		
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	男女共同参画・人権グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

男女共同参画社会の実現に向けて事業を展開する。市民を対象とした講演会や講座の開催、事業所向けに情報紙やフェイスブック等のSNSを活用した情報提供、人材の育成を目的とした女性団体への活動支援、イベントやアンケート配布等の機会を捉えた啓発活動等を行うことで、あらゆる分野で男女が活躍できる社会の実現を目指す。また、男女共同参画の推進状況を把握し、市男女共同参画プランを策定する上での基礎資料とするため、定期的に市民の意識や事業所の実態を調査する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

加賀市男女共同参画プランについて、令和3年度にスタートする国・県の男女共同参画計画を勘案したプランとするため、現行の第3次プランを一部改訂のうえで3年間延長し、第4次となる新プランのスタートを令和4年度としており、第4次プランの策定に向け、男女共同参画に関する市民意識調査を実施し、ダイジェスト版として、ワーク・ライフ・バランス啓発リーフレットを作成した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人権啓発費を利用した男女共同参画講演会、男女共同参画啓発講演会、モデル地区講演会は実施を見送ったが、「男女共同参画週間」や「女性に対する暴力をなくす運動」に併せての啓発活動は行った。

また、事業所向け啓発活動として、情報誌「い・Call」の発行(年2回)を行った。

町内会に向け、役員への女性登用を呼びかけるチラシを配布した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	106	一般	2	1	13	2	1	男女共同参画費	800
②									
③									
関連決算額合計									800

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

本事業は加賀市における男女共同参画社会の実現を目的としているが、いまだ実現していない状況であることから、今後も継続して実施することが必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

男女共同参画週間や講演会、モデル地区での事業を通じて、引き続き啓発活動を行う。また、配偶者等からの女性に対する暴力(DV)相談窓口の周知や他部署と連携した被害者支援を行い、DVの根絶を目指す。令和3年度スタートの国・県の男女共同参画計画や市民意識調査結果を踏まえ、第4次男女共同参画プランを策定する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑥ボランティア活動の推進			

事業番号	5601	事務事業名	地域ヤングボランティア育成事業		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

地域で地道に善行を行っている青少年グループ及び個人に「加賀市青少年善行奨励賞『あすなる賞』」を授与し、善行を更に奨励するとともに、一般への周知を図り他の青少年の善行を促し、青少年健全育成活動を推進することを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年度は、加賀市青少年善行奨励賞『あすなる賞』の対象団体がなかった。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	276	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励賞	0
②									
③									
関連決算額合計									0

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
平成29年度「加賀市青少年善行奨励賞『あすなる賞』」を受賞した団体が、平成30年度に青少年健全育成等に係る石川県知事表彰に受賞していることから、市の表彰後も善行を続けている団体等を県表彰につなげていきたい。ただ、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を自粛しており、推薦を依頼しても上がってこないのが現状である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後も広く推薦を依頼し、善行を行っている個人及び団体を表彰する。「加賀市青少年善行奨励賞『あすなる賞』」を受賞した団体及び個人は、活動内容を精査し、石川県知事表彰『石川県青少年育成表彰』につなげ、青少年善行活動奨励していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑦防災対策の充実			

事業番号	5701	事務事業名	防災緊急情報伝達システム(防災行政無線)整備事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	—

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	あらゆる災害から市民の生命・財産を守るため、防災情報を一斉に伝達できる防災緊急情報伝達システム(防災行政無線)を整備し、安心して暮らせる環境づくりを推進する。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	本事業は、平成26年度から令和5年度までの10年間をかけ整備する計画としている。 令和2年度は、戸別受信機4,361台の整備を行い、緊急時や災害発生時に市から直接サイレン、チャイム、音声放送による情報伝達が可能になったほか、町内会が町民に対して行事等の音声案内も可能となった。 令和3年度は、引き続き戸別受信機の整備に着手するほか、受信品質向上のために既設の屋外拡声スピーカーに再送信機能を追加する工事を実施する。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	67	一般会計	9	1	5	5	2	防災情報伝達システム整備費	16
②	67	一般会計	9	1	5	92	1	繰越明許防災情報伝達システム整備費(繰越明許分)	106,065
③	67	一般会計	9	1	5	80	1	事故繰越防災情報伝達システム整備費(事故繰越分)	138,208
関連決算額合計									244,289

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	屋内の住民に災害時等に一斉に情報伝達することができる戸別受信機の整備により、適切な避難行動を呼びかけることができるようになった。引き続き市内全地区で戸別受信機の整備を実施することが有効である。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	本事業は防衛省の補助金を活用している関係から、整備完了期間が長期に渡っているため、事業期間の短縮に向けた防衛省との協議を継続して行うことにより、防災緊急情報伝達システム(防災行政無線)の早期完成に努める。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑦防災対策の充実			

事業番号	5703	事務事業名	総合防災訓練開催事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	—

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

地震、津波、風水害などの各種災害発生時の円滑な応急対策に資するため、市民、防災関係機関、市などが一体となって企画・運営する、自助・共助を中心とした総合的な防災訓練を実施し、子どもから大人まで市民の方一人ひとりが、日常時から災害時において「自ら何をすべきか考え行動できる」よう、体験や展示を通して防災意識の高揚と知識の向上を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年度の総合防災訓練は、片山津中学校を主会場として開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	67	一般会計	9	1	5	3	1	防災訓練費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	総合防災訓練は企画段階から市民や防災関係団体などと協議を重ね、子どもから大人までだれもが参加しやすい訓練になるよう工夫し、市民一人ひとりの防災・減災に対する関心を高めることにより、自助・共助による地域防災力の向上を図る事業である。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止としたが、事業の有効性は高く、継続して実施すべき事業である。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

市民や事業者が災害時において、「自らが何をすべきか考え行動できる」よう、地域や加賀市防災協議会を初めとする民間防災関係団体などと協働して、新たな訓練を取り入れた総合防災訓練、防災・減災に関する知識や日頃からの備えを学ぶ「市民向けの防災講座」や「企業向けの防災教室」の開催など、防災・減災活動を継続的に実施していくことにより、地域の防災・減災力の更なる向上を図る。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑦防災対策の充実			

事業番号	5704	事務事業名	災害用備蓄品購入事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	—

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

災害時に必要となる飲料水、食料(乳幼児用の粉ミルクを含む。)、毛布、資機材などを備蓄し、避難者の生活を支えることにより、市民の安心・安全を確保する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、マスク、消毒液、非接触型体温計、段ボールベッド、段ボールパーティションなどの感染予防用品を購入し、必要な公共及び民間の施設への配布や避難所への分散備蓄を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	67	一般会計	9	1	5	3	2	防災活動推進費	106,364
②									
③									
関連決算額合計									106,364

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により、全国を対象とした緊急事態宣言が発出される状況となるなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止は全国的、全世界的な課題となっていた。 このことから、感染拡大防止のための感染予防用品の購入は有効性が非常に高い。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

引き続き必要な感染予防用品の購入を進めるとともに、アルファ米や飲料水など、新型コロナウイルスの感染拡大に関わらず必要となる備蓄品の購入も進めていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑦防災対策の充実			

事業番号	5706	事務事業名	消防施設・設備整備事業		
所管部局	消防本部	所管課	消防総務課	グループ	総務グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	大規模災害が発生した場合の災害活動拠点となる施設・設備の安全性及び耐震性を確保し、もって被害の軽減及び住民の安全を確保できるよう、防災機能の向上を図ることを目的とする。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	消防本部引込高圧ケーブルの交換や消防指令システムの故障した部品交換などを施設の維持管理のため実施した。併せて、老朽化した消防本部訓練塔や消防指令システムについて更新の具体化に向け検討を進めた。 また、地域の安心安全を確保する拠点施設として、勅使分団車庫の改修を行い消防団員が活動しやすい環境整備と各種災害に対する消防力の充実強化を行った。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	249	一般会計	9	1	1	3	5	維持補修費	3,288
②	248	一般会計	9	1	3	1	4	維持補修費	3,174
③									
関連決算額合計									6,462

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	消防庁舎及び消防団分団車庫は、大規模災害時において災害活動拠点となることから、被災や老朽化等により使用不能となることがないように維持管理し、さらに備えとして施設・設備の機能強化が必要不可欠であり、今後も事業を継続する。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	消防本部訓練塔及び消防団分団車庫など建築後30年以上が経過し老朽化した施設や設備の更新・改修が必要となってきた。さらに、消防設備について、平成25年度に整備した高機能消防指令システムが間もなく更新時期を迎えるにあたり、次世代に向けたシステムのあり方、仕様、更新スケジュールなど入念に検討する必要がある。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑦防災対策の充実			

事業番号	5707	事務事業名	消防車両整備事業		
所管部局	消防本部	所管課	消防総務課	グループ	総務グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	災害等の発生に備えて、老朽化した消防車両を計画的に更新することにより、安全確実な消防力の強化を図り、安心安全な地域社会を形成することを目的とする。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	消防署配備の高規格救急自動車2台及び査察広報車(ライトバン型)、並びに塩屋分団及び勅使分団の消防ポンプ自動車(CD-I型)を防衛省補助金や緊急防災・減災事業債を活用して更新した。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	248	一般会計	9	1	3	3	2	消防車両整備費	102,012
②									
③									
関連決算額合計									102,012

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	高い機動力をもって迅速かつ的確に災害活動や対応に当たるため、各消防車両を適正に管理整備していくことは不可欠であり、本事業を継続する。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	これまでの事業の継続と、今後も適切な更新計画により、車両整備計画を実施する。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑦防災対策の充実			

事業番号	5708	事務事業名	消防水利整備事業		
所管部局	消防本部	所管課	警防課	グループ	警防グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	地震災害や大災害、同時多発火災を想定して消火活動に必要な水利を確保し、住民の生命、身体、財産を保護することを目的とする。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<p>新設防火水槽の設置予定場所であった用地取得が延期になったことから、これに合わせて令和4年度へ事業延期した。</p> <p>既存の水利に対しては定期点検を実施しており、不具合箇所の補修など、常に有効活用できるよう維持管理を行った。</p>

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	248	一般	9	1	3	2	1	維持補修費	839
②	248	一般	9	1	3	3	3	消防水利整備費	0
③									
関連決算額合計									839

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	消火栓に偏らず、耐震性防火水槽を整備し、災害に強いまちづくりを推進することで、市民生活の安心安全に寄与するものであり、今後も継続が必要である。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>新設については、用地取得などの問題はありますが、開発行為や公的施設等を利用し、水道管等の水道施設に被害が発生しても使用できる耐震性防火水槽を設置し、消防力の強化を図る。</p> <p>既存の耐用年数を経過した耐震性を有していない防火水槽については、直下型地震が発生した場合等に破損する可能性があり、消火水の確保が困難になることが予想される。この対策として設置年が古く、基準容量を満たさない、道路に埋設された防火水槽を最優先に、整備手法や周囲の消防水利を勘案した整備計画に基づき、整備候補地や代替地等について市関係部局と調整を図り、整備実施に努める。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑦防災対策の充実			

事業番号	5709	事務事業名	放水器具購入助成事業		
所管部局	消防本部	所管課	警防課	グループ	警防グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

火災の被害を最小限に抑えるには、初期消火が最も効果的であることから、市民に対し防火・防災意識の高揚と防災体制の確立を図るため、消防施設整備の新設、改良等に対する必要な事業について補助金を交付する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

各町からの申請により必要に応じて現地調査を行い、補助実施の要件について審査し必要と認めるものについて、「加賀市消防施設整備事業補助金交付要綱」に基づき、消防器具購入及び施設整備に関する補助金を43町に交付した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	248	一般	9	1	3	3	5	自衛消防装備整備助成費	2,303
②									
③									
関連決算額合計									2,303

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	この事業は、市内の各町内会が自主的に消防器具等を整備し、火災などに備えるための補助事業で、この事業に対し例年多くの町内会から要望があることから、市民の自主防災に対する意識の高さがうかがえる。 災害に強いまちづくりと市民生活の安心安全に寄与することから、今後も継続が必要である。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

事業の継続は、減災の観点からも重要であり、今後も現地調査を行い補助の可否や優先度などで決定し、公平で効果的な事業を実施する。また、消火栓の取り扱い講習をはじめ、自主防災訓練の実施などで事業効果を上げ、さらなる自主防災組織の強化を図る。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑦防災対策の充実			

事業番号	5710	事務事業名	地域防災組織の育成事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	—

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

大規模災害発生時には被災範囲が広がることや、自治体職員自身も被災者となり、公助の遅れが見込まれることから、大規模災害発生時には、市民の生命、身体、財産を守るためには自身や家族の身を守る自助や、隣近所の方と助け合う共助が重要となる。これを推進するために、自助、共助の要となる自主防災組織やその他の防災団体の組織化を図るとともに、これらの団体のリーダーとなる防災士を育成することで、地区防災組織の育成を図ることを目的とする。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

これまでの計画では、平成30年度までに、地区防災リーダーとなる防災士を1地区当たり8人となる168人の育成を目指してきたが、更なる防災士の充実を図るため、平成30年度からは、一年あたりの防災士育成数を現在の倍増となる40人とする事とし、令和3年度までに1町内会に1人に相当する防災士を育成するべく事業を進めてきた。
令和2年度においては、新たに40名の防災士を育成した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 67	一般会計	9	1	5	3	2	防災活動推進費	106,364
②								
③								
関連決算額合計								106,364

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
評価に関するコメント	本事業の実施により、災害時に地区防災のリーダーとなり、また、平常時には他の地区住民に対して防災訓練などの事業を通して防災意識啓発や知識の向上を図ることができ人材の育成が図れることから、有効性や費用対効果は高い。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

1年あたり40名の防災士を育成することを目標として取り組んできたが、令和3年度からは、1町内会2名として約560名の育成に取り組んでいく。これまでの養成数を段階的に増やしていくこととし、令和3年度は養成数を50名とする。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑧空き家対策の推進			

事業番号	5801	事務事業名	空き家バンク構築事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	人口対策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要
 人口減少への対策として、移住定住を促進するため、移住住宅取得助成事業及び若年層定住住宅取得助成事業とあわせ、移住者などが住宅を取得しやすいように空き家の有効活用を図ることで、県内でも高い空家率である本市の空き家の解消につなげる。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況
 平成27年6月に、中古物件紹介のための空き家バンクを創設した。
 (公社)石川県宅地建物取引業協会及び(公社)全日本不動産協会石川県本部との「交流・定住相談等に関する協定書」に基づき、空き家バンク登録にあたり、調査を必要とする物件を調査委託を行った。
 ・令和2年度 7件依頼
 年度初めに固定資産の所有者に送付する固定資産税納付のお知らせにおいて、空き家バンクの周知を行い、空き家への登録を促した。空き家バンクへ登録された物件については、空き家のリスト、データベースを作成し、市ホームページ等にて、空き家の物件情報を公開した。
 令和2年度の利用実績は次のとおり。
 ・空き家バンクへの新規登録 55件、成約45件
 ・移住住宅取得助成事業又は若年層定住住宅取得助成事業の対象となった登録物件18件

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	102 一般会計	2	1	8	13	2	移住・定住住宅取得助成費	1,696
②								
③								
関連決算額合計								1,696

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価
 評価に関するコメント
 移住住宅取得助成事業及び若年層定住住宅取得助成事業において、昨年度より10件多い18件の空き家が有効活用がされ、市内の空き家の減少、移住定住の促進につながった。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性
 市内の空き家は多いものの、空き家バンクの登録件数は少ないため、補助事業を見直すことで空き家の登録件数を増やす。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、都市圏から地方への移住希望者が増えており、その中でもファミリー層においては空き家を求める人が多いことから、即座に入居可能な空き家の発掘と、空き家バンクへの登録を増やすための補助メニューの追加を検討する。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑧空き家対策の推進			

事業番号	5802	事務事業名	空家等対策推進事業		
所管部局	建設部	所管課	建築課	グループ	建築グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	<p>空家の適正な管理を所有者等に働きかけて行くとともに、適正な管理が行われていない空家等については必要な措置を行い、市民の生活環境の保全を図る。</p>								
実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など								
	<p>危険な空き家を解消するため、所有者等の自主的な危険な空き家の解体の促進に努め、21件の自主解体に支援を行った。 また、特定空家2件については前面道路への倒壊のおそれがあり、通行人及び隣家の住民に危害が及ぶ危険性があるため、行政代執行により除却を行った。 さらに、山代温泉で老朽化や管理不全による外壁材の剥離・落下により周辺道路の通行人や近隣住宅に危険を及ぼしていた廃業旅館について、地域住民の安全・安心を確保するため市が取得し解体工事を行い完了した。</p>								
	令和2年度決算								
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名
①	209	一般会計	4	2	3	2	17	生活環境対策費	6,306
②	209	一般会計	4	2	3	2	17	生活環境対策費 (危険空家等解体助成費分)	5,078
③	209	一般会計	4	2	3	2	17	生活環境対策費(繰越明許分)	458,296
関連決算額合計									469,680
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		低い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	評価に関するコメント	<p>市内には多くの空き家が存在しており年々増加傾向となっている。これらの空き家が市民生活に悪影響を及ぼさないよう各事案への対応が必要であり、危険な空き家等への解体補助制度をはじめとした各種支援を継続していくことが重要である。 費用対効果については決して高いものではないが、危険な空き家等の解体を促進し、安心、安全な市民生活を確保するため継続して取り組んでいくことが有効である。</p>							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	<p>国の制度や、他自治体の取組状況等に関する情報を積極的に入手し、市民生活への影響が大きい事案等を優先的に取組み継続していくことが必要である。</p>								

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑨交通安全・防犯の充実			

事業番号	5901	事務事業名	交通安全推進事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	—

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

市民総参加による交通安全運動を展開するために、職場、地域、学校等あらゆる機会を通じて交通安全思想を普及し、交通事故の被害者の減少及び交通事故の防止を図る。
 また、交通安全に関する地域のリーダーである防犯交通推進隊への支援及び隊員の育成を行うことで、各地区での交通安全活動を充実させ、市民の交通安全意識の高揚を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

防犯交通推進隊による赤ランプ作戦や交通安全教室を開催するなど交通安全の啓発を行った。
 各地区の防犯交通推進隊隊長で組織する「防犯交通推進隊隊長会議」を毎月開催し、市と警察、推進隊の連携を図るため、防犯、交通安全活動に関する情報を共有した。
 高齢者の運転免許証自主返納支援事業を交通安全協会と連携して行うことで、高齢ドライバーの交通事故の未然防止を図った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	87	一般会計	2	1	11	2	1	交通安全教育費	3,423
②	87	一般会計	2	1	11	2	2	交通安全組織費	8,099
③									
関連決算額合計									11,522

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 交通事故を無くすることは全ての市民の願いであり、市民に交通安全意識を普及啓発することは、交通事故の未然防止にもつながり、今後も事業の継続が必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

市民の命を守るための交通安全の普及啓発活動であり、継続することは必要不可欠であるため、今後も、警察や各種団体と連携して市民への交通安全思想の普及と交通安全意識の啓発を推進していく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり			
施策	⑨交通安全・防犯の充実			

事業番号	5902	事務事業名	防犯対策事業		
所管部局	総務部	所管課	危機対策課	グループ	—

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	各地区の防犯活動に対する各種助成等を行うことで、市民の安心安全を確保する。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯設置事業を行う町内会等に対して「公衆道路防犯灯整備事業補助金」を交付し、防犯灯の設置及びLED化を支援した。 ・市内において様々な防犯活動を行っている加賀市防犯協会に対して補助金を交付し活動を支援した。 ・JR各駅の駐輪場の放置自転車を必要な手続きを行った上で撤去した。 ・平成29年度から高齢者の振り込め詐欺被害の未然防止を図ることを目的に「通話録音装置貸出事業」を開始した。 ・平成30年度から県内で凶悪事件が発生するなど市民の不安が高まっていることから、各町内会等への防犯カメラ設置助成を開始し、令和2年度から企業や個人商店等の事業者も補助の対象者に追加する要件緩和を行った。 ・犯罪被害により不慮の死を遂げた市民の遺族又は重疾病を負った市民を支援するため、令和元年10月から新たに、見舞金を支給することとした。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	87	一般会計	2	1	11	3	1	防犯対策費	10,200
②									
③									
関連決算額合計									10,200

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	防犯対策に関することは、議会や区長会等からの要望も多く、市の防犯対策が市民の安心安全に直結するものであるため、今後も事業の継続が必要である。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	防犯対策に関する各地区や町内会への支援は、市民の安心安全を確保する上で必要不可欠なものであるため、今後も各地区や町内会に対する支援を継続していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	①自然環境の保全			

事業番号	6101	事務事業名	ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	生活環境グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>市・市民・事業者が一体となって、ごみのポイ捨てや飼い犬・飼い猫のふんの放置、また、路上喫煙のない、観光都市加賀市として美しいまちづくりを推進し、良好な生活環境を確保する。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

・例年「ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進月間」である10月に「ポイ捨て防止」の街頭啓発(市内中学校の協力によりスーパーマーケットで啓発ティッシュを配布)を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。
 ・「ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進月間」である10月に、条例に基づき「ポイ捨て等防止重点区域」に指定している加賀温泉駅前周辺において、市担当職員による巡回パトロールを実施した。
 ・「ポイ捨て防止看板」を作成し、必要に応じて各町内会へ貸与した。
 ・加賀温泉駅前周辺と市内三温泉の総湯周辺における啓発、調査、ごみ回収業務をシルバー人材センターに委託し、年間を通じて実施した。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	91	一般会計	4	2	2	1	1	環境美化推進費	206
②									
③									
関連決算額合計									206

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>本市は観光都市であり、海外を含めた市外からの誘客を推進するためには、市民の環境美化意識の向上が重要であり、市民や観光客へ「美しいまちづくり」の意識を浸透させていくためには、地道な啓発活動が欠かせないため、今後も事業の継続が必要である。</p>				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

「美しいまちづくり」の実現に向けては、継続的に地道な啓発活動を行うことが必然的であることから、今後も地道な啓発活動を継続していく。
 三温泉の「ポイ捨て等防止重点区域」の指定には、景観上の理由等により地元観光協会等から否定的な意見も出ており、また、重点区域化に実効性を持たせるためには、啓発指導員の常駐が必要であるため、「ポイ捨て等防止重点区域」の拡大に向けては慎重な検討を要する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input type="checkbox"/>	将来への備え	<input checked="" type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	①自然環境の保全			

事業番号	6102	事務事業名	クリーンビーチ・インかが開催事業		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	生活環境グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>市内の海岸において市民ボランティアによる一斉清掃を行う「クリーンビーチ・インかが」を開催することで、海岸の自然環境の保全と市民のボランティア意識の高揚を図る。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>「クリーンビーチ・インかが」を6月20日(日)に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期した。</p>
------	------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	91	一般会計	4	2	2	1	1	環境美化推進費	163
②									
③									
関連決算額合計									163

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>	<p>評価に関するコメント</p> <p>多くの市民が参加することで、海岸に大量にごみが漂着している現状を認識する機会となるとともに、市民のボランティア意識の高揚につながっている。また、多くの参加による人海戦術で短時間のうちに大量のごみを回収できるため、費用対効果が非常に大きいことから、今後も事業の継続が必要である。</p>
------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>市民に定着している事業であり、事業の費用対効果が非常に大きく次年度以降も継続実施していく。</p>
--------	------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6201	事務事業名	「ふゆみずたんぼ」普及定着支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	環境政策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>冬期に、田んぼに水を溜めることでカモ類が餌を採りやすくなり、十分な体力をつけて繁殖地へと渡り、仲間を増やして帰ってくることにより、片野鴨池に生息するカモ類の増加を図る。また、冬期に田んぼに水を張ることでイトミミズやミジンコ等の生き物が旺盛に活動し、それに伴い雑草の発芽や生育が抑えられ、農薬や化学肥料の使用料が少なくなることで、環境に配慮した餌場作りを行う。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p> <p>片野鴨池地内において、カモ類の給餌のため水稲栽培を実施した。また、片野鴨池に飛来するカモ類が餌場としている片野町や柴山潟周辺、大聖寺下福田町等の水田において、農薬や化学肥料の使用を抑え、ふゆみずたんぼ等の生き物共生策を行う環境保全型農業に生産農家16名が取り組み、カモ類の餌場環境の保全を行った。</p>

実施状況	<p>令和2年度決算</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>209</td> <td>一般会計</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>湿地保全対策費 (鴨池水稲栽培)</td> <td>493</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>209</td> <td>一般会計</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>湿地保残対策費 (ふゆみずたんぼ)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">関連決算額合計</td> <td>593</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	209	一般会計	4	2	3	2	16	湿地保全対策費 (鴨池水稲栽培)	493	②	209	一般会計	4	2	3	2	16	湿地保残対策費 (ふゆみずたんぼ)	100	③										関連決算額合計									593
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	209	一般会計	4	2	3	2	16	湿地保全対策費 (鴨池水稲栽培)	493																																										
②	209	一般会計	4	2	3	2	16	湿地保残対策費 (ふゆみずたんぼ)	100																																										
③																																																			
関連決算額合計									593																																										

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	カモ類の餌場となってきた鴨池周辺の片野町や大聖寺下福田町の田んぼにおいて、昨年度と同規模のふゆみずたんぼ等を実施することができた。				

今後の方向性	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p>
	<p>各町での「ふゆみずたんぼ」の活動に加え、環境保全型農業の取り組み農業者による、さらなる実施面積の拡大を図る。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6202	事務事業名	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

平成17年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区において、保存計画に基づき、後世に伝える地域の財産として伝統的建造物群の保存修理事業を実施し、文化基盤の向上を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

民間所有の主屋1件、門・塀1件、工作物1件について、保存修理事業を実施した。また、北前船の里資料館(旧酒谷長兵衛家住宅)の保存修理を一部実施した。(塀の解体と水路護岸の実施設計) 加賀橋立まちなみ保存会による保存啓発事業を実施した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	186	一般会計	10	5	4	8	1	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備費	13,961
②	177	一般会計	10	5	3	18	1	北前の里資料館整備事業費	3,058
③	177	一般会計	10	5	3	80	1	北前の里資料館整備事業費(事故繰越)	79,288
関連決算額合計									96,307

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	船主集落を保存整備し、地域の文化遺産として継承することは非常に重要なことなので、継続して事業を行う。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

保存修理が必要な建物があるので、事業を継続していくことが必要である。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6203	事務事業名	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

平成23年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区において、保存計画に基づき、後世に伝える地域の財産として伝統的建造物群の保存修理事業を実施し、文化基盤の向上を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施状況

主屋3件、土蔵1件について保存修理事業を実施した。
山中温泉ひがしたに地区保存会による保存啓発事業を実施した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	186	一般会計	10	5	4	10	1	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備費	44,042
②									
③									
関連決算額合計									44,042

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
山村集落を保存整備し、地域の文化遺産として継承することは非常に重要なことなので、継続して事業を行う。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

多数の保存修理が必要な建物があるので、事業を継続していくことが必要である。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6204	事務事業名	加賀大聖寺藩十万石文化再生事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>大聖寺十万石城下町の核となっていた藩邸屋敷跡周辺の史跡を、文化財的価値を損なうことなく復元整備し、文化財保護と観光資源としての活用を図る。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果</p>

大聖寺城跡パンフレットの見直し、刊行を行い、大聖寺を訪れる観光客に配布した。また、大聖寺城跡調査報告書総括補遺編を刊行した。
また、都市計画課と共同で進める「加賀市歴史的風致維持向上計画」の策定に関しては、協議会での検討や国交省・文化庁との協議を行った。同計画は、令和3年3月に正式に認定を受けた。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	176	一般会計	10	5	2	3	5	文化財活用事業費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>大聖寺地区は、加賀市における地域の文化資産を多大に有し、整備し、活用していくことが求められる。今後は、「加賀市歴史的風致維持向上計画」に基づき、大聖寺藩邸に限らず、地区全体を通して計画的に整備していくことが必要であるため、関係各課や市内団体と協議しつつ、整備の方針やその効果を再検討する。</p>				

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

国の認定を受けた「加賀市歴史的風致維持向上計画」では、大聖寺地区を重点区域に定め、優先的に事業を進めることとしている。資料の不足や財源の問題から、藩邸の復元的整備は困難であるが、今後、加賀市歴史的風致維持向上協議会などの関係機関を通じ、地区全体の整備計画を検討し、効果的な整備を行っていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6205	事務事業名	文化財の適正管理事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	貴重な財産である文化財の保護・継承を行うとともに収集保存に努め、文化の向上に役立てる。								

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果									
	歴史文化資産の適切な収蔵・管理を行い、貸出や閲覧などを行った。									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	186	一般会計	10	5	4	3	1	文化財保護施設管理費光熱水費	268
	②	186	一般会計	10	5	4	3	2	文化財保護施設管理費管理委託費	4,267
	③	186	一般会計	10	5	4	3	3	文化財保護施設管理費その他管理費	144
④	186	一般会計	10	5	4	3	4	文化財保護施設管理費維持補修費	3,706	
関連決算額合計									8,385	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	貸出や閲覧の希望もあり、今後も適正な管理を行っていく。 文化財の保護施設の整備を計画的に実施する。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)								
	収蔵品の適正な保存管理を行ったうえで、広く市民にも公開し、活用を図る。 そのために、保護施設や公開施設等の整備を検討する。								

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6206	事務事業名	景観保存活動の支援事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	重要伝統的建造物群保存地区である加賀橋立・加賀東谷において、賑わい創出を目的とした建物の内部改修を行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施状況	令和2年度 0件
	※重要伝統的建造物群保存地区である加賀橋立・加賀東谷で賑わい創出を目的とした建物の内部改修申請がなかった。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①		-	-	-	-	-	-		-
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	事業の継続は、ファンドの状況と他地区の利用状況によるところが大きい。活用された建物の状況を把握し、計画的に事業の推進を行う。				

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	事業の継続は、ファンドの状況と他地区の利用状況によるところが大きい。活用された建物の状況を把握し、計画的に事業の推進を行う。
--------	----------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6207	事務事業名	九谷磁器窯跡整備事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

九谷磁器窯跡は日本の中でも最初期に磁器生産が行われた地であり、九谷焼発祥の地として、国史跡の指定を受けている。史跡指定地は適切に保護、管理しているが、単なる保存にとどまらず公開活用することが必要であり、その方策として史跡公園整備を目指すものである。

九谷磁器窯跡においては、窯跡や作業場等の遺構は、盛り土によって保護した上で、模型展示や説明板による解説を行う計画である。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施状況

平成30年度に唱えられた1号窯跡整備への異議を解消するため、整備計画を再検討している。

令和2年度は古九谷窯跡環境整備委員会を2回開催し、これまでの経緯を整理するとともに、今後の方針について検討した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	186	一般会計	10	5	4	5	1	古九谷窯跡環境整備費	171
②									
③									
関連決算額合計									171

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	工事が完成した便益施設・工房集落地区は共用を開始した。残る磁器窯跡地区の整備を終え、史跡全体の活用を図りたい。 市民との情報共有が課題であったが、令和2年度より広報に九谷磁器窯跡の情報を掲載している。その他の方法も検討し、九谷磁器窯跡の価値・魅力、整備後の姿について、加賀市民に情報を発信していく。					

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

整備委員会を開催し、整備方針の再検討を行う。また、住民の理解を得るために広報以外にも情報発信を行う方法について検討する。さらに、九谷磁器窯跡の価値を市民に知ってもらうために、これまでの発掘成果のミニ展示等を、石川県埋蔵文化財センターの協力のもとで検討する。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6208	事務事業名	文化的景観保護推進事業		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化財保護グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

先人から受け継ぎ大切にしてきた多種多様な生態系を有する自然環境が保存されている加賀海岸の文化的価値の調査、保存活用の検討をする。
 地域における人々の生活または生業及びこの地域の風土により形成された景観としての文化的景観地区の認定及び国の重要文化的景観の選定を目指す。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

有識者等で構成される加賀海岸文化的景観検討委員会を1回開催し、文化的景観の保存及び活用の方針を記載した「加賀海岸地域の文化的景観 保存活用計画」を策定した。また、地元役員や関係機関と協議を行い、選定申出に関する同意を得たうえで、令和2年7月に重要文化的景観への選定申出を行った。令和3年3月に「加賀海岸地域の海岸砂防林及び集落の文化的景観」として重要文化的景観に選定された。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	186	一般会計	10	5	4	4	5	自然文化遺産保存調査費	574
②									
③									
関連決算額合計									574

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	文化的景観の保存及び活用について、加賀海岸文化的景観検討委員会から学術的な助言を得たことで、保存活用計画を策定することができた。また、オブザーバーとして参加していた石川森林管理署等の諸機関の協力や、地元役員への説明を行ったことで、選定申出に必要な同意の取りまとめを行うことができた。そして、重要文化的景観への選定申出を行い、重要文化的景観に選定された。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

重要文化的景観の保存活用について、保存活用計画に基づき整備等の方針を定める整備計画を策定する予定である。また、保存及び活用にあたっては、地元住民や関係する機関の協力が不可欠であることから、住民や有識者、関連団体等で構成される協議会を設置する予定である。
 重要文化的景観に選定された加賀海岸地域8の景観を後世に伝えるための取り組みを進めていく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6209	事務事業名	景観整備事業		
所管部局	建設部	所管課	建築課	グループ	景観住宅グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	助成制度を活用し、各地区の基準に沿った建築物、工作物等を維持することで、景観資源としての資質向上や景観整備地区内の活性化を図る。								

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など									
	統一感のあるまちなみ景観を創造するために各地区の基準に基づき指導審査し、適合する建築物、工作物について助成している。									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	230	一般会計	8	5	7	1	5	景観整備事業助成費	7,750
②	230	一般会計	8	5	7	1	6	景観形成推進費	0	
③										
関連決算額合計									7,750	

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	景観形成基準に基づき建築物の新築や改築等に助成することは、積極的なまちづくりができ、その結果そこに住む人々の町に対する愛着や誇りが育まれ、地域が活性化する。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	景観整備地区は、8地区指定されている。加賀市景観計画において、景観整備地区は重点地区に指定しており、助成制度の活用により事業効果の迅速化を図る。								

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input checked="" type="checkbox"/>	将来への備え	<input type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	②良好な歴史的景観の保全			

事業番号	6210	事務事業名	町屋再生事業		
所管部局	建設部	所管課	建築課	グループ	景観住宅グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>歴史的景観の保全や、まちなかの賑わいの創出を支援することにより、大聖寺地区の活性化に繋げる。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

大聖寺地区に残る、昭和30年以前に建築され、伝統的な建築形態を残す建築を「地域の貴重な宝」と位置付け、町屋の再生・活用を進めている。
令和2年度は地区からの要望がなく整備のための助成がなかった。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	233	一般会計	8	6	2	2	2	町屋再生整備費(単独)	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	「歴史的景観の保全」、「良好な居住環境の実現」、「まちなかの賑わいの創出」などの取り組みにより、城下町大聖寺への誇りと愛情が育まれる。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

令和3年3月に大聖寺地区を重点区域とする「加賀市歴史的風致維持向上計画」が国から認定された。今後、大聖寺地区の歴史的景観の保全への取り組みがますます重要であり、事業を積極的に推進して参りたい。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	③交通ネットワークの充実			

事業番号	6301	事務事業名	都市計画基礎調査事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市政策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

地域の歴史・伝統を反映した人々の営みが一体となった歴史的風致の維持向上を図るため、歴史的風致維持向上計画を策定するほか、公園整備や緑地保全など本市の緑に関する将来像を示し、緑地の保全や緑化を推進するため、緑の基本計画を策定する。
また、山代地域の活性化を生み出すことを目的に、萬松園を観光振興に期する地域づくり拠点として活用する基本計画を作成し、官民連携による整備及び維持活用を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

歴史的風致維持向上計画及び緑の基本計画は、学識・関係機関で構成する協議会・委員会の意見を聞いて、令和2年度に完成し公表した。また、歴史的風致維持向上計画については、令和3年3月に国の認定を受けた。
萬松園の活用計画は、官民連携による萬松園の公園整備と維持活用について、民間事業者等から個別ヒアリングを実施し、可能性について検討した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	226	一般会計	8	5	1	4	2	都市計画基礎調査費	28,036
②									
③									
関連決算額合計									28,036

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
歴史的風致維持向上計画や緑の基本計画を策定することで、有効な施策展開と円滑な事業の実施ができることから、費用対効果は高い。
また、萬松園の活用計画は、官民連携による公園整備と維持活用の可能性について確認できたので、整備費や維持管理費の削減に加え、より一層の賑わい創出が期待できる。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

歴史的風致維持向上及び緑の基本計画に基づき、計画的なまちづくりを推進する。
萬松園の公園整備と維持活用について、Park-PFI(公募設置管理制度)により、官民連携を図る事業展開を進める。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	③交通ネットワークの充実			

事業番号	6302	事務事業名	松島橋架替え事業(市道A第60号線)		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	道路整備グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

松島橋は、大聖寺地区西部から中心部を結ぶアクセス道路であり小・中学校の通学路にもなっている橋梁である。しかし、老朽化が著しく橋梁幅員が狭小で車両と歩行者の通行が重なると危険性も高いことから、橋梁の架替えを行い通行者の安全性向上を図る。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

平成28年度:用地等測量、実施設計
 平成29年度:用地取得
 平成30年度:橋梁下部工(左岸側橋台)・道路改良工
 令和元年度:橋梁下部工(右岸側橋台)・道路改良工
 令和2年度:橋梁上部工

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	217	一般会計	8	2	3	1	1	一般道路新設改良費(補助)	150,000
②	217	一般会計	8	2	3	91	2	一般道路新設改良費(補助)(繰越分)	62,850
③									
関連決算額合計									212,850

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 橋梁老朽化対策及び大聖寺地区アクセス道路の安全性の向上事業として必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

令和3年度:橋梁上部工、取付道路整備工
 令和4~5年度:旧橋撤去工

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	③交通ネットワークの充実			

事業番号	6304	事務事業名	都市計画道路整備事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市整備グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	円滑な都市交通を確保し、良好な都市環境を形成するため、都市計画道路合河片山津線、山代栗津線、温泉中央南線の整備を推進する。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	加賀市事業の合河片山津線は、環境影響調査を実施した。 石川県事業の山代栗津線は橋梁工事が施工中であり、また、温泉中央南線は本町工区に着手した。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	228	一般会計	8	5	2	1	20	合河片山津線整備費	18,393
②	228	一般会計	8	5	2	2	1	県営街路整備負担金	8,523
③									
関連決算額合計									26,916

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	合河片山津線の整備は、小松方面から片山津温泉市街地へのアクセス向上に有効性が高い。 山代栗津線の整備は、栗津方面から山代温泉市街地へのアクセス向上と児童生徒の通学の安全、温泉中央南線の整備は、福井方面から山中温泉市街地へのアクセス向上に有効性が高い。 都市計画道路は計画決定に際して、路線の必要性を評価するとともに住民合意を得ていることから費用対効果は高い。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	合河片山津線は、供用開始に向けて、未買収用地の収用手続きを進める。 山代栗津線は、工事を継続する。 温泉中央南線は、本町区間の測量、設計及び用地買収に着手する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	③交通ネットワークの充実			

事業番号	6305	事務事業名	生活道路整備事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	道路整備グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>各町会が管理する生活道路の道路改良や舗装整備、側溝修繕等の事業費の一部を助成することで市民生活の環境の改善や安全で快適な質の向上を図る。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

道路舗装工事2件、道路改良工事1件、側溝整備工事8件、墓参道工事1件(計12件)の助成事業を行った。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	213	一般会計	8	1	1	4	1	生活道路助成費	9,397
②									
③									
関連決算額合計									9,397

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	町主体の生活環境の改善を担う行為に対する事業であり、町内からの要望も高いことから継続する。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

生活道路の整備要望が年々増えている。その中で近年は、緊急性の要する事業も増えてきているため、不測の事態を見込んだ予算の確保に務める必要がある。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	③交通ネットワークの充実			

事業番号	6306	事務事業名	橋梁長寿命化対策事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	道路整備グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	市内全橋を対象とした橋の高齢化(50年経過)対策として、5年に1回の法令点検の実施、健全化の診断、劣化の小さいうちの施設改修等の措置、記録によるメンテナンスサイクルを構築・実施し、改修費用の縮減と橋梁の長寿命化を図りながら、道路交通の安全性を確保する。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	平成24年度:「加賀市橋梁長寿命化修繕計画(市内182橋)」策定
	平成27～30年度:道路法改正(平成25年6月)に伴い、橋梁法定定期点検(市内全橋梁数329橋)を実施した。
	令和元年度:点検結果を「加賀市橋梁長寿命化修繕計画(平成24年度版)」に反映し、改訂版を策定 :耐震事業として、緊急輸送道路(市道C第463号線)上にある新梶井橋について詳細設計を実施した。
	令和2年度:緊急輸送道路(市道C第463号線)上にある新梶井橋の耐震工事(P1橋脚)を実施した。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	220	一般会計	8	2	4	1	3	橋梁長寿命化対策費	68,872
②									
③									
関連決算額合計									68,872

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	道路法に基づく法定点検(5年毎)と長寿命化計画に基づく改修工事の実施は、永久的事業であり継続とする。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	「加賀市橋梁長寿命化修繕計画」(令和元年度改定版)に基づき修繕工事を実施していく。2巡目の橋梁法定定期点検(令和元年度～5年度)を順次行い、市内の全橋梁の健全性を継続して把握していく。 また、緊急輸送道路(市道C第463号線)「新梶井橋」耐震補強事業は、令和2年度に引き続き令和3、4年度と耐震工事を実施する。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	③交通ネットワークの充実			

事業番号	6307	事務事業名	加賀温泉駅前活性化対策事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課 新幹線対策室	グループ	新幹線対策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要
 加賀温泉駅前活性化対策事業に関しては、令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅前広場における賑わいを創出することにより、加賀温泉駅周辺そして加賀市の活性化に寄与することを目的とし、有識者・地元関係者等で構成される委員会を設立し、駅舎及び駅周辺の整備について検討を行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況
 「加賀温泉駅施設整備検討委員会」においては、駅北側広場のレイアウトについて検討した。また、「加賀温泉駅駅名等検討委員会」では、市広報やホームページにより駅出入口の通称を募集し検討した結果、南側出入口名は「温泉中央口」、北側出入口は「日本海口」が相応しいとする意見をとりまとめ、令和2年9月17日に市長へ報告した。さらに、令和3年2月1日には、西日本旅客鉄道株式会社金沢支社長宛てに、「北陸新幹線加賀温泉駅出入口名称に関する提案書」を提出し、駅出入口の名称について最大限反映するよう要望を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	226	一般会計	8	5	1	5	3	加賀温泉駅前活性化対策費	297
②									
③									
関連決算額合計									297

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
--------------------------	----	----------------------------	----	------------------------------	----

内部評価
 評価に関するコメント
 本事業は、令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅の交通結節機能の強化、加賀市の玄関口としてふさわしい空間及び駅周辺の賑わいを創出することを目的としており、広く市民の意見を取り入れ、加賀市民および加賀市を訪れる観光客に愛される駅を整備するため、今後も継続が必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性
 「加賀温泉駅施設整備検討委員会」においては、新幹線高架下都市施設の丸谷焼、山中漆器を活用した施設意匠や運営方法等について引き続き協議を行う計画である。また、新幹線ホームの発車メロディについても協議を行う計画である。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	③交通ネットワークの充実			

事業番号	6308	事務事業名	山中温泉地区都市再生整備計画事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市整備グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

山中温泉地区の賑わい創出に向け、菊の湯周辺のまちなか拠点や散策路ネットワークの強化・充実により、温泉街と鶴仙溪が一体となった回遊型観光まちづくりを目指す。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

山中温泉街の中心部となる菊の湯周辺の賑わいを創出するため、湯の本町通りにおける散策ルートの消雪工事及び側溝整備工事を実施した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	228	一般会計	8	5	2	1	21	山中温泉地区整備費	68,805
②									
③									
関連決算額合計									68,805

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
内部評価 評価に関する コメント	湯の本町通りの散策路整備は、住民合意を得ながら工事を進めているため、有効性や費用対効果は高い。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

湯の本町通りの工事を早期に完成し、賑わい創出を図る。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	③交通ネットワークの充実			

事業番号	6309	事務事業名	加賀温泉駅周辺施設整備事業		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課 新幹線対策室	グループ	新幹線対策グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

加賀温泉駅周辺施設整備事業に関しては、令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅前広場における賑わいを創出することにより、加賀温泉駅周辺そして加賀市の活性化に寄与することを目的として駅舎及び駅周辺の整備を行う。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

加賀温泉駅北側の広場施設と加賀温泉駅前広場の消融雪施設の実施設のほか、北陸新幹線加賀温泉駅高架下に建設する都市施設と在来線下の自由通路の改修工事を安全、円滑に施行するため、在来線・新幹線構造物に対する影響検討設計業務を実施した。
また、加賀市土地開発公社で先行取得している駅前広場駐車場の用地を取得するとともに、駅前広場の交通機能強化を図るため、路線バス事業者が所有する事業用地を取得した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 226	一般会計	8	5	1	5	5	加賀温泉駅周辺施設整備事業費	325,938
②								
③								
関連決算額合計								325,938

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	本事業は、令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、加賀温泉駅及び駅周辺を再整備し、賑わいを創出することを目的としており、加賀温泉駅周辺、そして加賀市の活性化に寄与するものとなることから、今後も継続が必要である。					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

令和5年度末の北陸新幹線金沢・敦賀間開業に向け、令和3年度より加賀温泉駅前広場整備及び在来線下自由通路改修工事に着手するとともに、令和4年度当初から加賀温泉駅北側の広場整備を、4年度後半には北陸新幹線加賀温泉駅高架下の都市施設を建設する計画である。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	④地域公共交通の充実			

事業番号	6401	事務事業名	地域交通対策(KAGAあんしんネット)事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	地域デジタル化グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	加賀市地域交通基本条例の理念である、自家用車を運転できない人も安心・安全に通院や買い物に行くことができるよう、地域交通の充実を図る。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																												
	加賀温泉バス(株)が運行する温泉山中線、山代大聖寺線、吉崎線、温泉片山津線、温泉大聖寺線及び(株)まちづくり加賀が運行するキャンバス片山津・橋立循環線の計6路線については、生活路線バスとして運行補助を行い路線の維持と利便性の向上に努めた。 また、平成28年4月から、本格運行している乗合タクシーについては、お試し乗車券を積極的に配布し利用促進に努めている。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各公共交通の利用に大きな影響があったが、生活に必要なライフラインとの考え方をもって、その維持や運営について支援を行った。																																												
	令和2年度決算																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>54 一般会計</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>地域交通対策費</td> <td>98,385</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">関連決算額合計</td> <td>98,385</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	54 一般会計	2	1	8	6	1	地域交通対策費	98,385	②									③									関連決算額合計							
頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																					
①	54 一般会計	2	1	8	6	1	地域交通対策費	98,385																																					
②																																													
③																																													
関連決算額合計								98,385																																					

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
	評価に関するコメント	利用者は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて低迷した。 個別の年間の輸送人員は、令和元年度比で、温泉片山津線(-31.4%)、山代大聖寺線(-26.3%)、吉崎線(-11.1%)、温泉山中線(-29.9%)、温泉大聖寺線(-30.1%)の減少となっている。 また、キャンバス片山津・橋立循環線では、-3.9%の利用者の減少、「加賀市乗合タクシー」の利用者については、-19.2%の減少となった。 しかしながら、公共交通は地域のライフラインとしての重要な役割を持っていることから引き続き維持に努めたい。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	地域交通は、高齢者や中学生・高校生等の交通弱者にとって欠くことのできない生活基盤の一つであることを踏まえ、運行事業者との協議や加賀市地域公共交通会議での審議を行いながら、生活路線バス、キャンバスの維持を図っていく。 「加賀市乗合タクシー」については、引き続き利用者や運転手の現場の意見を踏まえた、ダイヤ調整等の運行改善のほか、インターネット予約の活用促進に努める。 今後は、交通サービスの予約や、キャッシュレス決済などがアプリ等を通じて便利にできるようにするMaaSの取り組みと並行して、公共交通自体の便数や種類の改善やダイヤや接続の改善を図ることで、相乗効果が得られるような改善を進めていく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	④地域公共交通の充実			

事業番号	6402	事務事業名	地域交通利用促進(加賀MaaS)事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	地域デジタル化グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>加賀市地域交通基本条例の理念である、自家用車を運転できない人も安心・安全に通院や買い物に行くことができるよう、地域交通の充実を図っている。これに併せて、誰にとってもが安心して使いやすい公共交通を実現するために、デジタル技術も活用しながら、交通事業者等の連携を進めることにより、きめの細かい交通サービスが提供できる体系づくりを促進し利用者の利便性の向上に資する。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など																																																	
	<p>MaaS(モビリティ・アズ・ア・サービス:様々な交通サービスの連携を進め、個別ではできない新たなサービスを創出したり、アプリ等のデジタル技術を活用した利便性の向上させること)を推進するために、令和2年2月に加賀MaaSコンソーシアムを立上げノウハウを持つ企業と加賀市の協力体制を構築した。この体制を軸にMaaSのあり方について議論をすすめ、令和2年度事業として加賀MaaS構想(ロードマップ)を作成した。市と交通事業者等で組織する加賀市地域公共交通活性化・再生協議会が国の支援をうけて加賀MaaS実証事業を実施した。この事業でMaaSサービスを提供するために必要な連携基盤の基本的な構築が完了し、基盤と手持ちデバイスを通じ様々な交通サービスを展開できるようにした。 生活路線バスの利用増加に向けて、運行ダイヤ等を記載したパンフレットを作成し、市内全世帯に配布した。また、金明小学校の児童を対象にバスの乗車方法やマナーを教える体験教室を実施した。</p>																																																	
	令和2年度決算																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>54</td> <td>一般会計</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>地域交通利用促進事業費</td> <td>37,591</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">関連決算額合計</td> <td>37,591</td> </tr> </tbody> </table>		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	54	一般会計	2	1	8	6	8	地域交通利用促進事業費	37,591	②										③										関連決算額合計								
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																									
①	54	一般会計	2	1	8	6	8	地域交通利用促進事業費	37,591																																									
②																																																		
③																																																		
関連決算額合計									37,591																																									

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
	評価に関するコメント	<p>2023年までに実施するロードマップを策定、MaaSを活用した利用促進の方針を示した。また、MaaSの基盤が構築され、アプリ等を通じてユーザーに対してダイレクトなサービス提供するための基礎部分が完了した。 サービス部分やアプリの必須機能であるキャッシュレスや予約など細部について、今後関係する事業者と調整しながら進めていく。 事業は順調に推移していると考えている。 パンフレット作成やバス教室といった利用促進のための活動も引き続き実施していく。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>これまでの交通サービスの利用促進等の対策では、一つの交通モード(例えば〇〇バスなど)を取り上げるもので、乗換、連絡運賃、タイアップクーポンなど、複数の交通事業者や周辺の事業者が統一の方法で連携して進めることは、調整に手間がかかるため大規模又はタイムリーに進めることが難しかった。 基盤が構築されたことで、令和3年度において行政主導で予約・決済などMaaSの必須機能まで付加できれば、その後は個々のサービスを事業者が主体的に提供できるようになっていくと考える。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑤上下水道の適正管理			

事業番号	6501	事務事業名	片山津処理区管渠築造事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	グループ	下水道グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

片山津処理区(片山津地区、動橋地区、打越・高塚地区)の家庭や工場等の汚水を汚水管渠で処理場に集め一括処理することで、柴山潟・動橋川流域の水質保全を図るとともに周辺住環境の改善と公衆衛生の向上を目指す。
 H30年度末迄の面的整備完了後、加賀市の汚水処理区域の見直しを図り、効率的かつ経済的な汚水処理整備を進める。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和元年度には、管渠築造工事に伴う舗装本復旧を完了し、当区域の計画している面整備は完了した。令和2年度では、人口減少等の社会情勢を考慮し、効率的かつ適正な処理区域の設定、整備、運営管理手法等の検討を行った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	- 下水道事業会計	41	1	1			汚水管渠建設費(補助)	0
②	- 下水道事業会計	41	1	1			汚水管渠建設費(単独)	0
③								
関連決算額合計								0

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

本事業は、柴山潟・動橋川流域の水質保全を図るとともに周辺住環境の改善と公衆衛生の向上を目的に、汚水処理施設である下水道施設の整備を進めてきたものであるが、一定の整備を完了したなか、人口減少、財政状況等の社会情勢の変化に合わせて適宜見直しを行い対応していく必要があることから、今後も継続が必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後は、農業集落排水施設(分校・箱宮地区)を片山津処理区に接続することを行っていく。また片山津処理区内の未整備地区を合併浄化槽処理区域に転換し、効率的かつ経済的な汚水処理整備を行い、更なる人口減少や高齢化等、地域社会構造の変化や市の厳しい財政事情から汚水処理施設整備の一層の効率化を図るため、汚水処理区域の見直しと処理区の統合を進めていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑤上下水道の適正管理			

事業番号	6502	事務事業名	大聖寺川処理区管渠築造事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	グループ	下水道グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>大聖寺川処理区(大聖寺地区、山代地区、作見地区、山中温泉地区)の家庭や工場等の汚水を污水管渠で処理場に集め一括処理することで、大聖寺川流域、柴山渦・動橋川の水質保全を図るとともに周辺住環境の改善と公衆衛生の向上を目指す。</p> <p>また、加賀市の汚水処理区域の見直しを図り、効率的かつ経済的な汚水処理整備を進める。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<p>平成2年度は、山中地区(山中温泉長谷田町)、作見地区(加賀温泉駅周辺)の管渠工事を実施し、整備面積8.9haが完了した。大聖寺川処理区の汚水処理面積は626.3haとなり、事業認可区域面積725.8haに対する進捗率は86.3%となった。</p> <p>また、人口減少等の社会情勢を考慮し、効率的かつ適正な処理区域の設定、整備、運営管理手法等の検討を行うため、加賀市下水道処理区統廃合計画を策定した。</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	-	下水道事業会計	41	1	1			污水管渠建設費(補助)	167,956
②	-	下水道事業会計	41	1	1			污水管渠建設費(単独)	29,280
③									
関連決算額合計									197,236

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>本事業は、大聖寺川流域、柴山渦・動橋川流域の水質保全を図るとともに周辺住環境の改善と公衆衛生の向上を目的に、汚水処理施設である下水道施設の整備を進めてきたものであるが、一定の整備を完了したなか、人口減少、財政状況等の社会情勢の変化に合わせて適宜見直しを行い対応していく必要があることから、今後も継続が必要である。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>更なる人口減少や高齢化等、地域社会構造の変化や市の厳しい財政事情から汚水処理施設整備の一層の効率化を図るため、汚水処理区域の見直しと処理区の統合について検討を進めていく。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑤上下水道の適正管理			

事業番号	6503	事務事業名	配水管網整備事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	グループ	水道グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>配水区域を横断的に相互融通できる管網の構築と、大規模地震等の災害時に強い耐震性のある水道管の整備により、適切な水量、水圧と安定した水道水の供給を確保する。</p>
	<p>国土交通省所管国道8号加賀拡幅事業と併せて、耐震性のある水道管の布設を実施した。</p>

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>令和2年度決算</p>																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>細目</th> <th>細々</th> <th>細々目名</th> <th>決算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>- 水道事業会計</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>24</td> <td></td> <td>工事請負費</td> <td>25,575</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="8">関連決算額合計</td> <td>25,575</td> </tr> </tbody> </table>	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	- 水道事業会計	2	1	3	24		工事請負費	25,575	②									③									関連決算額合計							
頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																					
①	- 水道事業会計	2	1	3	24		工事請負費	25,575																																					
②																																													
③																																													
関連決算額合計								25,575																																					

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>道路工事と併せて施工することにより、土工事費や舗装工事費の軽減を図り、地震等の災害時における被害を最小化するため、強靱な水道管の整備を継続する。</p>				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>安心で安全な水道水を市民に安定供給するために、強靱な水道管網を構築する。</p>
--------	---------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑤上下水道の適正管理			

事業番号	6504	事務事業名	老朽管更新事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	グループ	水道グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

老朽化した水道管を耐震性のある水道管に更新することにより、漏水事故や災害等に強いライフラインを確保し、安全かつ強靱な水道事業を確立する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

老朽管は水道管のうち石綿セメント管、ビニル管、鋼管、鋳鉄管を更新対象としており、整備効果を高めるため、漏水事故や水質事故が多い路線や他工事との関連により、優先度を決めて布設替を実施した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	- 水道事業会計	2	1	3	20		路面復旧費	59,668
②	- 水道事業会計	2	1	3	24		工事請負費	411,998
③								
関連決算額合計								471,666

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

漏水件数は年々減少傾向にあるものの、水道管は年々劣化するため漏水事故、赤水防止及び災害時にも強いライフラインを構築し、水道水供給サービスの向上のため継続実施する。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

老朽管のうち、先ず石綿セメント管を優先的に更新し、次いでビニル管、鋼管、鋳鉄管を更新していき、今後の人口減少社会を見据え、将来の給水量の減少を見込んだ最適な管網(ダウンサイジング)での更新を実施する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑤上下水道の適正管理			

事業番号	6505	事務事業名	農業集落排水施設整備事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	グループ	下水道グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>農村集落のし尿、生活雑排水等を污水管渠で集め、汚水処理施設により一括処理することにより農業用排水の水質保全を図り水循環に資するとともに、農村の生活環境及び公衆衛生の向上を目指す。</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>平成31年度に三木地区が完成し、計画していた農業集落排水施設11地区すべての整備が完了した。令和2年度は、各処理場の電気・機械設備等の改築更新工事を行った。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	- 下水道事業会計	41	1	1			污水管渠建設費(補助)	0
②	- 下水道事業会計	41	1	1			污水管渠建設費(単独)	2,470
③								
関連決算額合計								2,470

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	<p>地域住民からの要望があった11地区の農業集落排水施設の整備を完了したことにより、農業用排水の水質保全、生活環境及び公衆衛生の向上が図れる。ただし、継続して施設管理を引き続き行う必要があることから継続とした。</p>					

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>今後、老朽化していく管渠、処理場等の施設管理計画を策定していく必要がある。また、分校、箱宮地区を公共下水道へ接続し、効率的かつ経済的な汚水処理整備を進める。</p>
--------	---------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑤上下水道の適正管理			

事業番号	6506	事務事業名	農業集落排水事業最適整備構想作成事業		
所管部局	上下水道部	所管課	下水道課	グループ	下水道グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

農業集落排水施設11地区(分校、新保、荒木、熊坂、柴山、箱宮、二子塚、奥谷、三谷、勅使、花房)の機能の保全・長寿命化と、下水道への接続等集約化による維持管理費の低減を図るため、最適整備構想を策定する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

令和2年度 農業集落排水事業最適整備構想策定

令和元年度以前
 【機能診断調査】
 平成29年度:1地区 熊坂地区
 平成30年度:5地区 分校、新保、荒木、柴山、二子塚(地区)
 令和元年度:5地区 花房、箱宮、奥谷、三谷、勅使(地区)

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	- 下水道事業会計	21	1	8			総係費(補助)	8,000
②	- 下水道事業会計	21	1	8			総係費(単独)	30
③								
関連決算額合計								8,030

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	縮小
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

最適整備構想を策定したことにより、今後各施設の改築更新を計画・実施していく。改築更新を行う根拠となる当整備構想については策定済みとなったため、今後は縮小とした。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後は、最適整備構想を基に農業集落排水処理施設の改築更新を実施していく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑤上下水道の適正管理			

事業番号	6508	事務事業名	導送水施設整備事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	グループ	水道グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>原水や浄水を水道施設へ送水する機能の維持を目的とした施設の計画的更新により、水道施設の適正で効率的な運用と継続した安定供給を確保する。</p>
	<p>事業の進捗、令和2年度の主な成果など</p>

導送水施設である七日市送水ポンプ場の整備は、加賀市水道事業ビジョンに基づき計画的に実施しており令和2年度も引き続き更新を計画していたが、県水の送水方式についてポンプ加圧から直送方式にすることで、ポンプ設備のダウンサイジング等の可能性が判明したことから工事を一時中断して、令和3年度に整備方針の見直しを検討している。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	-	水道事業会計	2	1	2	24		工事請負費	0
②									
③									
関連決算額合計									0

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	導送水施設を計画的に更新することで老朽化に起因する事故を未然に防止し、水道水の安定供給が確保できることから、今後も継続が必要である。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

令和3年度に導送水施設の整備方針の見直しをたて、今後も耐用年数を超えている設備の更新と改築を行い、水運用の効率化と安定供給を図る。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑤上下水道の適正管理			

事業番号	6509	事務事業名	鉛給水管更新事業		
所管部局	上下水道部	所管課	水道課	グループ	水道グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

平成15年4月に水道水に含まれる鉛含有量が規制強化されたことにより、抜本的対策として鉛を溶出しない給水管に更新する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

老朽管更新事業等による水道管布設替工事や漏水修繕工事と併せて、水質への影響がないポリエチレン管への更新を実施した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	- 水道事業会計	2	1	3	24		工事請負費	33,273
②								
③								
関連決算額合計								33,273

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	鉛製給水管の更新により水質の安全を確保できるとともに、更新対象管は埋設後30年以上経過しており、漏水対策も兼ねることから、継続する。				

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

今後も老朽管更新事業や漏水修繕工事と併せて更新事業を継続し、水質基準に適合した水道水を供給する責務を果たしていく。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑤上下水道の適正管理			

事業番号	6510	事務事業名	合併処理浄化槽設置助成事業		
所管部局	上下水道部	所管課	経営企画課	グループ	経営企画グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	<p>住民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全を目的に、下水道整備区域外において、単独処理浄化槽及びくみ取り便所から合併処理浄化槽への転換を促進する。</p>

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	<p>生活排水による公共用水域の汚濁を防止するため、専用住宅等の合併処理浄化槽への転換にかかる費用に対し補助を行う。</p> <p>平成30年度 補助件数 13件 令和元年度 補助件数 8件 令和2年度 補助件数 13件</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	235	一般会計	4	3	3	3	2	合併処理浄化槽設置助成費	6,213
②									
③									
関連決算額合計									6,213

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	<p>公共下水道整備区域外における単独浄化槽及びくみ取り便所から合併処理浄化槽への転換については、法的に努力義務に留まっているが、本助成事業により普及が促進され、水環境の改善、水質保全に効果があった。</p>				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>下水道を含めた汚水処理施設普及率は70.0%と県内最低であり、水質の保全、住民の生活環境の改善において合併処理浄化槽の役割は大きい。令和2年4月1日施行の浄化槽法の一部改正に伴い、公共下水道・農業集落排水事業・小規模集合排水処理事業及び地域下水道の区域を除く市内全域を令和3年3月15日付で浄化槽処理促進区域に指定したことから、今後は設置数が増加することが想定されるため、継続して助成制度の周知、啓発を強化し普及促進に務める。</p>

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input checked="" type="checkbox"/>	将来への備え	<input type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑥憩いの場の充実			

事業番号	6601	事務事業名	都市公園管理事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	維持管理グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要
	近隣住民の自然とのふれあい、健康運動等多様な活動の身近な拠点となる緑とオープンスペースの提供、管理を目的としている。

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など
	園内施設の日常管理(施設巡回・保守点検・施設清掃、落葉・雑草除去、低木剪定等)を市作業班で行うとともに専門性の高い芝生広場や高木剪定等は専門事業者に発注し施設の管理・運営を行った。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	223	一般会計	8	5	6	1	1	光熱水費	16,228
②	223	一般会計	8	5	6	1	2	管理委託費	27,025
③	223	一般会計	8	5	6	1	3	その他管理費	3,929
④	223	一般会計	8	5	6	1	4	維持補修費	4,184
関連決算額合計									51,366

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	市作業員により適正に管理運営しており、身近な緑とオープンスペースの提供を図るうえで必要であり継続する。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	施設の老朽化に伴い、修繕の必要性のある箇所が増えてきている。点検を徹底し、危険個所の早期発見、早期修繕を行う。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり			
施策	⑥憩いの場の充実			

事業番号	6602	事務事業名	中央公園管理事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	維持管理グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	適正な管理により憩いの場、健康づくり活動の場を提供することで、心身の健康の保持及び増進を図る公園の機能保持に繋げる。								

実施状況	事業の進捗、令和2年度の主な成果など								
	公園内施設の日常管理(施設巡回・保守点検・施設清掃、落葉・雑草除去、低木剪定等)を加賀市総合サービスに委託するとともに専門性の高い芝生広場や高木剪定等は専門事業者に発注し施設の管理・運営を行った。 また、水盤池の完成により、市内外からの来園者が増加した。								

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	223	一般会計	8	5	6	2	1	管理委託費	32,077
②	223	一般会計	8	5	6	2	2	その他管理費	869
③	223	一般会計	8	5	6	2	3	維持補修費	1,902
関連決算額合計									34,848

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	評価に関するコメント	仕様書に基づく発注・管理により適正に管理運営しており、総合公園の機能継続を図るうえで必要であり継続する。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増えてきている。点検を徹底し、危険個所の早期発見、早期修繕により公園機能の低下を防ぐ。								

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり			
施策	①市政への市民参画の促進			

事業番号	7101	事務事業名	パブリックコメントの積極的展開事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	シティプロモーショングループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

『加賀市民主役条例』、『加賀市民意見公募に関する要綱』に基づく事業。市が作成する計画や条例等の素案について、広く市民から意見を聴取し、その意見を素案に反映させるもの。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施は各課。合計6件実施。うち、意見応募があったパブリックコメントは5件。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①		-	-	-	-	-	-		-
②									
③									
関連決算額合計									0

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
評価に関するコメント	重要な政策に市民の意見を可能な限り取り入れることは必要である。				

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

要綱に定めのあるとおり、意見公募の対象となる事業については、引き続き意見公募を実施する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり			
施策	②広報・広聴体制の充実			

事業番号	7201	事務事業名	広報発行事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	シティプロモーショングループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

「加賀市広報規則」に基づく事業。市民の市政に対する理解を深めるために、市の施策等に関する情報の周知啓発を行うもの。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施状況

毎月1日に「広報かが」を発行。市内各世帯(約25,000世帯)に配布するほか、市内の公共施設や商業施設(合計70箇所)に配置している。また、市ホームページとSNSへの掲載、スマホ用アプリへを利用した配信も行っている。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	53	一般会計	2	1	4	1	1	広報発行費	22,137
②									
③									
関連決算額合計									22,137

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	拡充
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

市の情報発信の根幹を成すもの。各世帯への周知啓発媒体として欠くことはできない。

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

全ページをカラー化し、視覚的効果を見込める魅力ある紙面づくりが必要と考える。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり			
施策	②広報・広聴体制の充実			

事業番号	7202	事務事業名	テレビ広報推進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	シティプロモーショングループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

「加賀市広報規則」に基づく事業。市民の市政に対する理解を深めるために、市の施策等に関する情報の周知啓発を行うもの。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施状況

加賀ケーブルテレビのコミュニティチャンネルにおいて、行政広報(10分番組、年間12本)、議会中継(議会開会時)、加賀市再発見(15分番組、年間4本)、文字放送(随時)を放送。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	53	一般会計	2	1	4	3	4	シティプロモーション活動費	21,950
②									
③									
関連決算額合計									21,950

有効性 (高い/普通/低い)	低い	費用対効果 (高い/普通/低い)	低い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
内部評価 評価に関するコメント	市の情報発信の根幹を成すもの。各世帯への周知啓発媒体として欠くことはできない。				

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

テレビCMやフリーペーパーなどの有料メディアや既存の無料メディアを使ってアピールする。また移住を促進するために子育て制度をPRするテレビ番組を作成する。移住に関するサイトを作成し、移住希望者に向けて発信する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり			
施策	②広報・広聴体制の充実			

事業番号	7203	事務事業名	新聞・SNS等広報推進事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	シティプロモーショングループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

新聞広報及びホームページ広報については「加賀市広報規則」に基づく事業。SNS(フェイスブック)については、情報化社会に即した手段でもって、効率的かつ効果的に市政情報等を発信するもの。いずれも、市民の市政に対する理解を深めるために、市の施策等に関する情報の周知啓発を行うもの。

事業の進捗、令和2年度の主な成果

実施状況

北國新聞及び北陸中日新聞の朝刊において、毎月1回、記事下半5段分の紙面に広報を掲載。ホームページ、及びSNS(フェイスブック)については随時更新。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	53	一般	2	1	4	3	4	シティプロモーション活動費	21,950
②									
③									
関連決算額合計									21,950

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
新聞広報にあたっては県内全域に向け広く情報発信できるものであり、ホームページ・SNSについては、発信ツールの多様化への対応として必要であると考えます。

次年度以降における課題、今後の計画(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

情報発信ツールの多様化として、新聞、ホームページ、SNS全てについて、今後も継続が必要である。情報発信の緊急度合いによって、各種媒体を駆使し、可能な限り多くの人に情報発信を行っていく。

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり			
施策	③公共施設の適正な維持管理			

事業番号	7301	事務事業名	公共施設マネジメントの推進		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要	<p>本市の保有する学校、福祉施設、庁舎、病院などの「建物施設」や、道路、橋梁、上水道、下水道などの「土木関連施設」の多くは、昭和40年代から昭和50年代に建設されてきた。これら公共施設の多くは、今後、大規模な改修、建替えの時期を迎え、多額の維持・更新費が必要となる。</p> <p>一方、本市の財政は、長期的な人口減少により市税収入の伸びが期待できず、少子化や高齢化に伴う社会保障関係費が増加するなど、厳しくなることが予測される。</p> <p>このような公共施設を取り巻く社会環境の変化に的確に対応するため、総合的かつ長期的な視点に立ち、施設全体を最適に維持管理することで、「将来への備え」とする。</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況	<p>平成27年に策定した「加賀市公共マネジメント基本方針」に基づき、施設全体を最適化する整備を行った。</p> <p>＜具体的な取組＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山代保育園」の廃止 (R2.4) ・「山中温泉支所」を山中郵便局内に移転 (R2.11) ・「金明、湖北、潮津保育園」をスワトン保育園に統合 (R3.3) <p>また、個別施設ごとの具体的な更新計画である「加賀市公共施設マネジメント個別施設計画」を策定した。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	54	一般	2	1	8	3	1	企画振興費	2,959
②									
③									
関連決算額合計									2,959

内部評価	<p>有効性 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>費用対効果 (高い/普通/低い)</p> <p>高い</p>	<p>内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)</p> <p>継続</p>
評価に関するコメント	<p>更新費用の算出結果に基づくと、現在保有している全ての公共施設を更新していくことは不可能であることは明らかになっている。そのことから、今後も「加賀市公共施設マネジメント基本方針」及び「加賀市公共施設マネジメント個別施設計画」に基づき、施設の統廃合等を推進していく。</p>		

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性	<p>個別施設計画で示した具体的な施設の統廃合や廃止、除却にあたっては、その施設の建築年度(老朽度合い)、優先度、方向性・対策、最新の地域事情等を総合的に勘案し、また、施設利用者など関係者との調整を図りながら、実施を検討する。</p> <p>また、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」の策定から5年以上が経過したことから、現在の本市の財政及び人口状況、将来見込みや個別施設計画を踏まえ、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」の改定を行い、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を円滑に推進する。</p>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり			
施策	④計画的な行財政運営			

事業番号	7401	事務事業名	「行政改革大綱」の推進		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

「第3次加賀市行政改革大綱」で目標としている民間委託の推進やIT技術を活用した業務の効率化などにより、業務効率化や電子化などを推進する。
 また、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」に基づき、統廃合を含めた施設のあり方を検証しながら、公共施設の適正維持管理を進めるなど、急速に進む人口減少や少子高齢化に対応しながら、将来を見据えた効率的な行財政を目指す取り組みを進める。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

業務の効率化を図り、効率的で質の高い行政サービスを提供するため、行政手続きを簡単にオンライン化できる「LoGoフォーム電子申請」のサービスを開始し、年度末時点で137の手続きを電子申請が可能にした。
 また、市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、平日の夕方や土日祝日も行政手続きが行える行政サービスセンターの設置検討及び山代・片山津・動橋出張所の業務の郵便局への委託の検討を行った。
 さらに、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、個々の公共施設の在り方について検討を進め、「加賀市公共施設マネジメント個別施設計画」を策定した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	-	-	-	-	-	-		-
②								
③								
関連決算額合計								0

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 電子申請サービスの導入により、24時間いつでもどこからでも待ち時間なしに行政手続きができるようになり、市民サービスの向上が図られた。
 行政サービスセンターの設置及び山代・片山津・動橋出張所の業務の郵便局への委託については、令和3年6月に実施を予定している。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

PDCAサイクルを機能させ、「IT技術を活用した業務の効率化」、「公共施設マネジメント」を中心に、業務の改善・改善を行い、行政改革大綱実施計画に基づき着実な進捗に努める。
 また、令和3年度は、「第3次加賀市行政改革大綱」の最終年度にあたるため、令和4年度以降の更なる行政改革の推進を目指すため、これまでの取組状況を踏まえながら「第4次加賀市行政改革大綱」の策定を行う。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	<input checked="" type="checkbox"/>	将来への備え	<input type="checkbox"/>	成長戦略
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり			
施策	④計画的な行財政運営			

事業番号	7403	事務事業名	行政評価「公開外部評価会」開催事業		
所管部局	政策戦略部	所管課	スマートシティ課	グループ	企画調整グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

第2次加賀市総合計画(前期実施計画)「加賀躍進プロジェクト」に掲げる事業について、事業担当者自らが行なう内部(事後)評価により、事業の有効性や効率性、施策貢献度等を検証し、翌年度以降の予算編成にも反映させる(予算編成の「見える化」)一連のサイクルを確立させる。
 また、市民の関心が高い事業について、公開で実施する外部評価により、市民目線での検証を行なうことで、事業実施の透明性や有効性を高める。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

前年度に市が実施した事業の中で、特に市民の関心の高い7テーマ8事業について、「目的に沿ったものか」「必要な事業なのか」など、客観的な市民目線での評価・検証を行い、外部評価会において、すべての事業が「適切」と評価された。
 また、外部評価の結果は、予算編成の「見える化」を目的に市ホームページにて公表した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	54	一般会計	2	1	8	3	1	企画振興費	101
②									
③									
関連決算額合計									101

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント
 本事業は加賀市における事業実施の透明性や有効性を高め、市民への説明責任を果たすことを目的としており、予算編成等の参考資料となることから、今後も継続が必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

「加賀市まち・ひと・しごと総合戦略」の検証とも整合性を取りながら、継続して「公開外部評価会」を開催する。

令和3年度 加賀市行政評価 事務事業評価シート

【事務事業】

体系	■	将来への備え	□	成長戦略
基本方針	7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり			
施策	④計画的な行政運営			

事業番号	7404	事務事業名	道路台帳整備委託事業		
所管部局	建設部	所管課	土木課	グループ	維持管理グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

道路法第28条において、道路管理者には、管理する道路台帳の作成が義務付けられており、本事業でその道路に関する調書・図面を作成し、管理区分(起終点、境界など)を明確化する。

事業の進捗、令和2年度の主な成果など

実施状況

市道A第255.263.264.289号線、市道B第14号線等の5路線、延長1,026mの台帳修正・整備を行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	214	一般会計	8	2	1	1	1	道路台帳整備	2,000
②									
③									
関連決算額合計									2,000

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価

評価に関するコメント

道路法で道路台帳の作成が義務付けられており、管理の根本となる図書の作成は、今後も継続が必要である。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

道路台帳の未整備路線及び整備・改良等で区域に変更のあった路線の修正を進めていく。

令和 2 年 度 決 算

内 部 評 価 報 告 書

【公の施設】



加 賀 市

施設名	加賀市美術館		
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	26,300

事業番号	A01	事務事業名	加賀市美術館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

施設の設置目的
 市民の美術に対する関心を高め、その知識の普及及び教養の向上を図り、もって芸術文化活動の振興発展に寄与するため。

実施状況
令和2年度の管理運営状況
 加賀市の玄関口であるJR加賀温泉駅前の立地を活かし、加賀市ゆかりの美術工芸作家の顕彰や郷土にちなむ歴史文化を展覧し、情報発信を行うことで観光誘客、地域の芸術文化の振興に寄与した。新型コロナウイルス感染症の影響により、共催展や貸館事業が例年より少なくなったが、各美術部門団体と共催展のほか、郷土作家を紹介する常設展を年間を通じて開催した。また、児童生徒や市民の発表の機会である貸館展示も行った。市民及び観光客に加賀市の伝統工芸や美術文化を紹介するとともに、市民の美術に対する関心を高め、その知識の普及および教養の向上を図り芸術文化活動の発展に努めた。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	10	5	3	8	1	管理委託費	24,600
②	177	一般会計	10	5	3	8	2	維持補修費	346
③									
関連決算額合計									24,946

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)			
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	14	△	1	×	0	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	14	△	1	×	0	

内部評価
評価に関するコメント
 協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。JR加賀温泉駅内のKAGA旅・まちネットと連携することで入館者は微増傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した。立地を活かし、加賀市の美術工芸を紹介する魅力的なイベントや企画展を継続的に実施することを指定管理者に指導し、市民のみならず観光客の来館を促進する必要がある。

今後の方向性
 次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
 JR加賀温泉駅前にあり、市民にとって交通の便もよく、また観光客の入り込みも十分見込める立地条件であることから、より魅力的な事業展開、情報発信を推進するとともに、適切な施設管理を行っていく。

施設名	中谷宇吉郎雪の科学館		
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社、特定非営利活動法人 I Love 加賀ネット、一般財団法人中谷宇吉郎記念財団		
指定期間	R2.4.1～R7.3.31	指定管理委託料(千円)	20,000

事業番号	A02	事務事業名	中谷宇吉郎雪の科学館管理	
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ 文化推進グループ

**施設
の
設
置
目
的**

中谷宇吉郎に関する資料を収集、保存及び展示をし、その科学的知識の普及並びに学術及び文化の発展に寄与するため。

**実施
状
況**

令和2年度の管理運営状況

加賀市出身の雪博士 中谷宇吉郎の業績を広く紹介するとともに、身近な雪や氷を通して特に児童生徒に科学に関心を持ってもらえるよう、科学普及事業として子ども雪博士教室を実施した。また、中谷宇吉郎生誕120年記念事業として、宇吉郎ゆかりの地との中継やビデオレター等によるライブ配信を行ったほか、実験の様子などの動画を公式youtubeチャンネルに公開して、館の魅力を全国に発信した。加えて、中谷宇吉郎の業績やひととなり・館の提示内容・雪氷実験の説明等を掲載した公式ガイドブックを制作した。関連事業として、中谷宇吉郎の子ども時代について焦点をあてた企画展も開催した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	10	5	3	7	1	管理委託費	20,847
②	177	一般会計	10	5	3	7	2	維持補修費	2,423
③	177	一般会計	10	5	3	7	3	運営費	0
④	177	一般会計	10	5	3	7	5	その他管理費	71
⑤	177	一般会計	10	5	3	7	6	その他管理費	1,322
関連決算額合計									24,663

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)		
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	13	△	2	×	0	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	15	△	0	×	0	

**内部
評
価**

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。入館者への実験解説等サービス向上にも努力し、評価も得ているが、令和2年度の入館者数は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。オンラインイベントの開催など新たな試みを実施しているが、継続的に館の魅力を発信し続ける必要がある。

**今後
の
方
向
性**

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

時宜にかなった魅力的な事業の実施と継続的な科学普及事業を開催することで、若い世代の科学離れを食い止め、中谷宇吉郎の人物と業績を継続的に情報発信していく。幅広い年代が楽しめる、加賀市にしかない特徴的な科学館として観光客にもPRIにしていくことで、入館者の増加につなげる。

施設名	北前船の里資料館		
(指定)管理者	加賀市		
指定期間	—	指定管理委託料(千円)	—

事業番号	A03	事務事業名	北前船の里資料館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

**施設
の
設
置
目
的**

北前船に関する資料等の収集、保存及び展示をして、その知識の普及並びに学術及び文化の発展に寄与するため。

令和2年度の管理運営状況

全国の中でも北前船主を多く輩出した、船主のふるさと加賀橋立から北前船の専門資料館として発信。北前船のストーリーが日本遺産に認定されたことで、認知度が高まってきており、ふるさと学習の面から児童生徒への学習の機会を提供するとともに、観光施設としての情報発信を行い、より多くの観光客の来訪に努めた。年に3回の企画展のほか、日本財団主催の「海と日本プロジェクト」では、北前船の歴史や加賀市に残る文化財を紹介した。また、コロナ禍における観光PRとして、YouTubeを活用した館内のオンラインツアー、再現料理の紹介イベントを行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	10	5	3	6	1	管理委託費	7,171
②	177	一般会計	10	5	3	6	2	維持補修費	671
③	177	一般会計	10	5	3	6	3	運営費	230
④	177	一般会計	10	5	3	6	4	光熱水費	430
⑤	177	一般会計	10	5	3	6	5	その他管理費	125
⑥	177	一般会計	10	5	3	6	6	企画事業費	422
⑦	177	一般会計	10	5	3	18	1	北前船の里資料館整備事業費	3,058
⑧	177	一般会計	10	5	3	80	1	北前船の里資料館整備事業費(事故繰越分)	79,288
関連決算額合計									91,395

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)	
内部 評 価	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	—	△	—	×	—	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	—	△	—	×	—	
	評価に関する コメント		適正な施設管理を行うとともに、市の観光・教育施策の方針に対応した運営を行っている。北前船に関する企画展の実施やボランティア解説員による解説案内の提供等により、観光客へのサービス向上に努めている。 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が大きく減少している。感染対策を踏まえたうえで、従来の展示のみならず、新規性のある事業や、効果的な情報発信を行っていく必要がある。						

**今後の
方向
性**

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

北前船を加賀市における重要な観光資源ととらえ、より効果的な情報発信を行う。老朽化する建物を歴史的な価値を損なうことなく適切に管理し、整備・活用していくとともに、計画的な修繕等を行っていく。
 新型コロナウイルス感染症の影響により、団体客が減り、個人客が増加していることを踏まえ、体験型のイベントや若年層に向けた展示企画など、北前船の新たな魅力を創出していく。

施設名	石川県九谷焼美術館		
(指定)管理者	加賀市		
指定期間	—	指定管理委託料(千円)	—

事業番号	A04	事務事業名	九谷焼美術館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	九谷焼美術館

施設の設定目的
 郷土の誇りである伝統工芸「九谷焼」の歴史や存在意義を市内外に宣伝・発信することで、文化的愛好層を広げ観光振興ひいては地場産業九谷焼の振興・発展につなげ、当市のアイデンティティ形成に寄与する。当館が魅力ある事業を展開をすることによって、訪れた観光客や観光業者に満足を与え、リピーターを増やし、高い評判を全国的に得ることが予想される。教育面では市民や子どもたちが郷土の誇りとして「九谷焼美術館」をあげ、文化都市・観光都市としての大きなアイデンティティが確立する。

令和2年度の管理運営状況

当館が九谷焼をPRする中核施設であることは、さまざまな活動によりすでに県内外で認められるようになっている。県外観光客の入館も、従来の関西圏、中京圏のみならず、平成27年の北陸新幹線金沢開業が追い風となり、首都圏からの来館者が増えてきている。「加賀市は九谷焼発祥の地」をモットーに当館の企画事業を発信しつづけた成果と考えられる。しかしながら令和2年度の入館者は、コロナ禍の影響を受け減少した。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	10	5	3	5	1	委託管理費	15,190
②	177	一般会計	10	5	3	5	2	維持補修費	3,050
③	177	一般会計	10	5	3	5	3	美術品購入費	2,700
④	177	一般会計	10	5	3	5	4	運営費	7,977
⑤	177	一般会計	10	5	3	5	5	光熱水費	6,381
⑥	177	一般会計	10	5	3	5	6	その他管理費	734
⑦	177	一般会計	10	5	3	5	7	企画事業費	6,216
関連決算額合計									42,248

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)

内部評価	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	—	△	—	×	—	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	—	△	—	×	—	

評価に関するコメント
 九谷焼をPRする中核施設として、適切な管理運営を行っている。運営については、展示企画に創意工夫をし内容の充実に向けている一方、費用対効果を意識した運営を心がけ、美術館としての魅力と展示品の質を確保しつつ、来館者への満足度向上に努めている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性
 令和2年度は、当館では初めて作品をまとめて展示した碓伊之助の特別展の他、再興九谷の中でも特に評価の高い吉田屋窯の作品を史上最多となる303点を展示した。この「吉田屋の逸品」は、NHK日曜美術館のアートシーンでも取り上げられるなど全国に情報発信することができた。
 今後も「九谷焼発祥の地」加賀市としてさらなる情報発信をするとともに、古九谷や再興九谷を中心とする企画展を開催し、集客を図る。

施設名	魯山人寓居跡いろは草庵		
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	14,100

事業番号	A05	事務事業名	魯山人寓居跡いろは草庵管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

施設の設置目的	本市に滞在し、本市の文化に影響を及ぼした北大路魯山人に関する資料を収集、保存、及び展示し、その知識の普及並びに学術及び文化の発展に寄与するため。								
	令和2年度の管理運営状況								

実施状況	北大路魯山人が山代温泉を訪れた際に滞在した、吉野屋の別荘である建物のうち仕事部屋、書斎、囲炉裏などを当時のままに公開している。施設の管理運営の委託を行い、魯山人や山代温泉との関わりについての企画展等を開催、情報発信した。								
	令和2年度決算								

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	10	5	3	10	1	管理委託費	13,699
②	177	一般会計	10	5	3	10	2	維持補修費	644
関連決算額合計									14,343

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)			
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	15	△	0	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。入館者サービスは概ね好評であり満足度向上につながっているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や観光客の減少などにより、入館者数が大きく減少した。今後は新型コロナウイルス感染症終息後を見据え、学芸的業務のレベルアップとともに、立地を活かし観光客の興味をひくようなイベント等の実施も必要である。								
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	山代温泉の中心部に近い立地から、観光客のニーズに応じた企画展や館の特色を活かしたイベント等を行い、観光協会や旅館組合等とも連携を図ることで、更なる入館者の増加を目指す。								

施設名	九谷焼窯跡展示館		
(指定)管理者	加賀九谷陶磁器協同組合		
指定期間	H31.4.1～R5.3.31	指定管理委託料(千円)	14,000

事業番号	A06	事務事業名	九谷焼窯跡展示館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	九谷焼美術館

施設 の 設 置 目 的	九谷焼吉田屋窯以降の再興九谷に関する資料を収集、保存、及び展示し、市民の教養を高めるとともに、学術及び文化の向上に資する。								
	令和2年度の管理運営状況								

実 施 状 況	施設の運営、維持管理等の委託を行い、市民や観光客等の九谷焼に対する関心と理解を高め、普及につとめた。年間4回の企画展を開催したほか、体験事業として絵付け体験を行っている。また、ふるさと学習として、市内の小学校からの見学を受け入れている。								
	令和2年度決算								

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	10	5	3	9	1	管理委託費	14,000
②	177	一般会計	10	5	3	9	2	維持補修費	605
③									
関連決算額合計									14,605

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	良	
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0		

評価に関するコメント	協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理、運営を行っている。九谷焼を理解してもらうための企画展や、窯焚き、体験事業等を行っているほか、館内スタンプラリーの実施やグッズ制作など、より魅力的な事業を積極的に実施し、来館者の満足度の向上につながっているが、入館者数は減少傾向であり、新たな体験事業やイベント等の検討が必要である。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	国指定史跡の窯跡をはじめ、九谷焼の歴史や作品を深く知ることができ、また、体験施設としての独自性を強調し、その魅力をより情報発信することで入館者の増加につなげる。								

施設名	深田久弥山の文化館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人深田久弥と山の文化を愛する会		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	7,600

事業番号	A07	事務事業名	深田久弥山の文化館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

施設の設置目的

深田久弥と山(登山、山の生活文化及び山の精神文化等)に関する資料を収集、保存、及び展示し、市民の教育、学術及び文化の振興に寄与することを目的とするとともに、人々が自然と人間について考える交流の場。

実施状況

令和2年度の管理運営状況

常設展示室で深田久弥の業績を紹介しているほか、毎月の「聞こう会(ミニ講演会)」の開催、「ふるさとの自然ふれあいコンクール」の募集・審査・展示事業を実施した。また、深田久弥の魅力を伝える企画展として、「深田久弥最後の頂 蛇峠山展」、「深田久弥没後50年展『追憶』」の展示も行った。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	177	一般会計	10	5	3	11	1	管理委託費	7,632
②	177	一般会計	10	5	3	11	2	維持補修費	0
③									
関連決算額合計									7,632

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)			
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	13	△	2	×	0	

評価に関するコメント

協定書、仕様書に基づいた運営、管理は適正に行われている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や、遠方からの来館者が少なくなったこともあり、減少が特に顕著である。入館者数は他施設に比べ大幅に少ないことから、積極的なPR活動を行い、いかにして市民や観光客などの誘客を促進できるか検討する必要がある。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

8月11日の山の日になみ、山の文学者深田久弥の魅力を発信して加賀市への誘客につなげる。また、増築された資料文献室を最大限に活用し誘客促進を図るため、資料整理、展示やイベントの実施のほか、SNSを使った積極的な情報発信に努める。

施設名	山中温泉芭蕉の館		
(指定)管理者	芭蕉の館		
指定期間	H28.4.1 ~ R03.3.31	指定管理委託料(千円)	3,655

事業番号	A08	事務事業名	山中温泉芭蕉の館管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的	<p>山中温泉の歴史的な建造物を保存活用し、温泉街の景観形成を図り、広く市民の文化活動及び観光交流の振興に資する。</p>
	<p>令和2年度の管理運営状況</p> <p>山中温泉と松尾芭蕉に関する常設展示や企画展、俳句に関する講習会、コンサート等を開催し、文化振興の場として多くの観光客や市民に活用されている。 また、山中漆器の作品展示も行い、地場産業の活性化に貢献している。 しかし、コロナ禍の影響により、施設が休館となり、入館料が全く見込めなかったことから60万円の赤字となった。</p>

実施状況	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	242	一般会計	10	5	3	20	1	管理委託費	3,655
	②	242	一般会計	10	5	3	20	2	その他管理費	267
	③	242	一般会計	10	5	3	20	3	維持補修費	132
関連決算額合計									4,054	

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)			○	14	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)			○	15	△	0	×	0	
評価に関するコメント	<p>協定書、仕様書に基づき、概ね適正な管理を行っている。 自主事業にも積極的に取り組んでおり、企画展の実施、館所蔵資料の充実にも取り組んでいる。</p>									

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)									
	<p>令和5年にオープンする旧よしのや依緑園別荘や山中座との連携を図り、山中温泉の更なるにぎわい創出を図る。 また、松尾芭蕉は、奥のほそ道の旅の途中、山中温泉だけではなく大聖寺も訪れ、滞在した全昌寺には、当時の部屋が茶室として再現されているほか、弟子が作成したとされる芭蕉像が展示されるなど、市内には芭蕉ゆかりの地が点在している。 しかしながら、歴史文化資源として、一体化に捉えられておらず、本市の観光に生かし切れていないのが現状である。 今後は、産業振興部や教育委員会との連携を図り、市全体で「芭蕉のブランド力」を強化し、観光素材として活用して、さらなる誘客につなげていきたい。</p>									

施設名	鴨池観察館		
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H28.4.1～R3.3.31	指定管理委託料(千円)	16,185

事業番号	A09	事務事業名	鴨池観察館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	環境政策グループ

施設の設置目的
 来館者の野鳥をはじめとする自然観察等を通じて、自然保護の知識の普及や意識の向上、ラムサール条約登録湿地の片野鴨池を周辺住民とともに保全することを目的としている。

実施状況
 令和2年度の管理運営状況
 ラムサール条約登録湿地の貴重な資源を活用した自然体験プログラムや保全活動などの実施により、館の設置目的に沿った適正な施設管理を、加賀市総合サービス株式会社に運営委託している。
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて人が集合するイベントを控え、TwitterやFacebook、鴨池観察館ホームページにて積極的に鴨池の様子を公開することで館の魅力発信に努めた。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	211 一般会計	4	2	6	3	4	管理委託費	16,185
②	211 一般会計	4	2	6	2	4	その他管理費	4,024
③	211 一般会計	4	2	6	2	5	維持補修費	264
関連決算額合計								20,473

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)		
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	15	△	0	×	0	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	15	△	0	×	0	

内部評価
 評価に関するコメント
 協定書・仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。
 近年、減少傾向にある入館者数の増加に向けて努力している。

今後の方向性
 次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
 指定管理者に対して、市民のニーズに応じたより良いサービスと環境教育の機会を提供するとともに、市内外からのリピーターを増やし、片野鴨池の生態系を守り育てていける安定した施設運営ができるよう管理指導を実施する。

施設名	加賀体育館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	17,317

事業番号	B01	事務事業名	加賀体育館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設置 目的	様々なスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。				
	令和2年度の管理運営状況				

実施 状況	様々なスポーツのための施設の提供及び施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数: 34,825人				
	令和2年度決算				

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	1	1	管理委託費	17,781
②									
③									
関連決算額合計									17,781

内部 評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関する コメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 施設を利用して、障がい者を対象とした健康教室を長年実施していることや、その他、ヨガ教室では定員数を増やして市民ニーズに応えたサービスを提供していることも評価しており、利用者に対するサービス向上に積極的であると考えている。
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後 の 方向 性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。				

施設名	加賀市武道館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	3,900

事業番号	B02	事務事業名	武道館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設の設置目的	柔道・剣道・弓道など、それぞれの武道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。				
	令和2年度の管理運営状況				

柔道・剣道・弓道のための施設の提供及び施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
 年間利用者数: 18,051人

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	11	1	管理委託費	4,005
②									
③									
関連決算額合計									4,005

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント
 協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

加賀市における武道振興の中心施設である。しかしながら、開設から40年以上が経過し、老朽化が著しく耐震診断もなされていない状態であり、施設利用者の安心安全のため早急な整備が必要と考えられる。
 なお、将来的に山中武道館との統合を見据えており、両武道館の利用者から理解を得られるよう調整を図る。
 市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

施設名	大聖寺グラウンド		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	800

事業番号	B03	事務事業名	大聖寺グラウンド管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設の設置目的	少年サッカーやソフトボール競技など、それぞれのスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
	令和2年度の管理運営状況

実施状況	少年サッカーや少年野球、ソフトボール競技のための施設提供及び施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:8,155人
	令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	822
②									
③									
関連決算額合計									822

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。
------------	------------------------------------------------------------------------

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。

施設名	大聖寺テニスコート		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	1,100

事業番号	B04	事務事業名	大聖寺テニスコート管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	<p>テニス競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。</p>
-----------------------------	----------------------------------------

実 施 状 況	<p>令和2年度の管理運営状況</p> <p>テニス競技のための施設の提供及び施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:6,343人</p>
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,130
②									
③									
関連決算額合計									1,130

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関する コメント	<p>協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 全コートのおムニ化に伴い利用者数も増加し、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。</p>
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p>
	<p>市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。</p>

施設名	加賀市陸上競技場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	11,410

事業番号	B05	事務事業名	陸上競技場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設の設置目的	陸上競技やサッカーなどの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
---------	------------------------------------------

実施状況	令和2年度の管理運営状況
	陸上競技やサッカー競技のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 毎年、トラック外周溝蓋を一定量ずつ交換しており、令和2年度も継続実施した。また、日本陸連公認第3種の期間が令和3年4月9日に終了するため、公認継続に必要な整備を実施した。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:908人

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	7	1	管理委託費	10,473
②	281	一般会計	10	6	6	7	2	維持補修費	215
③	281	一般会計	10	6	6	20	5	陸上競技場整備費	225,758
関連決算額合計									236,446

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)			○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)			○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 主な利用者である陸上競技とサッカー競技の利用者について、利用の棲み分けができるように工夫するなど利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいる。
------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 サッカーで利用すると芝生が傷みやすいため、陸上競技関係者からは、サッカーでの利用をなるべく控えてほしい旨の要望が出ている。しかしながら、サッカーの競技人口が多いため、両競技の利用時間の調整を図ることが困難な状況である。そのため、将来的には、サッカー競技に特化した体育施設の設置の検討が必要である。

施設名	加賀市相撲場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	2,957

事業番号	B06	事務事業名	相撲場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年相撲競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。				
	令和2年度の管理運営状況				

実 施 状 況	少年相撲競技のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、スポーツなどによる市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:1,100人				
	令和2年度決算				

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	3,037
②									
③									
関連決算額合計									3,037

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関する コメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。
----------------	------------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。				

施設名	加賀市スポーツセンター		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	31,143

事業番号	B07	事務事業名	スポーツセンター管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	様々なスポーツ競技を通じて市民の健康増進と市民のサービス向上に努める。
-----------------------------	-------------------------------------

実 施 状 況	令和2年度の管理運営状況
	<p>様々なスポーツのための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。</p> <p>修繕工事としては、引込用高圧ケーブル修繕工事を行った。また、施設利用者の利便性向上と災害時避難者の生活環境向上を図るために、メインアリーナを含む全館において冷暖房設備を導入・更新を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。</p> <p>年間利用者数:23,123人</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	10	1	管理委託費	29,777
②	281	一般会計	10	6	6	10	2	維持補修費	352
③	281	一般会計	10	6	6	20	13	スポーツセンター整備費	97,554
関連決算額合計									127,683

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)			○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)			○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。
------------	------------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>スポーツセンターは加賀体育館、水泳プールとともに利用者の多い施設であることから、指定管理者には、今後も自主的な改善を継続するよう指導していくほか、指定管理者による自主事業の実施についても促していく。</p> <p>また、老朽化により修繕が必要な箇所については、優先順位を設定して計画的に実施していく。中でも、屋根鋼板の劣化が著しく雨漏りが発生しており、患部に応急修繕を施しても、すぐに他の箇所から浸水する状況であることから、施設を維持するために屋根全体の張り替えを検討していく。</p>

施設名	山中健民体育館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	13,934

事業番号	B09	事務事業名	山中健民体育館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	様々なスポーツ競技を通じて市民の健康増進と市民のサービス向上に努める。				
-----------------------------	-------------------------------------	--	--	--	--

実 施 状 況	令和2年度の管理運営状況				
	様々なスポーツのための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数: 13,698人				

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	13	1	管理委託費	14,307
②									
③									
関連決算額合計									14,307

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関する コメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。
----------------	------------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 現状の利用を維持できるように設備等の点検を行い、必要に応じて修繕していく。				

施設名	山中武道館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	1,700

事業番号	B10	事務事業名	山中武道館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	柔道・剣道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。								
-----------------------------	---------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

実 施 状 況	令和2年度の管理運営状況								
	柔道・剣道のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:1,738人								

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	14	1	管理委託費	1,746
②									
③									
関連決算額合計									1,746

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関する コメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。 使用していない箇所の清掃が不十分であった。
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 開設から40年近くが経過し経年劣化が著しい。主に柔道と剣道の少年教室で利用されている。 今後は、利用者や地域住民の理解を得られるよう調整を図りながら、加賀市武道館との施設統合を進めていく。併せて、山中球場周辺施設の一体的な整備を行い、かつら児童公園の再整備などを実施して、周辺施設利用者の利便性向上を図っていく。								

施設名	山中弓道場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	1,330

事業番号	B11	事務事業名	山中弓道場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設の設置目的	弓道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。								
---------	------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

実施状況	令和2年度の管理運営状況								
	弓道のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:2,340人								

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	16	1	管理委託費	1,366
②									
③									
関連決算額合計									1,366

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 特に利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされている。
------------	--------------------------------------------------------------------

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 施設としては老朽化がかなり進んでいるため、個別施設計画に基づき、計画的な修繕と統廃合の検討を行うことが必要。								

施設名	加賀市中央公園野球場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	4,350

事業番号	B12	事務事業名	中央公園野球場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	<p>少年野球や社会人野球などの野球競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。</p>
-----------------------------	----------------------------------------------------

実 施 状 況	<p>令和2年度の管理運営状況</p> <p>野球のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 工事としては、雨漏りで傷んだ1塁側通路の内装修繕工事と老朽化した3塁側ゲート修繕工事を行った。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:6,273人</p>
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	3	1	管理委託費	4,467
②	281	一般会計	10	6	6	3	2	維持補修費	871
③									
関連決算額合計									5,338

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関する コメント	<p>協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 特に利用者による清掃など、丁寧な利用により適切な施設管理がなされている。</p>
----------------	------------------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p>
	<p>市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 傷みの激しい内装修繕が終わった後、市野球協会より要望のあるグラウンド周壁の破損やアンツーカ部分の老朽化などについて、順次修繕を実施する。</p>

施設名	山中球場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	3,700

事業番号	B13	事務事業名	山中球場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	<p>少年野球や社会人野球などの野球競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。</p>
	<p>令和2年度の管理運営状況</p> <p>野球のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 駐車場の不足が懸念されており、隣地の旧山中幼稚園を駐車場として活用するために、令和元年度に建物の解体工事を行い、令和2年度に駐車場整備を実施した。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:2,831人</p>

実 施 状 況	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	281	一般会計	10	6	6	17	1	管理委託費	3,799
	②	281	一般会計	10	6	6	17	3	その他管理費	6,012
	③	281	一般会計	10	6	6	20	14	山中球場整備費	16,402
	関連決算額合計									26,213

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)			○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)			○	15	△	0	×	0	
	評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 特に利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされている。								

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 今後は、体育施設の適正配置として、近隣にあり老朽化が著しい山中武道館の廃止を検討することとし、併せて、廃止後の土地活用についても、野球場利用者と地域住民の利便性が向上するよう検討を行っていく。</p>

施設名	加賀市片山津野球場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	400

事業番号	B14	事務事業名	片山津野球場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年野球や社会人野球などの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。				
-----------------------------	-------------------------------------------	--	--	--	--

実 施 状 況	令和2年度の管理運営状況				
	野球のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 片山津野球場の竹林伐採処理を行った。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:4,587人				

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	411
②	281	一般会計	10	6	6	19	1	その他管理費	468
③									
関連決算額合計									879

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関する コメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 特に利用者による清掃など、丁寧な利用により適切な施設管理がなされている。
----------------	----------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。				

施設名	山代グラウンド・動橋グラウンド		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	800

事業番号	B15	事務事業名	グラウンド(山代・動橋)管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	<p>少年野球や少年サッカーなどの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。</p>
-----------------------------	---------------------------------------------------

実 施 状 況	<p>令和2年度の管理運営状況</p> <p>少年野球や少年サッカーなどのための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、野球競技、サッカー競技などによる市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 山代グラウンドの樹木伐採処理を行った。 動橋グラウンドについては、ソフトボール競技も行えるように整備を行い、利用者の利便性を図るため、ベンチフード・スコアボードの設置を行った。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数：(山代グラウンド)8,160人、(動橋グラウンド)3,955人</p>
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	822
②	281	一般会計	10	6	6	19	1	その他管理費	641
③	285	一般会計	10	6	6	20	15	その他体育施設整備費	6,990
関連決算額合計									8,453

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)			○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)			○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	<p>協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 特に、動橋グラウンドについては、利用団体による清掃を自主的に行うなど、適切な施設管理がなされている。</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p>
	<p>市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 動橋グラウンドについては、主な利用者である少年野球教室とソフトボール協会の利用の棲み分けができるように工夫していく。</p>

施設名	加賀市中央公園テニスコート		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	6,821

事業番号	B16	事務事業名	中央公園テニスコート管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	<p>テニス競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。</p>
-----------------------------	----------------------------------------

実 施 状 況	<p>令和2年度の管理運営状況</p> <p>テニス競技のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、テニス競技による市民の健康増進、市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:9,310人</p>
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	7,002
②									
③									
関連決算額合計									7,002

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	<p>協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------

今 後 の 方 向 性	<p>次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)</p>
	<p>市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。</p>

施設名	水泳プール		
(指定)管理者	株式会社エイム		
指定期間	R3.4.1～R5.3.31	指定管理委託料(千円)	22,000

事業番号	B17	事務事業名	水泳プール管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

**施設
の
設置
目的**

水泳や水中ウォーキング等を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

**実施
状況**

令和2年度の管理運営状況

水泳等のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。
 工事としては、ダクト修繕工事、バルシング水移送ポンプ・給湯昇温用ポンプ修繕工事、ろ過装置ポンプ修繕工事、非常口サッシ修繕工事、屋外床コンクリート陥没修繕工事の5件を行った。
 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
 年間利用者数:41,370人

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 281	一般会計	10	6	6	2	1	管理委託費	28,664
② 281	一般会計	10	6	6	2	2	維持補修費	1,582
③								
関連決算額合計								30,246

**内部
評価**

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	29	△	1	×	0	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	30	△	0	×	0	
評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 利用者を対象とした自主事業を積極的に行うなどして、利用者数の増加に繋がる努力をしている。 また、施設管理についても修繕を自主的に実施しているほか、職員、スタッフが気づいた自分たちにはできることは自分たちですという取組み姿勢は利用者から好評を得ていることから高く評価している。						

**今後の
方向性**

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
 経年劣化の著しい屋内水泳プールについては、大規模修繕や建て替えが早い時期に必要な状況であり、利用者の安全確保の点からも、早急に整備方針を決定していく。類似施設(山中温泉ゆけむり健康村ゆーゆー館プール)との機能集約についても検討を行っていく。

施設名	いきいきランドかが		
(指定)管理者	(株)エイム		
指定期間	R3.4.1～R8.3.31	指定管理委託料(千円)	0

事業番号	B18	事務事業名	いきいきランドかが管理		
所管部局	産業振興部	所管課	環境課	グループ	生活環境グループ

施設の設置目的	市民の保養と健康増進を図るとともに、福祉の向上と地域振興に資することを目的としている。				
---------	---------------------------------------------	--	--	--	--

実施状況	令和2年度の管理運営状況									
	(株)エイムを指定管理者として、環境美化センターの余熱を利用した市民等への入浴施設、体育施設の提供及び各施設の維持管理等の運営委託を行い、市民の健康増進や市民サービスの向上、施設の適正管理に努めた。									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	89	一般会計	4	1	2	3	3	その他管理費	15,370
	②	89	一般会計	4	1	2	3	4	維持補修費	4,392
③	89	一般会計	4	1	2	6	1	いきいきランドかが整備費	0	
関連決算額合計									19,762	

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	28	△	2	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	30	△	0	×	0	
	評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき適正な施設管理を行っている。 老若男女を問わず利用者へのサービスの向上や利用者増加にも努めているとともに、利用者への運動指導等の健康増進にも積極的に取り組んでいる。							

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民へのより良いサービスやメニューを提供すること、また、施設の目的達成に向けて、スポーツ推進課、健康課と連携した事業を行うことについて、管理指導を実施する。 現在、環境美化センターの余熱利用の観点から、廃棄物対策担当課である環境課が所管しているが、健康増進を設置目的とするなら、健康課及びスポーツ推進課が適当と思われる。 また、本施設は20年以上経過しており、施設設備の劣化が進行しており、設備改修への対応が必要となってくるため、施設設備の修繕・改修を計画的に実施する。								

施設名	山中温泉ゆけむり健康村		
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	H31.4.1 ~ R03.3.31	指定管理委託料(千円)	81,582

事業番号	B19	事務事業名	ゆけむり健康村管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設定目的

市民の保養と健康増進、福祉の向上及び観光振興に寄与し、並びに一般道路の利用客に対し良好な休憩の場及び道路情報等を提供する。

実施状況

令和2年度の管理運営状況

利用者は、市民、観光客と幅広く、年間186,040人(前年度比△22.7%減)の利用客があったが、コロナ禍による休館措置(4/13~5/13)等により、利用者数は著しく減少した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	239 一般会計	7	2	3	11	1	管理委託費	81,582
②	239 一般会計	7	2	3	11	2	その他管理費	593
③	239 一般会計	7	2	3	11	3	維持補修費	4,422
関連決算額合計								86,597

内部評価

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)		
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	15	△	0	×	0	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設定目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	12	△	3	×	0	
評価に関するコメント	協定書、仕様書に基づき、概ね適正な管理を行っている。 コロナ禍で自主事業を積極的に実施できなかったが、アルコール消毒・検温等により、利用者の安全安心、及びサービス向上に努めていた。									

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

建築後、30年を経過し、施設の老朽化が顕著であるため、市において「ゆけむり健康村検討委員会」を年度末に組織した。
今後、「ゆけむり健康村検討委員会」の意見を基に、運営その他施設に関する事項について、幅広い視点から問題を検証し、改善に向けた方策を検討する。

施設名	橋立自然公園運動広場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R3.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	4,000

事業番号	B20	事務事業名	橋立自然公園運動広場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

**施設
の
設置
目的**

少年サッカーやグラウンドゴルフなど、青少年から高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。

**実施
状況**

令和2年度の管理運営状況

少年サッカーの試合や練習及び地元グラウンドゴルフ愛好者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。
新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。
年間利用者数:8,961人

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281 一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	4,108
②								
③								
関連決算額合計								4,108

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	30	△	0	×	0	優	
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	30	△	0	×	0		

**内部
評価**

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。
障がい者支援自主事業を実施していることを評価している。
また、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。

**今後
の
方向
性**

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
サッカーとグラウンドゴルフの練習や大会で利用されることが多い。サッカーでの利用は芝生が傷むことがあるため、芝生の良好な状態の保持に努めるよう、指定管理者に依頼していく。

施設名	黒崎多目的広場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	2,300

事業番号	B21	事務事業名	黒崎多目的広場管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設の設置目的	少年サッカーやグラウンドゴルフなど、青少年から高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。								
	令和2年度の管理運営状況								

実施状況	少年サッカーの試合や練習及び地元グラウンドゴルフ愛好者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数:1,494人								
	令和2年度決算								

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	2,362
②									
③									
関連決算額合計									2,362

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	

評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 また、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。
------------	---------------------------------------------------------------------------

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 サッカーの利用により芝生が傷むことがあるため、その他のスポーツで利用する際に支障が無いよう、指定管理者に適正な管理をするよう指導していく。								

施設名	加賀市セミナーハウスあいりす		
(指定)管理者	一般社団法人Paradies、株式会社のと楽、医療法人社団仁志会		
指定期間	H28.4.1～R3.3.31	指定管理委託料(千円)	12,062

事業番号	C01	事務事業名	セミナーハウスあいりす管理		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

施設の設置目的	住民交流及び生涯学習活動の場を提供し、もって市民福祉の増進に資するため。				
	令和2年度の管理運営状況				

実施状況	令和2年度決算									
	積極的に企業や大学等に対する誘致活動を展開しており、新規の自主事業の企画やホームページによる情報発信を行い、予約対応増加に努めていたが、令和2年3月以降は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、宿泊者、貸館利用者共に減少している。									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	273	一般会計	10	5	3	3	1	管理委託費	12,062
	②	273	一般会計	10	5	3	3	2	維持補修費	8,408
③	273	一般会計	10	5	3	3	3	その他管理費	455	
④	273	一般会計	10	5	3	14	5	セミナーハウスあいりす整備事業費	4,785	
関連決算額合計									25,710	

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	25	△	5	×	0	可
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	29	△	1	×	0	
評価に関するコメント		協定書・仕様書に基づき概ね適正な指定管理を行っている。 自主事業を企画することで、海外利用者の増加にも努めているものの、市民や公園利用者にとって使いにくい施設になっている面は否めない。引き続き施設利用者だけでなく、公園利用者の利便性向上を図るような仕掛けを期待する。									

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)				
	新型コロナウイルス感染症予防を念頭に置きつつ、企業、団体、学校(大学、高校、中学)に対する誘致活動を積極的に展開するとともに、魅力ある自主事業を企画・運営し、利用者数の増加を図るよう働きかける。 令和3年度からは指定管理者の更新時期となるため、市民や公園利用者が利用しやすい企画や運営の提案を求めていく。				

施設名	加賀市文化会館		
(指定)管理者	株式会社コーワ		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	23,500

事業番号	C02	事務事業名	加賀市文化会館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	文化振興課	グループ	文化推進グループ

施設の設置目的
 市民の文化の振興、教養の向上及び集会その他各種行事に使用し、もって市民の福祉の増進に資するため。

実施状況
 令和2年度の管理運営状況
 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業が例年より少なかった。また、指定管理者による自主事業も実施が困難であるため中止となった。
 舞台機構設備が老朽化していたことから、更新工事を行った。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 177	一般	10	5	3	4	1	管理委託費	23,000
② 177	一般	10	5	3	4	2	維持補修費	737
③ 177	一般	10	5	3	4	5	その他管理費	315
④ 177	一般	10	5	3	14	2	文化会館整備事業費	39,930
関連決算額合計								63,982

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)			
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	29	△	1	×	0	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	24	△	6	×	0	

内部評価
 評価に関するコメント
 協定書、仕様書に基づき、管理運営、維持管理は適正に行われている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業の数が大幅に減少した。状況に鑑みた自主事業の実施のほか、イベントの誘致等を積極的に行っていくことで、利用者数の増加を目指す必要がある。

今後の方向性
 次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
 コロナ禍ではあるが、状況を見ながら指定管理者による自主事業を実施して市民の文化振興に寄与するとともに、営業活動も積極的に行い、集客効果のあるイベント等の誘致を検討して稼働率の上昇を目指していく。また、建物の老朽化が進んでいることから、計画的に工事を行っていく。

施設名	山中温泉文化会館		
(指定)管理者	加賀市		
指定期間	—	指定管理委託料(千円)	—

事業番号	C03	事務事業名	山中温泉文化会館管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的
 市民の文化振興、教養の向上及び集会その他各種事業に活用し、市民の福祉増進に資する。

実施状況
令和2年度の管理運営状況
 市民の文化振興、集会、各種行事、会議及び地域住民のまちづくり活動の場として、適正に維持管理している。
 コロナ感染症予防のため、4月13日から5月31日にかけて全ての行事等を中止した。主なものでは、そろばん教室、フラワーアレンジメント教室、また、山中山岳会、渓流会、こども会等の会合など、その被害は甚大であった。さらに恒例行事である、敬老会、文化祭、山中中学校吹奏楽部発表会、山中節全国コンクール等も中止、その後も、各種会合及び各種教室などはコロナ感染症対策として休止しているものが多い。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	242	一般会計	10	5	3	19	1	光熱水費	4,050
②	242	一般会計	10	5	3	19	2	管理委託費	2,321
③	242	一般会計	10	5	3	19	3	その他管理費	796
④	243	一般会計	10	5	3	19	4	維持補修費	1,815
関連決算額合計									8,982

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	—	△	—	×	—	
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	—	△	—	×	—	
評価に関するコメント	市直営施設のため、モニタリングは実施していないが、職員による適切な管理を行っている。							

今後の方向性
 次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
 平成23年度より、温泉地区の地区会館としても利用しており、地域住民の利用も多い。
 建築後48年が経過しており、施設の老朽化が顕著であり、施設の維持管理費が増大している。
 そのため、「公共施設マネジメント基本方針」の推進を図る観点から、山中児童センターや山中図書館など、周辺施設との複合化といった課題もあることから、「旧山中医療センター跡地活用」との整合性も視野に、全体の最適化を図るよう「温泉地区会館」としての整備を検討していく。

施設名	山中座		
(指定)管理者	山中温泉旅館協同組合		
指定期間	H31.4.1～R06.3.31	指定管理委託料(千円)	15,333

事業番号	C04	事務事業名	山中座管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設 の 設 置 目 的	<p>伝統芸能「山中節」を中心とした郷土芸能の振興と観光商工の発展を図り、活力ある町づくりに寄与する。</p>
-----------------------------	---------------------------------------------------------

実 施 状 況	令和2年度の管理運営状況									
	<p>コロナ渦の影響により、山中節認定審査会、舞初め鑑賞会、山中節道場を中止せざるを得なかった。このような中でも、定期上演、カルチャー教室、山中節唄いやんこ等を開催し、観光客、地元住民が利用及び参加をしている。 また、山中芸妓や座員らの育成や活動拠点として活用している。</p>									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	239	一般会計	7	2	3	12	1	管理委託費	15,333
②	239	一般会計	7	2	3	12	2	その他管理費	134	
③	239	一般会計	7	2	3	12	3	維持補修費	597	
関連決算額合計									16,064	

内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	評価に関するコメント	<p>維持管理、サービス向上に対する取り組みは評価する。 ただ、コロナ渦による運営で各事業は軒並み低迷している。 貸館事業利用件数は、対前年度比の△74.5%、利用料金収入は、対前年度比△87.2%となった。 また、「四季の舞」予約上演はわずか1件、その他上演を含めた件数でも、対前年度比△83.7%であり、収入も、対前年度比△82.6%と大幅に減少した。 自主事業部門(物販等)は辛うじて黒字となったが、売上げは対前年度比△50.7%と前年度の半分にも満たなかった。</p>							

今 後 の 方 向 性	<p>山中温泉旅館協同組合が指定管理者であることから、地域と連携した積極的な事業展開が期待できる。組合加入旅館を通じ、宿泊客へ積極的な宣伝を行うなど、利用者増に向けた努力を行っている。 山中節「四季の舞」の内容についても、現行の問題点を洗い出し、演目、開催日時等の見直しを行い、より集客に向けた環境に資することを検討している。 山中節振興のために活動している「山中節振興会」と業務を連携、協働して裾野の維持・拡大を図る。</p>
----------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施設名	加賀市はづちを楽堂		
(指定)管理者	特定非営利活動法人はづちを		
指定期間	H31.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	4,702

事業番号	C05	事務事業名	はづちを楽堂管理		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

施設の設置目的	本施設は、山代温泉の2つの総湯を核とした湯の曲輪の賑わい創出の一助となるとともに、地域住民や観光客の世代間交流を図り、市民の福祉向上を図る。								
	令和2年度の管理運営状況								

施設の運営・維持管理を指定管理として、特定非営利活動法人はづちをに委託している。指定管理者は、各種教室や会議のために研修室の貸し出しを行っている。また、自主事業として喫茶店や土産物店の運営を行い、市民の福祉向上や湯の曲輪の賑わい創出に努めている。R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休業期間を設けた。

実施状況	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	168	一般会計	7	2	3	3	1	管理委託費	4,702
	②	168	一般会計	7	2	3	3	2	その他管理費	49
	③	168	一般会計	7	2	3	3	3	維持補修費	621
関連決算額合計									5,372	

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	30	△	0	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	30	△	0	×	0	

評価に関するコメント
 施設の運営・維持管理を指定管理として、「特定非営利活動法人はづちを」に委託している。指定管理者は、各種教室や会議のために研修室の貸し出しを行っている。また、自主事業として、喫茶店や土産物店の運営を行い、市民の福祉向上や湯の曲輪の賑わい創出に努めている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性
 指定管理者の自主事業やご当地グルメ「加賀パフェ」への参加を通じて、コロナ禍で利用者が落ち込んだ湯の曲輪の賑わい創出に引き続き取り組んでいく。

施設名	竹の浦館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人 竹の浦夢創塾		
指定期間	H31.4.1～.R6.3.31	指定管理委託料(千円)	5,723

事業番号	C06	事務事業名	竹の浦館管理		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	農業政策グループ

**施設
の
設置
目的**

豊かな自然環境及び伝統的食文化を生かして、都市と農村の交流促進及び農林水産業の振興を図り、もって活力ある地域社会を形成する。

**実施
状況**

令和2年度の管理運営状況

施設の運営・維持管理等の委託を行っている。貸館、自主事業ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年より縮小せざるを得なかったが、感染予防対策をとったうえで、自主事業による売店の運営、加賀市の食文化の継承、農産物の地産地消につながる各種教室を開催したほか、「カガコレ」と題したイベントを10月16日～25日、3月1日～30日の2回開催、地元で活動する団体の発表の場を設け、地域の活性化と地域間世代間交流に寄与した。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 200	一般会計	6	1	3	5	2	管理委託費	5,723
② 200	一般会計	6	1	3	5	3	その他管理費	121
③ 200	一般会計	6	1	3	5	4	維持補修費	198
関連決算額合計								6,042

**内部
評価**

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	15	△	0	×	0	良	
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	14	△	1	×	0		
評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき概ね適正な管理運営を行っている。							

**今後の
方向性**

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

指定管理者である特定非営利活動法人竹の浦夢創塾が解散する意向を示しているため、今後の施設の在り方等協議を続けている。建物は歴史的建造物であり、また、施設の改築後10年以上経過していることから、設備の修繕箇所が増えている。今後、計画的に改修・修繕を行っていく必要がある。

施設名	ろくろの里施設		
(指定)管理者	有限会社みやま		
指定期間	R02.4.1 ~ R07.3.31	指定管理委託料(千円)	825

事業番号	C07	事務事業名	ろくろの里施設管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的
 地域住民で組織した「有限会社みやま」により、地域資源の利活用及び地域住民と都市住民との交流を促進し、地域の活性化を図る。

実施状況
 令和2年度の管理運営状況
 各施設において、そば打ち・木地挽きろくろの各種体験やそばを中心とした郷土料理、農産物、漆器工芸品の販売などを行っている。
 また、観光総合案内所としての役割も果たしている。
 しかし、コロナ禍の影響により、施設が休館となり、収入が減となった。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 238	一般会計	7	1	4	1	1	管理委託費	825
② 238	一般会計	7	1	4	1	2	その他管理費	776
③ 238	一般会計	7	1	4	1	3	維持補修費	495
関連決算額合計								2,096

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	14	△	1	×	0	優	
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	15	△	0	×	0		

内部評価
 評価に関するコメント
 協定書、仕様書に基づき、概ね適正に管理運営を行っている。
 コロナ禍で自主事業を積極的に実施できなかったが、アルコール消毒・検温等により、利用者の安全安心及びサービス向上に努めていた。

今後の方向性
 次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
 木地挽工房見学などを通して、さらなる利用促進が図られるよう、積極的な運営に取り組んでいく。
 温泉街の観光施設から見ると、絶対的な利用客数が少ないため、移動手段の検討や広報活動をさらに行うなど、利用者増に向けた取り組みを工夫していく。

施設名	かが交流プラザさくら		
(指定)管理者	公益社団法人加賀市シルバー人材センター		
指定期間	H29.4.1～R4.3.31	指定管理委託料(千円)	16,455

事業番号	C08	事務事業名	かが交流プラザさくら管理		
所管部局	総務部	所管課	行政まちづくり課	グループ	まちづくりグループ

施設の設置目的	まちなかの賑わい創出及び市民福祉の向上と住民活動の推進を図ること。				
	令和2年度の管理運営状況				

施設全体の指定管理者として、入居団体相互の調整及び施設の維持管理、貸館業務を行っている。施設を活用し、農産物販売イベント(シルバー元気市)やレストラン経営などの事業を実施し、賑わい創出や住民交流の場づくりを行っている。

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	106	一般会計	2	1	12	8	1	管理委託費	16,455
②	106	一般会計	2	1	12	8	2	その他管理費	68
③									
関連決算額合計									16,523

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	13	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	13	△	0	×	0	

評価に関するコメント
協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動に制限はあったが、地域のにぎわい創出を目指し、積極的に自主事業を展開するなど、利用者増加に努めている。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性
指定管理者と協働のもと、施設の適正な管理運営を継続して行う。
施設の老朽化に伴い修繕箇所が増加しているため、緊急性の高いものから修繕を実施する。

施設名	加賀山代温泉総湯		
(指定)管理者	加賀山代温泉財産区		
指定期間	H29.4.1～R4.3.31	指定管理委託料(千円)	0

事業番号	D01	事務事業名	山代温泉総湯管理	
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ インバウンド・都市交流グループ

施設の設置目的	市民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、地域振興に寄与するためのもの。
---------	--------------------------------------

実施状況	令和2年度の管理運営状況									
	施設の運営・維持管理を指定管理として、加賀山代温泉財産区に委託し、指定管理者は総湯の管理運営・自主事業として売店の運営や休憩コーナーでの観光案内を行うことで、公衆浴場として市民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、地域の賑わい創出を図った。 令和2年度は、定期利用料等の改定や3温泉共通期間利用券の導入を行い、総湯事業収入は前年度より増加したが、コロナ禍の影響で、自主事業である売店収入が減少し、古総湯は感染防止のため臨時休業したことなどにより、古総湯収入が減少した。一般会計から施設の減収補填分として繰入を行い、事業調整基金からも繰入を行った。									
	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	168	一般会計	7	2	3	6	2	その他管理費	192
②	168	一般会計	7	2	3	6	3	維持補修費	4,019	
③	167	一般会計	7	2	1	3	2	加賀山代温泉財産区特別会計繰出金	4,120	
関連決算額合計									8,331	

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)			
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	15	△	0	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	15	△	0	×	0	
	評価に関するコメント		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理・運営を行っている。								

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)									
	年々、年間利用者が減少する傾向が続いているが、市民の健康増進と福祉の向上を図るための施設であることから、継続して施設管理・運営を行っていく。指定管理者である加賀山代温泉財産区の財産である「古総湯」と一体的に運営することで、観光協会や旅行業者と連携しながら利用の促進を図っていく。また、令和2年度はコロナ禍の影響で定期利用料以外の利用収入や売店収入が落ち込んだが、コロナ禍収束後は、総湯、古総湯や売店の収入回復のため、利用促進を図っていく。 施設がオープンして10年を過ぎて、設備等の老朽化が目立つようになってきたため、安全安心に利用できるよう適切に施設管理を実施する。									

施設名	加賀片山津温泉総湯公園		
(指定)管理者	株式会社岸グリーンサービス		
指定期間	H29.4.1～R4.3.31	指定管理委託料(千円)	2500

事業番号	D02	事務事業名	片山津温泉総湯公園管理		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

施設の設置目的

市民および観光客が集う憩いの場を提供するとともに、市民の健康増進と福祉の向上を図り、温泉地の賑わい創出に資するもの。

実施状況

令和2年度の管理運営状況

施設の運営・維持管理を指定管理者として、株式会社岸グリーンサービスに委託し、指定管理者は総湯公園の管理運営および自主事業である「まちカフェ」の運営を行い、温泉地の賑わい創出につなげている。「まちカフェ」では、ご当地グルメである「加賀パフェ」の提供等に力を入れている。

令和2年度から、3温泉共通期間利用券の導入等で売上向上を図るが、コロナ禍の影響で総湯利用収入が減少し、新型コロナウイルス感染対策のため、「まちカフェ」に臨時休業期間を設けたため、「まちカフェ」収入が減少した。そのため、施設の減収補填を行った。また、施設設備のメンテナンス工事のため、約半月間、片山津温泉総湯を臨時休業し、休業期間の代替施設として、片山津温泉の宿泊施設に協力いただいた。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
① 168	一般会計	7	2	3	8	1	管理委託費	11,765
② 168	一般会計	7	2	3	8	2	その他管理費	394
③ 168	一般会計	7	2	3	8	3	維持補修費	5,991
関連決算額合計								18,150

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)			
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	15	△	0	×	0	優
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	15	△	0	×	0	

内部評価

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき適正な施設の運営・維持管理を行っている。
 施設の利用者数は減少傾向にあるが、利用頻度の高い定期利用者を確保するため、積極的に情報発信することで定期券の販売促進を図っている。
 自主事業として運営する「まちカフェ」では、「加賀パフェ」を提供しながら、季節折々のフェアを開催するなど積極的に利用促進を図り、街の賑わい創出に努めている。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

令和2年度から3温泉共通期間利用券を新たに運用し、総湯の利用促進を図っていくも、コロナ禍の影響で、総湯利用収入や、「まちカフェ」収入が落ち込んだ。コロナ禍収束後は、収入回復のため、温泉地の賑わい創出に向け観光協会や旅館組合との連携を密にし、利用促進に努める。
 設備等の老朽化が目立つようになってきたため、安全安心に利用できるよう適切に施設管理を実施する。

施設名	加賀山中温泉共同浴場		
(指定)管理者	加賀山中温泉財産区		
指定期間	H28.4.1 ~ R03.3.31	指定管理委託料(千円)	—

事業番号	D03	事務事業名	山中温泉共同浴場管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的

市民の健康増進と福祉向上を図るとともに、地域振興に寄与することを目的とする。

実施状況

令和2年度の管理運営状況

施設の維持管理経費を削減しつつ、質の高いサービスを提供している。
 加賀山中温泉共同浴場(菊の湯)は、市民の健康増進と福祉向上を図るとともに、地域振興に寄与することを目的とする施設であり、指定管理者制度を活用し、主に(1)共同浴場の運営、(2)共同浴場の施設及び設備の維持管理に関する業務を行っている。
 また、令和2年度より湯札の料金の改定を行い、収入増を見込んだが、コロナ禍の影響により、市外及び県外の方の利用が減少したため、普通利用料の収入を中心として、大幅に減となった。

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	239	一般会計	7	2	3	15		菊の湯管理費	4,230
②	329	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	1	1	1	会計年度任用職員給与費	7,248
③	329	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	2	1	1	光熱水費	51,264
④	329	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	2	1	2	その他管理費	49,134
⑤	329	加賀山中温泉財産区特別会計	2	1	2	1	3	維持補修費	1,332
関連決算額合計									113,208

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)		
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	15	△	0	×	0	優
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	14	△	1	×	0	
評価に関するコメント		協定書、仕様書に基づき、概ね適切な施設管理を行っている。 施設内に意見箱を設置し、利用者の意見をチェックし、改善可能なものは対応するよう努めている。								

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

施設の安全利用に努め、修繕箇所は早急に対処し、衛生面においても細心の注意を払って、利用促進に努めていく。
 施設の老朽化が進んでおり、大規模改修を見据えた設備の修繕、改修を計画的に実施していく。
 引き続き、定期利用券等の販路拡大に努めるとともに、山中温泉旅館協同組合と連携し、各種菊の湯利用クーポン券の活用等による菊の湯利用者の拡大を図る。
 さらに、自主事業の「菊の湯たまご」の製造を継続し、財産区収支の安定化を図る。

施設名	瀬越キャンプ場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人 竹の浦夢創塾		
指定期間	H31.4.1～.R6.3.31	指定管理委託料(千円)	230

事業番号	E01	事務事業名	瀬越キャンプ場管理		
所管部局	産業振興部	所管課	農林水産課	グループ	農業政策グループ

施設の設置目的	<p>自然に親しむ野外活動の場を提供し、福祉の増進及び地域の発展を図るため。</p>
---------	--------------------------------------------

実施状況	令和2年度の管理運営状況
	<p>施設の維持管理等の委託を行い、野外キャンプなど自然に親しむ活動の場を提供し、市民の自然に対する意識向上、施設の適正管理に努めた。</p>

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	200	一般会計	6	1	3	5	2	管理委託費	230
②	200	一般会計	6	1	3	5	3	その他管理費	41
③									
関連決算額合計									271

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)			○	15	△	0	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)			○	14	△	1	×	0	

評価に関するコメント	<p>協定書・仕様書に基づき概ね適正な管理運営を行っている。</p>
------------	------------------------------------

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	<p>指定管理者である特定非営利活動法人竹の浦夢創塾が解散する意向を示しているため、今後の施設の在り方等協議を続けている。</p>

施設名	高齢者ふれあいセンター みやま		
(指定)管理者	西谷宝寿会		
指定期間	H28.4.1 ~ R03.3.31	指定管理委託料(千円)	475

事業番号	F01	事務事業名	高齢者ふれあいセンター みやま管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的	高齢者の生きがいがづくり及び健康の増進を図り、もって高齢者福祉の向上に資する。								
	令和2年度の管理運営状況								

実施状況	令和2年度の管理運営状況								
	高齢者対象の講座、ゲーム、体操等の各種行事を実施し、高齢者同士の交流の場として活用している。しかし、コロナ禍の影響により、施設が休館となり、利用者は減となった。								

実施状況	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	237	一般会計	3	1	5	9	1	管理委託費	475
	②	237	一般会計	3	1	5	9	2	その他管理費	189
	③	237	一般会計	3	1	5	9	3	維持補修費	0
関連決算額合計									664	

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	13	△	0	×	0	

内部評価	評価に関するコメント	協定書、仕様書に基づき、概ね適正な管理を行っている。 高齢者同士の交流の場となるよう、様々な行事を実施している。
	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)	

今後の方向性	本年度から、隣接する西谷地区会館と一体化な管理運営を図るため、行政まちづくり課へ所管替えしたが、引き続き、高齢者の生きがいがづくり及び健康増進を図り、高齢者福祉の向上に取り組むよう指定管理者に対し、適正な指導を行っていく。
--------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施設名	高齢者ふれあいセンター ゆざや		
(指定)管理者	加賀市社会福祉協議会		
指定期間	H28.4.1 ~ R03.3.31	指定管理委託料(千円)	821

事業番号	F02	事務事業名	高齢者ふれあいセンター ゆざや管理		
所管部局	山中温泉支所	所管課	振興課	グループ	振興グループ

施設の設置目的	高齢者の生きがいがづくり、及び健康増進を図り、もって福祉向上に資する。				
	令和2年度の管理運営状況				

高齢者を対象とした講座、各種クラブ、将棋等を実施し高齢者同士の交流の場として活用している。しかし、コロナ禍の影響により、施設が休館となり、各教室等の開催及び利用が出来なくなり、利用者が減となった。

実施状況	令和2年度決算									
		頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	237	一般会計	3	1	5	9	1	管理委託費	821
	②	237	一般会計	3	1	5	9	2	その他管理費	0
	③	237	一般会計	3	1	5	9	3	維持補修費	0
関連決算額合計									821	

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	13	△	0	×	0	

評価に関するコメント
協定書、仕様書に基づき、概ね適正な管理を行っている。高齢者同士の交流の場となるよう、様々な行事を実施している。

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性
令和3年度から、管理運営を施設所有者である加賀市社会福祉協議会に帰属したが、引き続き、高齢者の生きがいがづくり及び健康増進を図り、福祉の向上に取り組んでいくとともに、指定避難所などの防災拠点としても活用していく。

施設名	加賀市観光情報センター		
(指定)管理者	一般社団法人加賀市観光交流機構		
指定期間	R3.4.1～R8.3.31	指定管理委託料(千円)	22,262

事業番号	G01	事務事業名	観光情報センター管理		
所管部局	産業振興部	所管課	観光交流課	グループ	インバウンド・都市交流グループ

**施設
の
設
置
目
的**

多くの観光客が利用するJR加賀温泉駅構内に観光情報センターを設置し、市全域の観光案内を行うことで、観光客の利便性を高め、観光振興を図る。

**実
施
状
況**

令和2年度の管理運営状況

施設の管理運営を指定管理として、一般社団法人加賀市観光交流機構に委託し、観光・接遇研修を受講した専門スタッフを配置することで、観光客のニーズに即した観光案内を行っている。また、外国語専門のスタッフを配置したことで、外国人観光客の問い合わせにも円滑に対応できるようになっている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により利用者が大きく減少した。72,221人の窓口来場者、2,298件の電話問い合わせ、2,351,043件のインターネットアクセスの実績があった。

また、観光情報サイトのスマートフォン対応も終わっており、より多くの人々が身近に情報を得られるようになっている。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	168 一般会計	7	2	3	2	3	管理委託費	23,088
②								
③								
関連決算額合計								23,088

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)		
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	30	△	0	×	0	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	30	△	0	×	0	

**内
部
評
価**

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき適正な運営・施設管理を行っている。
外国人観光客に対しては、外国語専門スタッフを配置することで窓口利用の利便性を高めながら、観光情報を積極的に提供している。
新型コロナ感染拡大後は情報発信に力を入れており、施設の休業情報等、常に最新の情報を観光客に提供している。

**今
後
の
方
向
性**

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

加賀市観光情報センターの指定管理者である「一般社団法人加賀市観光交流機構」は、市内観光事業者はもとより農業や漁業、地場産業者などが会員となり、連携しながら情報の収集・提供を行っており、日本版DMOとしても登録されている団体である。今後も同機構による管理運営を通じ、効果的に観光振興を図っていく。

施設名	橋立自然公園		
(指定)管理者	特定非営利活動法人 加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H28.4.1～R3.3.31	指定管理委託料(千円)	4,500

事業番号	G02	事務事業名	橋立自然公園管理		
所管部局	建設部	所管課	都市計画課	グループ	都市整備グループ

施設の設定目的
 橋立自然公園の自然環境保全と自然体験学習を通じた環境意識の向上を図るとともに、レクリエーションの場を提供する。管理運営は、民間事業者の知識、ノウハウを生かすため指定管理者が行う。

実施状況
 令和2年度の管理運営状況
 公園内の除草や竹林整備等の保全活動と管理棟等の日常管理を行った。また、管理者が例年企画・運営している「青葉ウォーク」や「ホテル観賞会」などの自然学習プログラムは、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止とした。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	229 一般会計	8	5	6	3	1	管理委託費	4,500
②	229 一般会計	8	5	6	3	2	その他管理費	435
③	229 一般会計	8	5	6	3	3	維持補修費	297
関連決算額合計								5,232

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)		
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	15	△	0	×	0	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設定目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	14	△	0	×	1	

内部評価
 評価に関するコメント
 協定書・仕様書に基づき、概ね適正な管理運営がなされている。コロナ禍によりすべての自主事業を中止したが、公園利用ニーズの変化に対応した自主事業など検討する必要がある。

今後の方向性
 次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
 次年度は指定管理者が変更となり、新たな体制のもと充実した維持管理を行う。また、コロナ禍による公園利用ニーズの変化に対応した自主事業の開催や情報発信などについて管理者と検討を行う。本施設は10年を経過しており、園路などの大規模な改修や、備品の更新を計画的に実施する。

施設名	中央図書館		
(指定)管理者	加賀市		
指定期間	—	指定管理委託料(千円)	—

事業番号	G03	事務事業名	中央図書館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央図書館

施設の設置目的	市民の教養、調査研究、レクリエーション等のため、図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存して、市民の利用に供する。また、市民の社会教育における学習活動の支援や学校教育の援助、家庭教育の向上に努める。
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

実施状況	令和2年度の管理運営状況 資料の収集や資料に関する相談のほか、乳幼児、児童を対象とした「おはなし会」や一般を対象とした講座、学校や保育園の来館や訪問による読書活動の啓発を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほとんどの事業を中止した。また、休館期間終了後は、開館時間の短縮などサービス制限を実施し開館した。 施設・設備の整備については、非常照明器具取替工事、昇降機機器取替修繕工事等を行った。 入館者数：97,894名
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度決算									
	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	273	一般会計	10	5	3	1	3	光熱水費	4,839
②	273	一般会計	10	5	3	1	4	管理委託費	3,885
③	273	一般会計	10	5	3	1	5	その他管理費	229
④	273	一般会計	10	5	3	1	6	維持補修費	2,182
関連決算額合計									11,135

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)			
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	—	△	—	×	—	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	—	△	—	×	—	

評価に関するコメント	市民に対し、資料・情報の提供や相談対応などの様々な支援を行うとともに、祝日開館などで利便性を高めている。 乳幼児・児童向けの事業は、継続実施するとともに、内容の充実を図る。 施設管理面では、現施設の長期使用を図るため、計画的な改修を実施していく。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)
	人口減少、少子化の影響により利用者数は減少傾向にあるが、祝日開館及び山中図書館と休館日をずらすなど利用者の利便性向上を図る。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、魅力的な事業計画、図書資料の充実、サービスの向上などにより、利用者の増加及び読書活動の推進を図る。

施設名	山中図書館		
(指定)管理者	加賀市		
指定期間	—	指定管理委託料(千円)	—

事業番号	G04	事務事業名	山中図書館管理		
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	山中図書館

**施設
の
設
置
目
的**

市民の教養、調査研究、レクリエーション等のため、図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存して市民の利用に供する。また、市民の社会教育における学習活動の支援や学校教育の援助、家庭教育の向上に努める。

令和2年度の管理運営状況

資料の収集や資料に関する相談のほか、乳幼児、児童を対象とした「おはなし会」や一般を対象とした講座、学校や保育園の来館や訪問による読書活動の啓発を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべての事業を中止した。休館期間終了後は、開館時間の短縮などサービス制限を実施し開館した。
施設・設備の整備については、閲覧室用イスの張替え、照明器具修理など、館内外の修繕を行った。
入館者数：21,495名

令和2年度決算

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	273	一般会計	10	5	3	1	3	光熱水費	1,897
②	273	一般会計	10	5	3	1	4	管理委託費	2,275
③	273	一般会計	10	5	3	1	5	その他管理費	210
④	273	一般会計	10	5	3	1	6	維持補修費	469
⑤	273	一般会計	10	5	3	14	1	図書館整備事業費	0
関連決算額合計									4,851

内部評価

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)		
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	—	△	—	×	—	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	—	△	—	×	—	
評価に関するコメント		市民に対し、資料・情報の提供や相談対応などの様々な支援を行うとともに、祝日開館などで利便性を高めている。 乳幼児・児童向けの事業は、継続実施するとともに、内容の充実を図る。 施設管理面では、現施設の長期使用を図るため、計画的な改修を実施していく。								

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

人口減少、少子化の影響により利用者数は減少傾向にあるが、山中地域及びその周辺地区の地域館として、また中央図書館と休館日をずらすなどして利用者の利便性向上を図り、施設改修の計画的実施や魅力的な事業、資料の充実、サービスの向上などにより、利用者の増加及び読書活動の推進を図る。

施設名	高齢者健康プラザ		
(指定)管理者	社会福祉法人 篤豊会		
指定期間	R1.4.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	15,969

事業番号	G05	事務事業名	高齢者健康プラザ管理		
所管部局	市民健康部	所管課	介護福祉課	グループ	長寿介護グループ

施設の設置目的

市民に健康づくり活動の実践の場を提供することにより、心身の健康の保持及び増進を図る。また、高齢者においては、要介護状態になることを予防する場を提供する。

実施状況

令和2年度の管理運営状況

市民への利便性と民間ノウハウによる経営を図るため、平成16年度から指定管理者制度の下に運営を行っている。
建物・設備の老朽化への対応として、平成23年度から修繕費を、人件費や備品修繕費等の経費の増大への対応として、平成27年度から委託料を計上している。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	131 一般会計	3	1	5	7	1	その他管理費	18,758
②								
③								
関連決算額合計								18,758

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	12	△	3	×	0	良	
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	15	△	0	×	0		

内部評価

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。
利用者数は毎年増加していたが、新型コロナウイルスの影響で、令和2年2月頃より休会者が多数あり、利用者数が減少した。(高齢者(60歳以上)の令和2年度年間延利用者数34,454人、令和元年度年間延利用者数59,371人、平成30年度年間延利用者数60,033人)。
地域支援事業の高齢者筋力トレーニング教室などの介護予防拠点としての事業も委託しており、事業としては高齢者の健康維持、体力維持につながっていると考えられる。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

新型コロナウイルスの影響による一時的な減少はあるものの、これまで利用者が増加してきた一方で、施設及びトレーニングマシン等の設備の老朽化に伴い、修繕の必要性のある箇所が増えつつある。
今後、設備機器等の点検・整備を徹底し、計画的に修繕を行い、指定管理により健康づくり活動実践の拠点施設として管理運営を行っていく。

施設名	かがにこにこパーク		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	H30.4.1～R3.3.31	指定管理委託料(千円)	27,000

事業番号	G07	事務事業名	かがにこにこパーク管理		
所管部局	市民健康部	所管課	子育て支援課	グループ	保育グループ

施設の設置目的

市内に遊び場が少ないとの保護者などの声を受けて、天候に左右されず、小さい子どもたちが安全に遊べるなど、子育て世代のニーズに対応した「魅力ある楽しい遊び場」を整備するため、「加賀市楽しい遊び場構想基本計画」に基づき、本市の子育て支援施策「子育て安心パッケージ」の重点事業として進めてきた市内初の屋内児童遊戯施設である。
子どもたちが天候に左右されず、楽しく安全に遊べる施設を整備するため、旧中央公園体育館の耐震、大規模改修及び遊具の設置を行い、「かがにこにこパーク」として、平成30年4月8日に供用開始した。

実施状況

令和2年度の管理運営状況

令和2年度 利用者数 40,675人
遊具の点検、救護の体制管理など事故防止に常に配慮し、子どもたちが楽しく安全に遊べる施設管理に努めた。

令和2年度決算

頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	135 一般会計	3	2	1	11	1	管理運営委託費	31,355
②	135 一般会計	3	2	1	11	2	その他管理費	185
③	135 一般会計	3	2	1	11	3	維持補修費	499
関連決算額合計								32,039

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	15	△	0	×	0	良	
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	15	△	0	×	0		

内部評価

評価に関するコメント

協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。
また、常に課題の抽出を行い、改善に繋げていく意識が高く事業の運営に積極的に取り組んでいる。

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)

指定管理者と協働のもと、施設の適正な管理運営を行ってきた。令和2年度をもってスポーツ振興事業団による指定管理は指定期間満了となった。公募の結果、令和3年度以降の指定管理者は「にこば共同企業体」に決定した。
市に類のない施設であり、今後、施設の管理運営状況や利用者ニーズ等を踏まえ、ハード・ソフト面のさらなる充実に取り組むとともに、屋内及び屋外遊び場の一体的な利用促進、中央公園全体としての利活用など、関係課及び新たな指定管理者と連携して取り組んでいく。

施設名	かが健康グリーンパーク		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R1.9.1～R6.3.31	指定管理委託料(千円)	24,130

事業番号	G08	事務事業名	かが健康グリーンパーク管理		
所管部局	教育委員会	所管課	スポーツ推進課	グループ	スポーツ推進グループ

施設の設置目的	パークゴルフやグラウンドゴルフ、マレットゴルフなど、子供から高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。								
	令和2年度の管理運営状況								

実施状況	パークゴルフやグラウンドゴルフ、マレットゴルフ愛好者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。 新型コロナウイルス感染防止対策として一定の期間を臨時休館とした。 年間利用者数: 23,589人								
	令和2年度決算								

	頁	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	281	一般会計	10	6	6	21	1	管理委託費	24,130
②									
③									
関連決算額合計									24,130

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優	
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0		
評価に関するコメント	協定書・仕様書に基づき、概ね適正な施設管理を行っている。 また、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。									

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の計画等(内部評価を踏まえ)								
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け、努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。								